

佐用町
子ども・子育て支援事業計画策定に係る
ニーズ調査結果報告書

令和7年2月

佐用町

目次

I 調査の概要

1. 調査目的	1
2. 調査期間	1
3. 調査方法	1
4. 回収結果	1
5. 報告書の見方	1

II 調査結果・就学前児童の保護者

1. お子さんご家族の状況	2
2. 子どもの育ちをめぐる環境	6
3. 保護者の就労状況	12
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況、利用希望	19
5. 地域子育て支援拠点事業の利用状況、利用意向	28
6. 土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望	34
7. 子どもが病気やケガの際の対応（幼稚園・保育園等を利用する方のみ）	40
8. 一時預かり等の事業の利用状況	44
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望（お子さんが5歳以上である方のみ）	51
10. 保護者の職場の両立支援制度の状況	62
11. 暮らしの状況	73
12. 子育ての不安や悩み	75
13. 子育て全般	80
14. 自由記述	95

III 調査結果・小中学生の保護者

1. お子さんご家族の状況	103
2. 子どもの育ちをめぐる環境	107
3. 保護者の就労状況	112
4. 子どもの放課後の過ごし方の希望	114
5. 地域子育て支援拠点事業の利用状況	124
6. 子どもが病気やケガの際の対応	127
7. 一時預かり等の事業の利用状況	131
8. 暮らしの状況	137
9. 子育ての不安や悩み	140
10. 子育て全般	146
11. 自由記述	160

IV 調査結果・小学生（4～6年生）

1. 回答者のご家族の状況	167
2. 気持ちについて	169
3. 居場所について	170
4. まわりの人について	177
5. 相談先について	180
6. 将来について	185
7. お世話をしている人について	189
8. 生活について	191
9. 子どもの意見表明について	193
10. 自由記述	197

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査目的

町内の就学前児童の保護者及び小・中学生の保護者を対象に、子ども・子育てに関する支援制度の利用状況や利用希望（ニーズ）を調査し、「第3期佐用町子ども・子育て支援事業計画」策定のための基礎資料を得ることを目的として調査を行いました。

2. 調査期間

令和6年12月10日（火）～令和7年1月21日（火）

3. 調査方法

調査種別	対象	調査方法
就学前児童の保護者	佐用町在住の就学前児童の保護者	郵送配布・ 郵送及びWEB回収
小・中学生の保護者	佐用町在住の小・中学生の保護者	
小学生（4～6年生）	佐用町在住の小学4～6年生	WEB回収

4. 回収結果

調査種別	配布数	回収数	回収率	有効回収数
就学前児童の保護者	315件	134件	42.5%	134件
小・中学生の保護者	371件	232件	62.5%	232件
小学生（4～6年生）	266件	231件	86.8%	231件

5. 報告書の見方

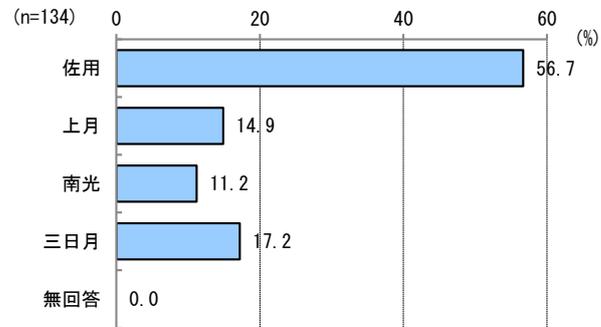
- ① 回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示しています。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- ② 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を上回ります。
なお、本文中、表やグラフに次のような表示がある場合、複数回答を依頼した質問です。
・MA(Multiple Answer)＝回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
- ③ 回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、図表には「0.0」と表記している場合があります。
- ④ 回答者数（n）が少ない場合は、比率の数字に偏りが生じやすく、厳密な比較をすることは難しいので、おおよその回答の傾向をみることになります。
- ⑤ 報告書において、設問の文章、グラフの回答選択肢の見出しを簡略化している場合があります。

Ⅱ 調査結果・就学前児童の保護者

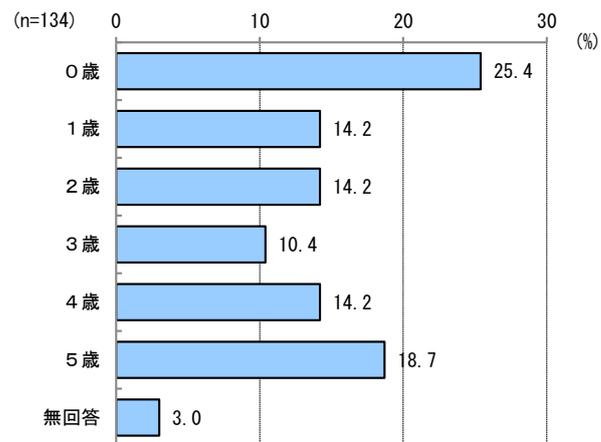
Ⅱ 調査結果・就学前児童の保護者

1. お子さんご家族の状況

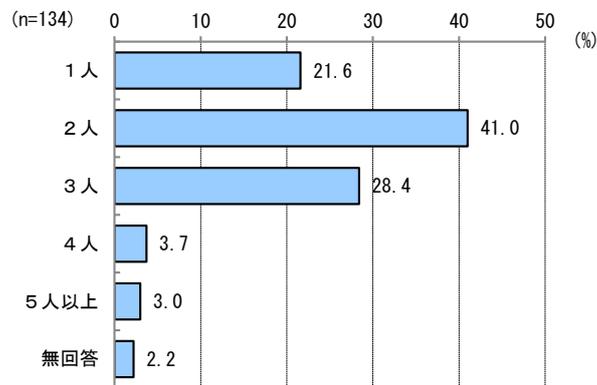
(1) 居住地区（問1：小学校区）



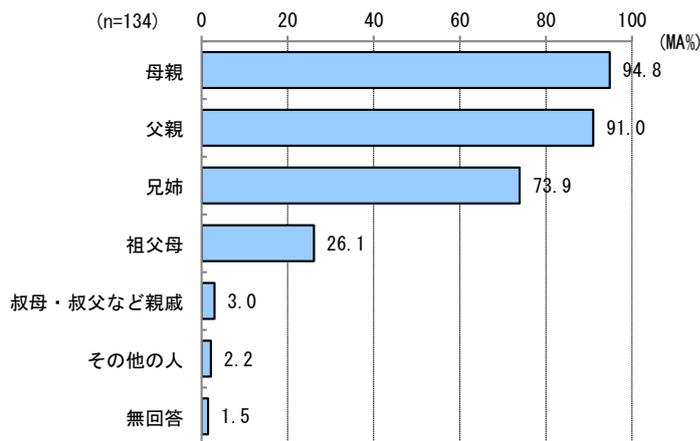
(2) 子どもの生年月（問2：調査対象の子どもの生年月）



(3) 世帯の子ども数 (問3)

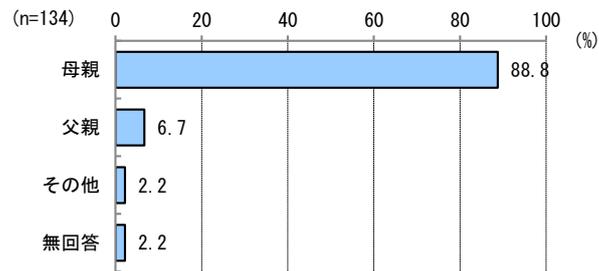


(4) 世帯員 (問4 : 調査対象の子どもからみた続柄の世帯員)



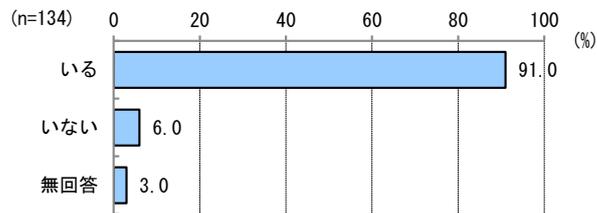
問4 その他の人の内容	件数
曾祖母	2
曾祖父	1

(5) 調査回答者 (問5)



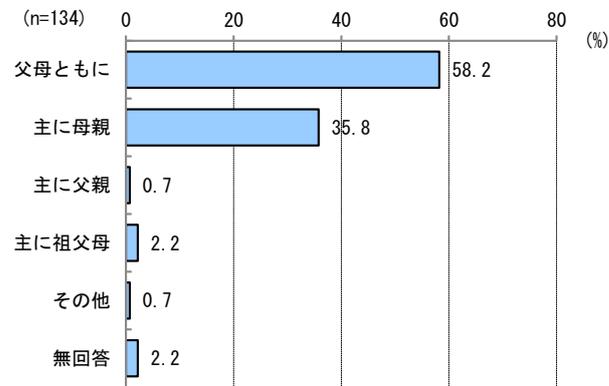
問5 その他の内容	件数
祖母	3

(6) 回答者の配偶者の有無 (問6)



(7) 子育てを主に行っている人

問7 お子さんの子育てを主に行っている方は、お子さんからみてどなたですか。【〇は1つ】



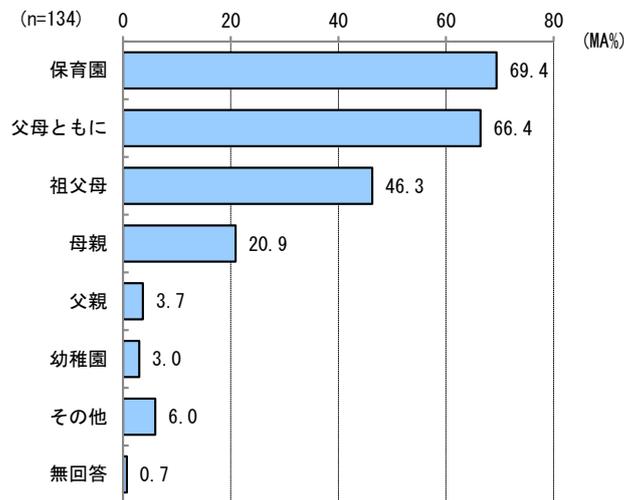
子育てを主に行っている方は、「父母ともに」が 58.2%と最も高く、次いで「主に母親」が 35.8%、「主に祖父母」が 2.2%となっています。

問7 その他の内容	件数
父母、祖父母ともに	1

2. 子どもの育ちをめぐる環境

(1) 子育てに日常的に関わっている方（施設）

問8 お子さんの子育てに日常的に関わっている方（施設）を、お子さんからみた関係でお答えください。【〇はいくつでも】

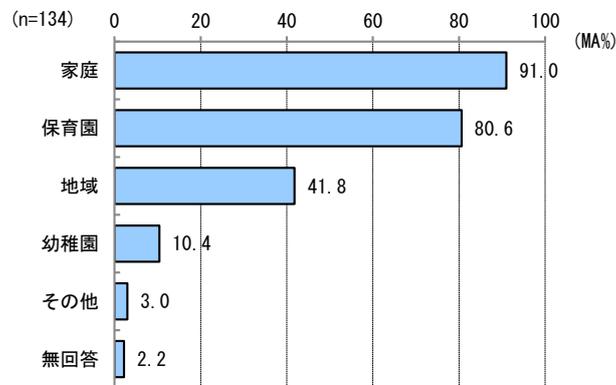


子育てに日常的に関わっている方（施設）は、「保育園」が69.4%と最も高く、次いで「父母ともに」が66.4%、「祖父母」が46.3%となっています。

問8 その他の内容	件数
子どもの兄姉	2
児童発達支援センターや療育の先生	2
託児所	1
姫路聴覚特別支援学校幼稚部	1
子育て支援センター	1
叔母	1

(2) 子育てに影響すると思う環境

問9 お子さんの子育てに、大きく影響すると思われる環境は何ですか。
【〇はいくつでも】



子育てに影響すると思う環境は、「家庭」が91.0%と最も高く、次いで「保育園」が80.6%、「地域」が41.8%となっています。

問9 その他の内容	件数
仕事先	1
支援センター	1
実家	1
習い事	1

(3) 子どもをみてもらえる状況

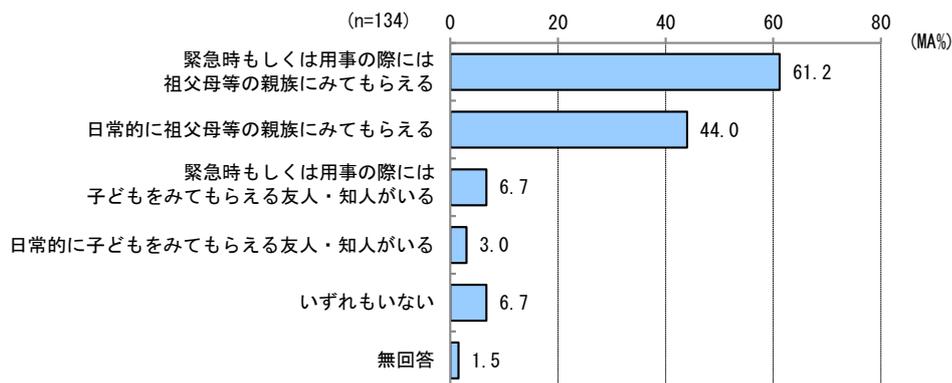
問 10 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

【〇はいくつでも】

問 10-1 親族や知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

【〇はいくつでも】

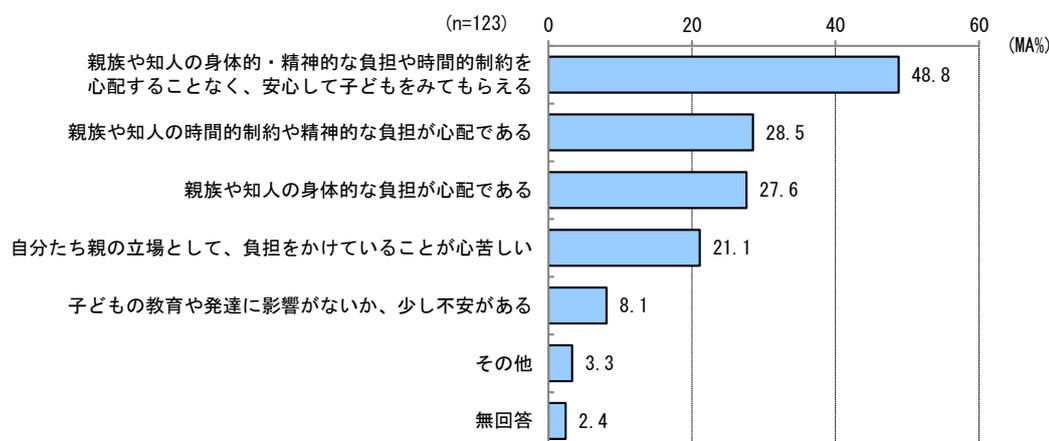
【子どもをみてもらえる親族・知人はいるか】



子どもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が61.2%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が44.0%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」「いずれもない」がともに6.7%となっています。

【親族・知人に子どもをみてもらっている状況】

※親族・知人に子どもをみてもらえる方のみ



親族・知人に子どもをみてもらっている状況は、「親族や知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が48.8%と最も高く、次いで「親族や知人の時間的制約や精神的な負担が心配である」が28.5%、「親族や知人の身体的な負担が心配である」が27.6%となっています。

問 10-1 その他の内容	件数
子どもが小さいため、預けたことがない	1
祖父母が高齢のため体調不良時は、預けていても不安はある	1
未来を担う子どものために出来る限り協力をお願いしている状況	1
子どもが1人で父母以外の親族と長時間過ごせるか心配	1

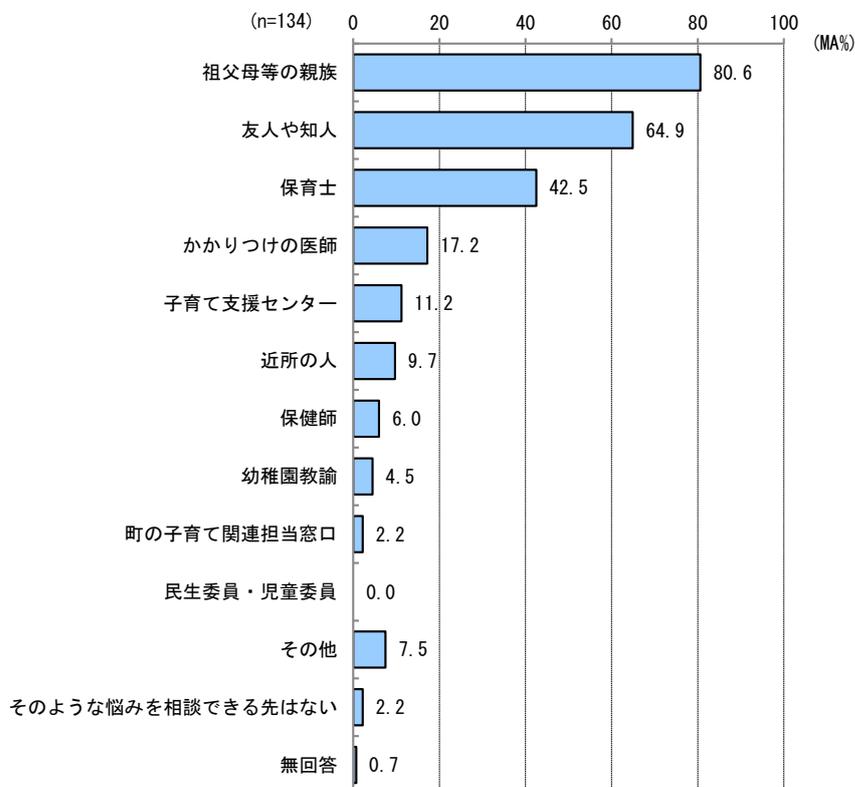
【(年齢別)親族・知人に子どもをみてもらっている状況】

	全 体	子 ど も の 配 慮 が な い か 、 少 し や 不 安 が あ る 影 響	親 族 や 知 人 の 時 間 的 制 約 や 精 神 的 な 負 担 が 心 配 で あ る や	親 族 や 知 人 の 身 体 的 な 負 担 が 心 配 で あ る や	自 分 た ち 親 の 立 場 と し て 、 負 担 を か け て い る こ と が 心 苦 しい	親 族 や 知 人 の 時 間 的 制 約 や 精 神 的 な 負 担 が 心 配 で あ る や	親 族 や 知 人 の 身 体 的 な 負 担 が 心 配 で あ る や	そ の 他	無 回 答
全 体	123 100.0	60 48.8	34 27.6	35 28.5	26 21.1	10 8.1	4 3.3	3 2.4	
0 歳	31 100.0	18 58.1	7 22.6	7 22.6	4 12.9	2 6.5	1 3.2	1 3.2	
1・2 歳	35 100.0	18 51.4	8 22.9	8 22.9	5 14.3	2 5.7	0 0.0	1 2.9	
3～5 歳	54 100.0	23 42.6	18 33.3	18 33.3	16 29.6	5 9.3	3 5.6	1 1.9	

上段：実数、下段：%

(4) 子育てに関する相談先

問11 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人は誰（どこ）ですか。
【〇はいくつでも】



子育てに関する相談先は、「祖父母等の親族」が80.6%と最も高く、次いで「友人や知人」が64.9%、「保育士」が42.5%となっています。

問11 その他の内容	件数
療育の先生・スタッフ	3
両親の姉妹	2
夫	1
児童発達支援センター	1
仕事先	1

【(年齢別)子育てに関する相談先】

	全 体	祖 父 母 等 の 親 族	友 人 や 知 人	近 所 の 人	子 育 て 支 援 セ ン タ ー	保 健 師	保 育 士	幼 稚 園 教 諭
全 体	134 100.0	108 80.6	87 64.9	13 9.7	15 11.2	8 6.0	57 42.5	6 4.5
0 歳	34 100.0	26 76.5	18 52.9	5 14.7	5 14.7	6 17.6	11 32.4	2 5.9
1・2 歳	38 100.0	29 76.3	28 73.7	2 5.3	6 15.8	0 0.0	16 42.1	0 0.0
3～5 歳	58 100.0	50 86.2	38 65.5	6 10.3	4 6.9	2 3.4	29 50.0	4 6.9
	全 体	民 生 委 員 ・ 児 童 委 員	か か り つ け の 医 師	町 の 子 育 て 関 連 担 当 窓 口	そ の 他	相 談 で き る 先 は な い	無 回 答	
全 体	134 100.0	0 0.0	23 17.2	3 2.2	10 7.5	3 2.2	1 0.7	
0 歳	34 100.0	0 0.0	7 20.6	1 2.9	2 5.9	1 2.9	0 0.0	
1・2 歳	38 100.0	0 0.0	5 13.2	1 2.6	1 2.6	1 2.6	0 0.0	
3～5 歳	58 100.0	0 0.0	11 19.0	1 1.7	6 10.3	1 1.7	0 0.0	

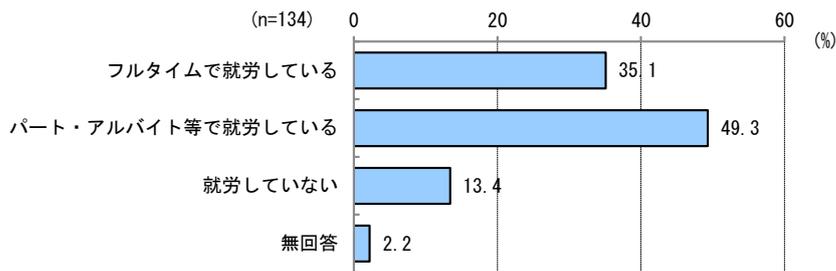
上段：実数、下段：%

3. 保護者の就労状況

(1) 母親・父親の現在の就労状況

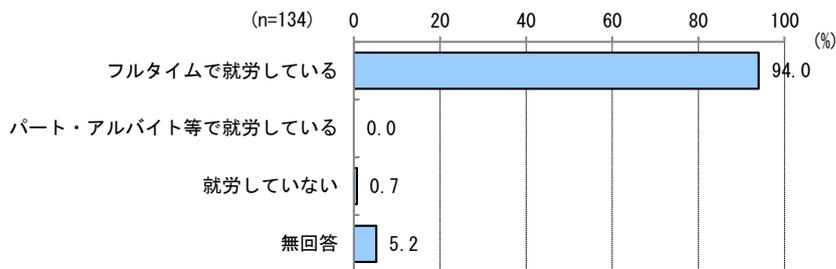
問 12 お子さんの母親・父親の現在の就労状況をお答えください。【それぞれ〇は1つ】
問 12-1 週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

【母親の就労状況】



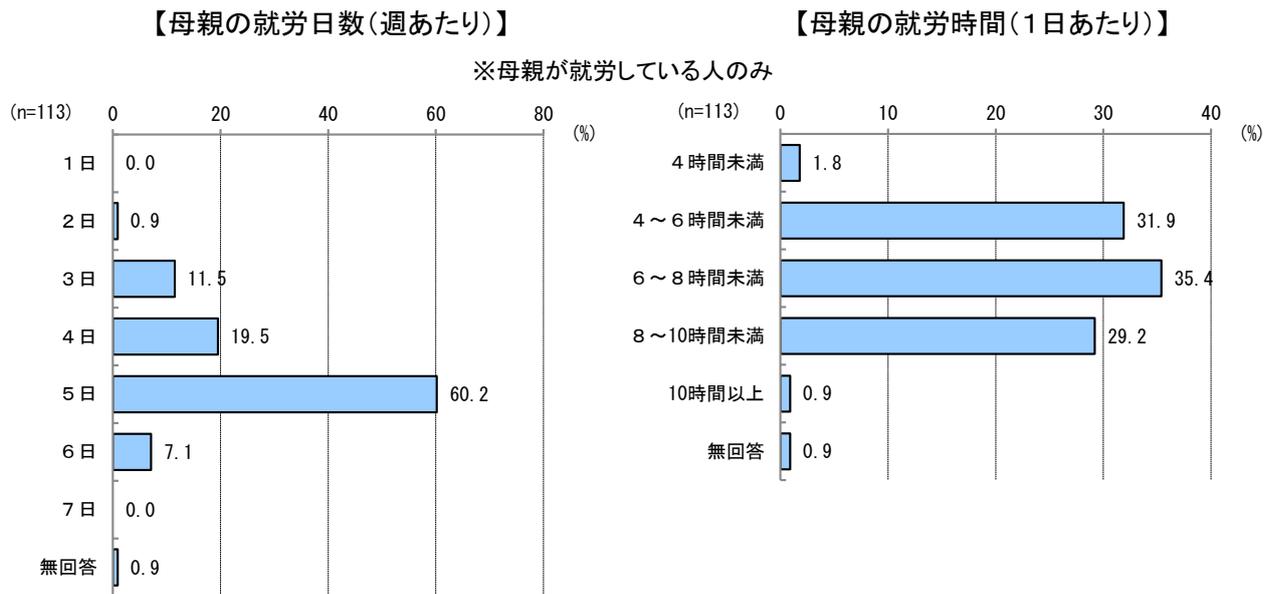
母親の就労状況は、「パート・アルバイト等で就労している」が 49.3%と最も高く、次いで「フルタイムで就労している」が 35.1%、「就労していない」が 13.4%となっています。

【父親の就労状況】



父親の就労状況は、「フルタイムで就労している」が 94.0%、「就労していない」が 0.7%となっています。

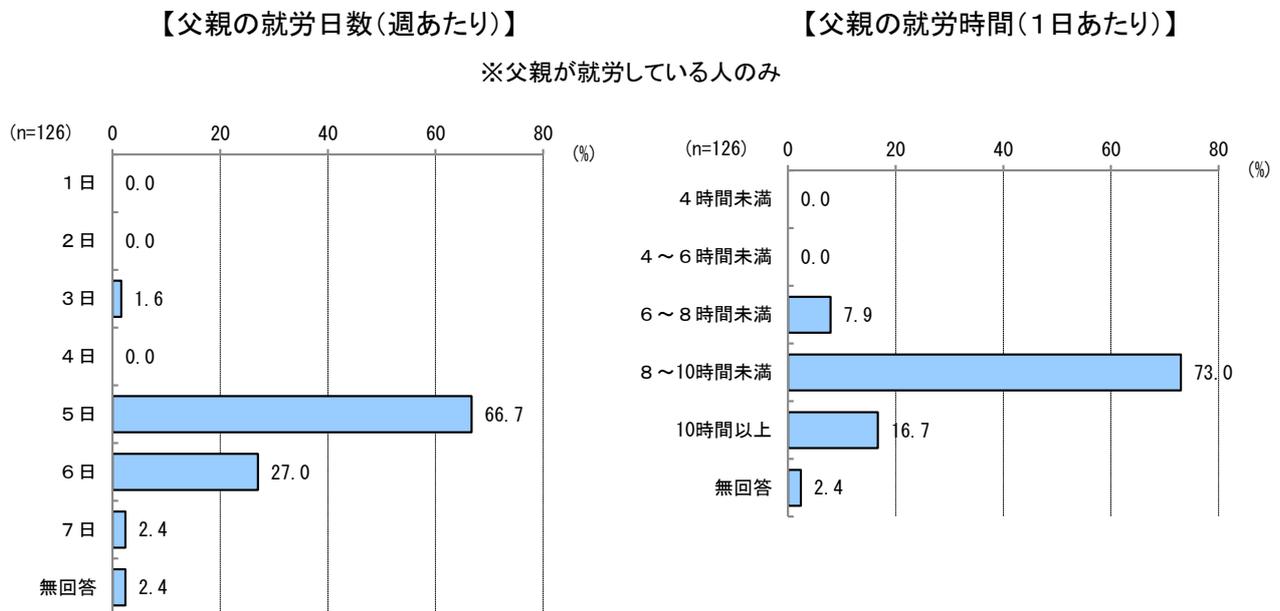
① 母親の週あたりの就労日数と1日あたりの就労時間(残業時間を含む)



母親の就労日数(週あたり)は、「5日」が60.2%と最も高く、次いで「4日」が19.5%、「3日」が11.5%となっています。

就労時間(1日あたり)は、「6～8時間未満」が35.4%と最も高く、次いで「4～6時間未満」が31.9%、「8～10時間未満」が29.2%となっています。

② 父親の週あたりの就労日数と1日あたりの就労時間(残業時間を含む)



父親の就労日数(週あたり)は、「5日」が66.7%と最も高く、次いで「6日」が27.0%、「7日」が2.4%となっています。

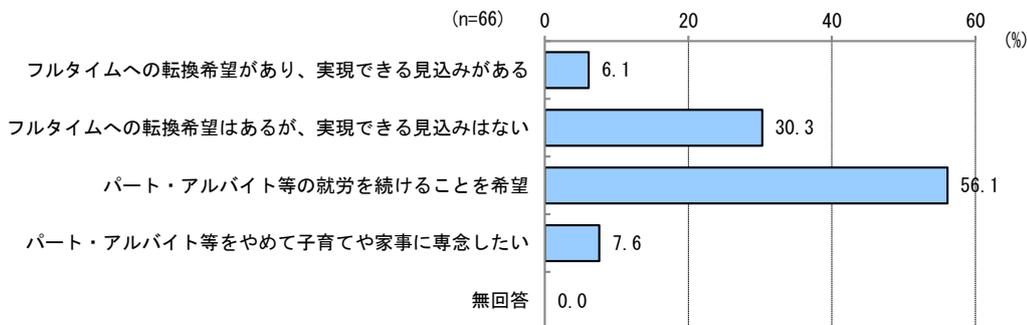
就労時間(1日あたり)は、「8～10時間未満」が73.0%と最も高く、次いで「10時間以上」が16.7%、「6～8時間未満」が7.9%となっています。

(2) フルタイムへの転換希望

問 13 フルタイムへの転換希望はありますか。【○は1つ】

【母親のフルタイムへの転換希望】

※母親がパートタイム、アルバイト等で働いている人のみ



母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 56.1%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 30.3%、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」が 7.6%となっています。

父親で、パート・アルバイト等で働いている回答はみられませんでした。

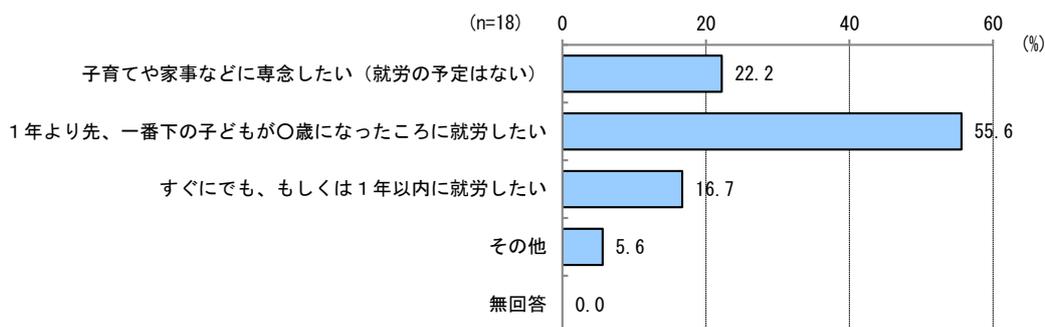
(3) 就労希望

問 14 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当箇所にご記入ください。

① 母親

【母親の就労希望】

※母親が就労していない人のみ

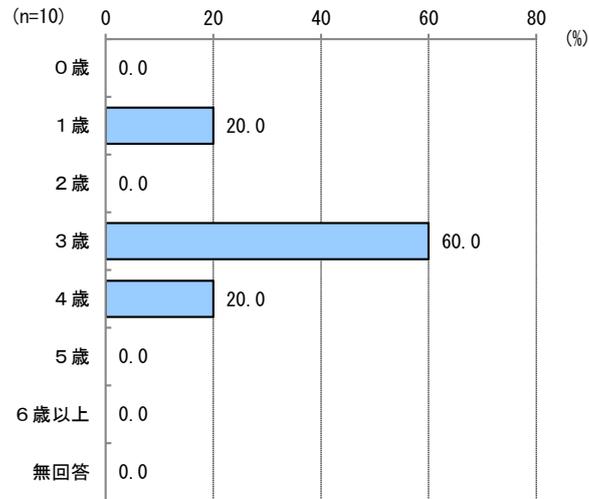


母親の就労希望は、「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい」が55.6%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)」が22.2%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が16.7%となっています。

問 14 その他の内容	件数
姫路聴覚特別支援学校幼稚部	1
育休中	1
来年度より仕事復帰予定	1

【母親の就労希望時の末子の年齢】

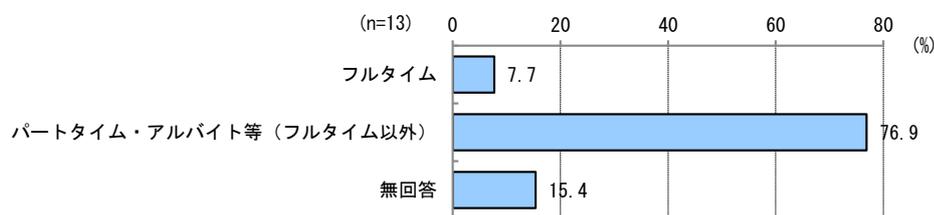
※母親の就労希望がある人のみ



母親の就労希望時の末子の年齢は、「3歳」が60.0%と最も高く、次いで「1歳」「4歳」がともに20.0%となっています。

【母親の希望就労形態】

※母親の就労希望がすぐにも、もしくは1年以内に就労したい人のみ

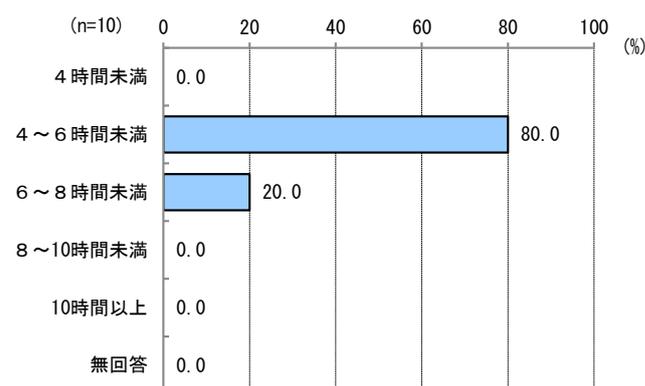
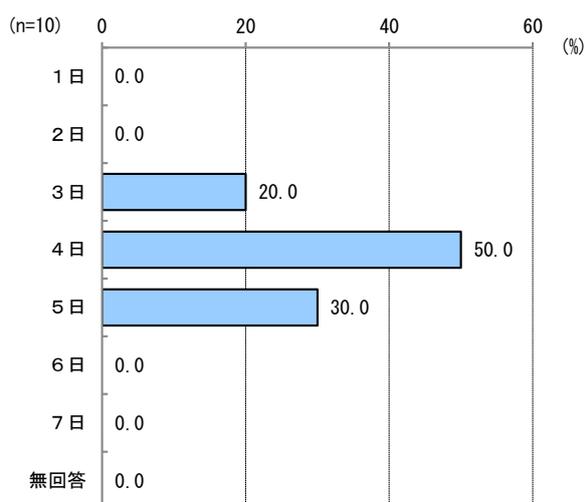


母親の就労希望形態は、「パートタイム・アルバイト等 (フルタイム以外)」が76.9%、「フルタイム」が7.7%となっています。

【母親の就労希望日数(週あたり)】

【母親の就労希望時間(1日あたり)】

※母親の就労希望がすぐにも、もしくは1年以内に就労したい人で、
希望就労形態がパートタイム、アルバイト等(フルタイム以外)の人のみ



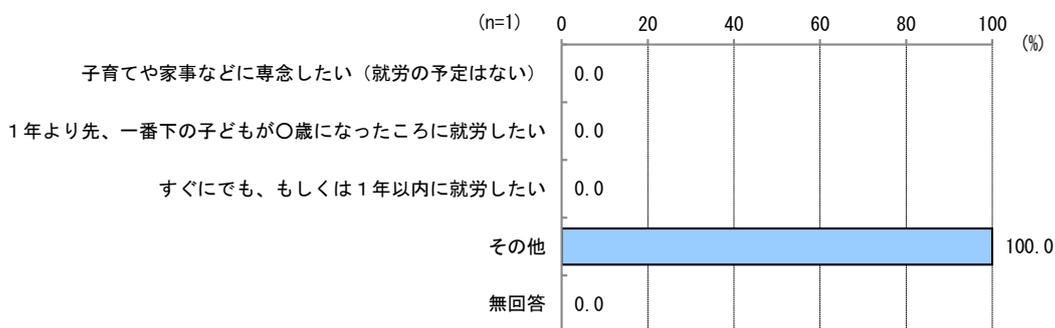
母親の就労希望日数(週あたり)は、「4日」が50.0%と最も高く、次いで「5日」が30.0%、「3日」が20.0%となっています。

母親の就労希望時間(1日あたり)は、「4～6時間未満」が80.0%、「6～8時間未満」が20.0%となっています。

② 父親

【父親の就労希望】

※父親が就労していない人のみ



父親の就労希望は、「その他」が100.0%となっています。

問 14 その他の内容	件数
姫路聴覚特別支援学校幼稚部	1

父親で、就労していない人のうち、就労を希望する回答はみられませんでした。

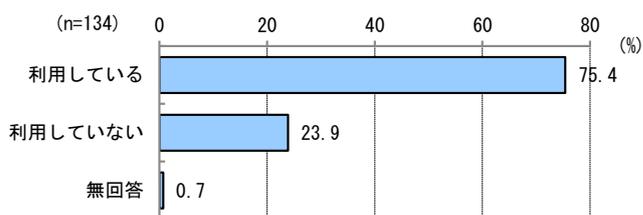
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況、利用希望

(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

問 15 お子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。【○は1つ】

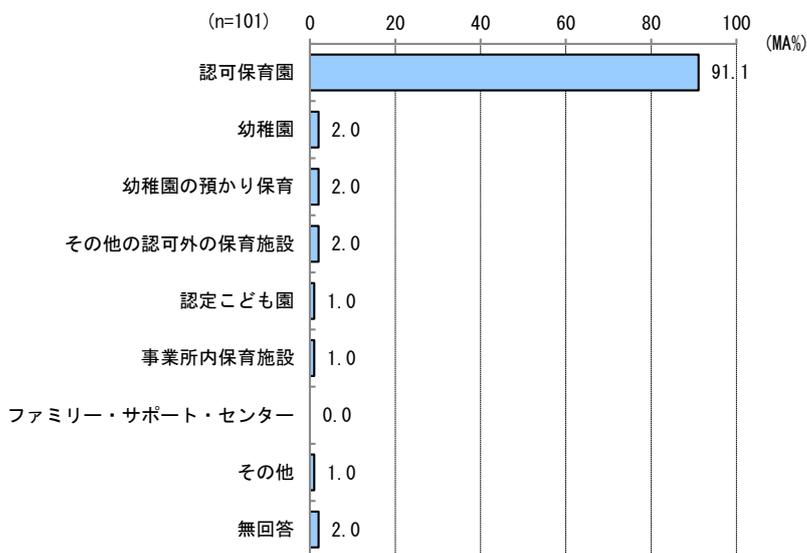
問 15-1 お子さんは、平日どのようなサービスを利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用しているサービスをお答えください。【○はいくつでも】

【平日の定期的な教育・保育事業の利用状況】



【利用している事業】

※定期的な教育・保育事業を利用している人のみ



平日の定期的な教育・保育事業の利用状況は、「利用している」が 75.4%、「利用していない」が 23.9% となっています。

利用している事業は、「認可保育園」が 91.1%と最も高くなっています。

問 15-1 その他の内容	件数
姫路聴覚特別支援学校幼稚部	1

【(年齢別)平日の定期的な教育・保育事業の利用状況】

	全 体	利 用 し て い る	利 用 し て い な い	無 回 答
全 体	134 100.0	101 75.4	32 23.9	1 0.7
0 歳	34 100.0	15 44.1	19 55.9	0 0.0
1・2 歳	38 100.0	25 65.8	13 34.2	0 0.0
3～5 歳	58 100.0	57 98.3	0 0.0	1 1.7

上段：実数、下段：%

【(年齢別)利用している事業】

	全 体	幼 稚 園	幼 稚 園 の 預 か り 保 育	認 可 保 育 園	認 定 こ ど も 園	事 業 所 内 保 育 施 設	保 育 施 設 の 他 の 認 可 外 の	サ ポ ー ト ・ セ ン タ ー	フ ア ミ リ ー ・ セ ン タ ー	そ の 他	無 回 答
全 体	101 100.0	2 2.0	2 2.0	92 91.1	1 1.0	1 1.0	2 2.0	0 0.0	0 0.0	1 1.0	2 2.0
0 歳	15 100.0	1 6.7	0 0.0	14 93.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
1・2 歳	25 100.0	0 0.0	0 0.0	24 96.0	0 0.0	1 4.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
3～5 歳	57 100.0	1 1.8	2 3.5	52 91.2	1 1.8	0 0.0	2 3.5	0 0.0	0 0.0	1 1.8	0 0.0

上段：実数、下段：%

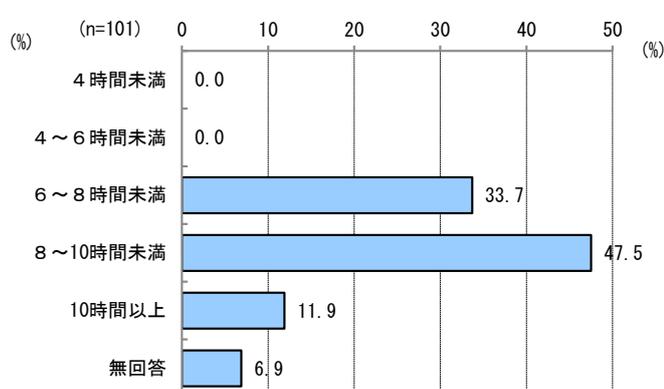
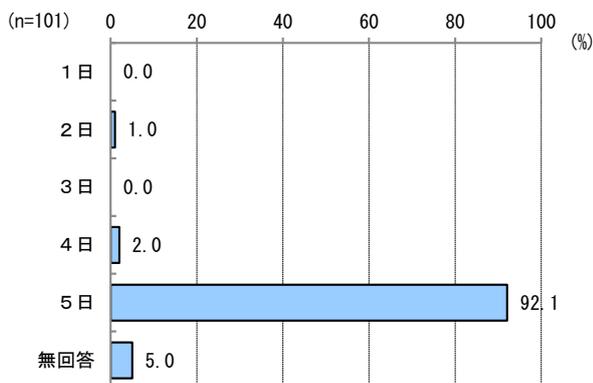
問 15-2 1週あたりの「(1) 現在」と「(2) 希望」の利用日数・時間の合計・時間帯をご記入ください。

① 現在

【1週あたりの平日の定期的な保育利用日数】

【1日あたりの平日の定期的な保育利用時間】

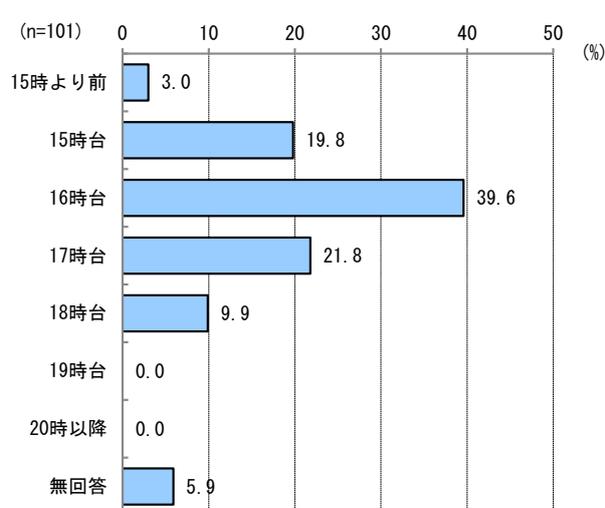
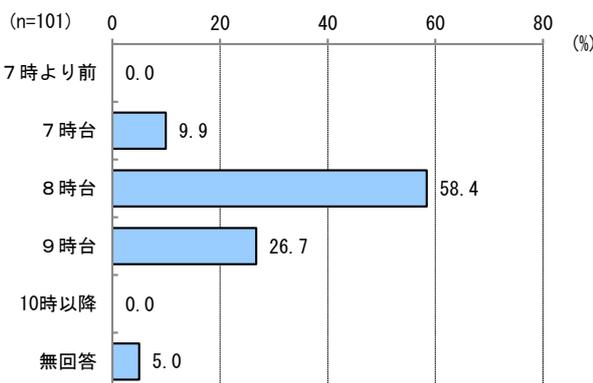
※定期的な教育・保育事業を利用している人のみ



【平日の定期的な保育利用開始時間】

【平日の定期的な保育利用終了時間】

※定期的な教育・保育事業を利用している人のみ



現在の1週あたりの利用日数は、「5日」が92.1%、1日あたりの利用時間は「8～10時間未満」が47.5%、「6～8時間未満」が33.7%となっています。

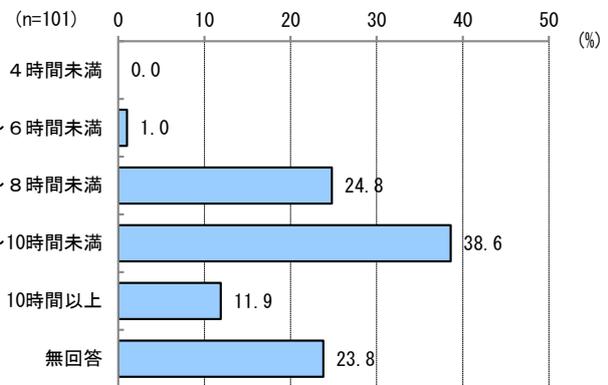
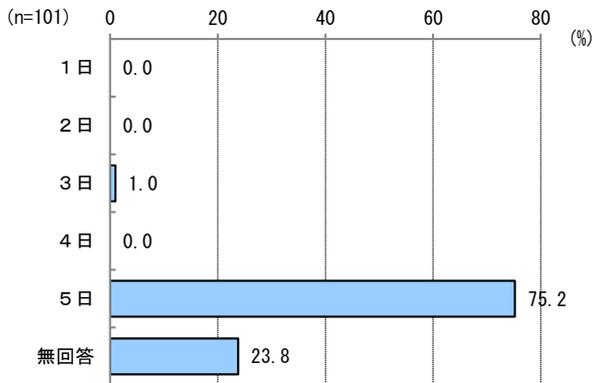
利用開始時間は、「8時台」が58.4%、「9時台」が26.7%、利用終了時間は「16時台」が39.6%、「17時台」が21.8%となっています。

② 希望

【1週あたりの平日の定期的な保育利用日数】

【1日あたりの平日の定期的な保育利用時間】

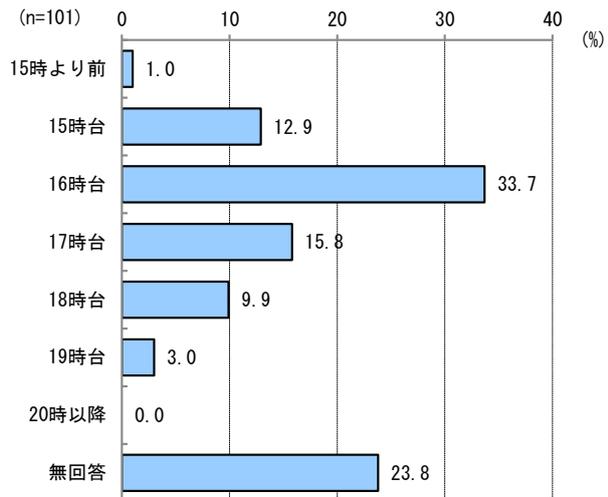
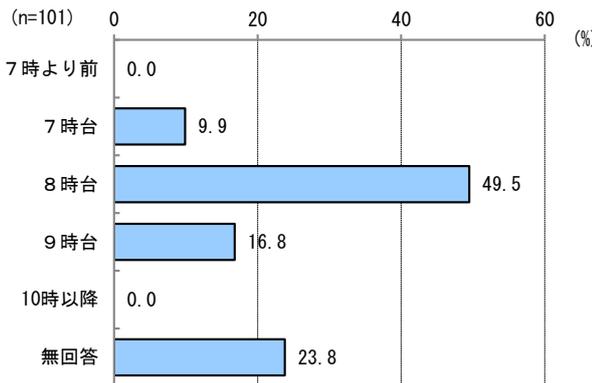
※定期的な教育・保育事業を利用している人のみ



【平日の定期的な保育利用開始時間】

【平日の定期的な保育利用終了時間】

※定期的な教育・保育事業を利用している人のみ

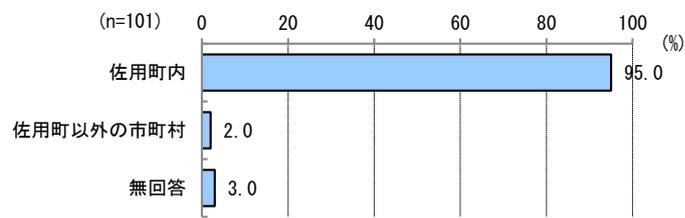


希望の1週あたりの利用日数は、「5日」が75.2%、1日あたりの利用時間は「8～10時間未満」が38.6%、「6～8時間」が24.8%となっています。

利用開始時間は、「8時台」が49.5%、「9時台」が16.8%、利用終了時間は「16時台」が33.7%、「17時台」が15.8%となっています。

問 15-3 現在、幼稚園や保育園などを利用している場所はどこですか。【〇は1つ】

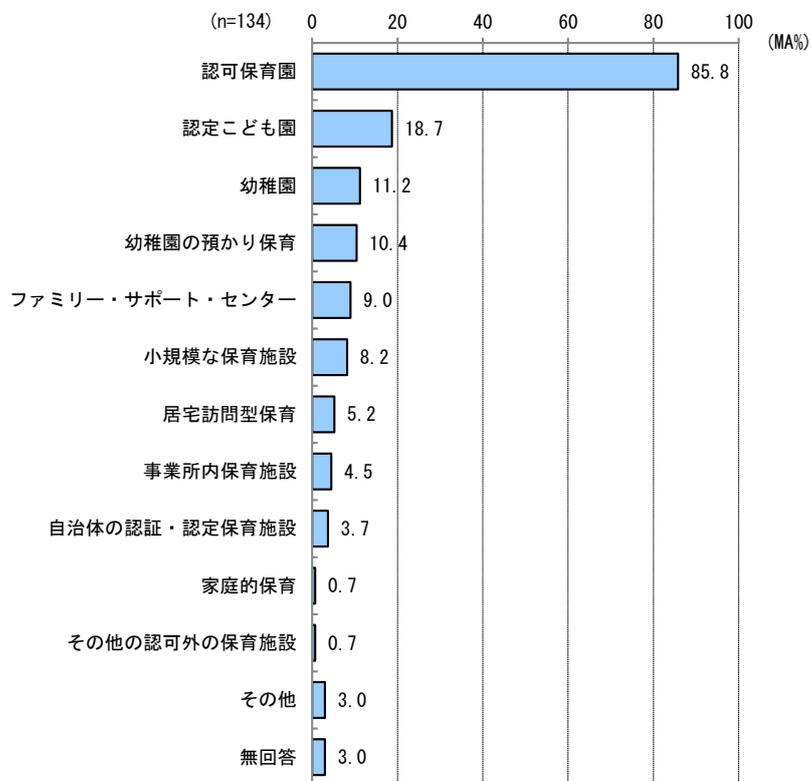
※定期的な教育・保育事業を利用している人のみ



幼稚園や保育園などを利用している場所は、「佐用町内」が95.0%、「佐用町以外の市町村」が2.0%となっています。

(2) 平日の定期的な教育・保育事業として希望する事業

問 16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。【〇はいくつでも】



定期的に利用したい事業は、「認可保育園」が 85.8%と最も高く、次いで「認定こども園」が 18.7%、「幼稚園」が 11.2%となっています。

問 16 その他の内容	件数
夜間の預かり保育	1
オルタナティブスクール	1
療育	1
保育園以外の時間は自分がみたい	1

【(年齢別)定期的に利用したい事業】

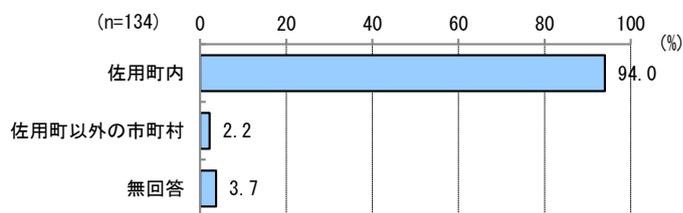
	全 体	幼 稚 園	幼 稚 園 の 預 か り 保 育	認 可 保 育 園	認 定 こ ど も 園	小 規 模 な 保 育 施 設	家 庭 的 保 育	事 業 所 内 保 育 施 設
全 体	134 100.0	15 11.2	14 10.4	115 85.8	25 18.7	11 8.2	1 0.7	6 4.5
0 歳	34 100.0	5 14.7	4 11.8	28 82.4	6 17.6	3 8.8	1 2.9	3 8.8
1・2 歳	38 100.0	4 10.5	3 7.9	33 86.8	12 31.6	4 10.5	0 0.0	1 2.6
3～5 歳	58 100.0	6 10.3	7 12.1	51 87.9	7 12.1	3 5.2	0 0.0	2 3.4
	全 体	認 自 定 治 保 体 育 施 設 認 証 ・	保 所 育 施 設 他 の 認 可 外 の	居 宅 訪 問 型 保 育	サ フ ア ポ ー ト リ ・ セ ン タ ー	そ の 他	無 回 答	
全 体	134 100.0	5 3.7	1 0.7	7 5.2	12 9.0	4 3.0	4 3.0	
0 歳	34 100.0	3 8.8	1 2.9	2 5.9	3 8.8	0 0.0	1 2.9	
1・2 歳	38 100.0	2 5.3	0 0.0	3 7.9	4 10.5	0 0.0	2 5.3	
3～5 歳	58 100.0	0 0.0	0 0.0	2 3.4	5 8.6	4 6.9	1 1.7	

上段：実数、下段：%

(3) 平日の定期的な教育・保育事業を利用希望する場所、その理由

問 16-1 問 16 のようなサービスを利用したい場所はどこですか。【○は1つ】
 問 16-2 佐用町内もしくは佐用町外でサービスを利用したい理由を教えてください。

【平日の定期的な教育・保育事業の希望利用場所】



定期的にご利用したい事業の場所は、「佐用町内」が94.0%、「佐用町以外の市町村」が2.2%となっています。

【サービスを利用したい理由】

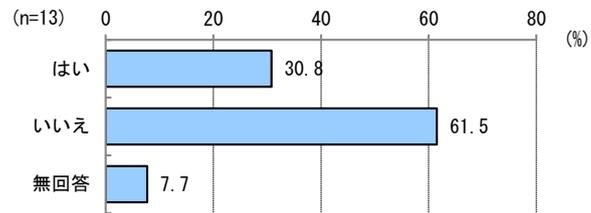
問 16-2 佐用町内で利用したい理由	件数
自宅から近いから	41
仕事の都合があるから	14
自宅、職場が近いから	12
送迎の都合があるから	8
佐用町で預けたいから	5
佐用町の幼稚園・保育園が良いから	4
子どもを預けられる場所や人がない、いないから	3
生活圏内にあるから	2
便利だから	2
その他	6

問 16-2 佐用町外で利用したい理由	件数
現在利用中の認定こども園が良いため	1
リフレッシュのため	1
勤務場所が佐用町ではないため	1

(4) 幼稚園の利用の希望度

問 16-3 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。【○は1つ】

※幼稚園または幼稚園の預かり保育の利用を希望し、その他の保育事業の利用も希望する人のみ



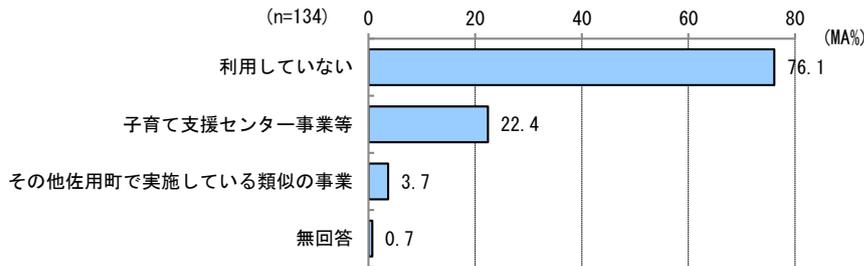
幼稚園の利用の希望度（幼稚園の利用を強く希望するか）は、「いいえ」が61.5%、「はい」が30.8%となっています。

5. 地域子育て支援拠点事業の利用状況、利用意向

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問 17 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業等（ママプラザなど親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場所）を利用していますか。
また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。【〇はいくつでも】

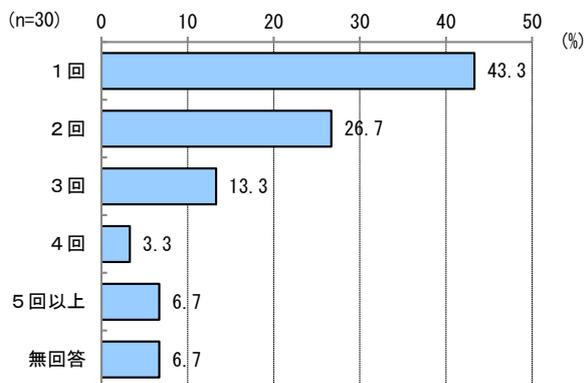
【地域子育て支援拠点事業等の利用状況】



地域子育て支援拠点事業等の利用状況は、「利用していない」が 76.1%と最も高く、次いで「子育て支援センター事業等」が 22.4%、「その他佐用町で実施している類似の事業」が 3.7%となっています。

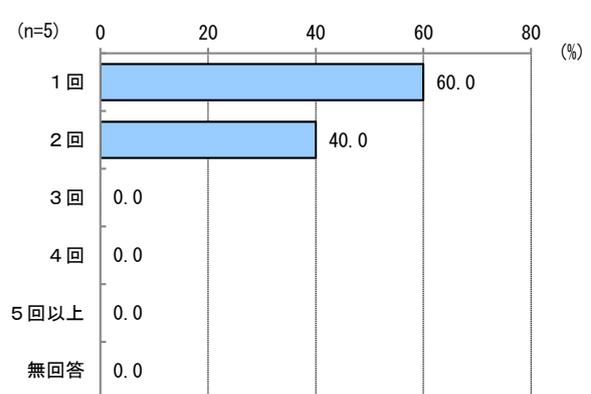
【地域子育て支援拠点事業等の利用回数(月あたり)】

※地域子育て支援拠点事業等を利用している人のみ



【類似事業の利用回数(月あたり)】

※類似事業を利用している人のみ



地域子育て支援拠点事業等の利用回数（月あたり）は、「1回」が 43.3%と最も高く、次いで「2回」が 26.7%、「3回」が 13.3%となっています。

類似事業の利用回数（月あたり）は、「1回」が 60.0%、「2回」が 40.0%となっています。

問 17 その他佐用町で実施している類似の事業 具体名	件数
社会福祉協議会	5

【(年齢別)地域子育て支援拠点事業等の利用状況】

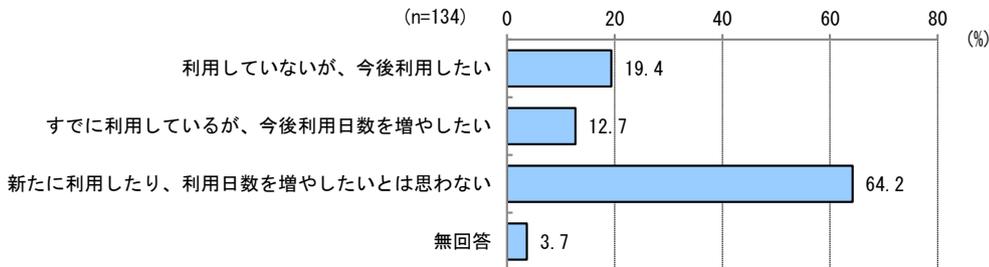
	全 体	事 業 等 子 育 て 支 援 セ ン タ ー	し そ の 他 佐 用 町 で 実 施 さ れ て い る 類 似 の 事 業	利 用 し て い な い	無 回 答
全 体	134 100.0	30 22.4	5 3.7	102 76.1	1 0.7
0 歳	34 100.0	10 29.4	1 2.9	24 70.6	0 0.0
1・2 歳	38 100.0	17 44.7	3 7.9	21 55.3	0 0.0
3～5 歳	58 100.0	3 5.2	1 1.7	53 91.4	1 1.7

上段：実数、下段：%

(2) 地域子育て支援拠点事業の利用意向

問 17-1 問 17 のような地域子育て支援拠点事業等について、今後どのように利用したいですか。また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。【〇は1つ】

【地域子育て支援拠点事業等の利用希望】

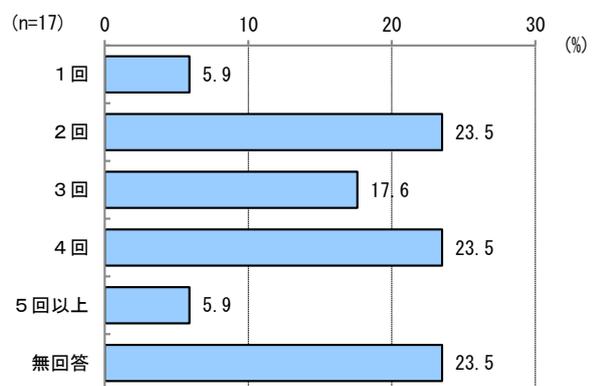
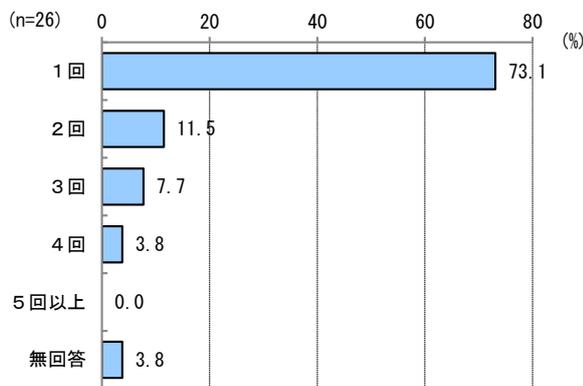


地域子育て支援拠点事業等の利用希望は、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 64.2%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が 19.4%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 12.7%となっています。

【地域子育て支援拠点事業等の利用希望回数(月あたり)】

※利用していないが、今後利用したい人のみ

※すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい人のみ



地域子育て支援拠点事業等の利用をしていない人の利用希望回数（月あたり）は、「1回」が 73.1%と最も高く、次いで「2回」が 11.5%、「3回」が 7.7%となっています。

地域子育て支援拠点事業等を利用している人の利用希望回数（月あたり）は、「2回」「4回」がともに 23.5%と最も高く、次いで「3回」が 17.6%、「1回」「5回以上」がともに 5.9%となっています。

【(年齢別)地域子育て支援拠点事業等の利用希望】

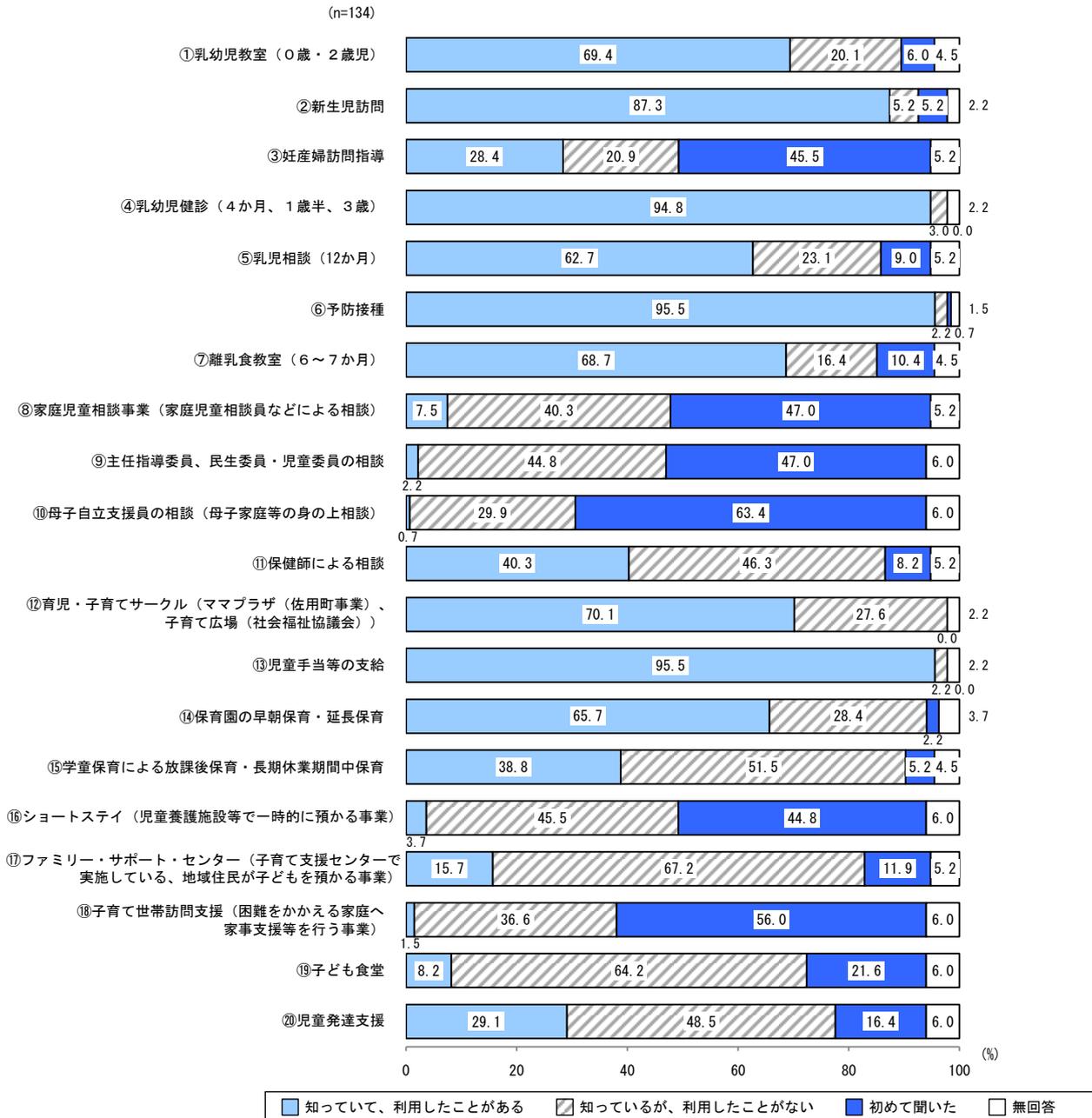
	全 体	今 後 利 用 し て い た い が、	増 や し た い	が、 す で 今 後 利 用 し て 日 数 を	い 利 新 た に 日 数 を 増 や し た	無 回 答
全 体	134 100.0	26 19.4	17 12.7	86 64.2	5 3.7	
0 歳	34 100.0	9 26.5	8 23.5	17 50.0	0 0.0	
1・2 歳	38 100.0	7 18.4	6 15.8	24 63.2	1 2.6	
3～5 歳	58 100.0	10 17.2	3 5.2	41 70.7	4 6.9	

上段：実数、下段：%

(3) 地域の子育て支援事業の認知度・利用度、利用意向

問 18 地域の子育て支援事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものがありますか。(各サービスのA～Bのそれぞれについて、該当するものに○をつけてください。)

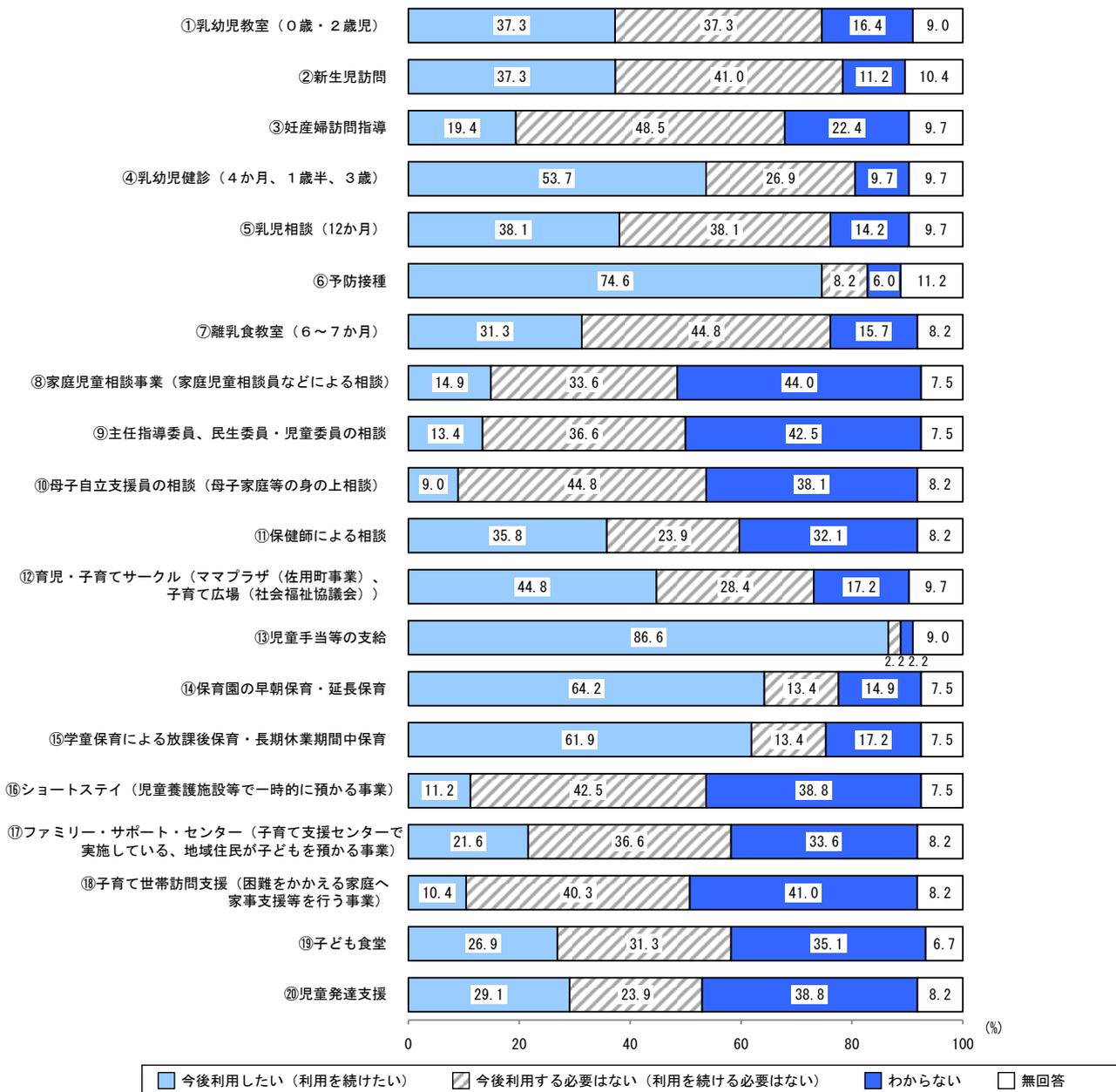
【A 認知度・利用度】



地域の子育て支援事業の認知度（「知っている、利用したことがある」「知っているが、利用したことがない」を合わせた割合）は、④乳幼児健診が 97.8%、利用度（「知っている、利用したことがある」の割合）は、⑬児童手当等の支給が 95.5%と最も高くなっている一方で、⑩母子自立支援員の相談は、認知度、利用度ともに最も低くなっています。

【B 利用意向】

(n=134)



地域の子育て支援事業の利用意向（「今後利用したい (利用を続けたい)」の割合)は、⑬児童手当等の支給が86.6%と最も高い一方で、⑩母子自立支援員の相談は最も低くなっています。

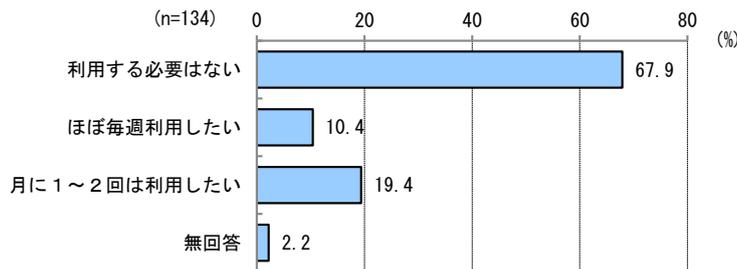
6. 土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望

(1) 土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

問 19 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。
 希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。
 また、その理由をご記入ください。【土曜日、日曜日・祝日ごとに〇は1つ】

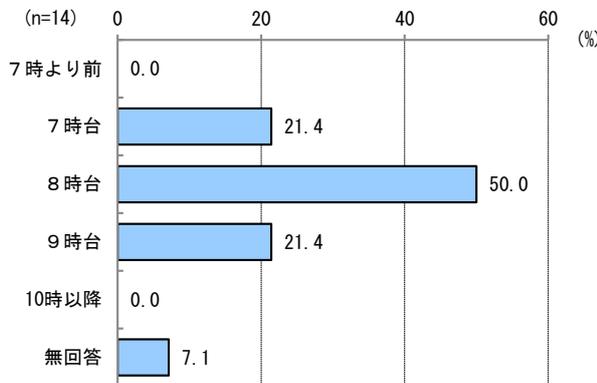
① 土曜日

【土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望】



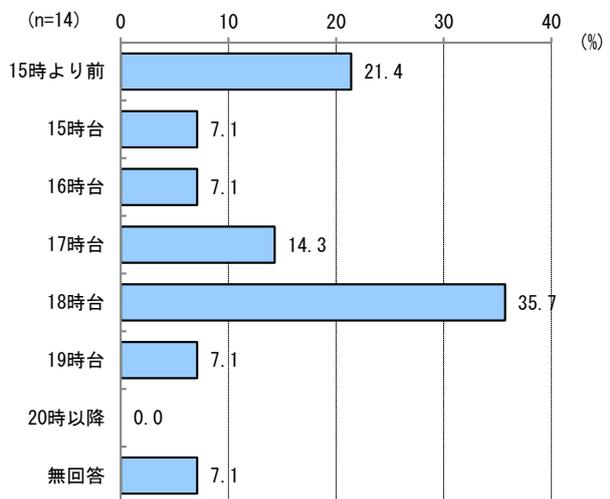
土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」が67.9%と最も高く、次いで「月に1~2回は利用したい」が19.4%、「ほぼ毎週利用したい」が10.4%となっています。

【土曜日の希望開始時間】



【土曜日の希望終了時間】

※ほぼ毎週利用したい人



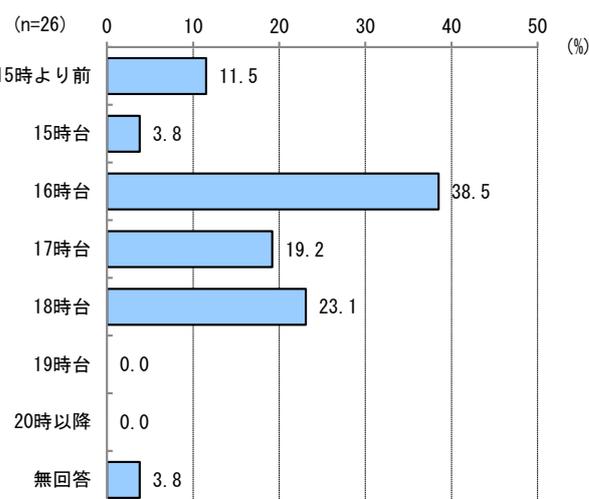
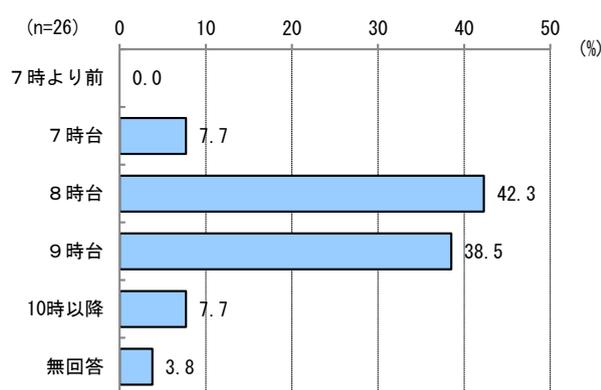
ほぼ毎週利用したい人の土曜日の希望開始時間は、「8時台」が50.0%と最も高く、次いで「7時台」「9時台」がともに21.4%となっています。

ほぼ毎週利用したい人の土曜日の希望終了時間は、「18時台」が35.7%と最も高く、次いで「15時より前」が21.4%、「17時台」が14.3%となっています。

【土曜日の希望開始時間】

【土曜日の希望終了時間】

※月に1～2回利用したい人



月に1～2回利用したい人の土曜日の希望開始時間は、「8時台」が42.3%と最も高く、次いで「9時台」が38.5%、「7時台」「10時以降」がともに7.7%となっています。

月に1～2回利用したい人の土曜日の希望終了時刻は、「16時台」が38.5%と最も高く、次いで「18時台」が23.1%、「17時台」が19.2%となっています。

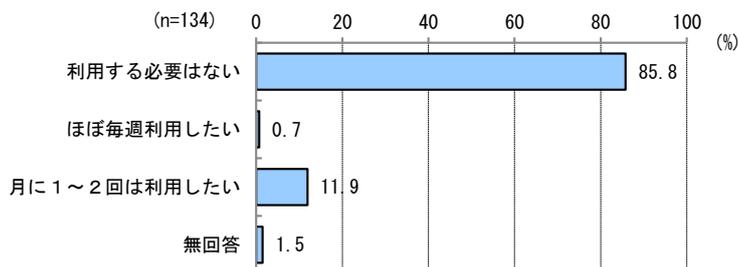
【土曜日に定期的な教育・保育事業を利用希望する理由】

問 19 ほぼ毎週利用したい理由	件数
仕事があるため	11
シフト制の仕事のため（パート、月に数回、年に数回含む）	2

問 19 月に1～2回は利用したい理由	件数
仕事があるため	11
シフト制の仕事のため（パート、月に数回、年に数回含む）	5
用事がある	1
フルタイム(正規)職員になると、18時までの勤務が条件だから	1
距離をとりたい	1
まわりに友だちがいないので、土曜日など園庭開放してほしい	1
夫の仕事の日があるため	1
仕事量を増やせるため	1
その他	4

② 日曜日・祝日

【日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望】

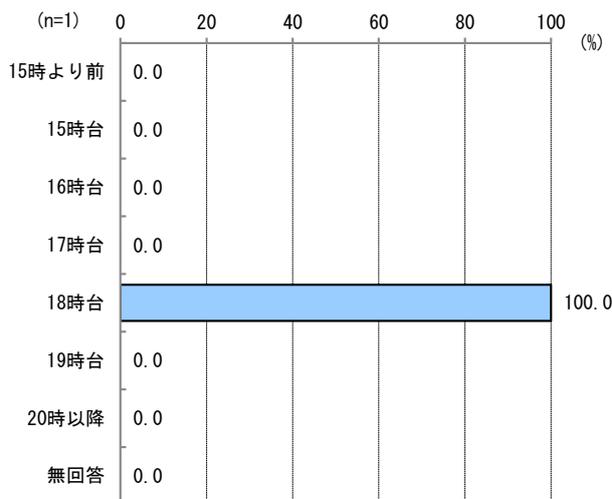
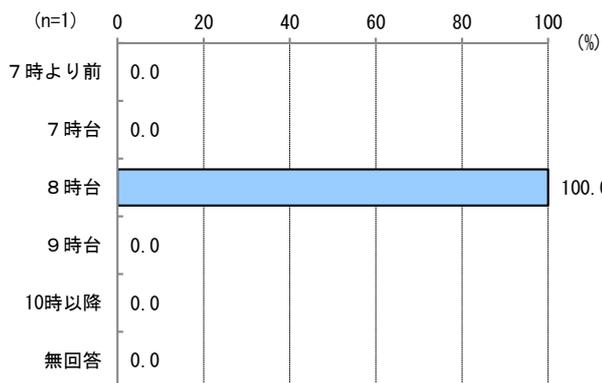


日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」が85.8%と最も高く、次いで「月に1~2回は利用したい」が11.9%、「ほぼ毎週利用したい」が0.7%となっています。

【日曜日・祝日の希望開始時間】

【日曜日・祝日の希望終了時間】

※ほぼ毎週利用したい人

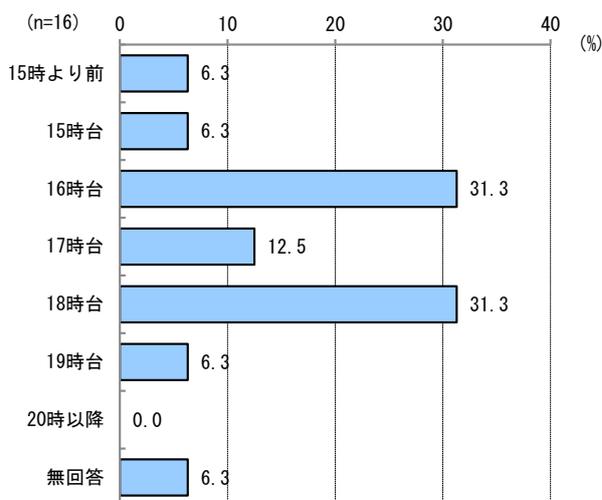
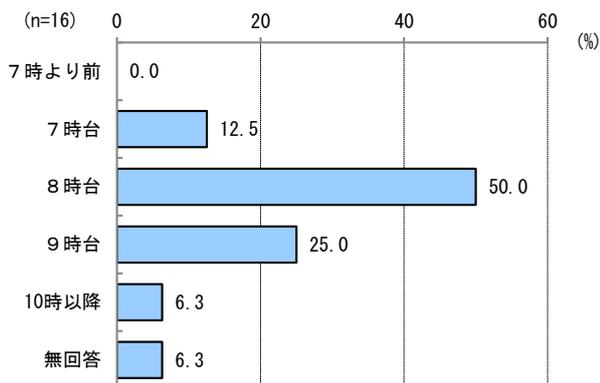


ほぼ毎週利用したい人の日曜日・祝日の希望開始時間は、「8時台」となっています。
 ほぼ毎週利用したい人の日曜日・祝日の希望終了時間は、「18時台」となっています。

【日曜日・祝日の希望開始時間】

【日曜日・祝日の希望終了時間】

※月に1～2回利用したい人



月に1～2回利用したい人の日曜日・祝日の希望開始時間は、「8時台」が50.0%と最も高く、次いで「9時台」が25.0%、「7時台」が12.5%となっています。

月に1～2回利用したい人の日曜日・祝日の希望終了時間は、「16時台」「18時台」がともに31.3%と最も高く、次いで「17時台」が12.5%、「15時より前」「15時台」「19時台」がともに6.3%となっています。

【日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業を利用希望する理由】

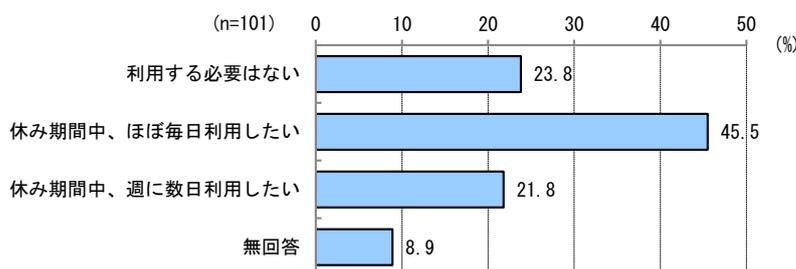
問 19 ほぼ毎週利用したい理由	件数
シフト制の仕事のため（パート、月に数回、年に数回含む）	1

問 19 月に1～2回は利用したい理由	件数
仕事があるため	5
用事がある	2
シフト制の仕事のため（パート、月に数回、年に数回含む）	1
息ぬきをしたい	1
繁忙期に利用したい	1
今は月曜日～土曜日で働いているが、今後シフト制になった場合、日曜日の出勤が免れないため	1
祝日が勤務の場合がある	1
その他	4

(2) 長期休暇中の定期的な幼稚園や保育園の利用希望

問 19-1 幼稚園など平日の定期的な教育・保育の事業を利用されている方（問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方）におうかがいします。お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中にも、幼稚園や保育園が利用できるとしたら、利用を希望しますか。
希望がある場合は、利用を希望する開始時間・終了時間もお答えください。
また、その理由をご記入ください。【○は1つ】

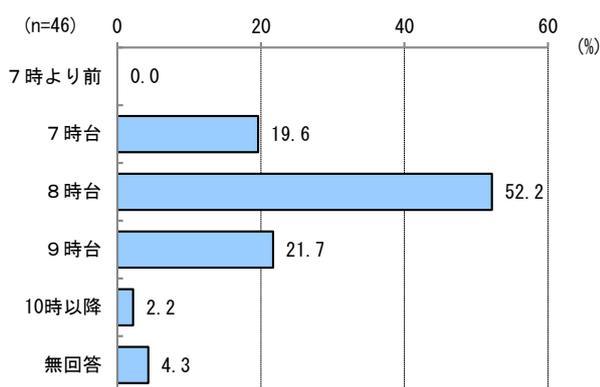
【長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望】



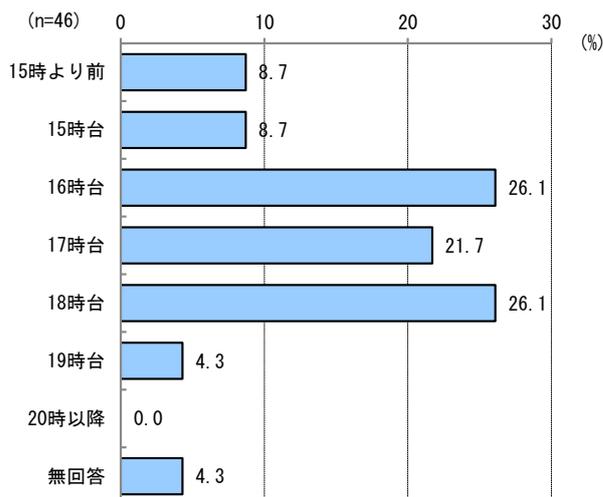
長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「休み期間中、ほぼ毎日利用したい」が 45.5% と最も高く、次いで「利用する必要はない」が 23.8%、「休み期間中、週に数日利用したい」が 21.8% となっています。

【長期休暇中の希望開始時間】

※ほぼ毎日利用したい人



【長期休暇中の希望終了時間】



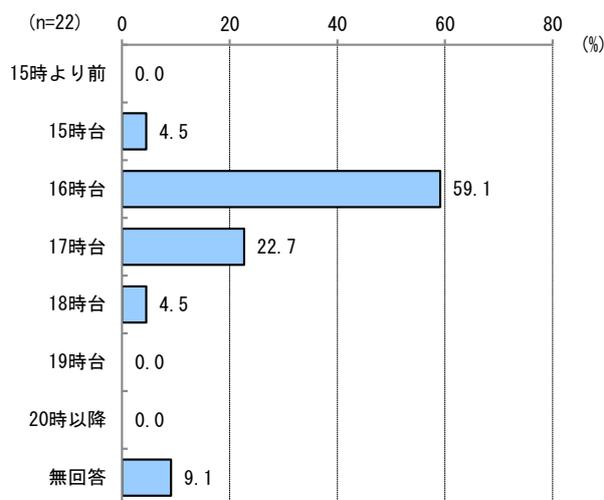
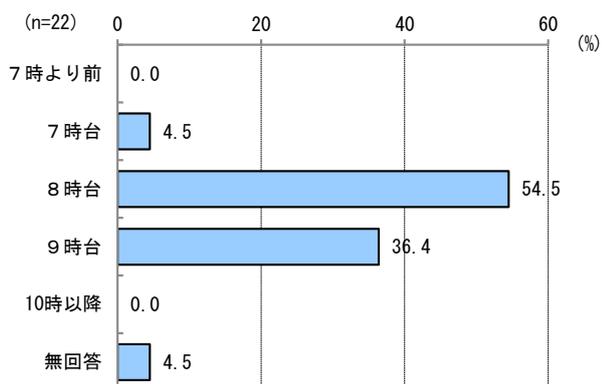
ほぼ毎日利用したい人の長期休暇中の希望開始時間は、「8時台」が 52.2% と最も高く、次いで「9時台」が 21.7%、「7時台」が 19.6% となっています。

ほぼ毎日利用したい人の長期休暇中の希望終了時間は、「16時台」「18時台」がともに 26.1% と最も高く、次いで「17時台」が 21.7%、「15時より前」「15時台」がともに 8.7% となっています。

【長期休暇中の希望開始時間】

【長期休暇中の希望終了時間】

※週に数日利用したい人



週に数日利用したい人の長期休暇中の希望開始時間は、「8時台」が54.5%と最も高く、次いで「9時台」が36.4%、「7時台」が4.5%となっています。

週に数日利用したい人の長期休暇中の希望終了時間は、「16時台」が59.1%と最も高く、次いで「17時台」が22.7%、「15時台」「18時台」がともに4.5%となっています。

【長期休暇中の定期的な教育・保育事業を利用希望する理由】

問 19-1 休み期間中、ほぼ毎日利用したい理由	件数
仕事があるため	37
シフト制の仕事のため (パート、月に数回、年に数回含む)	2
夏休み冬休みに近所で気軽に遊べる友だちがいないため、親もよければついていくので、園庭開放してほしい	1
就労、家事	1
子どもは長期休みであっても、親は休みではない	1
長期休暇がある仕事ではないため	1

問 19-1 休み期間中、週に数日利用したい理由	件数
仕事があるため	15
シフト制の仕事のため (パート、月に数回、年に数回含む)	1
用事がある	1
家にずっといると怒ってしまうから	1
両親共、休みが取れないため	1
友だちと切磋琢磨してもらいたい	1
その他	3

7. 子どもが病気やケガの際の対応（幼稚園・保育園等を利用する方のみ）

(1) 病気やケガで事業が利用できなかった経験の有無とその際の対応

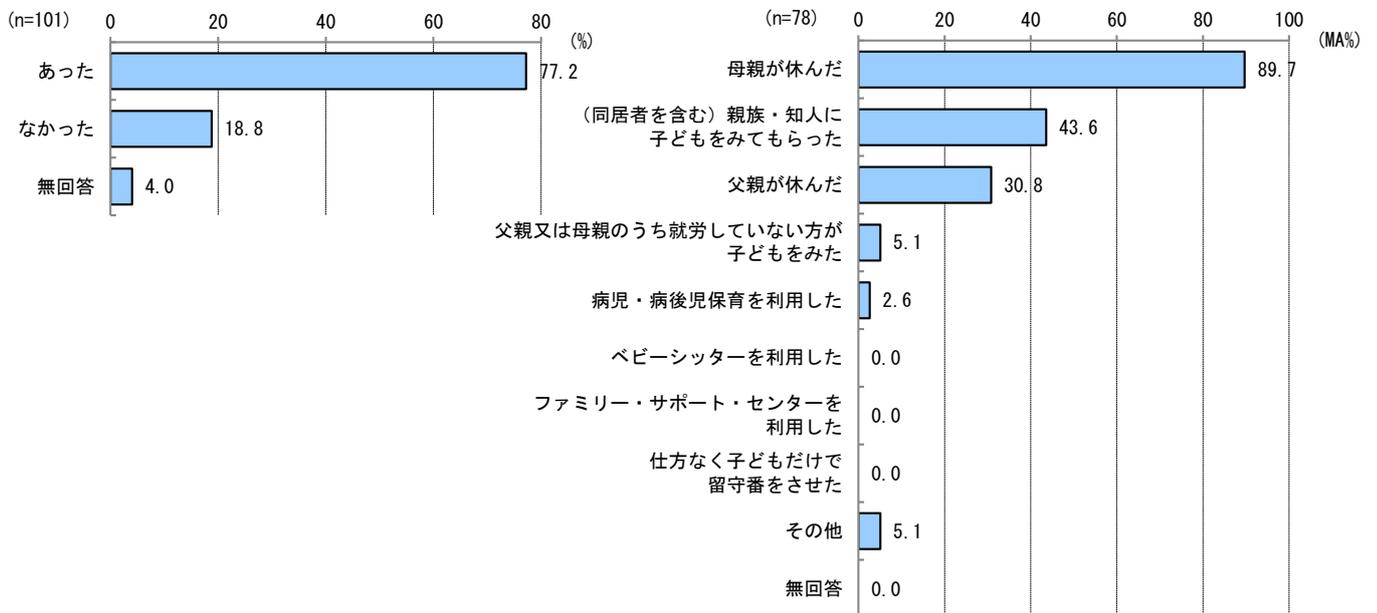
問 20 幼稚園など平日の定期的な教育・保育の事業を利用されている方（問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方）におうかがいします。この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。【○は1つ】

問 20-1 お子さんが病気やケガで幼稚園や保育園などが利用できなかったときに、この1年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数もご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。【○はいくつでも】

【病気やケガで事業を利用できなかった経験の有無】

【利用できなかったときの対応】

※病気やケガで事業を利用できなかったことがある人のみ



病気やケガで事業を利用できなかった経験の有無は、「あった」が77.2%、「なかった」が18.8%となっています。

利用できなかったときの対応は、「母親が休んだ」が89.7%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が43.6%、「父親が休んだ」が30.8%となっています。

問 20-1 その他の内容	件数
祖母にみてもらった	2
仕事をしながらみた（職場、母実家に連れて行った）	2

【病気やケガで事業を利用できなかった日数(対応ごと)】

※病気やケガで事業を利用できなかったことがある人のみ

	全 体	5 日 未 満	5 ～ 9 日	1 0 ～ 1 9 日	2 0 ～ 2 9 日	3 0 日 以 上	無 回 答
父親が休んだ	24 100	13 54.2	5 20.8	5 20.8	1 4.2	0 0	0 0
母親が休んだ	70 100	14 20	18 25.7	25 35.7	6 8.6	5 7.1	2 2.9
(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	34 100	14 41.2	9 26.5	6 17.6	3 8.8	1 2.9	1 2.9
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	4 100	4 100	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
病児・病後児保育を利用した	2 100	2 100	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
ベビーシッターを利用した	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
ファミリー・サポート・センターを利用した	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
その他	4 100	1 25	0 0	3 75	0 0	0 0	0 0

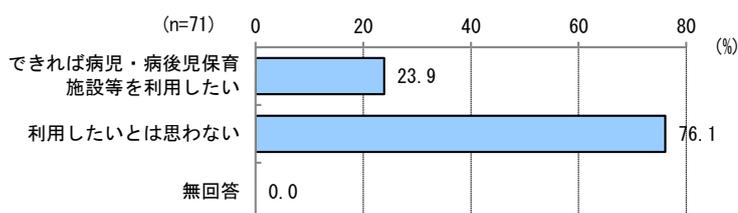
上段：件数、下段：%

(2) 病児・病後児保育施設等の利用希望

問 20-2 父親もしくは母親が休んだ際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数についてもご記入ください。

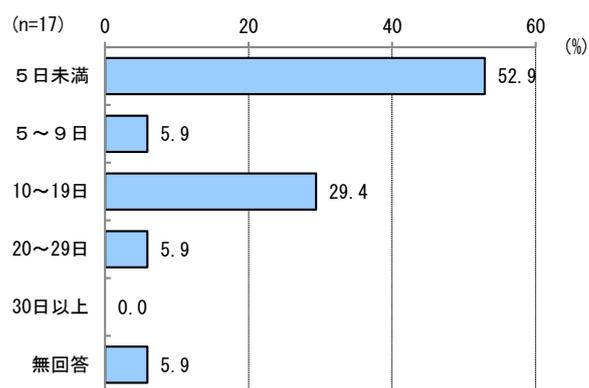
問 20-3 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は何ですか。
【○はいくつでも】

【病児・病後児保育施設等の利用希望】



【利用希望日数(年間)】

※病児・病後児保育施設等を利用したいと思った人のみ

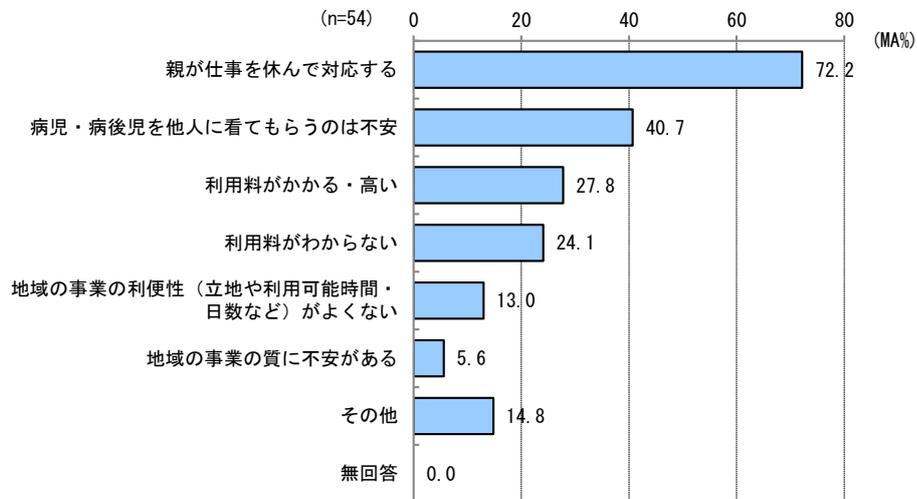


病児・病後児保育施設等の利用希望は、「利用したいとは思わない」が76.1%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が23.9%となっています。

希望利用日数(年間)は、「5日未満」が52.9%と最も高く、次いで「10～19日」が29.4%、「5～9日」「20～29日」がともに5.9%となっています。

【病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由】

※病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない人のみ



病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は、「親が仕事を休んで対応する」が72.2%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が40.7%、「利用料がかかる・高い」が27.8%となっています。

問 20-3 その他の内容	件数
子どもが不安がると思うから	2
子どものそばにいて安心させてあげたいから	2
当日に調子が悪いかがわかるが、前日までに連絡したりしないといけないから	1
他の子からもっとひどい風邪をもらってくると思うと利用したいと思えない	1
お金を払って弁当を持たず位なら休んだ方が早いし、結局病院に連れて行かないといけない	1
手続きがややこしそう	1
子どものケアはしたいから	1

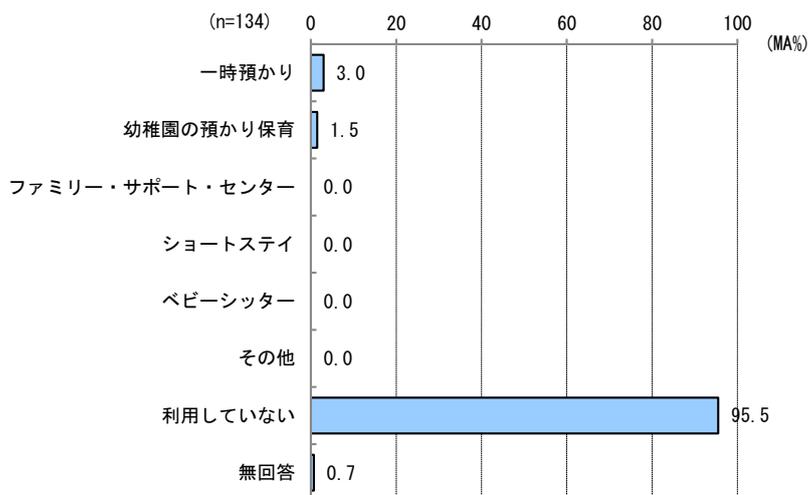
8. 一時預かり等の事業の利用状況

(1) 不定期の一時預かり等の事業の利用状況（この1年間）

問 21 この1年間に、日中の定期的な保育や病気のため以外に、保護者のリフレッシュ、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）もご記入ください。

問 21-1 現在利用していない理由は何ですか。【○はいくつでも】

【不定期に利用している事業(この1年間)】



不定期に利用している事業（この1年間）は、「利用していない」を除くと、「一時預かり」が3.0%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」が1.5%となっています。

【不定期に利用している事業の利用日数(事業ごと)】

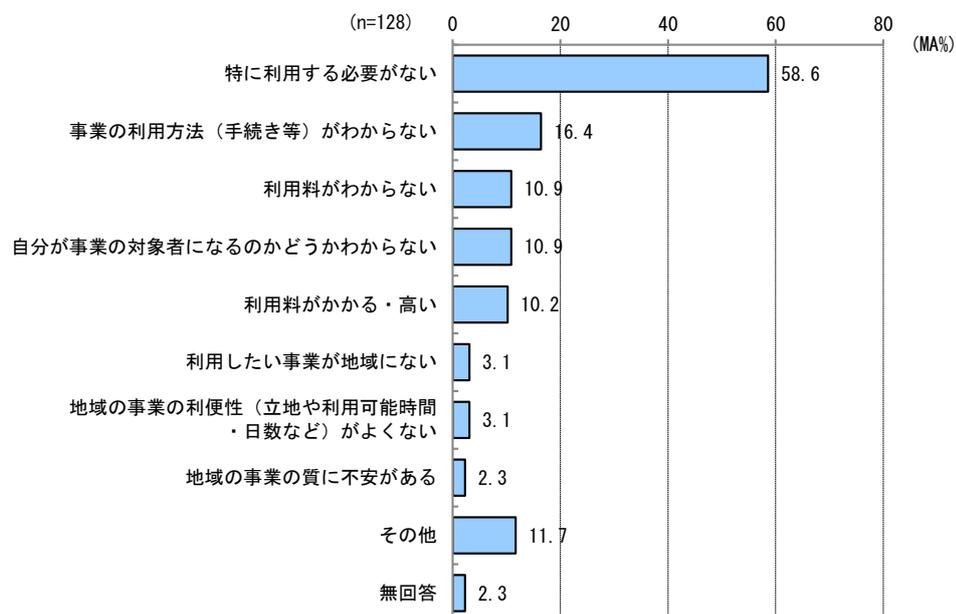
※不定期に事業を利用している人のみ

	全 体	5 日 未 満	5 ～ 9 日	1 0 ～ 1 9 日	2 0 ～ 2 9 日	3 0 日 以 上	無 回 答
一時預かり	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0
幼稚園の預かり保育	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
ファミリーサポートセンター	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
ショートステイ	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
ベビーシッター	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

上段：件数、下段：%

【利用していない理由】

※不定期に教育・保育事業を利用していない人のみ



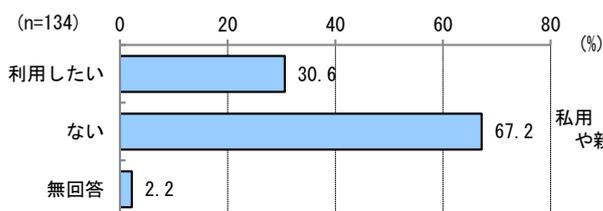
不定期に事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が58.6%と最も高く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が16.4%、その他を除くと「利用料がわからない」「自分が事業の対象になるのかどうかわからない」がともに10.9%となっています。

問 21-1 利用していない理由 その他の内容	件数
不定期の一時預かり等の事業があることを知らなかった	3
利用することに後ろめたさや抵抗がある	3
子どもを慣れない環境に置くのが心配だから	2
利用を希望しているが、町内の施設全て満員とのことで町に断られた	1
後で、見ていただいたほうが良かったと思ったことが何回かある	1
育休中のため	1
田舎すぎてベビーシッターが身近ではない	1
保育園に預けられるから	1
急遽利用したくても事前に申し込みがいたりして利用しにくい	1
出来るだけ家族が関わりたいと考えており、現状何とかなっている	1

(2) 不定期な一時預かり等の事業の利用希望、利用の目的

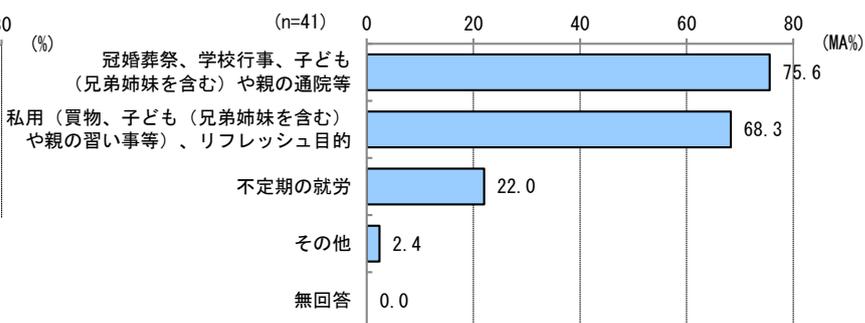
問 22 お子さんについて、一時預かりなどのサービスを年間何日くらい利用したいと思えますか。利用希望の有無についてあてはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。

【不定期な一時預かり等の事業の利用希望】



【一時預かり等の事業の利用目的】

※不定期な一時預かり等の事業を利用したい人のみ



不定期な一時預かり等の事業の利用希望は、「ない」が67.2%、「利用したい」が30.6%となっています。

一時預かり等の事業の利用目的は、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が75.6%と最も高く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が68.3%、「不定期の就労」が22.0%となっています。

【年間利用希望日数(利用目的ごと)】

※不定期な一時預かり等の事業を利用したい人のみ

	全 体	年間利用希望日数					無 回 答
		5 日 未 満	5 ～ 9 日	1 0 ～ 1 9 日	2 0 ～ 2 9 日	3 0 日 以 上	
私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	28 100.0	2 7.1	9 32.1	10 35.7	3 10.7	1 3.6	3 10.7
冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	31 100.0	6 19.4	11 35.5	8 25.8	1 3.2	0 0.0	5 16.1
不定期の就労	9 100.0	3 33.3	0 0.0	0 0.0	2 22.2	0 0.0	4 44.4
その他	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
合計日数（年間）	41 100.0	4 9.8	9 22.0	18 43.9	3 7.3	5 12.2	2 4.9

上段：実数、下段：%

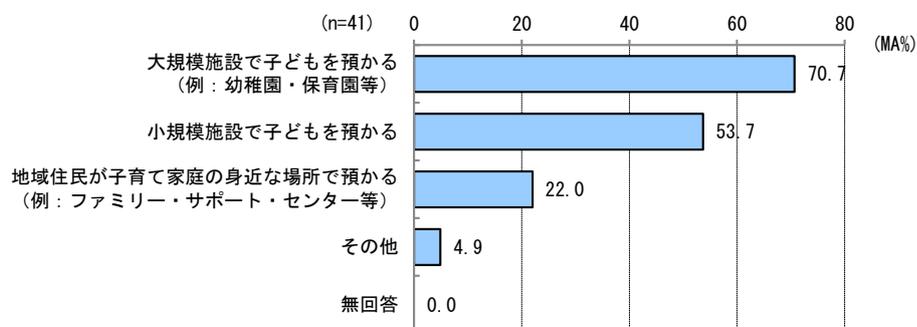
【(年齢別)一時預かり等の事業の利用目的】

	全 体	親 の 習 い 事 等 目 的 や	私 用 （ 兄 弟 姉 妹 を 含 む ） や 親 の 通 院 等	冠 婚 葬 祭 、 学 校 行 事 、 子 ど も （ 兄 弟 姉 妹 を 含 む ） や 親 の 通 院 等	不 定 期 の 就 労	そ の 他	無 回 答
全 体	41 100.0	28 68.3	31 75.6	9 22.0	1 2.4	0 0.0	
0 歳	12 100.0	9 75.0	9 75.0	3 25.0	1 8.3	0 0.0	
1・2 歳	11 100.0	7 63.6	8 72.7	2 18.2	0 0.0	0 0.0	
3～5 歳	17 100.0	12 70.6	14 82.4	3 17.6	0 0.0	0 0.0	

上段：実数、下段：%

(3) 不定期の一時預かり等の事業として希望する事業形態

問 22-1 問 22 の目的でお子さんを預ける場合、いずれの事業形態が望ましいと思いますか。
【〇はいくつでも】



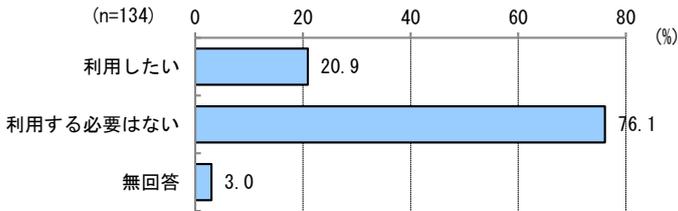
一時預かり等の事業の利用目的で、子どもを預ける場合に希望する事業形態は、「大規模施設で子どもを預かる（例：幼稚園・保育園等）」が70.7%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを預かる」が53.7%、「地域住民が子育て家庭の身近な場所で預かる（例：ファミリー・サポート・センター等）」が22.0%となっています。

問 22-1 その他の内容	件数
ベビーシッター	1
送迎がしやすい場所と時間が合えばどこでも良い	1

(4) 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望

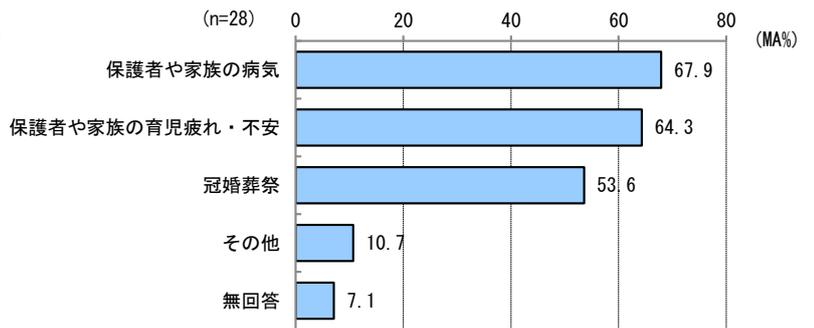
問 23 これから1年間で、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の育児疲れや育児不安、病気など）により、年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望の有無について、あてはまる番号すべてに○をつけ、必要な利用日数をご記入ください。【○はいくつでも】

【利用希望の有無】



【利用希望の目的】

※短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用したい人のみ



短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望は、「利用する必要はない」が76.1%、「利用したい」が20.9%となっています。

短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用目的は、「保護者や家族の病気」が67.9%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が64.3%、「冠婚葬祭」が53.6%となっています。

問 23 その他の内容	件数
兄弟の通院時	1

【年間利用希望日数(利用目的ごと)】

※短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用したい人のみ

	全 体	5 日 未 満	5 ~ 9 日	1 0 ~ 1 9 日	2 0 ~ 2 9 日	3 0 日 以 上	無 回 答
冠婚葬祭	15 100.0	10 66.7	3 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 13.3
保護者や家族の育児疲れ・不安	18 100.0	9 50.0	0 0.0	4 22.2	2 11.1	1 5.6	2 11.1
保護者や家族の病気	19 100.0	8 42.1	5 26.3	3 15.8	0 0.0	1 5.3	2 10.5
その他	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7
合計日数(年間)	28 100.0	3 10.7	9 32.1	7 25.0	3 10.7	4 14.3	2 7.1

上段：実数、下段：%

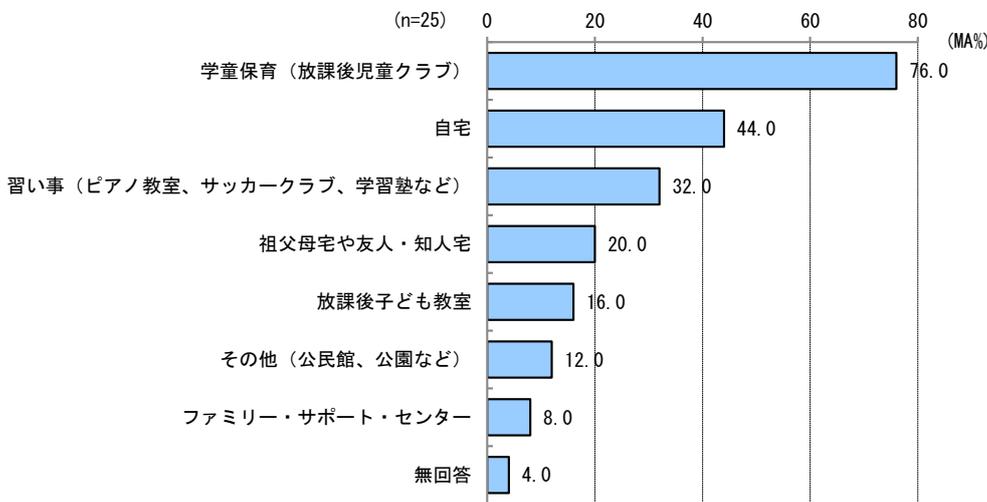
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望（お子さんが5歳以上である方のみ）

(1) 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望

問 24 お子さんが小学校に入学した後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年（1～3年生）、高学年（4～6年生）それぞれについて、あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数をご記入ください。【それぞれ○はいくつでも】
 また、「学童保育（放課後児童クラブ）」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。

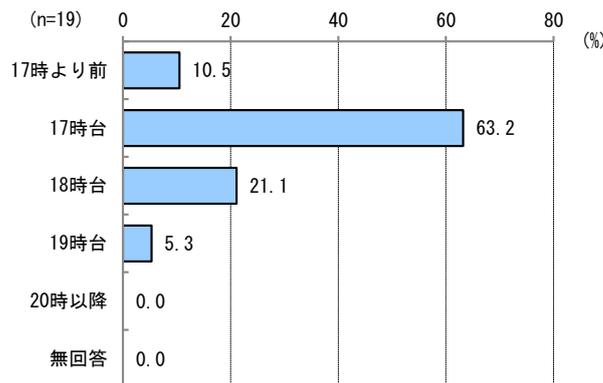
① 低学年（1～3年生）

【小学校低学年の放課後の過ごし方の希望】



【学童保育（放課後児童クラブ）の希望終了時間】

※学童保育（放課後児童クラブ）を希望する人のみ



小学校低学年の放課後の過ごし方の希望は、「学童保育（放課後児童クラブ）」が76.0%と最も高く、次いで「自宅」が44.0%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」32.0%となっています。

学童保育（放課後児童クラブ）の希望終了時間は、「17時台」が63.2%と最も高く、次いで「18時台」が21.1%、「17時より前」が10.5%となっています。

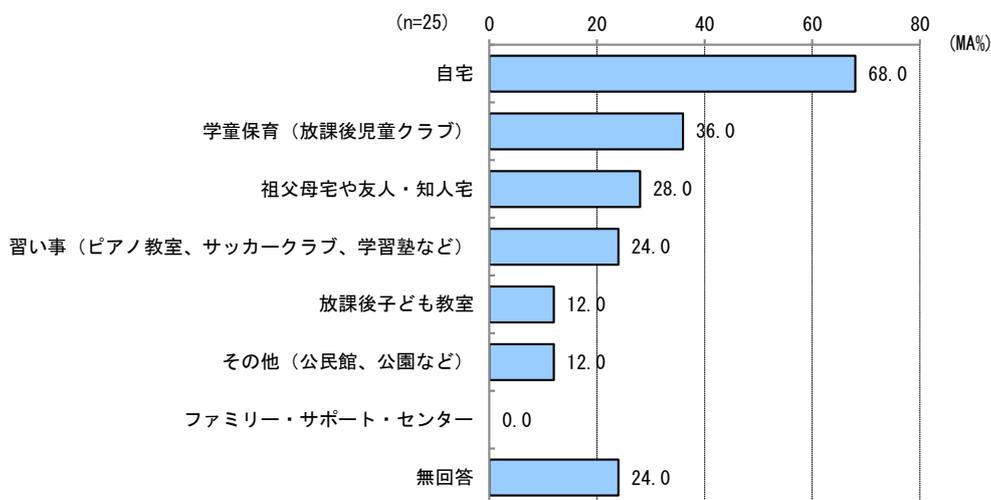
【週あたりの希望日数(放課後の居場所ごと)】

	全 体	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	無 回 答
自宅	11 100.0	0 0.0	3 27.3	1 9.1	1 9.1	3 27.3	3 27.3
祖父母宅や友人・知人宅	5 100.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	8 100.0	3 37.5	2 25.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5
放課後子ども教室	4 100.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0
学童保育 (放課後児童クラブ)	19 100.0	1 5.3	1 5.3	3 15.8	4 21.1	10 52.6	0 0.0
ファミリー・サポート・センター	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他 (公民館、公園など)	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0

上段：実数、下段：%

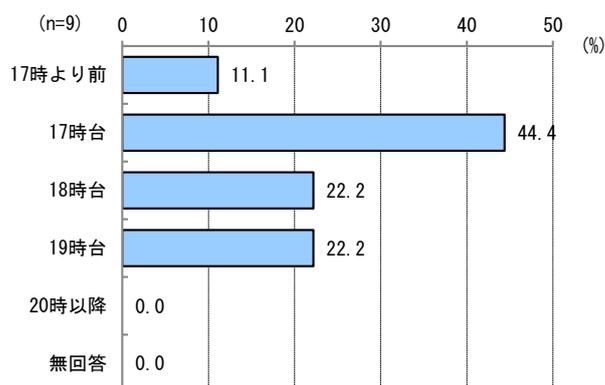
② 高学年(4～6年生)

【小学校高学年の放課後の過ごし方の希望】



【学童保育(放課後児童クラブ)の希望終了時間】

※学童保育(放課後児童クラブ)を希望する人のみ



小学校高学年の放課後の過ごし方の希望は、「自宅」が68.0%と最も高く、次いで「学童保育(放課後児童クラブ)」が36.0%、「祖父母や友人・知人宅」が28.0%となっています。

学童保育(放課後児童クラブ)の希望終了時間は、「17時台」が44.4%と最も高く、次いで「18時台」「19時台」がともに22.2%、「17時より前」が11.1%となっています。

【週あたりの希望日数(放課後の居場所ごと)】

	全 体	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	無 回 答
自宅	17 100.0	0 0.0	3 17.6	5 29.4	0 0.0	8 47.1	1 5.9
祖父母宅や友人・知人宅	7 100.0	2 28.6	5 71.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	6 100.0	1 16.7	3 50.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
放課後子ども教室	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0
学童保育 (放課後児童クラブ)	9 100.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	2 22.2	5 55.6	1 11.1
ファミリー・サポート・センター	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他 (公民館、公園など)	3 100.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0

上段：実数、下段：%

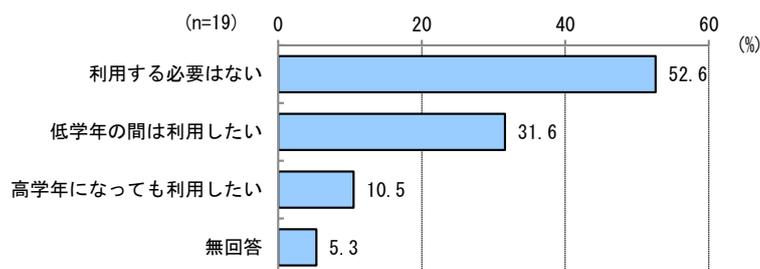
(2) 土曜日、日曜日・祝日の学童保育（放課後児童クラブ）の利用希望

問 25 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育（放課後児童クラブ）の利用希望はありますか。それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯をご記入ください。また、その理由もご記入ください。

① 土曜日

【土曜日の学童保育（放課後児童クラブ）の利用希望】

※学童保育（放課後児童クラブ）の利用を希望する人のみ

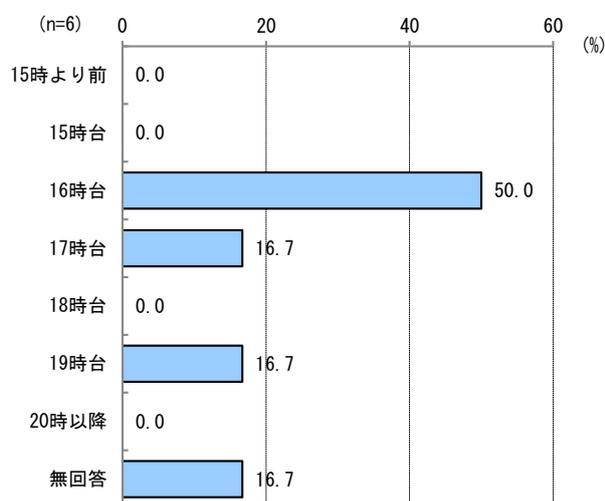
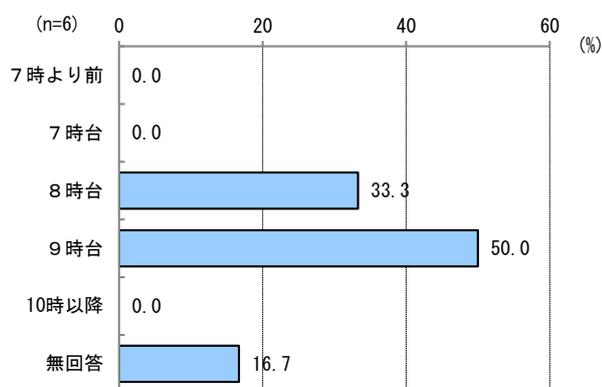


土曜日の学童保育（放課後児童クラブ）の利用希望は、「利用する必要はない」が52.6%と最も高く、次いで「低学年の間は利用したい」が31.6%、「高学年になっても利用したい」が10.5%となっています。

【土曜日の希望開始時間】

【土曜日の希望終了時間】

※低学年の間は利用したい人のみ

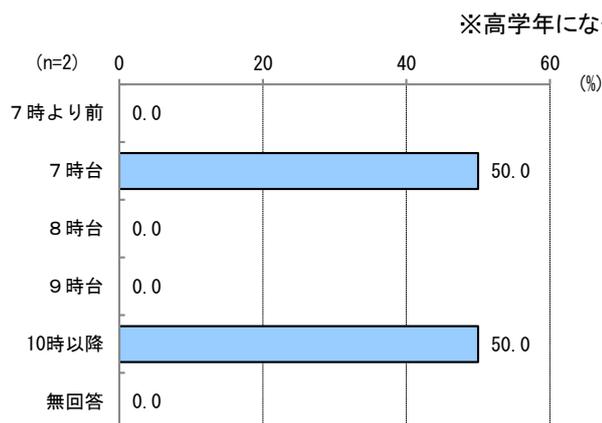


低学年の間は利用したい人の土曜日の希望開始時間は、「9時台」が50.0%、「8時台」が33.3%となっています。

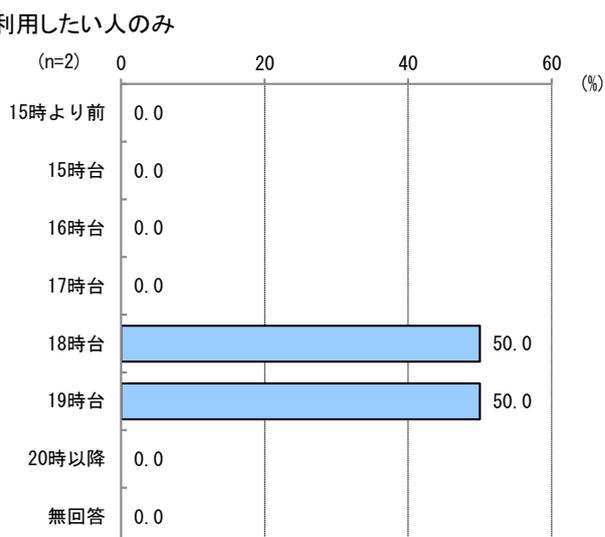
低学年の間は利用したい人の土曜日の希望終了時間は、「16時台」が50.0%、「17時台」「19時台」がともに16.7%となっています。

問 25 土曜日に低学年の間は利用したい理由	件数
仕事があるため	10
用事がある	1
土曜日は祖母・両親の仕事や子どもをみられないことがあるため	1
休日出勤で両親が2人とも重なり、祖母にも頼めず、みてくれる大人がいないことがある	1
土日、学校の園庭開放をすれば、誰かしら同年の子がいるのではと思うので、気軽に友だちと遊べる、過ごせる環境がほしい	1
仕事ができるから	1

【土曜日の希望開始時間】



【土曜日の希望終了時間】



高学年になっても利用したい人の土曜日の希望開始時間は、「7時台」「10時以降」がともに50.0%となっています。

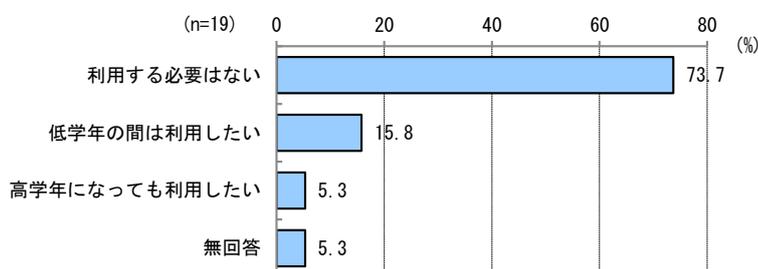
高学年になっても利用したい人の土曜日の希望終了時間は、「18時台」「19時台」がともに50.0%となっています。

問 25 土曜日に高学年になっても利用したい理由	件数
仕事があるため	1
勉学を習慣化させたいため	1
家庭の用事、仕事	1

② 日曜日・祝日

【日曜日・祝日の学童保育(放課後児童クラブ)の利用希望】

※学童保育(放課後児童クラブ)の利用を希望する人のみ

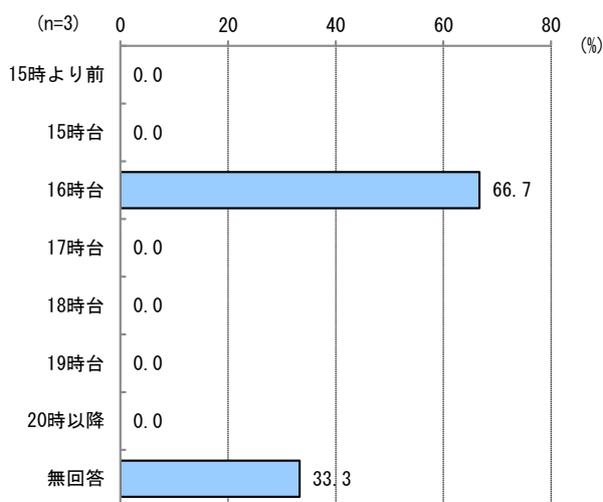
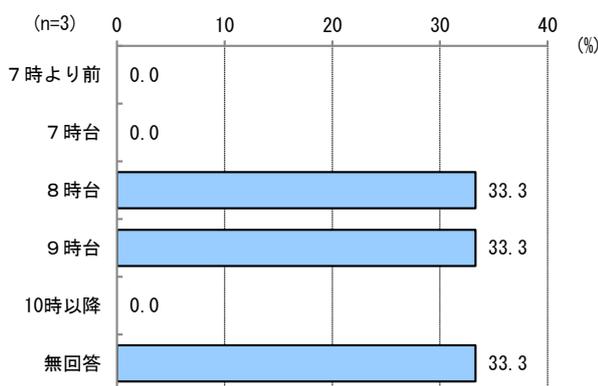


日曜日・祝日の学童保育(放課後児童クラブ)の利用希望は、「利用する必要はない」が73.7%と最も高く、次いで「低学年の間は利用したい」が15.8%、「高学年になっても利用したい」が5.3%となっています。

【日曜日・祝日の希望開始時間】

【日曜日・祝日の希望終了時間】

※低学年の間は利用したい人のみ



低学年の間は利用したい人の日曜日・祝日の希望開始時間は、「8時台」「9時台」がともに33.3%となっています。

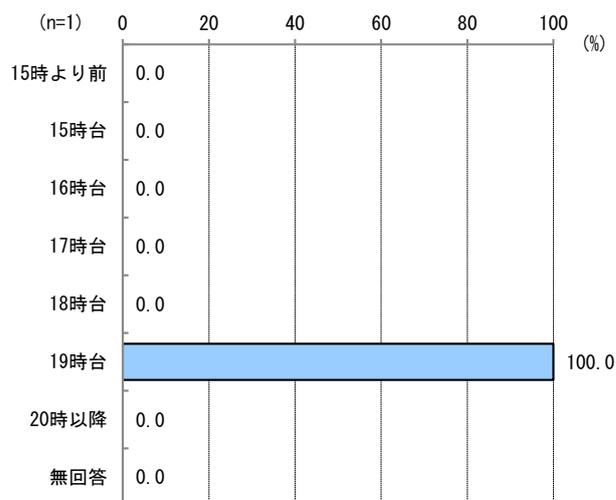
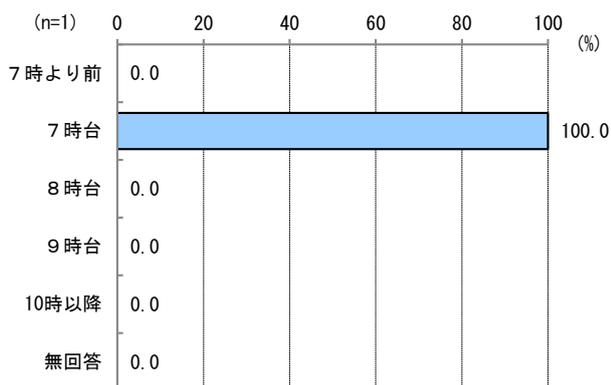
低学年の間は利用したい人の日曜日・祝日の希望終了時間は、「16時台」が66.7%となっています。

問 25 日曜日・祝日に低学年の間は利用したい理由	件数
仕事があるため	2
用事がある	2
親もついていくので、父親が仕事の日には学童保育でなくて、遊べる所、子どもが来る所を開放してほしい	1

【日曜日・祝日の希望開始時間】

【日曜日・祝日の希望終了時間】

※高学年になっても利用したい人のみ



高学年になっても利用したい人の日曜日・祝日の希望開始時間は、「7時台」が100.0%となっています。

高学年になっても利用したい人の日曜日・祝日の希望終了時間は、「19時台」が100.0%となっています。

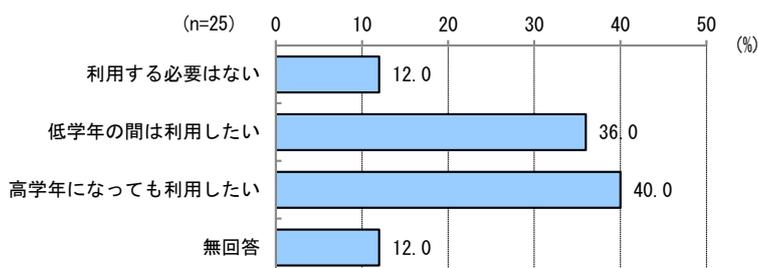
問 25 日曜日・祝日に高学年になっても利用したい理由	件数
仕事がシフト制になった時のため	1
家庭の用事、仕事	1

(3) 長期休暇中の学童保育（放課後児童クラブ）の利用希望

問 26 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育（放課後児童クラブ）の利用希望はありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけ、利用したい時間帯についてもご記入ください。

【長期休暇中の学童保育（放課後児童クラブ）の利用希望】

※学童保育（放課後児童クラブ）の利用を希望する人のみ

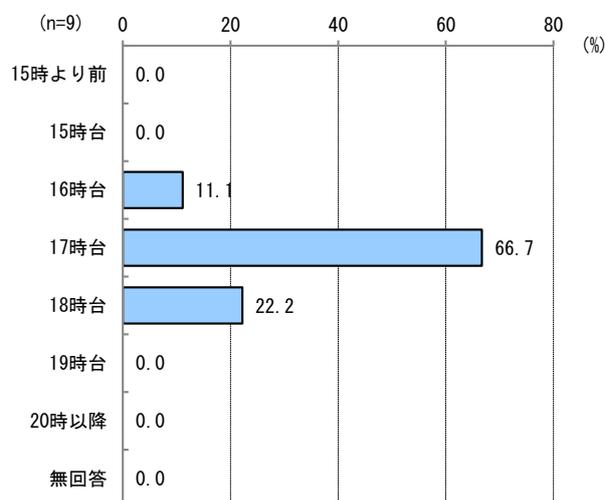
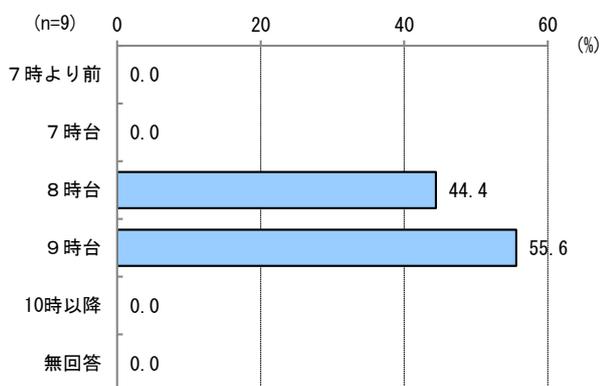


長期休暇中の学童保育（放課後児童クラブ）の利用希望は、「高学年になっても利用したい」が 40.0%と最も高く、次いで「低学年の間は利用したい」が 36.0%、「利用する必要はない」が 12.0%となっています。

【長期休暇中の希望開始時間】

【長期休暇中の希望終了時間】

※低学年の間は利用したい人のみ



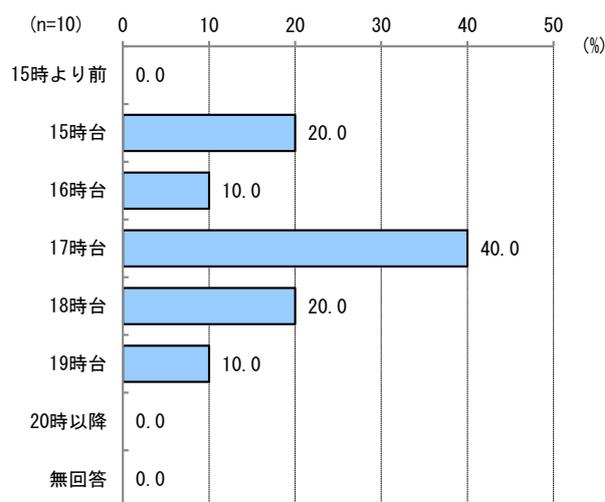
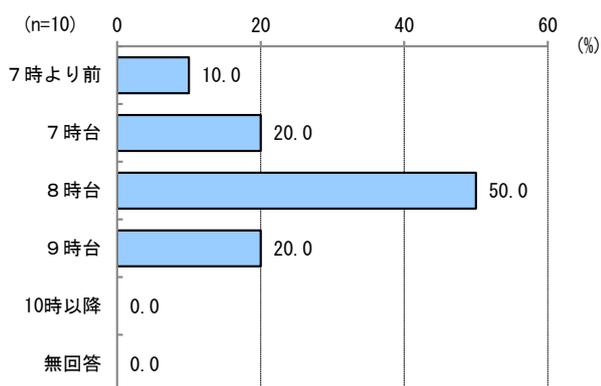
低学年の間は利用したい人の長期休暇中の希望開始時間は、「9時台」が 55.6%、「8時台」が 44.4%となっています。

低学年の間は利用したい人の長期休暇中の希望終了時間は、「17時台」が 66.7%と最も高く、次いで「18時台」が 22.2%、「16時台」が 11.1%となっています。

【長期休暇中の希望開始時間】

【長期休暇中の希望終了時間】

※高学年になっても利用したい人のみ



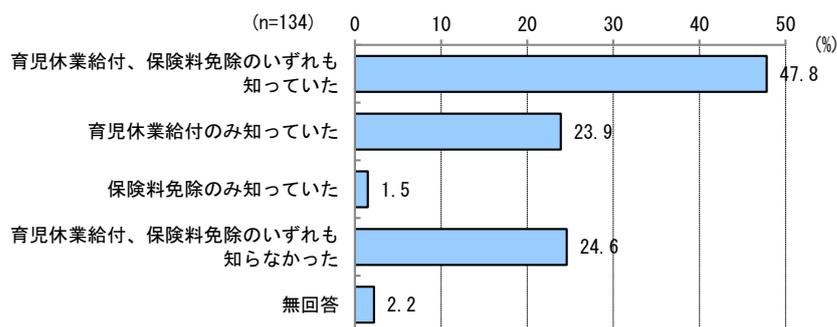
高学年になっても利用したい人の長期休暇中の希望開始時間は、「8時台」が50.0%と最も高く、次いで「7時台」「9時台」がともに20.0%、「7時より前」が10.0%となっています。

高学年になっても利用したい人の長期休暇中の希望終了時間は、「17時台」が40.0%と最も高く、次いで「15時台」「18時台」がともに20.0%、「16時台」「19時台」がともに10.0%となっています。

10. 保護者の職場の両立支援制度の状況

(1) 両立支援制度の認知状況

問 27 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6か月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業および企業が法定を上回る期間を設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。【〇は1つ】



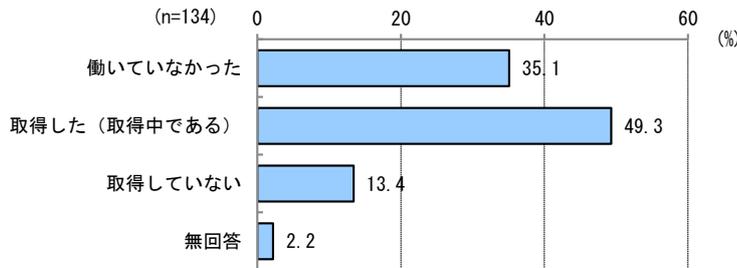
両立支援制度の認知状況は、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が47.8%と最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が24.6%、「育児休業給付のみ知っていた」が23.9%となっています。

(2) 保護者の育児休業取得状況

問 28 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけ、該当箇所にご記入ください。また、取得していない方は、その理由をご記入ください。

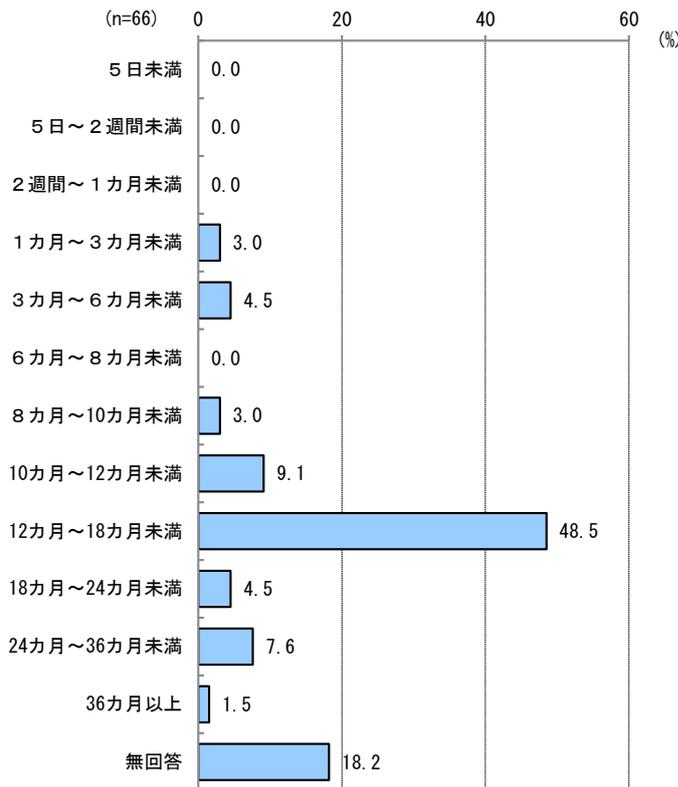
① 母親

【母親の育児休業取得状況】



【育児休業取得期間】

※母親が育児休業を取得した(取得中である)人のみ

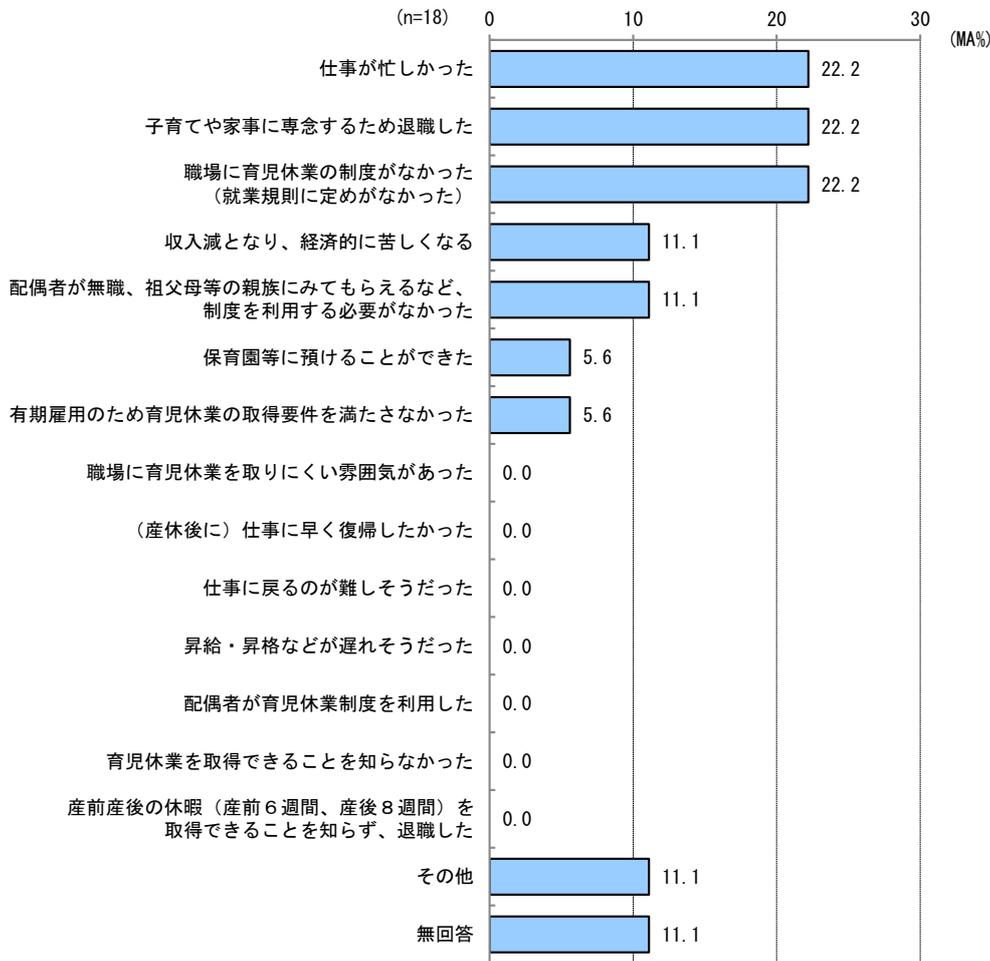


母親の育児休業取得状況は、「取得した(取得中である)」が49.3%と最も高く、次いで「働いていなかった」が35.1%、「取得していない」が13.4%となっています。

育児休業取得期間は、「12カ月～18カ月未満」が48.5%と最も高く、次いで「10カ月～12カ月未満」が9.1%、「24カ月～36カ月未満」が7.6%となっています。

【取得していない理由】

※母親が育児休業を取得していない人のみ

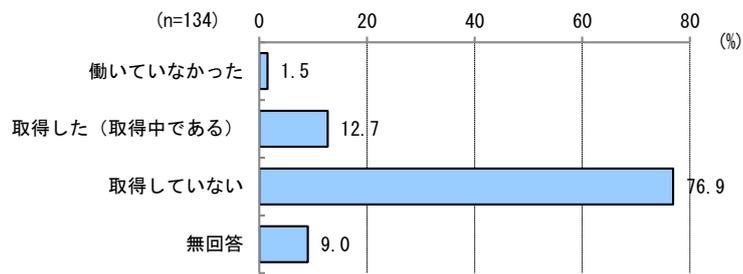


育児休業を取得していない理由は、「仕事が多忙だった」「子育てや家事に専念するため退職した」「職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)」がともに 22.2%と最も高く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」「その他」がともに 11.1%、「保育園等に預けることができた」「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」がともに 5.6%となっています。

問 28 取得していないその他の理由	件数
自営業なので、止まったら経済活動も止まるため	1
パートなので関係ないと言われたから	1

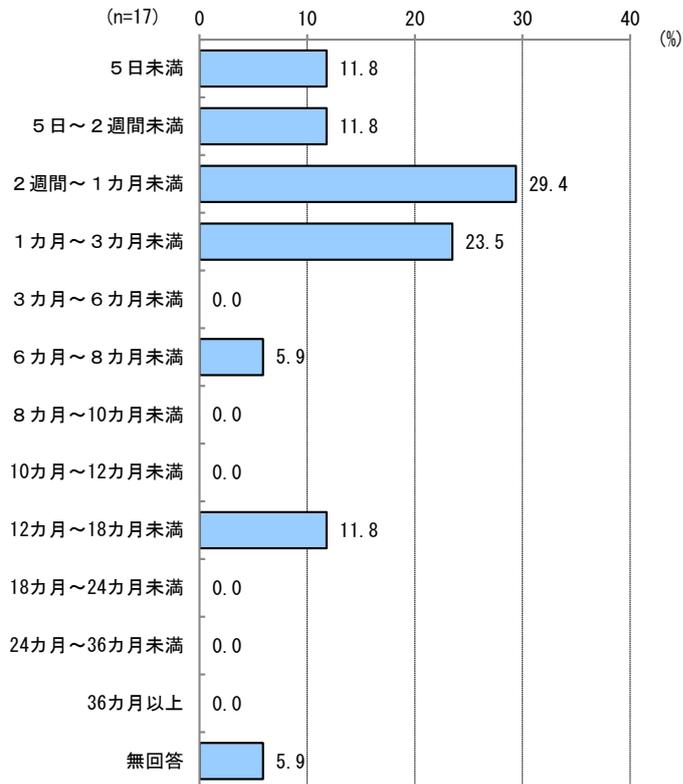
② 父親

【父親の育児休業取得状況】



【育児休業取得期間】

※父親が育児休業を取得した(取得中である)人のみ

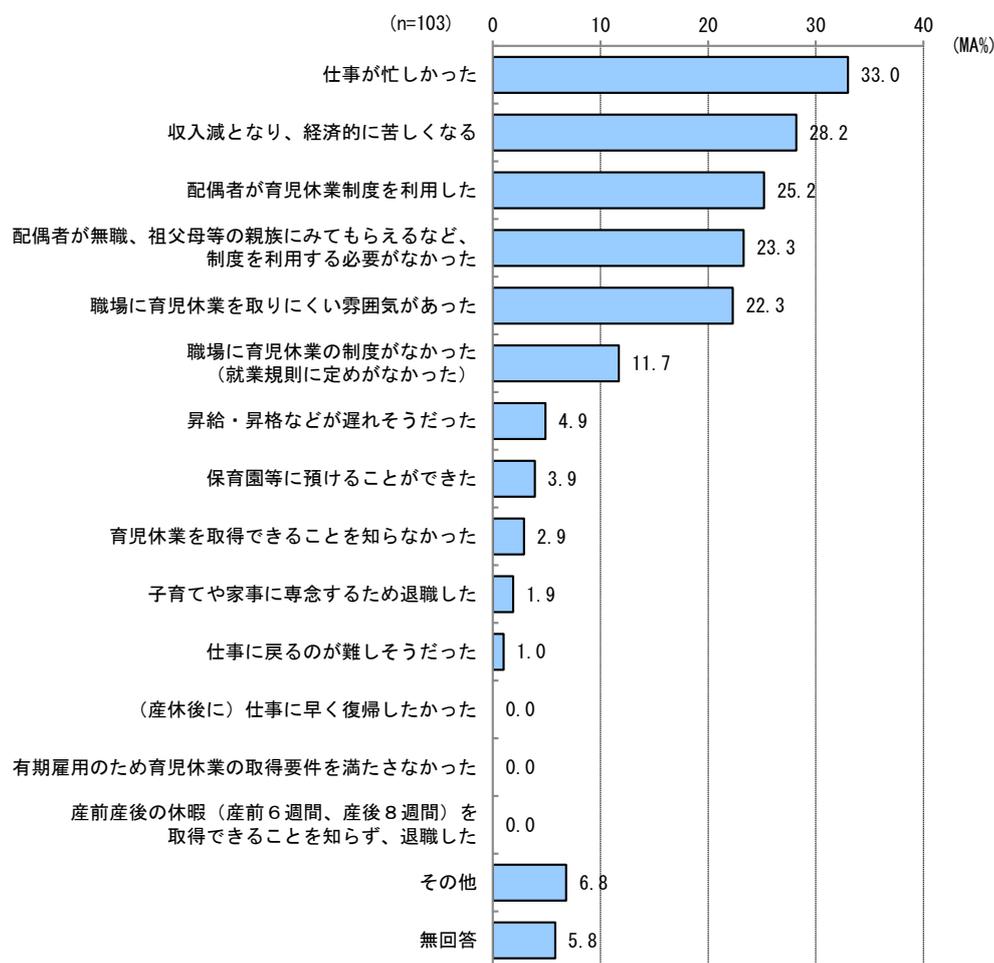


父親の育児休業の取得状況は、「取得していない」が76.9%と最も高く、次いで「取得した(取得中である)」が12.7%、「働いていなかった」が1.5%となっています。

育児休業取得期間は、「2週間～1カ月未満」が29.4%と最も高く、次いで「1カ月～3カ月未満」が23.5%、「5日未満」「5日～2週間未満」「12カ月～18カ月未満」がともに11.8%となっています。

【取得していない理由】

※父親が育児休業を取得していない人のみ



育児休業を取得していない理由は、「仕事が忙しかった」が33.0%と最も高く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」が28.2%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が25.2%となっています。

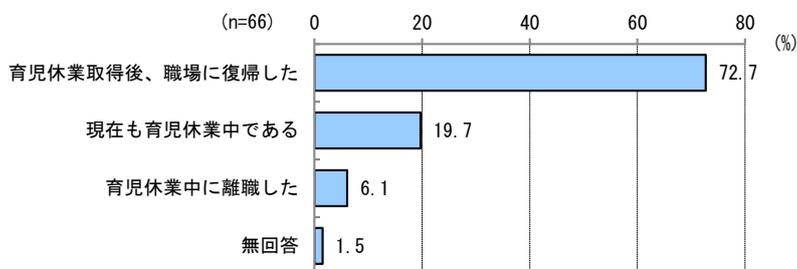
問 28 取得していないその他の理由	件数
自営業なので、止まったら経済活動も止まるため	1
夏期は休みのため	1
自営業のため何かと融通がきいた	1
母親が育児休業を取得した	1
配偶者が働いていなかった	1
取得する場合はアルバイトに切り替えになるため断念した	1

(3) 保護者の職場復帰状況

問 28- 1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。【それぞれ〇は1つ】

【母親の職場復帰状況】

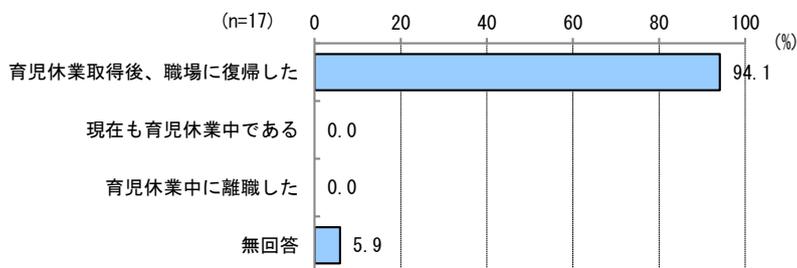
※母親が育児休業を取得した(取得中である)人のみ



母親の職場復帰状況は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が72.7%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が19.7%、「育児休業中に離職した」が6.1%となっています。

【父親の職場復帰状況】

※父親が育児休業を取得した(取得中である)人のみ

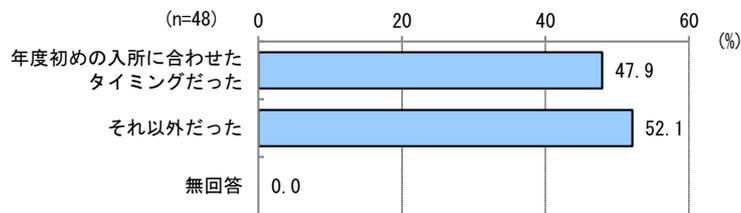


父親の職場復帰状況は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が94.1%となっています。

問 28-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。【それぞれ〇は1つ】

【母親の職場復帰のタイミング】

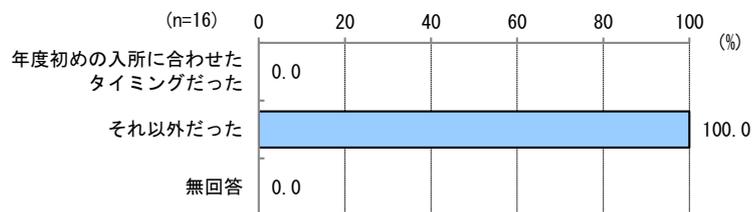
※育児休業取得後、職場に復帰した人のみ



母親の職場復帰のタイミングは、「それ以外だった」が52.1%、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が47.9%となっています。

【父親の職場復帰のタイミング】

※育児休業取得後、職場に復帰した人のみ



父親の職場復帰のタイミングは、「それ以外だった」が100.0%となっています。

(4) 保護者の短時間勤務制度の利用状況

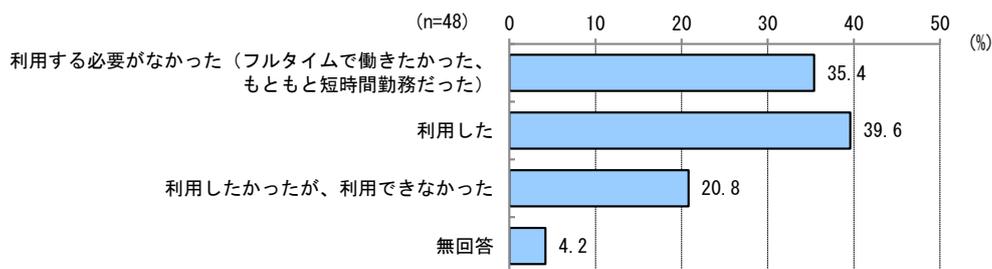
問 28-3 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

【それぞれ○は1つ】

問 28-4 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。【○はいくつでも】

【母親の短時間勤務制度利用状況】

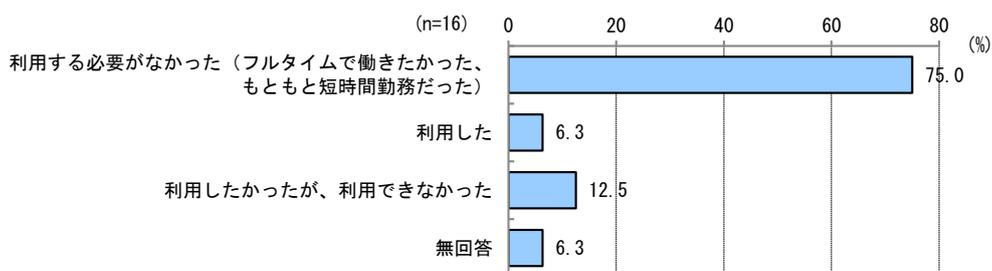
※育児休業取得後、職場に復帰した人のみ



母親の短時間勤務制度利用状況は、「利用した」が39.6%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が35.4%、「利用したかったが、利用できなかった」が20.8%となっています。

【父親の短時間勤務制度利用状況】

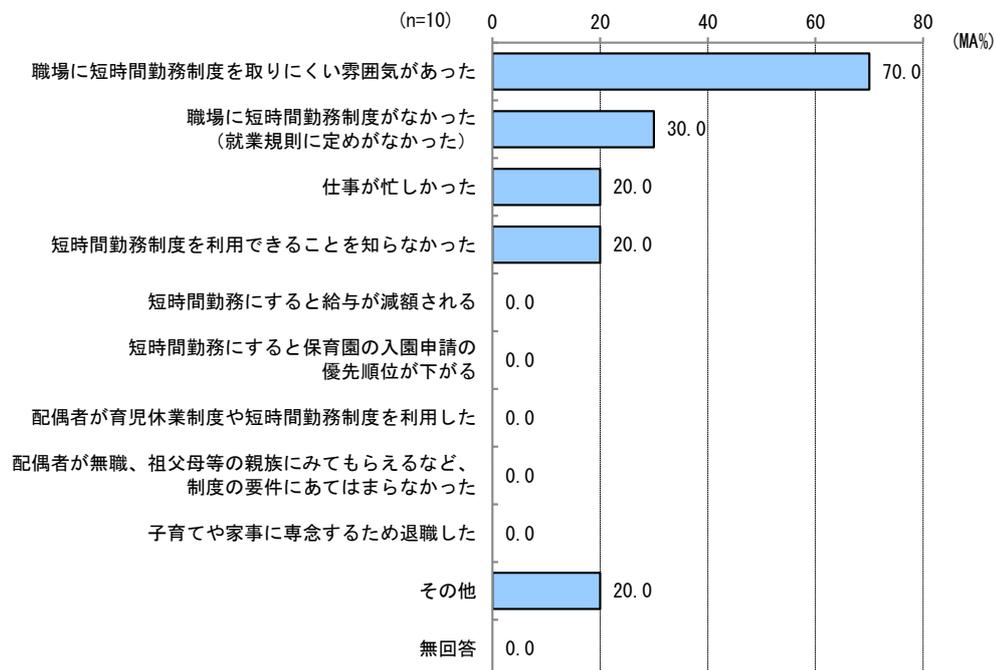
※育児休業取得後、職場に復帰した人のみ



父親の短時間勤務制度利用状況は、「利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が75.0%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用できなかった」が12.5%、「利用した」が6.3%となっています。

【母親の短時間勤務制度を利用しなかった理由】

※短時間勤務制度を利用したかったが、利用できなかった人のみ

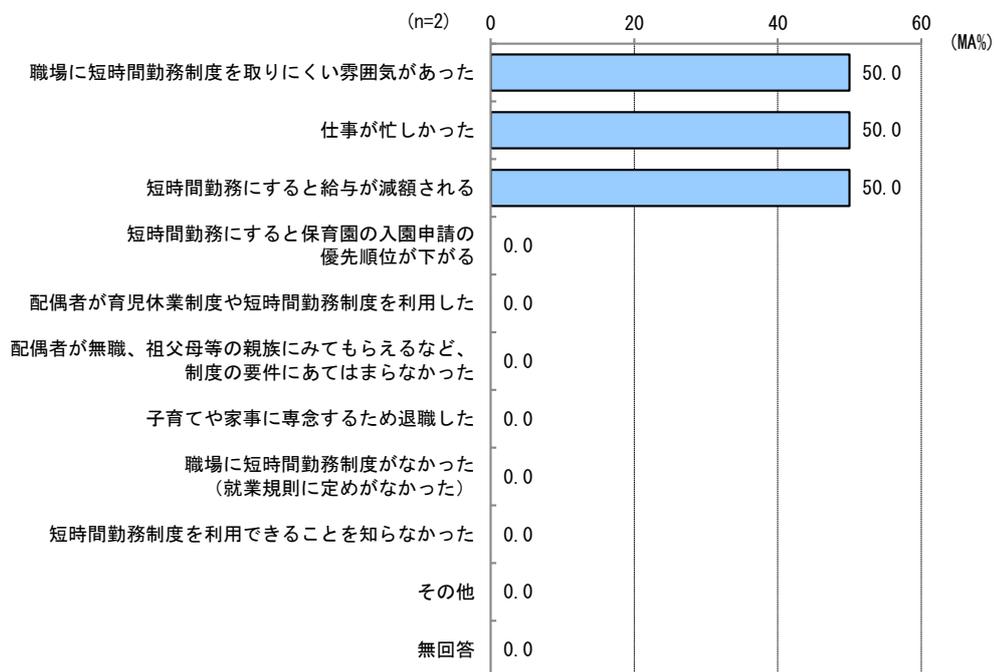


母親の短時間勤務制度を利用しなかった理由は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が70.0%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が30.0%、「仕事が忙しかった」「短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」「その他」がともに20.0%となっています。

問 28-4 母親のその他の理由	件数
職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったため、パートに切り替えた	1
子どもが1歳以上だと時短という選択肢が職場にない	1

【父親の短時間勤務制度を利用しなかった理由】

※短時間勤務制度を利用したかったが、利用できなかった人のみ



父親の短時間勤務制度を利用しなかった理由は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」「短時間勤務にすると給与が減額される」がともに 50.0% となっています。

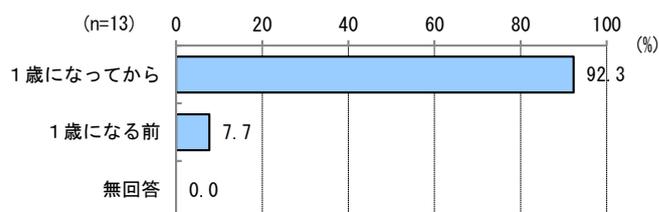
(5) 育児休業からの復帰予定時期

問 28-5 育児休業から復帰する時期はいつごろと考えていますか。また、その理由をご記入ください。【それぞれ〇は1つ】

① 母親

【母親の職場復帰予定時期】

※現在も育児休業中の人のみ



母親の職場復帰予定時期は、「1歳になってから」が92.3%、「1歳になる前」が7.7%となっています。

【職場復帰予定時期の理由】

問 28-5 「1歳になってから」の母親の理由	件数
規則で決まっているため	1
保育園に入れるタイミングがそこしかなかったから	1
1歳まで育休があるため	1
未満児の保育園死亡事故ニュースが多々あるため	1
1歳まではしっかりみてあげたいから	1

問 28-5 「1歳になる前」の母親の理由	件数
職場の方も1歳になる前に復帰されていたから	1

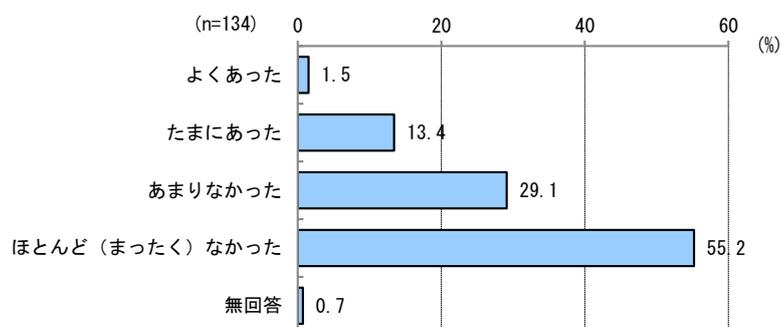
② 父親

父親で、育児休業を取得した人のうち、現在も育児休業を取得している回答はみられませんでした。

11. 暮らしの状況

(1) 子どもに必要なものが買えなかった状況の頻度

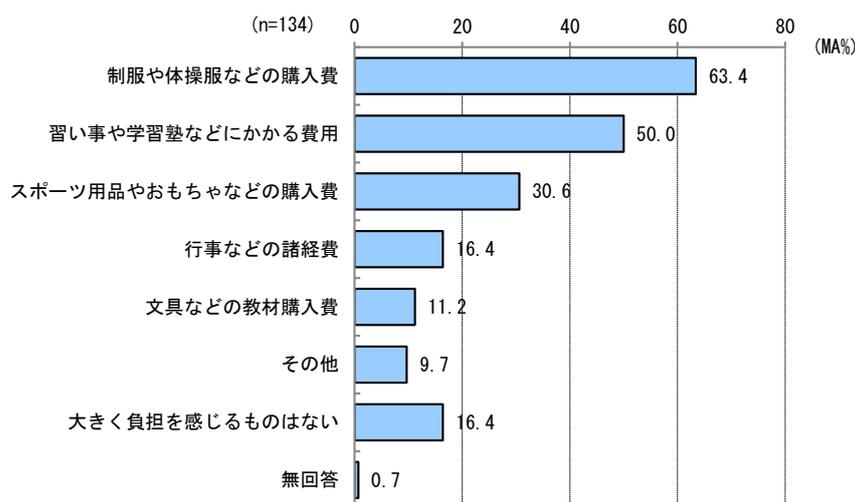
問 29 過去1年間に、経済的な理由でお子さんに必要なものが買えなくて困ったことがありましたか。【〇は1つ】



過去1年間に、経済的な理由で子どもに必要なものが買えなくて困ったことは、「ほとんど(まったく)なかった」が55.2%と最も高く、次いで「あまりなかった」が29.1%、「たまにあった」が13.4%となっています。

(2) 経済的負担が大きいと感じる子どもにかかる費用

問 30 お子さんにかかる費用のうち、経済的に負担が大きいと感じるものは何ですか。【〇はいくつでも】



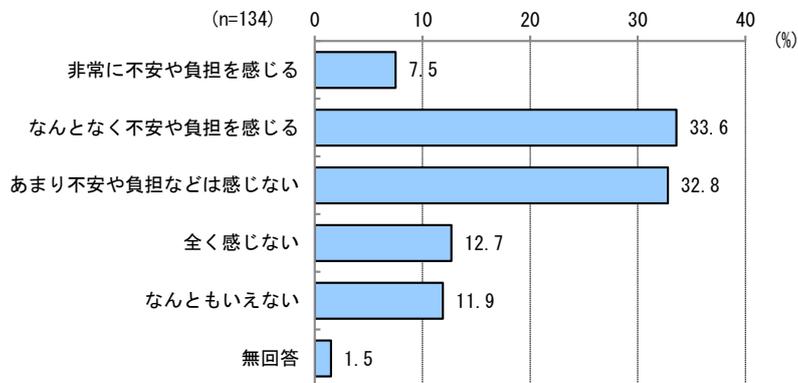
子どもにかかる費用のうち、経済的に負担が大きいと感じるものは、「制服や体操服などの購入費」が63.4%と最も高く、次いで「習い事や学習塾などにかかる費用」が50.0%、「スポーツ用品やおもちゃなどの購入費」が30.6%となっています。

問 30 その他の内容	件数
食費	3
ミルク代	2
娯楽、レジャー	1
生活費全般	1
日常の衣類の購入費	1
おむつ、ミルク代、子育て用の用品、ベビーカー、ベビーベッド、チャイルドシートなど	1
離乳食	1
消耗品	1
電気、水道、光熱費	1
衣服など	1

12. 子育ての不安や悩み

(1) 子育てに関する不安感や負担などの感じ方

問 31 子育てに関して不安感や負担などを感じていますか。【〇は1つ】



子育てに関して不安感や負担などを感じているかについては、「なんとなく不安や負担を感じる」が33.6%と最も高く、次いで「あまり不安や負担などは感じない」が32.8%、「全く感じない」が12.7%となっています。

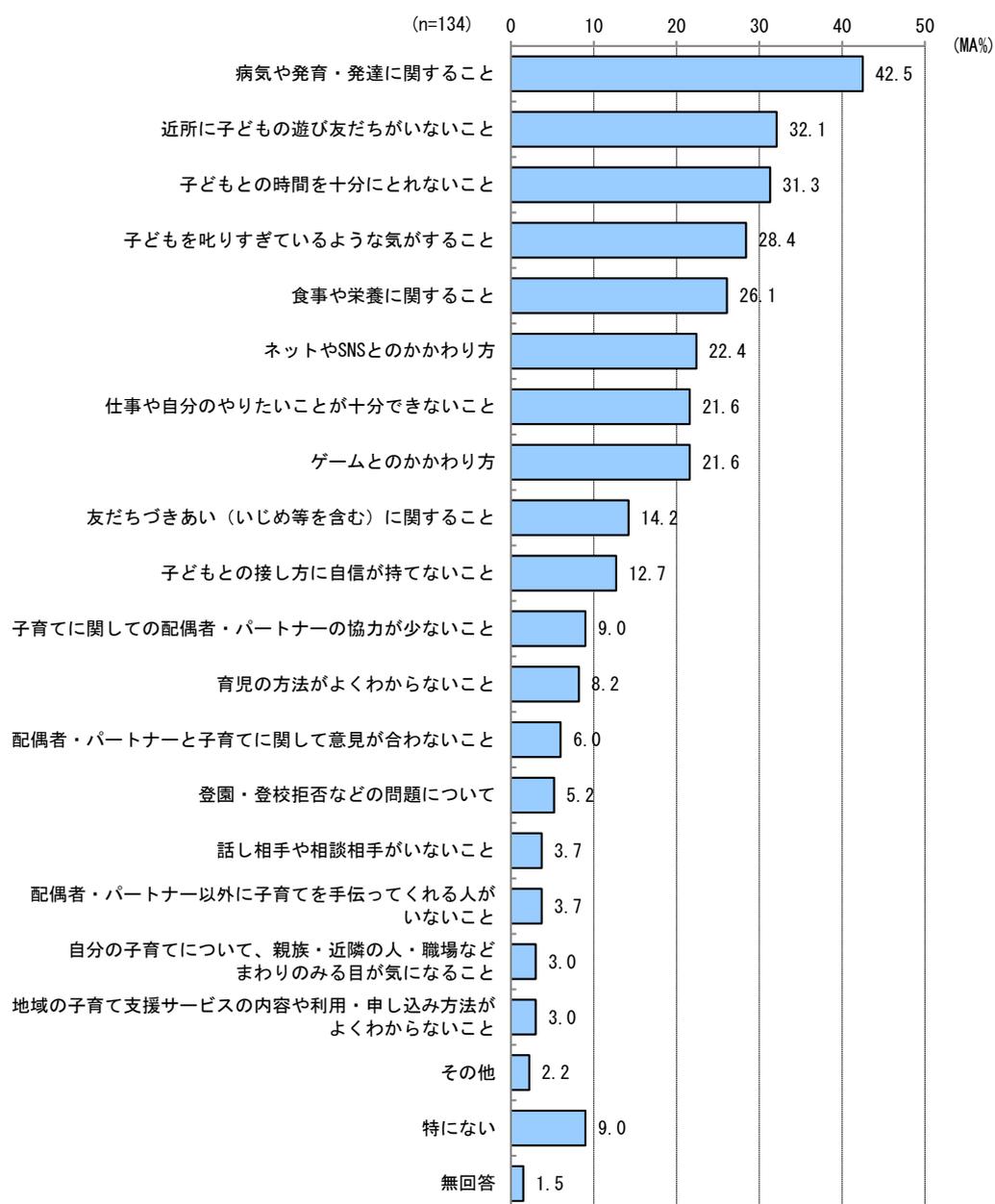
【(年齢別)子育てに関する不安感や負担などの感じ方】

	全 体	感 じ る 非 常 に 不 安 や 負 担 を	負 担 な ん と な く 不 安 や	は あ ま り 不 安 や 負 担 な ど は 感 じ な い	全 く 感 じ な い	な ん と も い え な い	無 回 答
全 体	134 100.0	10 7.5	45 33.6	44 32.8	17 12.7	16 11.9	2 1.5
0 歳	34 100.0	2 5.9	9 26.5	11 32.4	8 23.5	4 11.8	0 0.0
1・2 歳	38 100.0	3 7.9	12 31.6	15 39.5	3 7.9	5 13.2	0 0.0
3～5 歳	58 100.0	5 8.6	22 37.9	18 31.0	4 6.9	7 12.1	2 3.4

上段：実数、下段：%

(2) 子育てに関して、悩んでいることや気になること

問 32 子育てに関して、日頃悩んでいること、また気になることはどのようなことですか。
【〇はいくつでも】



子育てに関して、日頃悩んでいることや気になることは、「病気や発育・発達に関すること」が42.5%と最も高く、次いで「近所に子どもの遊び友だちがいないこと」が32.1%、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が31.3%となっています。

問 32 その他の内容	件数
子どもにとっていい母親でいられているか心配	1
自分の要領が悪いこと	1

【(年齢別)子育てに関して、悩んでいることや気になること】

	全 体	病 気 や 発 育 ・ 発 達 に 関 する こ と	食 事 や 栄 養 に 関 する こ と	育 児 の 方 法 が よ く わ か ら な い こ と	自 信 が 持 て な い こ と	子 ど も と の 接 し 方 に 関 する こ と	子 ど も と の 時 間 を と れ な い こ と	話 し 合 い や 相 談 相 手 が い な い こ と	仕 事 や 自 分 の や り た い こ と が 十 分 で き な い こ と		
全 体	134 100.0	57 42.5	35 26.1	11 8.2	17 12.7	42 31.3	5 3.7	29 21.6			
0歳	34 100.0	13 38.2	10 29.4	4 11.8	5 14.7	8 23.5	0 0.0	6 17.6			
1・2歳	38 100.0	15 39.5	10 26.3	2 5.3	4 10.5	8 21.1	3 7.9	9 23.7			
3～5歳	58 100.0	28 48.3	14 24.1	5 8.6	8 13.8	25 43.1	2 3.4	13 22.4			
	全 体	友 だ ち が い な い こ と と 近 所 に 子 ど も の 遊 び 場 が な い こ と	友 だ ち と あ い ま わ る こ と を 含 む に 関 する こ と	登 園 ・ 登 校 拒 否 な ど の 問 題 に つ い て	協 力 が 少 な い こ と	子 ど も と の 関 心 の 事 物 に 関 する こ と	子 ど も と の 関 心 の 事 物 に 関 する こ と	こ と ま わ り の 目 が 気 に な る こ と	自 分 の 近 所 に 職 場 な ど が な い こ と	子 ど も と の 関 心 の 事 物 に 関 する こ と	配 偶 者 ・ パ ー ト ナ ー に 関 する こ と
全 体	134 100.0	43 32.1	19 14.2	7 5.2	12 9.0	8 6.0	4 3.0	5 3.7			
0歳	34 100.0	9 26.5	4 11.8	0 0.0	3 8.8	2 5.9	2 5.9	2 5.9			
1・2歳	38 100.0	13 34.2	2 5.3	1 2.6	2 5.3	3 7.9	2 5.3	1 2.6			
3～5歳	58 100.0	20 34.5	12 20.7	5 8.6	6 10.3	3 5.2	0 0.0	2 3.4			
	全 体	子 ど も の 発 達 に 関 する こ と	地 域 の 活 動 に 関 する こ と	ゲ ー ム と の 関 心 の 事 物	ネ ッ ト や S N S の 関 心 の 事 物	そ の 他	特 に な い	無 回 答			
全 体	134 100.0	38 28.4	4 3.0	29 21.6	30 22.4	3 2.2	12 9.0	2 1.5			
0歳	34 100.0	10 29.4	1 2.9	4 11.8	2 5.9	1 2.9	3 8.8	0 0.0			
1・2歳	38 100.0	10 26.3	1 2.6	7 18.4	10 26.3	2 5.3	4 10.5	1 2.6			
3～5歳	58 100.0	16 27.6	2 3.4	14 24.1	15 25.9	0 0.0	5 8.6	1 1.7			

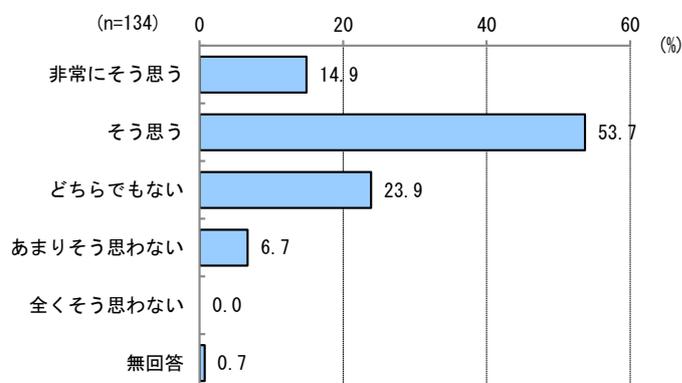
上段：実数、下段：%

(3) 子どもへの接し方、うまく接することができない原因

問 33 お子さんとうまく接することができていると思いますか。【〇は1つ】

問 33-1 それはどのようなことが原因だと思いますか。【〇はいくつでも】

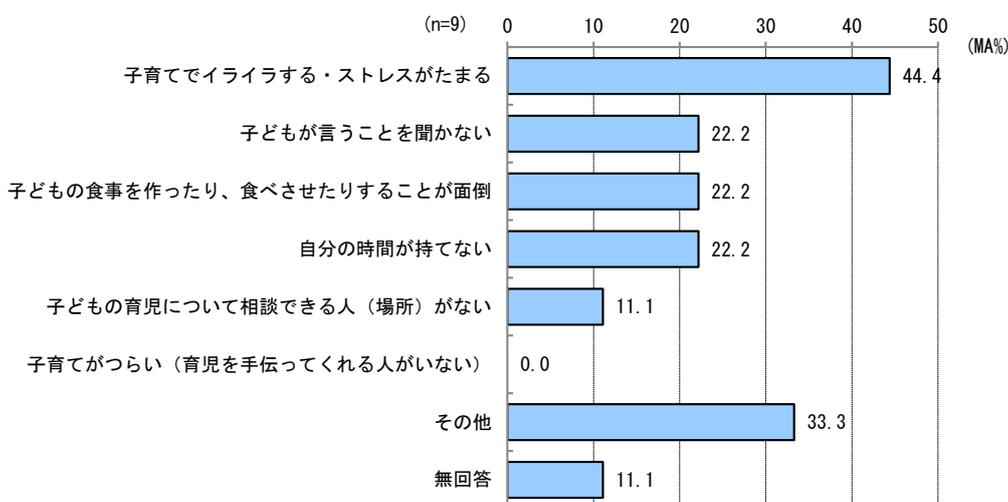
【子どもとの接し方がうまくいっているか】



子どもとうまく接することができていると思うかについては、「そう思う」が53.7%と最も高く、次いで「どちらでもない」が23.9%、「非常にそう思う」が14.9%となっています。

【うまく接することができない原因】

※そう思わない人のみ



うまく接することができない原因は、「子育てでイライラする・ストレスがたまる」が44.4%と最も高く、その他を除くと、次いで「子どもが言うことを聞かない」「子どもの食事を作ったり、食べさせたりすることが面倒」「自分の時間が持てない」がともに22.2%、「子どもの育児について相談できる人(場所)がない」が11.1%となっています。

問 33-1 その他の原因	件数
自分があまりできてない気がする	1
これでいいのかと悩むこともある	1

【(年齢別)子どもとの接し方がうまくいっているか】

	全 体	非 常 に そ う 思 う	そ う 思 う	ど ち ら で も な い	あ ま り そ う 思 わ な い	全 く そ う 思 わ な い	無 回 答
全 体	134 100.0	20 14.9	72 53.7	32 23.9	9 6.7	0 0.0	1 0.7
0 歳	34 100.0	6 17.6	15 44.1	12 35.3	1 2.9	0 0.0	0 0.0
1・2 歳	38 100.0	5 13.2	22 57.9	6 15.8	5 13.2	0 0.0	0 0.0
3～5 歳	58 100.0	8 13.8	34 58.6	12 20.7	3 5.2	0 0.0	1 1.7

上段：実数、下段：%

【(年齢別)うまく接することができない原因】

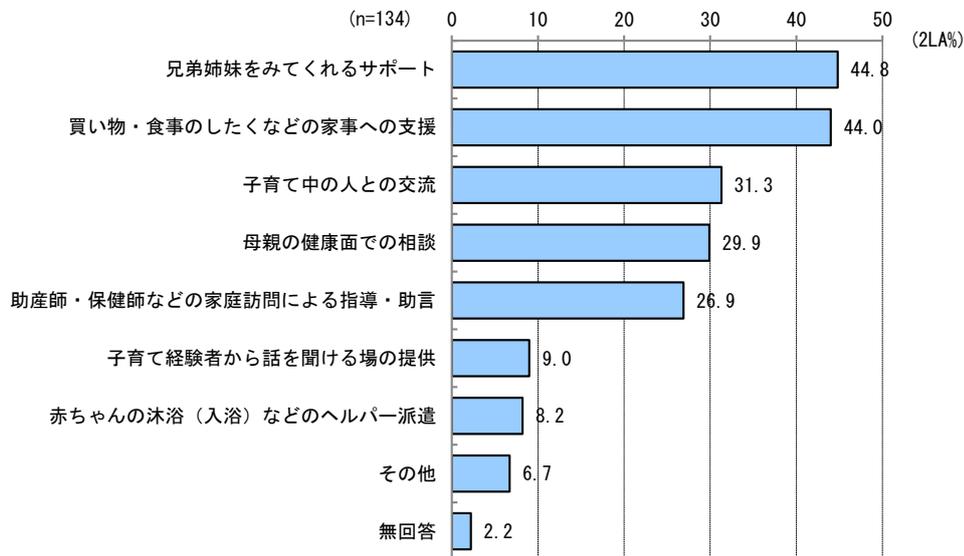
	全 体	く れ る 人 が 手 伝 わ な い (子 育 て が つ ら い 人 が い な い)	つ い て 相 談 で き る 人 (場 所)	子 ど も の 子 育 て に 関 心 が な い	子 ど も が 言 う こ と を 聞 か な い	子 ど も の 食 事 を 作 ら な い こ と が 面 倒	自 分 の 時 間 が 持 て な い	・ 子 育 て で イ ラ イ ラ す る ス ト レ ス が た ま る	そ の 他	無 回 答
全 体	9 100.0	0 0.0	1 11.1	2 22.2	2 22.2	2 22.2	2 22.2	4 44.4	3 33.3	1 11.1
0 歳	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
1・2 歳	5 100.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0
3～5 歳	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	2 66.7	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0

上段：実数、下段：%

13. 子育て全般

(1) 必要と感じる妊娠中や出産後のサポート

問 34 妊娠中や出産後のサポートとして、特にどのようなサービスが必要だと思いますか。
【〇は2つまで】

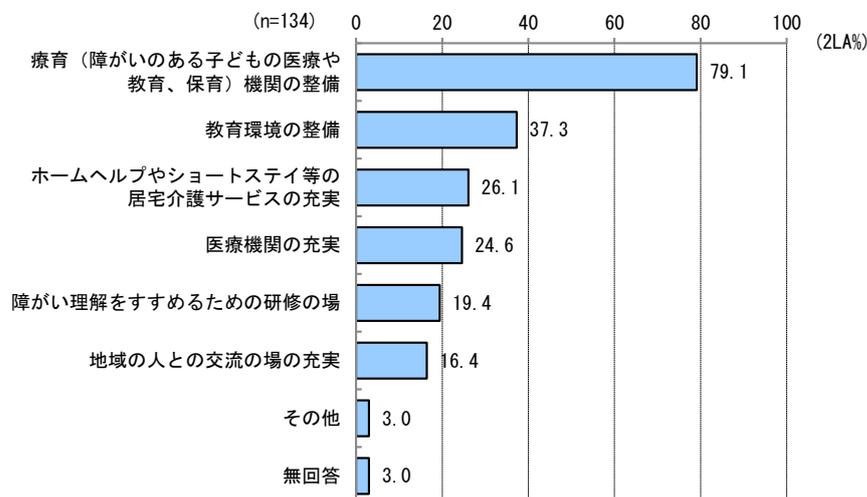


妊娠中や出産後のサポートとして、特にどのようなサービスが必要かについては、「兄弟姉妹をみてるサポート」が44.8%と最も高く、次いで「買い物・食事のしたくなどの家事への支援」が44.0%、「子育て中の人との交流」が31.3%となっています。

問 34 その他の理由	件数
支援券	1
ごはんサポート	1
助産院、産婦人科、新しい小児科、子ども服や道具、おもちゃの店	1
休む時間の確保	1
手続き等の簡素化	1
自宅で子どもをみてあげられるように金銭面の支援、育休が長くとれるようにしてほしい	1
金銭的支援	1
助成金など経済面でのサポート	1
男女ともに育児や家事をすることへの地域の理解	1

(2) 障がいのある子どもが地域の中で安心して暮らせるために必要な環境

問 35 障がいのある子どもが地域の中で安心して暮らせる環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。【〇は2つまで】

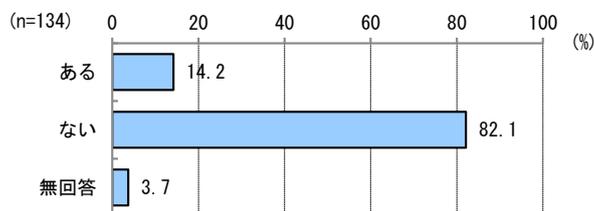


障がいのある子どもが地域の中で安心して暮らせる環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思うかについては、「療育（障がいのある子どもの医療や教育、保育）機関の整備」が79.1%と最も高く、次いで「教育環境の整備」が37.3%、「ホームヘルプやショートステイ等の居宅介護サービスの充実」が26.1%となっています。

問 35 その他の内容	件数
上記の件に対する送迎サービスやオンラインサービス	1
居住地の学校に進学できる枠を広げる、そこにかかわる専門家を増やし、子ども同士で交流のできる場を増やす	1
放課後等デイサービスを増やして欲しい	1

(3) 子どもが登園しづらい状況になったことの有無

問 36 お子さんが幼稚園や保育園へ登園しづらい状況になったことはありますか。
【〇は1つ】



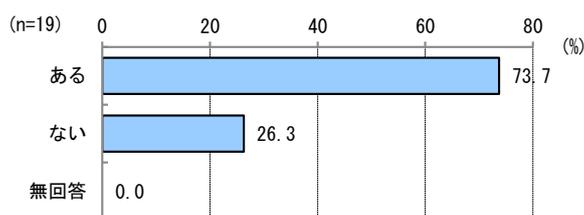
子どもが幼稚園や保育園へ登園しづらい状況になったことの有無は、「ない」が82.1%、「ある」が14.2%となっています。

(4) 子どもが登園しづらい状況になった場合の相談先、対応や支援

問 36-1 お子さんが登園しづらい状況について、どこか（誰か）に相談したことはありますか。【〇は1つ】
問 36-2 お子さんが登園しづらい状況への対応や支援について必要だと思うことは何ですか。【〇は2つまで】

【登園しづらい状況になった場合の相談先の有無】

※子どもが登園しづらい状況になったことがある人のみ



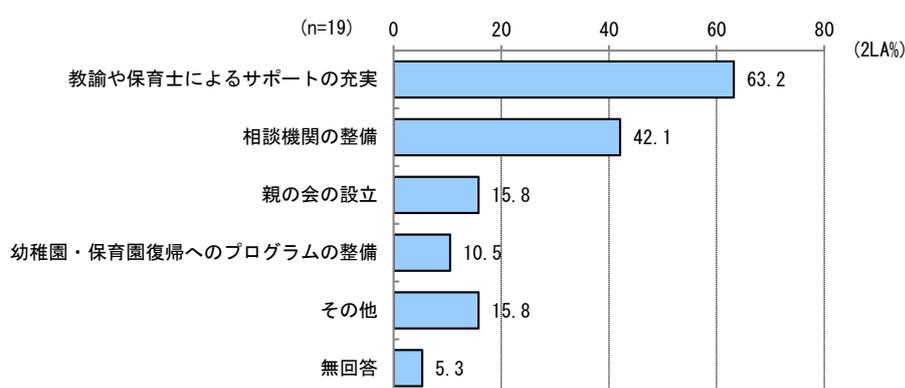
登園しづらい状況について、どこか（誰か）に相談したことがあるかの有無は、「ある」が73.7%、「ない」が26.3%となっています。

【登園しづらい状況になった場合の相談先】

問 36-1 相談先	件数
保育園（保育園の先生）	4
保健師	1
夫、祖母	1
役場	1
療育の先生、保育園の先生	1
園、親族	1
職場	1
療育の先生、保健師	1

【登園しづらい状況への対応や支援で必要なこと】

※子どもが登園しづらい状況になったことがある人のみ

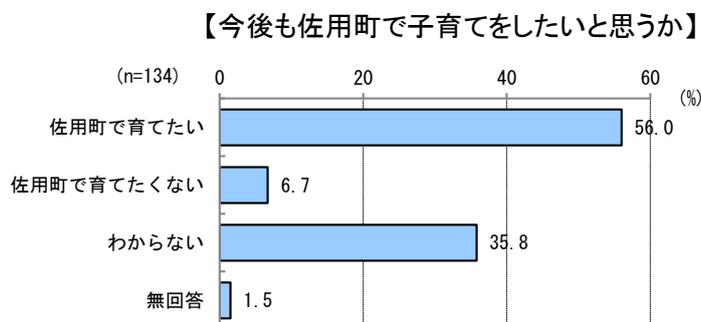


登園しづらい状況への対応や支援について必要だと思うことは、「教諭や保育士によるサポートの充実」が63.2%と最も高く、次いで「相談機関の整備」が42.1%、「親の会の設立」「その他」がともに15.8%となっています。

問 36-2 その他の内容	件数
親へのサポート	1
新しい環境の場作り	1
何が原因かをたくさんの目で話し合える環境づくり、どちらかが押しつけすぎない	1
友だちと気軽に外で遊べる場、ママプラザはとても助かった	1

(5) 今後も佐用町で子育てをしたいと思うか

問37 子どもを育てる場所を自由に選べるとすれば、今後も佐用町で育てたいと思いますか。
【○は1つ】



今後も佐用町で育てたいと思うかについては、「佐用町で育てたい」が56.0%と最も高く、次いで「わからない」が35.8%、「佐用町で育てたくない」が6.7%となっています。

問37 今後も佐用町で育てたい理由	件数
環境が良いから	14
子育て支援が充実しているから	7
両親の実家が近いから	5
住み慣れた町だから	5
自身が出身だから	4
まわりの人たちの支えがあるから	4
少人数教育にメリットを感じるから	2
生まれたところで育ててほしいから	2
不満はない	1
その他	9

問37 今後も佐用町で育てたいと思わない理由	件数
何もない、子ども用品を買う場所がない	1
病院が少ない、総合病院だと曜日や時間が少ない、デパートが遠すぎる	1
教育の選択肢が少ない、同級生が少ない(徒歩で行ける範囲に友だちがいない)	1
買い物する所や公園が少ない、小児科も足りない	1
塾が遠い、子どものみで通塾できない	1
佐用町は子どもの人口が少ないので、もっと子どもが多く住んでいる場所で色々な子達とかかわってほしいと思うため	1
実家の近くで育てたいため	1
選択肢が少ないため選択肢の多い地域の方が良い(小児科も少ない、保育園も公立のみ)	1
田舎だから	1

問 37 わからない理由	件数
少子化への不安	6
病院、子どもが遊びに行ける施設、娯楽施設が少ない	4
育てる場所を選べるかどうかは関係ない	1
30年後、消滅するかもしれない地域と新聞に載っており、明るい将来が見えない	1
自然が多くて変な誘惑が少ない所は良いが、その分閉鎖的だから息苦しい	1
佐用町で育てたいと強く思っていないが、他の場所が良いとも思っていないから	1
家から通える大学が少ない、家から通うとしても交通費用が高い、そもそも公共交通機関が充実していない	1
子育て支援の町と言うが教育環境や支援が中途半端な気がするため	1
その他	10

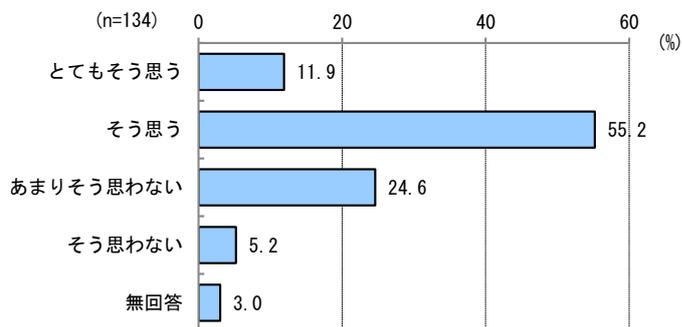
【(年齢別)今後も佐用町で子育てをしたいと思うか】

	全 体	佐 用 町 で 育 て た い	佐 用 町 で 育 て た く な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体	134 100.0	75 56.0	9 6.7	48 35.8	2 1.5
0 歳	34 100.0	18 52.9	2 5.9	14 41.2	0 0.0
1・2 歳	38 100.0	21 55.3	5 13.2	12 31.6	0 0.0
3～5 歳	58 100.0	34 58.6	2 3.4	20 34.5	2 3.4

上段：実数、下段：%

(6) 子育てが地域の人に支えられていると感じるか

問 38 子育てについて、地域の人に支えられていると感じますか。【〇は1つ】



子育てについて、地域の人に支えられていると感じるかについては、「そう思う」が55.2%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が24.6%、「とてもそう思う」が11.9%となっています。

問 38 とてもそう思う理由	件数
声をかけてくれる、気にかけてくれる	6
子どもの行事、登下校の見守りに参加してくれる	2

問 38 そう思う理由	件数
声をかけてくれる、気にかけてくれる	17
子どもの行事、登下校の見守りに参加してくれる	10
子どもに寛容、優しい	3
その他	10

問 38 あまりそう思わない理由	件数
地域とかかわりはない	9
まわりに人がいない	3
支えられている実感はない	3
働いているので地域と交流がない	2
保育園以外に地域と交流がない	2
その他	4

問 38 そう思わない理由	件数
近所に嘘をついたりややこしい人がある	1
近所付き合いがないため	1
子育てに関して特に地域の人に助けってもらったり、手伝ってもらったことがないから	1

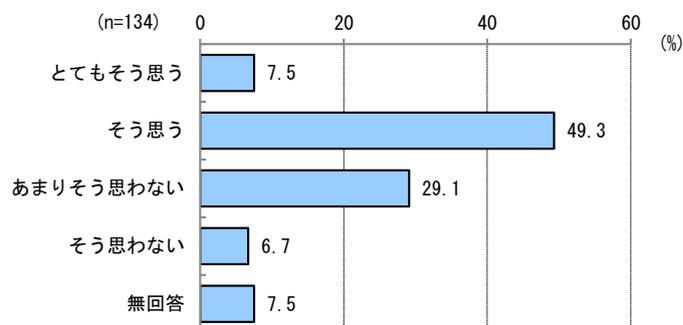
【(年齢別)子育てが地域の人に支えられていると感じるか】

	全 体	と と も そ う 思 う	そ う 思 う	あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答
全 体	134 100.0	16 11.9	74 55.2	33 24.6	7 5.2	4 3.0
0 歳	34 100.0	6 17.6	16 47.1	8 23.5	1 2.9	3 8.8
1・2 歳	38 100.0	4 10.5	22 57.9	10 26.3	2 5.3	0 0.0
3～5 歳	58 100.0	6 10.3	34 58.6	14 24.1	3 5.2	1 1.7

上段：実数、下段：%

(7) 子どもの家庭教育を行うための支援の充実度

問 39 あなたは、子どもの基本的な生活習慣（食事、排せつ、睡眠など）を身につける家庭教育や、子どもが物事を選択していけるような自立心等を育む家庭教育を行うための支援を受けていると思いますか。【〇は1つ】



子どもの生活習慣を身につける家庭教育や、自立心等を育む家庭教育を行うための支援を受けていると思うかについては、「そう思う」が49.3%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が29.1%、「とてもそう思う」が7.5%となっています。

問 39 とてもそう思う理由	件数
保育園の利用	5
色々な悩みを聞いてもらえる場がある	1

問 39 そう思う理由	件数
保育園の利用	9
託児所でしてもらっているため	1
発達支援センターに通っている	1
離乳食のこと、歯のこと、教えてもらえる機会は多々あったと思う	1
保育園の先生や小学校の先生といい関係が築けているから	1
支援がどのようなものか分からないが、家庭内でできるように教えている	1
質問の意味が分からない	1
その他	5

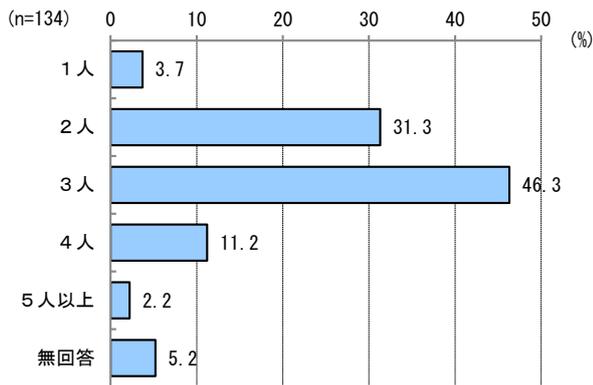
問 39 あまりそう思わない理由	件数
質問の意味が分からない	4
0歳児検診等の時だけそういった知識を得られる	1
保育園では支援を受けているが公共の場では受けているとは思わない	1
資料などには目を通すが、家族などと話しながらすすめているため	1
保育園や幼稚園に行っておらず、どこかで教育を受けるというよりは家で身につけていっているから	1
そのような支援を把握できていない	1
その他	10

問 39 そう思わない理由	件数
町からの支援で思い当たるものがない	1
支援は受けてない	1
思い当たらない	1
そのような支援を知らない	1

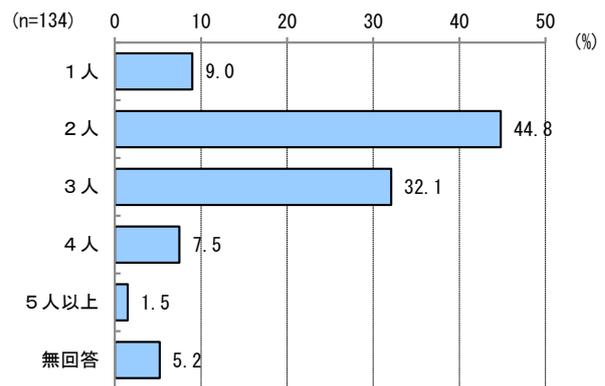
(8) 希望する子どもの人数と実際に子育て可能な子どもの人数

問 40 あなたにとって、欲しい子どもの人数は何人ですか。また、実際に子育てが可能と考える子どもの人数は何人ですか。
また、欲しい子どもの人数よりも、実際に子育てが可能なお子どもの人数が少ない理由は何ですか。【〇はいくつでも】

【欲しい子どもの人数】



【実際に子育て可能な子どもの人数】

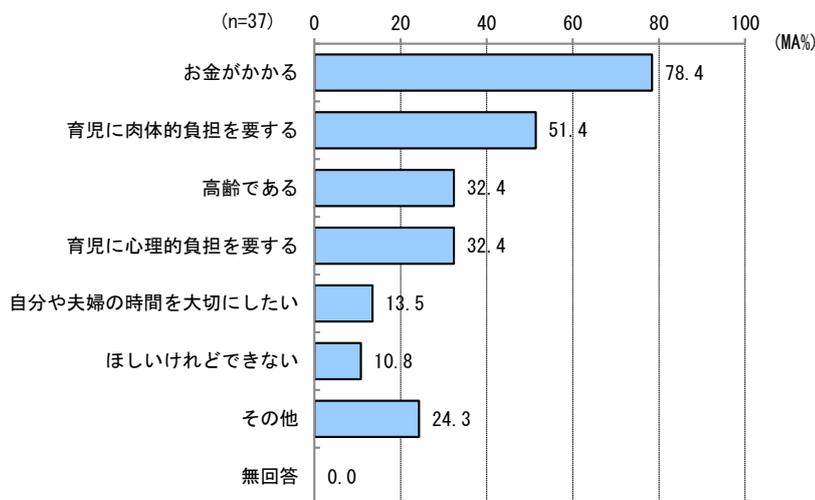


欲しい子どもの人数は、「3人」が46.3%と最も高く、次いで「2人」が31.3%、「4人」が11.2%となっています。

実際に子育てが可能なお子どもの人数は、「2人」が44.8%と最も高く、次いで「3人」が32.1%、「1人」が9.0%となっています。

【欲しい子どもの人数よりも、実際に子育てが可能な子どもの人数が少ない理由】

※欲しい子どもの人数よりも、実際に子育てが可能な子どもの人数が少ない人のみ

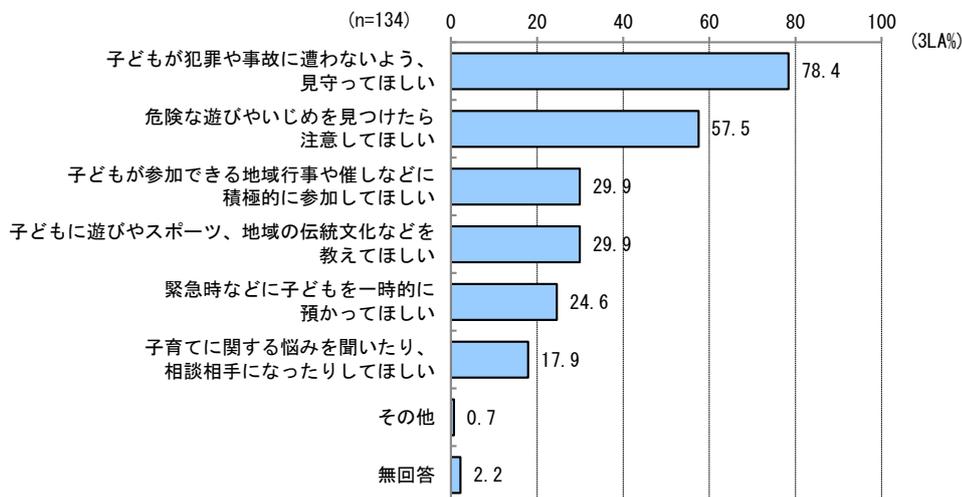


欲しい子どもの人数よりも、実際に子育てが可能な子どもの人数が少ない理由は、「お金がかかる」が78.4%と最も高く、次いで「育児に肉体的負担を要する」が51.4%、「高齢である」「育児に心理的負担を要する」がともに32.4%となっています。

問 40 その他の理由	件数
離婚しているため	1
他の子どもたちへの手薄感	1
頼れる人が少ないため	1
ひとり親の為	1
夫の賛同がない	1
子どもがある程度成長してからを考えている	1
妊娠に肉体的負担を要する	1
仕事が出来なくなるため	1
元気な子どもが産まれてくれるか不安	1

(9) 子育て支援として身近な地域の人との協力や支援に期待すること

問41 子育て支援として、身近な地域の人との協力や支援にどのようなことを期待しますか。
【〇は3つまで】



子育て支援として、身近な地域の人との協力や支援にどのようなことを期待するかについては、「子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい」が78.4%と最も高く、次いで「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」が57.5%、「子どもが参加できる地域行事や催しなどに積極的に参加してほしい」「子どもに遊びやスポーツ、地域の伝統文化などを教えてほしい」がともに29.9%となっています。

問41 その他の理由	件数
行事等、結局親が休んで連れて行かないといけないし、昔からの行事等は面倒くさく、祭りや役員などを見直して欲しい	1

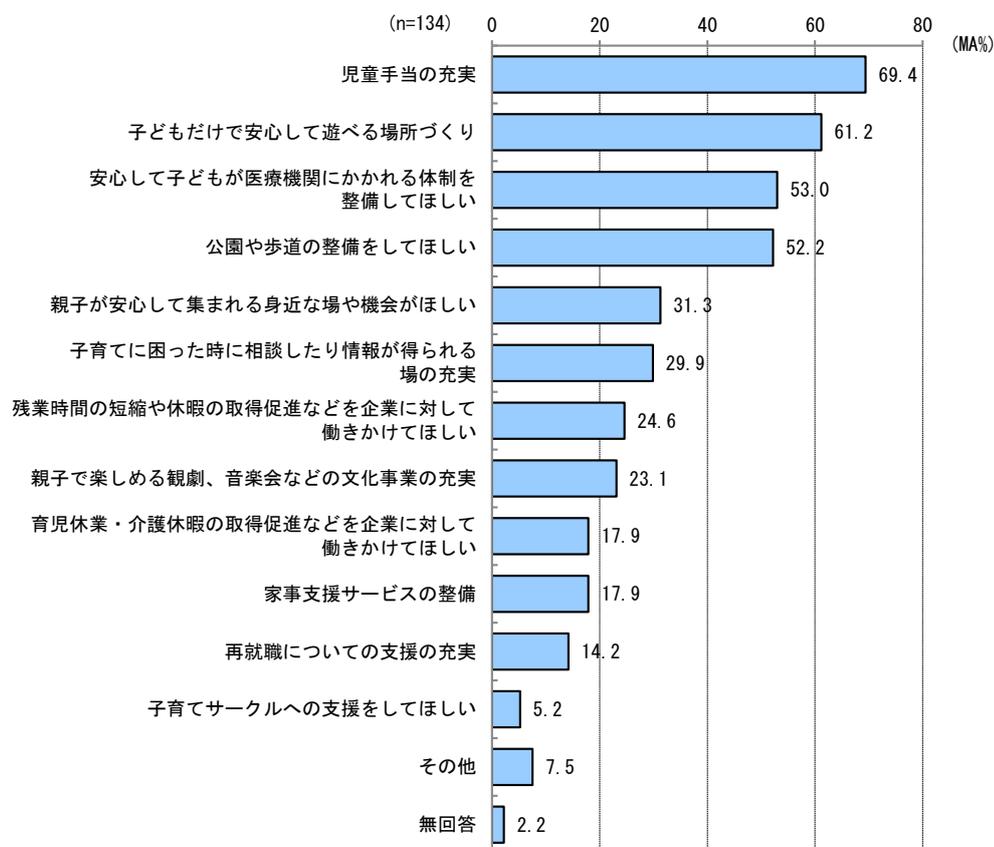
【(年齢別)子育て支援として身近な地域の人との協力や支援に期待すること】

	全 体	聞 た り に し 、 関 心 を 持 つ て ほ し い	一 時 的 に 預 か つ て ほ し い	危 険 な 遊 び や い じ め を 見 つ け た ら 注 意 し て ほ し い	ほ し い が よ う に 見 守 つ て ほ し い	遭 い が よ う に 見 守 つ て ほ し い	子 ど も が 参 加 し て ほ し い	教 え て ほ し い	子 ど も に 遊 び や ス ポ ー ツ を 教 え て ほ し い	そ の 他	無 回 答
全 体	134 100.0	24 17.9	33 24.6	77 57.5	105 78.4	40 29.9	40 29.9	1 0.7	3 2.2		
0歳	34 100.0	7 20.6	6 17.6	17 50.0	27 79.4	14 41.2	8 23.5	0 0.0	1 2.9		
1・2歳	38 100.0	2 5.3	8 21.1	22 57.9	34 89.5	8 21.1	16 42.1	1 2.6	0 0.0		
3～5歳	58 100.0	15 25.9	18 31.0	34 58.6	40 69.0	17 29.3	13 22.4	0 0.0	2 3.4		

上段：実数、下段：%

(10) 子育て支援でもっと力をいれてほしいもの

問 42 子育て支援でもっと力をいれてほしいものは何ですか。【〇はいくつでも】



子育て支援でもっと力をいれてほしいものは、「児童手当の充実」が69.4%と最も高く、次いで「子どもだけで安心して遊べる場所づくり」が61.2%、「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備してほしい」が53.0%となっています。

問 42 その他の理由	件数
おむつ券をミルクにも使えるとありがたい	1
一時保育の受け入れ枠の拡充	1
子ども用品を扱う店を増やして欲しい、自転車に乗れるようになってでも自転車で行けるところがない、自転車に乗れるメリットが感じられない	1
小児科を何とか充実させてほしい	1
学校へ行きたくない子への支援やオルタナティブスクールの設立	1
医院に先生を増やしてほしい、待ち時間が長すぎて連れて行くのが嫌になる	1
保育園での完全給食と内容の充実(あったかいごはんを食べて欲しい、現状は6時半につめたごはんを持参している、夏場は衛生面が心配)	1
子どもの服などの用品が佐用町内で購入できること	1
私自身が食事に困っているので(つくる時間子どもと遊べない、栄養など)、たまにでいいので弁当でも気軽に食事を食べられる場所があったらいい、子ども食堂はありがたい	1
通学時のバス利用(すべての地域での利用促進にしてほしい)、安全に通学できるようにしてほしい	1

【(年齢別)子育て支援でもっと力をいれてほしいもの】

	全 体	遊 子 ど も だ け で 安 心 し て 遊 ぶ る 場 所 づ く り	身 親 近 子 が 安 心 し て 集 ま れ る 機 会 が ほ ま れ る	充 音 親 実 楽 子 会 な ど の 文 化 事 業 の	の し た り 情 報 が 得 ら れ る 場 談 の 充 実	子 育 て に 困 つ た 時 に 相 談 し て ほ し い	関 安 心 し て ほ し い 子 ど も が 医 療 機 関 に か か る 体 制 を 整 備	取 得 時 間 の 短 縮 や 休 暇 の 取 得 を 促 し て ほ し い	残 業 時 間 の 短 縮 や 休 暇 の 取 得 を 促 し て ほ し い	取 得 時 間 の 短 縮 や 休 暇 の 取 得 を 促 し て ほ し い	育 児 休 業 ・ 介 護 休 暇 の 取 得 を 促 し て ほ し い
全 体	134 100.0	82 61.2	42 31.3	31 23.1	40 29.9	71 53.0	33 24.6	24 17.9			
0歳	34 100.0	19 55.9	9 26.5	6 17.6	6 17.6	16 47.1	8 23.5	7 20.6			
1・2歳	38 100.0	30 78.9	13 34.2	7 18.4	10 26.3	19 50.0	11 28.9	7 18.4			
3～5歳	58 100.0	30 51.7	18 31.0	16 27.6	23 39.7	33 56.9	13 22.4	9 15.5			
	全 体	支 援 の 充 実	再 就 職 に つ い て の 充 実	支 子 育 て サ ー クル へ の 充 実	し て ほ し い 公 園 や 歩 道 の 整 備	児 童 手 当 の 充 実	家 事 支 援 サ ー ビス の 整 備	そ の 他			無 回 答
全 体	134 100.0	19 14.2	7 5.2	70 52.2	93 69.4	24 17.9	10 7.5	3 2.2			
0歳	34 100.0	5 14.7	1 2.9	16 47.1	23 67.6	7 20.6	1 2.9	1 2.9			
1・2歳	38 100.0	6 15.8	3 7.9	26 68.4	25 65.8	9 23.7	1 2.6	0 0.0			
3～5歳	58 100.0	7 12.1	2 3.4	25 43.1	41 70.7	7 12.1	8 13.8	2 3.4			

上段：実数、下段：%

14. 自由記述

問 43 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

就学前保護者の自由記述：回答数 55 件

地域の子育て家庭への意識

- ・子どもを連れてドラッグストアに買い物に行った際、お店の方から声をかけていただき、荷物を車まで運んで下さったことが何回もあり、子育てしやすい環境も目立っていると思いました。
- ・男女ともが育児や家事を共有する生き方を、地域の高齢男性が受け入れられない現実に、悲しみを感ずる。

支援制度

- ・子どもが大きくなればお金もたくさんかかってくるので、授業料や給食費など支援してほしい。
- ・病児保育がもっと使いやすくなって欲しい(夜間の小児科)。
- ・子どもが減ってきているのに、子どもへのサービスの充実が少ない。ワクチン接種の補助金など、高齢者と同じように格安にしてほしい。母子、父子家庭への手当の見直しを考えてほしい。片親(母・父)で、子どものために正社員で働いているのに、両親(祖父母)、同居の伯父、伯母がいて、収入が多いから、児童扶養手当がもらえないといった話を聞いた事がありますが、親の収入だけで判断できればより多くの人に手当が入り、子どもへの教育資金として使用できるのではないのでしょうか？検討よろしくおねがいします。
- ・チャイルドシート、ジュニアシートの購入する際、補助金があれば嬉しい(6歳未満は使用義務がありますが、チャイルドシート・ジュニアシートどちらにも座っていないお子様を見る事があり、怖いです)。
- ・子ども(Baby)用品のレンタル事業等があれば嬉しいです。使用不要になったご家庭からの寄付等で集め、必要なご家庭へとレンタルや販売が町内でできるといいと思います(ベビーベッド、バウンサー、チャイルドシート、ジュニアシート、ベビーカー、ベビーバス、おもちゃ etc)。
- ・少子高齢化が顕著に進む佐用町なので、県内または全国でも類を見ない新たな取組をしてほしい。経済面でのサポートが必須であると感じる。子育て世帯に強烈なインパクトがある、取組に期待しています。全国から注目を集める、新たなる少子化対策を是非お願いします。
- ・児童手当は第一子から月 1 万 5000 円にしてほしい。小学校、中学校と大きくなるにつれてお金がかかるので。
- ・子ども 2 人でも児童手当の増額をしてほしい。
- ・子育て支援券の充実などの経済的支援および地域への経済貢献の制度の充実を図ってほしい。
- ・育児休業の取得が、1 歳になるまでしか出来ないのは少し短い気がします。

支援券(おむつ)

- ・オムツ券がとてもありがたかったのですが、保育園の一時利用を始めたことにより対象外となりました。保育日数が限られているので減額などの対応があればいいなと思いました。

- ・おむつ補助券ありがたいのですが保育園に入ると受けられなくなるのは困る。まだおむつが外れない年齢で家でもおむつを使用することがあるので、もう少し考えてもらえると有難いです。
- ・よくわからない(理解できない)内容がある。オムツ&おしり拭きに使える券を使ったが、それにしか利用できないのはいいが、おつりが出ないのがとても不便だった。
- ・保育園でのオムツの配布や、就学後の子育て支援券の配布はとても助かっています。が、制服や体操服の価格も年々高くなっており、支援券の配布金額の見直しの検討もお願いしたいです。

保護者の支援

- ・施設を充実させるのではなく子どもがどうしたら親とゆっくり過ごせて関われるのかに重点を置いて考えてほしいです。
- ・育児中、1人になりたい瞬間が何度もあった。そんな時、手続きとか無しに30分でも気軽に見てくれる場所があればいいのになと思っていました。相談とか助言をもらうより助かるのでは?と思った。

多様性を認める教育・保育

- ・多様性が求められる時代になって来てはいますが、まだまだ枠に入れようとはめようとする教育が根強いと感じますし、子どものための・・・と言いつつ(大人の扱いやすい)子ども(を育てる)のためになっている場合もあるように感じます。その子がその子らしくそのまま認めてもらえる地域であればなあと思います。もっと色々な性格や個性に対して寛容で柔軟な地域になっていったらいいなと思います。今は考え方がガッチガチで昭和な感じがしています。
- ・子どもの7か月検診のときに、育児に関するアドバイスを受けたが、自分の子育て感を強要する言い方の方がいて、子どもの成長を楽しみに伺ったのに、残念でした。

遊ぶ場所・居場所

- ・田舎でも滑り台やブランコの整備をしてほしい。
- ・小野市のような大型公園はできないか?経済効果もありそう。
- ・遊具等は無くても、ボールや、自転車などに乗って遊べる場所がもう少しあれば嬉しい(小学校バス通内にあり)。
- ・遊具がたくさんあるような公園が欲しい。
- ・子どもが遊べる施設や、気軽に寄れる場所があればよいと思います。
- ・天候に関わらず、屋根がある広場や公園などがあれば、土日等で親子が使えるのでそんな場があればいいのになと思います。
- ・屋内の遊び場の開放。天候に左右されずに利用できる子育て支援施設は、佐用の支援センターくらいであり、支援センターでイベント(ママプラザ等)がある時に利用できない。既存の公共施設をうまく活用し、子どもが遊べる場所を提供して下さい(特に笹ヶ丘公園のドームを開放してほしいです。廃校になった学校の体育館も耐震基準上問題ないのであれば、開放してほしいです)。

経験の機会

- ・子どもが楽しめるイベントを企画してほしい。
- ・子どもが1人しかいないので同じような1人っ子が集まるイベント等があれば同じ環境で子ども同士親同士がより通じあえるコミュニティになると思います。

子育て支援センター

- ・子育て支援センターにもう少し遊具、玩具をそろえて欲しい。
- ・ママプラザなどはフルタイムで働いている者には全く利用できないと思います。土日のイベントも仕事で疲れていて、連れていくのは無理です。祖父母の孫育てのため変な回答ですみません。
- ・室内で子どもが遊べる場所が少ない。支援センターの開放はあるが遊べるおもちゃが少ない、すぐ飽きる。ママプラザでつかっているトランポリンなど体を動かせるおもちゃの使用はできないのか？

保育園の運営

- ・保育環境は昔よりもすごく整っていて、保育士の手厚い保育が行われている。しかし保育者への対偶の悪さから働きたくても働けない人が多くなってきている。待遇が良くなることで、保育士不足も解消されて、預けやすい保育園になると思う。
- ・子どもが安心して保育が受けられる環境を作って頂きたい。
- ・保育士が現代に合った保育をしていけるよう体制を整えてほしい。保育士によって考え方の偏りがあるように感じる。子どもが自分らしく伸び伸びと育っていけるような保育・教育になって欲しい。
- ・色々子育て支援に取り組んで下さっていると思うが、大切なところが欠けていると思う。保育園の統合など、町長の指示を優先し、子どもや親の意見を何も聞いてくれない。何年かかけて計画性があるなら理解できるかもしれないが、計画性が全くなく、急すぎる。もう少し町民の意見も聞いてほしい。
- ・子どもの数は年々減ってきていると思うが、保育士や教諭の確保をなんとか頑張ってもらいたい。また、その方々のサポートもしてあげてほしい。
- ・佐用町はとても子育てに力を入れてくださっていてとても育てやすいと感じています。保育園の先生方もとても良くしていただきいつも助かっています。今後ともよろしくお願いします。
- ・先生達は良い人が多いです。異動があるので園に新しい風が吹いて良いと思います。
- ・おたより、連絡帳も分かりにくいです。たくさん紙が来ますが何が必要な文章が分かりません。簡潔にまとめて欲しい。写真販売が無い理由も教えていただきたいです。ないならカラーのお便りにしていただきたいです。誰が誰かわからない。園での様子が分かりません。すぐには SNS リテラシーの分からない親もいるので難しいかもしれませんが、写真はルールを儲けて改善してほしいです。できないなら、食事等含め、教育方針で選べる園を増やして欲しいです。

保育の必要性

- ・私は R7. 2月に第3子を出産する予定です。上には2歳と1歳の子どもがいて保育園に通っています。しかし出産に伴い R7. 4月末で保育園を退園するよう役場より言われました。赤ちゃんを育てるための育児休暇ですが、2歳、1歳、0歳2か月の子を、お家で一人で子育てをしないといけない不安が大きくて仕方ありません。ママプラザや一時預かりがあることは知っていますが、帝王切開の傷が痛む中、子ども3人を連れて外出、まだ夜間夜通し眠れない不眠が続く中、母親の休む時間があるのか……。途中入園の申込みをするも入園できるかわかりませんと言われ……。仕事復帰をできないかもと子育てをしていく中での不安が沢山です。父親も朝(夜中) 2:00~夜 20:00 までという仕事内容で常にワンオペ育児。「5月生まれだとずっと入園したままでいいんですけどねー」などもいわれ、授かりものなのに「2月生まれかあ」と思ってしまうことも……。子どもが欲しくてもこ

の状況だともう無理なのかなとも考えてしまいますね。

- ・他の市区町村と比べて子育て支援は充実していると思う(おむつクーポンなど)。ただ、上の子どもが未満児時点で下の子を出産した際に保育園を退園させられるのは理解できない。少子化の今、母親の年齢など(出産リミット)考えてすぐに産みたくても1人で2人以上家庭保育をすることを考えたら子づくりをためらってしまう人もいます。一度退園させるメリットが分からない。佐用町外の友だちがうらやましいと感じる。
- ・保育園の第2子以降妊娠・出産時退園制度の見直しをお願いします。
- ・子どもができたからといって家の子を退園させることはやめてほしい。それによりどちらかの子どもの世話ができなくなったり虐待等が起こりそう。
- ・保育園の申し込みに行った時に思ったことがあります。現在2人目出産後の育児休暇中で、上の子を自宅で見えています。来年上の子を保育園に行かせたい為申し込み用紙を貰いに行った際に「育児休暇中ということは自宅保育が可能なため保育園は無理です」と言われました。今の日本ではそれが普通かもしれないのですが、育児休暇は第2子の為の育児休暇なのに自宅にいるから自宅保育可能はおかしな考え方だなと感じました。出産前まで上の子は託児所だったため、できることなら産休中でも保育園で預かって頂けたらと思っていただけ、預けるにも手続きが複雑で直ぐに預けられず無理をするなどと言われても、上の子を日中見る環境では無理せざるを得ないことが現状だと思いました。もっと簡単に妊産婦の負担が軽減できるように体制を整えて頂きたいです。

慣らし保育について

- ・保育園の慣らし保育期間の開始を就労開始前にしてほしい。就労するために保育園に預けているが、保育を開始するためには既に就労していることが条件となっており、「就労初日=慣らし保育初日」となり、復職初日から有給取得もしくは欠勤することになり、大変困っている。慣らし保育の期間、1週間だけでも就労初日から前倒して預かってもらえると助かります。

延長保育

- ・保育園の延長時間が早い。16時から延長になるので、仕事ができる時間が限られる。
- ・子育てをするために働かないといけない時代なのに、保育時間との兼ね合いで働く時間も制限され、充実した子育て環境とは言えない。

一時保育

- ・保育園の一時保育の利用枠の拡大。現状、一時保育の利用を希望しても、「町内の保育施設はどこも枠がいっぱい」「一時保育の利用希望者が他にも多数おり、みんな待っている」との理由から、町から断られた。利用希望者が既に多数いるのであれば、枠を拡大してほしい。
- ・公平な一時保育の利用。利用希望者が公平に利用できるよう調整してほしい。一時保育利用者の中には、週に数回の頻度で数か月以上利用している人もいます。早い者勝ちではなく、未利用者を優先するなど公平性を保って下さい。

保育園での給食

- ・給食費を無料にしてもraitたいです。
- ・現在、保育園を利用しているが、給食に白米を持って行っている。昼にはつめたくなり(夏はいたんでいないか不安)、食べにくいとのこと。できたての給食は2時間以内に食べることがすすめられているが、家から持参した白米は4時間ほど経過しているので、衛生的に心配なところがある。除去食などの配慮もあり、調理して下さる方たちにはとても感謝している。人員増を検討して頂いて、給食の充実を図って欲しい。
- ・保育園の月1の「愛情弁当の日」を廃止してもらいたいです。保育園なので、働いている保護者ばかりだと思うので、朝の負担がかなり大きいです。弁当じゃなくても、愛情は表現できると思います。
- ・保育園の年少、年中、年長は白ごはんのみを毎日お弁当箱に入れて持参していますが、未満児同様、保育園でご飯を炊いていただくことはできないのでしょうか。食べる頃には冷たくなっているし、夏場は食中毒も心配です。毎月米を集めるか、米代を集金して、炊き立ての美味しいご飯を食べさせてあげた方が良いのではないかと思います。
- ・保育園に不満があります。市販のお菓子が出てくる理由はなぜですか？パピコ等、え?と思うようなお菓子が出たり、市販品の頻度が高過ぎたり、手作りおやつも手を加えただけだったり…。保育園が体を壊す食事を提供する意味がわかりません。食材、調味料、気になることが多いです。

保育園等での対応

- ・保健師さん、ママプラザの方々、保育園、療育の先生方、いつも本当に支えて頂きありがとうございます。保育園でテレビや携帯を子どもたちにみせる所が増えていきます。私自身は子どもの目に心に特に携帯はだめ、嫌だと思っています。保育園でみた～、と喜んで帰ってきたため、何度か相談に行きました。その時、子どもに関わる皆様が嫌な顔をしないで真剣に聞いてくださり、子どもたちのためにどうしたらよいかをよく考えてくださり、対応していただき、本当に助かりました。園長先生も先生方も、市の方々も一人の親だけれど、その一人の市民の声に耳を傾けてくださったことが嬉しかったです。本当にありがとうございます。子どもの時にしかできない事が沢山あると思います。保育園がこれからも携帯をみる場所ではなく、色々な体験をできる場であつたらよいなと思います。相談後も、担任の先生、園長先生、園の方々、私と息子を暖かく優しくいつもいまでも見守ってくださる事に感謝です。保育園の先生も、療育の先生も、ママプラザの先生も、保健師さんも、市の方々も、子どもたちに色々な体験をさしてくださり、ありがとうございます。本当に毎日大変だと思います。携帯で曲をかけたり、調べたり、すごく便利で携帯を使って先生たちの負担が少しでも減ればと思います。子どもがみてなければ、みられないようにして曲をかけたりはして頂いて本当にいいので…。私の息子のように、先生方が見えないようにしていても、執念で見る子もいるのですが…。息子にも私にも言いました。携帯の怖さを伝えました。難しいのですが…。先生方、本当に大変で…。子どもにもそして子どもを育てる先生方も元気で、健康でいられる佐用町になってほしいなと思います。保育園では屋外で沢山遊ばせて頂いているようです。体も心も強くなりました。ありがとうございます。一人の先生が少しの間だけと子どもに携帯を見せると、ほんの少しが多くなり、あの先生もしているからと、増えていく気がします。今の職員の方で終わらず、子どもたちのために、今心をこめて子どもに接して下さる先生方のような方がもっと後にも続いてくれることを願います。また、近所に友だちがいないこともあり、ふらっと気軽に外で遊ぶことがなかなかできない子どもたちが、保育園を通して外で沢山友だちと遊ぶ機会を与えてもらい、幸せです。寒いのに先生方に感謝です。心も体も健康な子どもたちが育つよう、私も頑張るので、皆様のお支えがこれからも続くよう、お願いします。

障がい児支援・発達支援

- ・いつもお世話になっています。来年小学校に入学します。放課後等デイサービスを考えています。佐用町では少ないです。
- ・療育施設が町内に1つしかなく、町外に出るしかない。小学校の先生が不足して、手がまわっていない。補助の先生でもいいので人員を増やしてほしい。保育園担当の役場の方が、全く現状を分かっておらず、ミスが多い。言う事とやる方が違いすぎる。役場に言ってもムリやで意味ないでってお母さん達の間で話題になっている。
- ・発達障害や自閉症の子をもつ親が気軽に相談でき、また障がいのある子が将来過ごしやすく就労等に困らない環境になればいいなと思います。
- ・放課後等デイサービスを増やしてほしい。

学校

- ・タブレットが重たすぎるのもう少し軽くないのか。小学校のくつ下白、くつ白を自由にして欲しい。PTAや役員をなくして欲しい。

学童保育・クラブ活動

- ・小学校の長期休みの際の学童保育の時間についてですが、田舎の企業は始業時間が朝8時からなので会社も多いのに、学童保育も8時からというのは利用者目線でない。長期休みのみを利用する場合も学校の休みに合わせてない、意味が分からない。祖父母と同居していない。近くにいない家庭も多いのに考えられていない。高齢者でもまだまだ元気な方も多い現代、自治体が動いて、そういった方が活躍し、子育て世代と関わり、生活していく事など考えてほしい。中学校や小学校のクラブ活動についても先生に負担が多いなら経験者を自治体を探してくるなどきっかけを作り、佐用を盛り上げてほしい。
- ・学童保育・放課後児童クラブ利用について月あたりの利用料、休暇中利用料の分類になっていますが、月に数回だけ利用できるようなプランもあれば良いなと思います。週1回利用の場合とか…。

不登校支援

- ・美作市にできるような、不登校特例校をつくってほしいです。行きにくさ、生きにくさを子どものうちから抱えないでほしいと思います。この設問にすべて答えて、ふと思ったのですが、設問が全部大人目線すぎてびびりました。大人に都合の良い子育てとは？「子育ての環境や支援」は、子ども目線でシステムを作って欲しいと思います。日本製のベビーカーはコンパクトで小回りも効き、収納に向いているけれど、子どもの乗り心地については考えられていないのをご存じですか？サスペンションやクッションは最低限です。子どもの乗り心地、生きやすさから社会が再構築されれば良いのと思いました。
- ・不登校児、学校へ行きたくても行けない子のサポート、その子たちが安心して過ごせる場(フリースクール)の確保など、一日預かってもらえるところをたくさん作ってほしい。

医療について

- ・私も息子も町内医院にとってもお世話になっています。息子は喘息もあつたりで、時間外にも診て頂いたり…やはりかかりつけ医は安心出来ます。総合病院だと先生も代わるし、診察が雑な方もいます。失礼になるかもしれませんが、医師のご年齢を考えると不安に思う事も多く、先生も負担だらうなとも思います。自治体で考えて頂きたい。
- ・小児科がこの先どうなるのか不安があります。
- ・夜間か休日など、小さい子どもの急病などを診てくれる病院が欲しい。
- ・町外と比べ、小児科が少なすぎます。内科と併設している病院ばかりで、高齢者が多い町なのでどうしても待ち時間が長くなるし、予約も取りづらいです。予約が取れたとしても、結局2時間待ちなどよくあります。体調不良の子どもを長時間待たせるのはかわいそうですし、保護者の負担も大きいです。新しい病院をとというのは無理だと思うので、今ある病院の整備をしてもらいたいです。
- ・また、田舎ということもあり、緊急で病院に向かいたくて連絡してみても、どの病院もたらい回しで、県外の病院に案内されたことがあったので、緊急で見てもらえる病院が佐用町にあれば有難いなと思いました。
- ・小児科も増やして欲しい。

仕事

- ・子どもを連れて仕事ができるようなそんな仕事にあこがれます。テレビで見たことがあるのですが、赤ちゃんボランティアと言って介護施設に赤ちゃんを連れていき利用者の方とコミュニケーションを取るボランティアがあるそうです。2～3歳までのかわいい時期を利用者の方に見てもらうのもよいと思います。
- ・いまかかりつけ医の予約が取れないことに困っています。どうしても先生に相談したいことがあっても後ろにたくさんの方が待っていてできなかつたり、予約も取れないのでなかなか診てもらえない状況です。小児科の今後のことを考えてほしい。

日常生活

- ・子ども用品を扱う店を増やして欲しい。自転車に乗れるようになっても自転車で行けるところがない。自転車に乗れるメリットが感じられない。
- ・将来学生になった時、山間部から佐用町内(例えば駅や病院など)のコミュニティーバスを走らせてほしいです。
- ・佐用町は子育てに対して、今のところ困ることはそんなにないのですが、西松屋などの子どもの衣料品を町内で購入できないことが大変です。買い物に町外に出ないといけないので、休日がつぶれてしまうことが大変な時があります。

その他

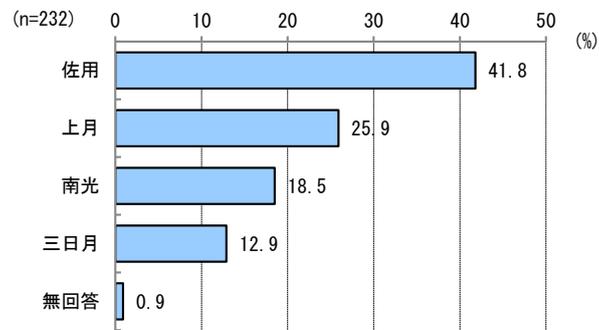
- ・アンケート結果を公表して下さい。町民から寄せられた意見と、それに対する町の回答(今後の対応方針)をとりまとめて公表して下さい。
- ・人口減、高齢化、少子化…不安。
- ・問が多い。回答するのに時間がかかる。
- ・(再掲内容を含む) 3人子どもがいて、小学校、保育園で私は育休後からずっと短時間社員です。保育園も学童保育もとても助かっています。佐用町は子どもが少なすぎるので、子育てサポートは他町よりも良いと思います(保育料2人目から無料等)。考えて欲しいと思う所は、制服は必要なのか?(小学校)、病児保育がもっと使いやすくなって欲しい。病院(夜間の小児科)、タブレットが重たすぎるのももう少し軽くないのか。小学校のくつ下白、くつ白を自由にして欲しい。PTA や役員をなくして欲しい。が、思いつく所です。少子化だからこそ、考えて欲しい内容なので、検討してくれると嬉しいです。私は神戸から来ましたが、やはり不便で住みにくいので、若者が離れて行くのはとても分かります。
- ・今ある環境に感謝し、子どもにも、そこにあるものに目を向けて感謝できるような豊かな心を育ててほしいと想います。
- ・子どもたちが地域への信頼や愛着心を持てる町づくりをしてほしい。

Ⅲ 調査結果・小中学生の保護者

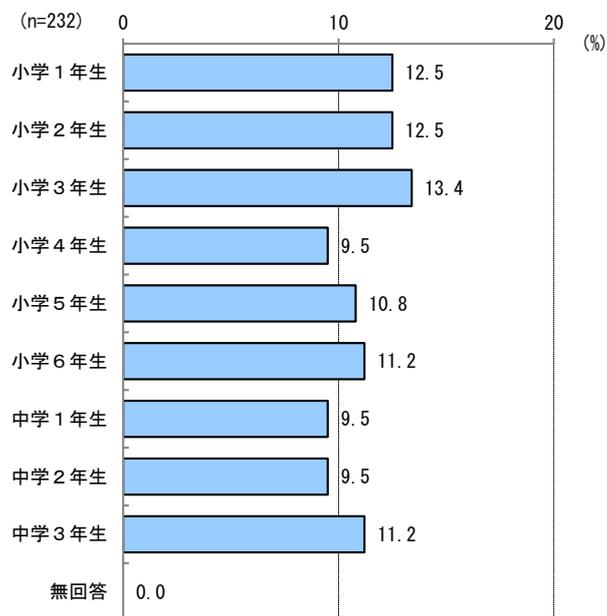
Ⅲ 調査結果・小中学生の保護者

1. お子さんご家族の状況

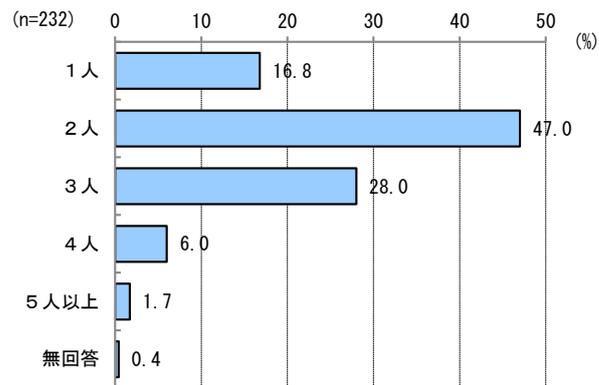
(1) 居住地区 (問1: 小学校区)



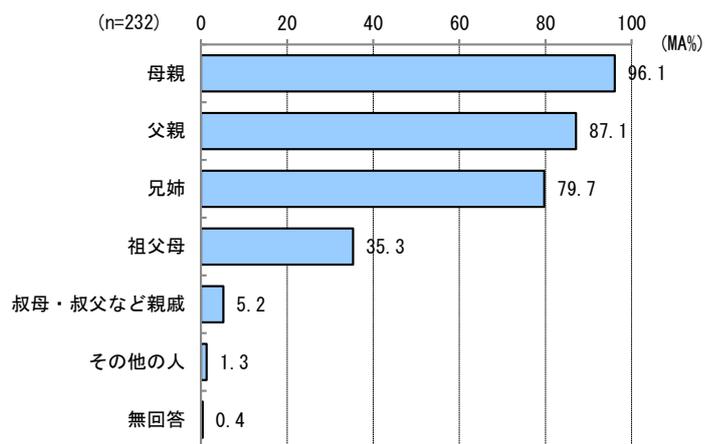
(2) 子どもの学年 (問2: 調査対象の子どもの学年)



(3) 世帯の子ども数 (問3)

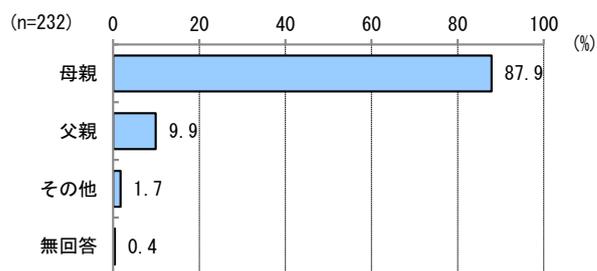


(4) 世帯員 (問4 : 調査対象の子どもからみた続柄の世帯員)



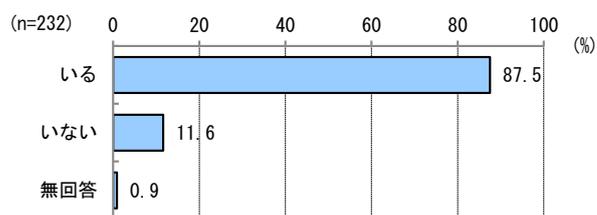
問4 その他の人の内容	件数
曾祖母	2
曾祖父・曾祖母	1

(5) 調査回答者 (問5)



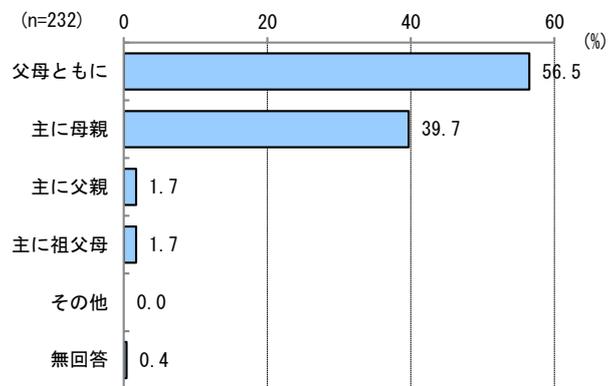
問5 その他の内容	件数
祖母	2

(6) 回答者の配偶者の有無 (問6)



(7) 子育てを主に行っている人

問7 お子さんの子育てを主に行っている方は、お子さんからみてどなたですか。【〇は1つ】

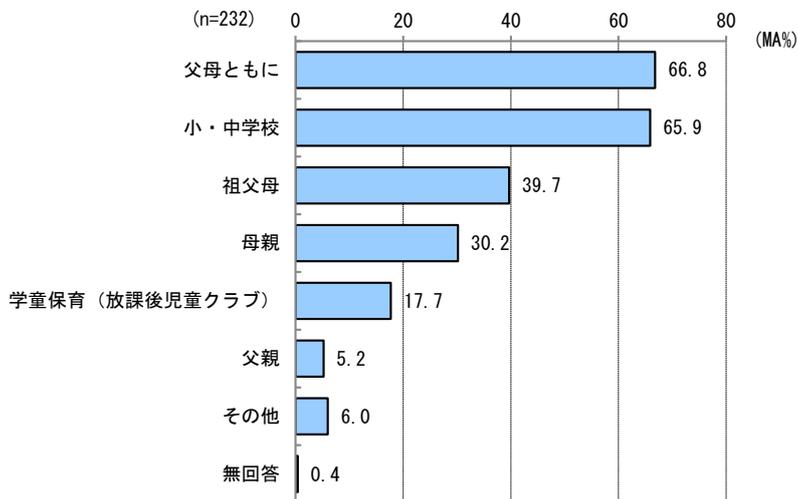


子育てを主に行っている方は、「父母ともに」が56.5%と最も高く、次いで「主に母親」が39.7%、「主に父親」「主に祖父母」がともに1.7%となっています。

2. 子どもの育ちをめぐる環境

(1) 子育てに日常的に関わっている方（施設）

問8 お子さんの子育てに日常的に関わっている方（施設）を、お子さんからみた関係でお答えください。【〇はいくつでも】

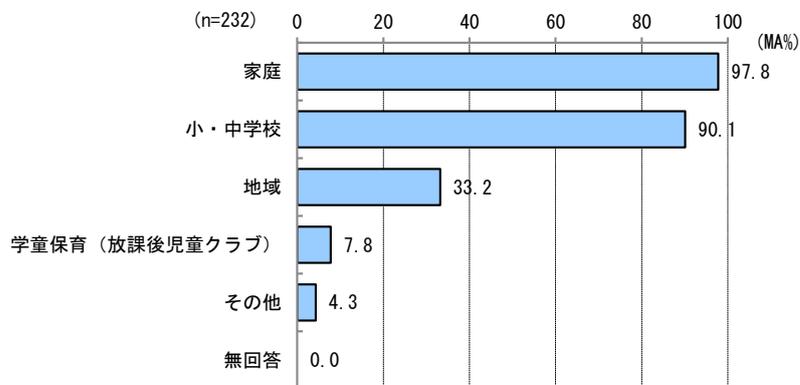


子育てに日常的に関わっている方（施設）は、「父母ともに」が66.8%と最も高く、次いで「小・中学校」が65.9%、「祖父母」が39.7%となっています。

問8 その他の内容	件数
兄弟	3
放課後等デイサービス	3
伯母、叔父	2
ほっとルーム	2
学習塾	1
すずらん、リチェルカ	1
適応教室	1

(2) 子育てに影響すると思う環境

問9 お子さんの子育てに、大きく影響すると思われる環境は何ですか。【〇はいくつでも】



子育てに影響すると思う環境は、「家庭」が97.8%と最も高く、次いで「小・中学校」が90.1%、「地域」が33.2%となっています。

問9 その他の内容	件数
習い事	4
学校担任	1
タブレット	1
クラブ活動	1
SNS	1

(3) 子どもをみてもらえる状況

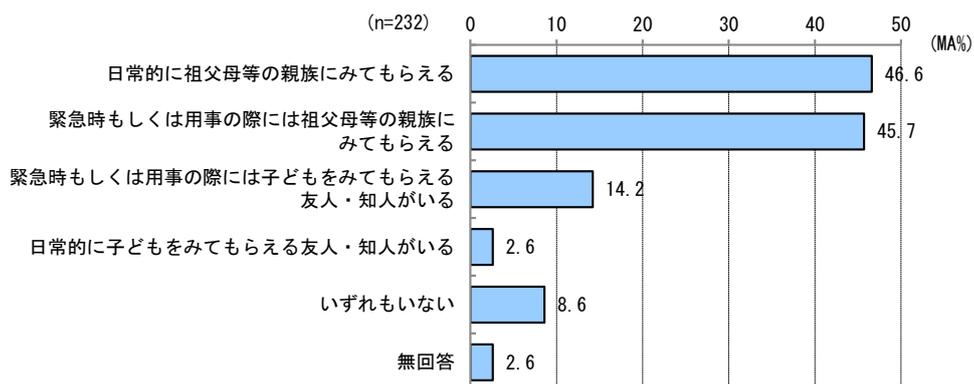
問 10 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

【〇はいくつでも】

問 10-1 親族や知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

【〇はいくつでも】

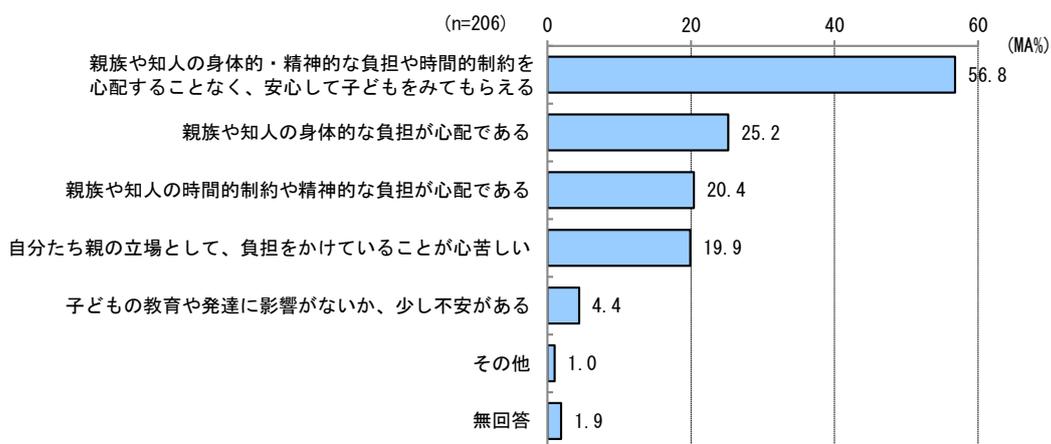
【子どもをみてもらえる親族・知人はいるか】



子どもをみてもらえる親族・知人の有無は、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が46.6%と最も高く、次いで「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が45.7%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が14.2%となっています。

【親族・知人に子どもをみてもらっている状況】

※親族・知人に子どもをみてもらえる方のみ

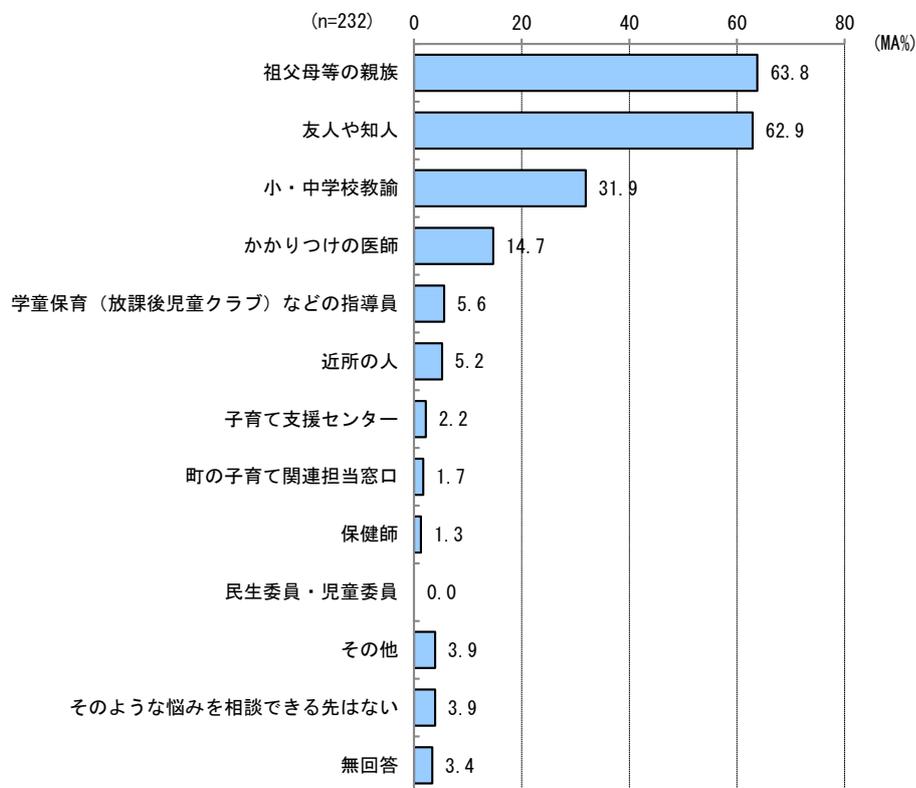


親族・知人に子どもをみてもらっている状況は、「親族や知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が56.8%と最も高く、次いで「親族や知人の身体的な負担が心配である」が25.2%、「親族や知人の時間的制約や精神的な負担が心配である」が20.4%となっています。

問 10-1 その他の内容	件数
ほとんど頼ることがない	1

(4) 子育てに関する相談先

問 11 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人は誰（どこ）ですか。
【〇はいくつでも】



子育てに関する相談先は、「祖父母等の親族」が63.8%と最も高く、次いで「友人や知人」が62.9%、「小・中学校教諭」が31.9%となっています。

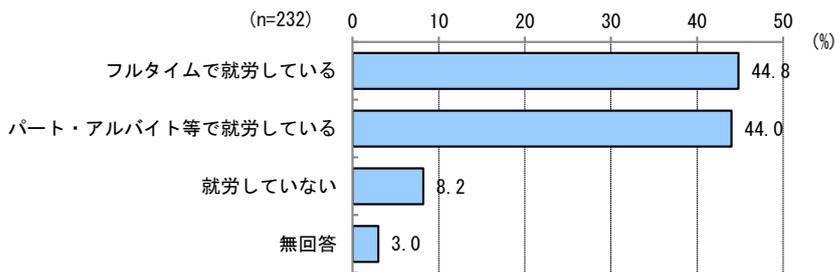
問 11 その他の内容	件数
療育の先生	1
気軽にはできない	1
主人	1
職場の同僚	1
兄弟	1
職場の先輩ママさんたち	1
カウンセリングの心理士さん	1
適応教室	1

3. 保護者の就労状況

(1) 母親・父親の現在の就労状況

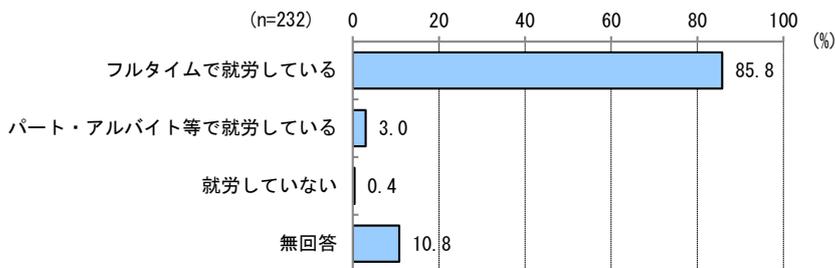
問 12 お子さんの母親・父親の現在の就労状況をお答えください。【それぞれ〇は1つ】
問 12-1 週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

【母親の就労状況】



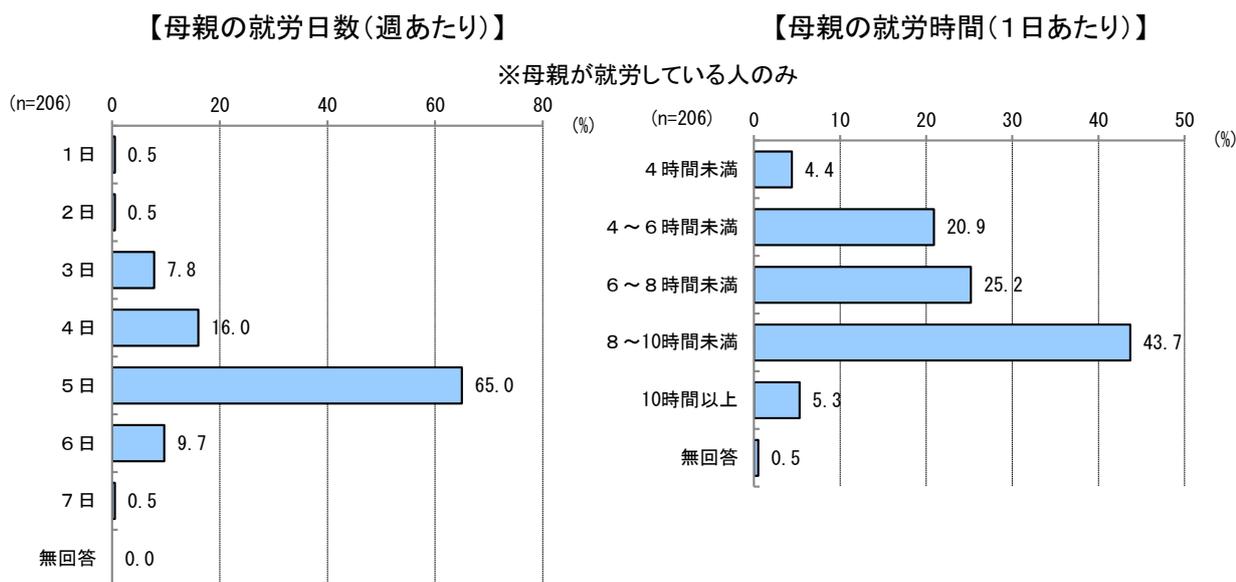
母親の就労状況は、「フルタイムで就労している」が44.8%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労している」が44.0%、「就労していない」が8.2%となっています。

【父親の就労状況】



父親の就労状況は、「フルタイムで就労している」が85.8%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労している」が3.0%、「就労していない」が0.4%となっています。

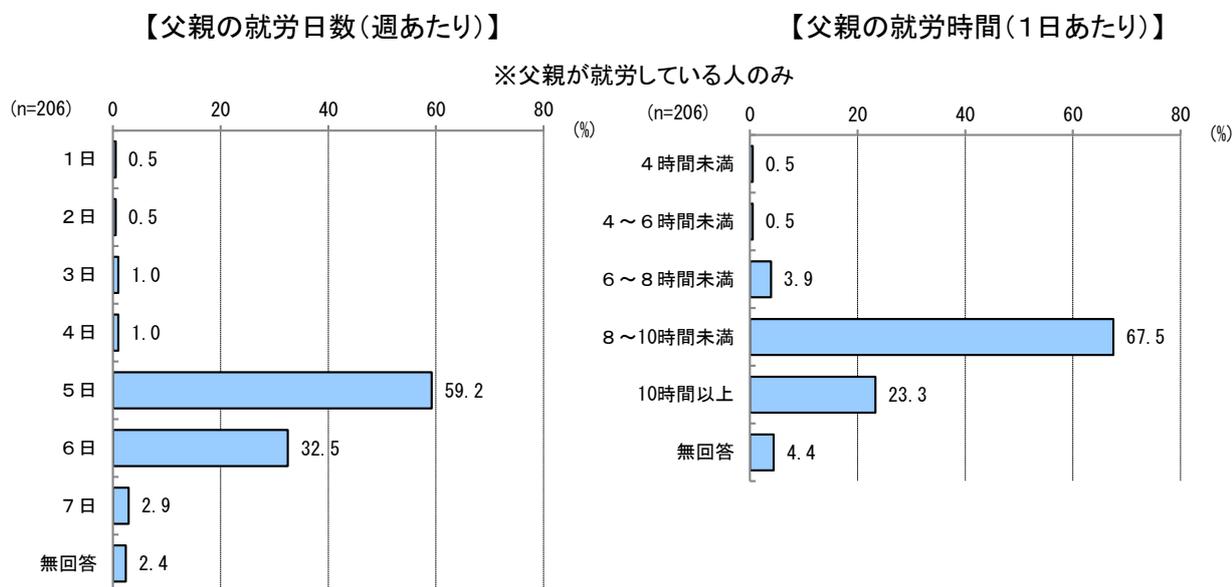
① 母親の週あたりの就労日数と1日あたりの就労時間(残業時間を含む)



母親の就労日数(週あたり)は、「5日」が65.0%と最も高く、次いで「4日」が16.0%、「6日」が9.7%となっています。

就労時間(1日あたり)は、「8～10時間未満」が43.7%と最も高く、次いで「6～8時間未満」が25.2%、「4～6時間未満」が20.9%となっています。

② 父親の週あたりの就労日数と1日あたりの就労時間(残業時間を含む)



父親の就労日数(週あたり)は、「5日」が59.2%と最も高く、次いで「6日」が32.5%、「7日」が2.9%となっています。

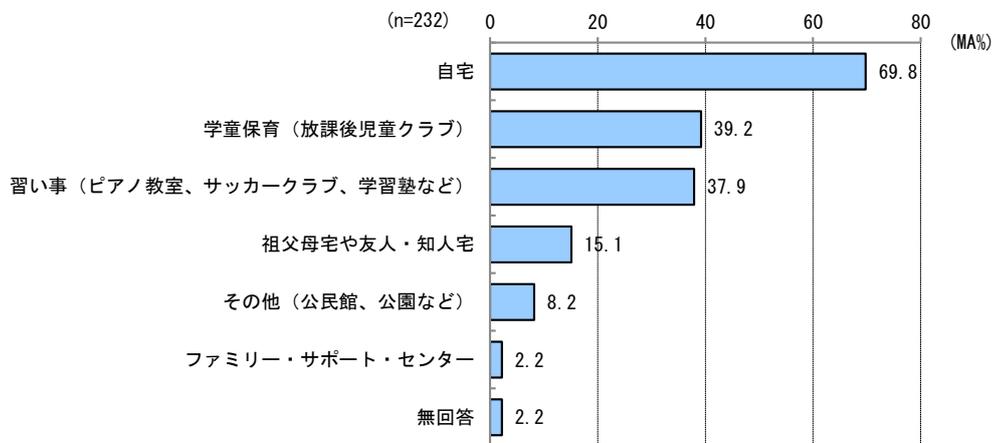
就労時間(1日あたり)は、「8～10時間未満」が67.5%と最も高く、次いで「10時間以上」が23.3%、「6～8時間未満」が3.9%となっています。

4. 子どもの放課後の過ごし方の希望

(1) 小学校低学年（1～3年生）の放課後の過ごし方の希望

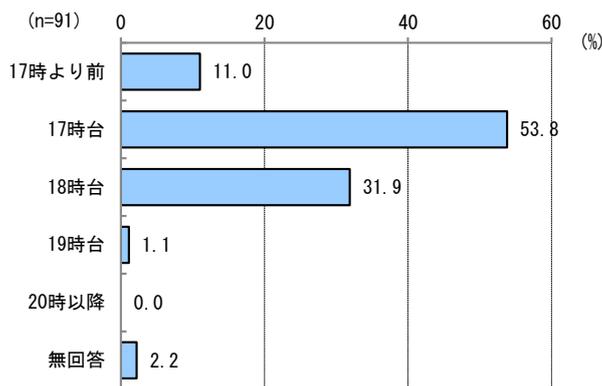
問 13 お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。お子さんが現在高学年・中学生の方は、お子さんが低学年のときにどのように過ごさせたかをお答えください。【〇はいくつでも】
 また、それぞれ希望する週あたり日数をご記入ください。「学童保育（放課後児童クラブ）」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。

【小学校低学年の放課後の過ごし方の希望】



【学童保育（放課後児童クラブ）の希望終了時間】

※学童保育（放課後児童クラブ）を希望する人のみ



小学校低学年の放課後の過ごし方の希望は、「自宅」が69.8%と最も高く、次いで「学童保育（放課後児童クラブ）」が39.2%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が37.9%となっています。

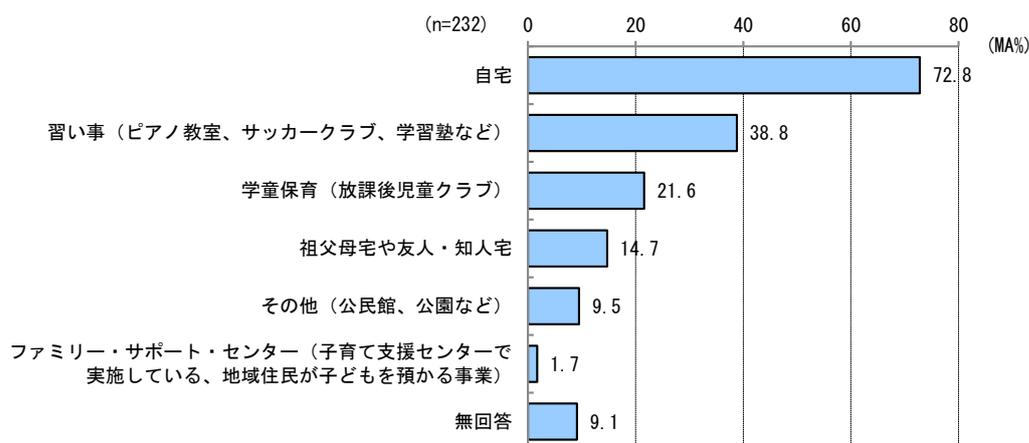
学童保育（放課後児童クラブ）の希望終了時間は、「17時台」が53.8%と最も高く、次いで「18時台」が31.9%、「17時より前」が11.0%となっています。

(2) 小学校高学年（4～6年生）の放課後の過ごし方の希望

問 14 お子さんについて、小学校高学年低学年（4～6年生）のときには、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。お子さんが現在中学生の方は、お子さんが低学年のときにどのように過ごさせたかったかをお答えください。【〇はいくつでも】

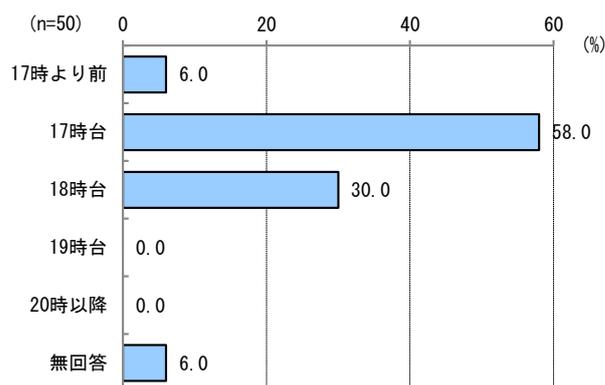
また、それぞれの週あたり日数をご記入ください。「学童保育（放課後児童クラブ）」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。

【小学校高学年の放課後の過ごし方の希望】



【学童保育(放課後児童クラブ)の希望終了時間】

※学童保育(放課後児童クラブ)を希望する人のみ



小学校高学年の放課後の過ごし方の希望は、「自宅」が72.8%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が38.8%、「学童保育（放課後児童クラブ）」が21.6%となっています。

学童保育（放課後児童クラブ）の希望終了時間は、「17時台」が58.0%と最も高く、次いで「18時台」が30.0%、「17時より前」が6.0%となっています。

【1週間の希望日数(放課後の居場所ごと)】

	全 体	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	無 回 答
自宅	169 100.0	6 3.6	18 10.7	29 17.2	19 11.2	81 47.9	16 9.5
祖父母宅や友人・知人宅	34 100.0	10 29.4	7 20.6	6 17.6	2 5.9	7 20.6	2 5.9
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	90 100.0	17 18.9	45 50.0	23 25.6	2 2.2	0 0.0	3 3.3
学童保育(放課後児童クラブ)	50 100.0	3 6.0	9 18.0	11 22.0	8 16.0	19 38.0	0 0.0
ファミリー・サポート・センター	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他(公民館、公園など)	22 100.0	5 22.7	9 40.9	2 9.1	2 9.1	2 9.1	2 9.1

上段：実数、下段：%

【(子どもの学年別)小学校高学年の放課後の過ごし方の希望】

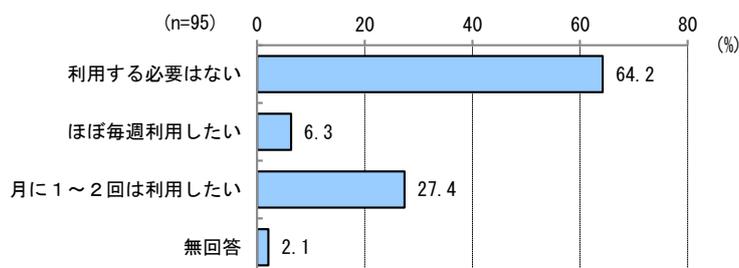
	全 体	自 宅	知 人 宅	祖 父 母 宅 や 友 人 ・	習 い 事 (ピ ア ノ 教 室 、 サ ッ カ ー ク ラ ブ 、 学 習 塾 な ど)	学 童 保 育 (放 課 後 児 童 ク ラ ブ)	フ ア ミ リ ー ・ セ ン タ ー	そ の 他 (公 民 館 、 公 園 な ど)	無 回 答
全 体	232 100.0	169 72.8	34 14.7	90 38.8	50 21.6	4 1.7	22 9.5	21 9.1	
低学年	89 100.0	59 66.3	11 12.4	31 34.8	29 32.6	3 3.4	8 9.0	14 15.7	
高学年	73 100.0	60 82.2	10 13.7	32 43.8	11 15.1	0 0.0	8 11.0	3 4.1	
中学生	70 100.0	50 71.4	13 18.6	27 38.6	10 14.3	1 1.4	6 8.6	4 5.7	

上段：実数、下段：%

(3) 土曜日、日曜日・祝日の学童保育（放課後児童クラブ）の利用希望

問 15 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育（放課後児童クラブ）の利用希望はありますか。【それぞれ○は1つ】
また、利用を希望する開始時間・終了時間もお答えください。

【土曜日の学童保育(放課後児童クラブ)の利用希望】

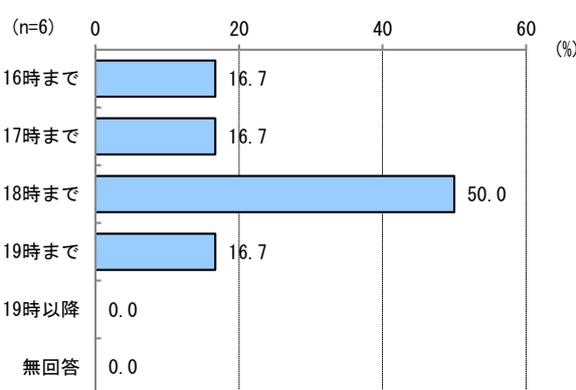
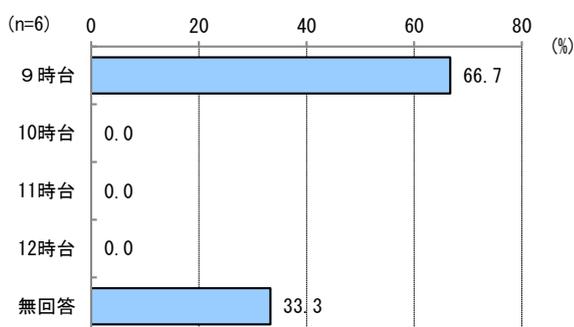


土曜日の学童保育（放課後児童クラブ）の利用希望は、「利用する必要はない」が64.2%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が27.4%、「ほぼ毎週利用したい」が6.3%となっています。

【土曜日の希望開始時間】

【土曜日の希望終了時間】

※ほぼ毎週利用したい人のみ



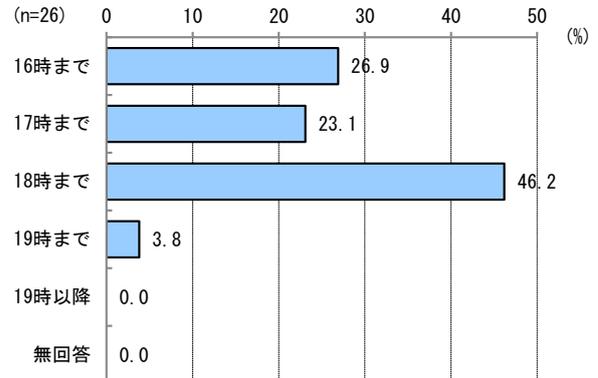
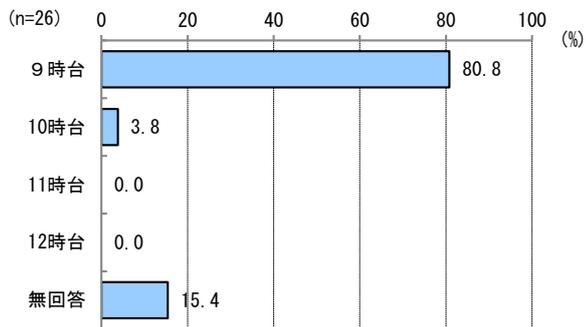
ほぼ毎週利用したい人の土曜日の希望開始時間は、「9時台」が66.7%となっています。

ほぼ毎週利用したい人の土曜日の希望終了時間は、「18時まで」が50.0%と最も高く、次いで「16時まで」「17時まで」「19時まで」がともに16.7%となっています。

【土曜日の希望開始時間】

【土曜日の希望終了時間】

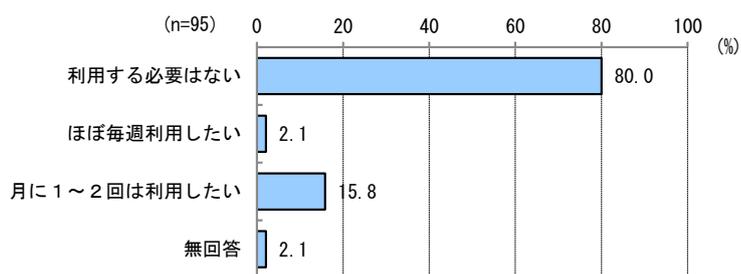
※月に1～2回利用したい人のみ



月に1～2回利用したい人の土曜日の希望開始時間は、「9時台」が80.8%、「10時台」が3.8%となっています。

月に1～2回利用したい人の土曜日の希望終了時間は、「18時まで」が46.2%と最も高く、次いで「16時まで」が26.9%、「17時まで」が23.1%となっています。

【日曜日・祝日の学童保育(放課後児童クラブ)の利用希望】

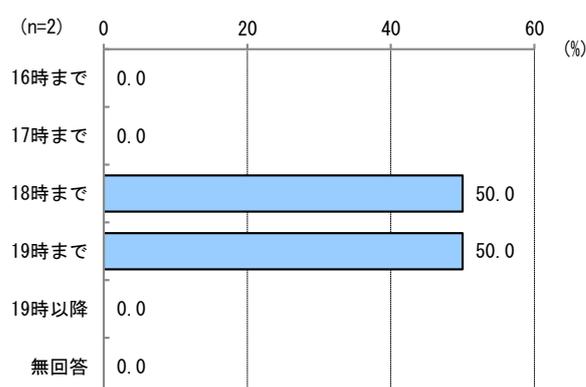
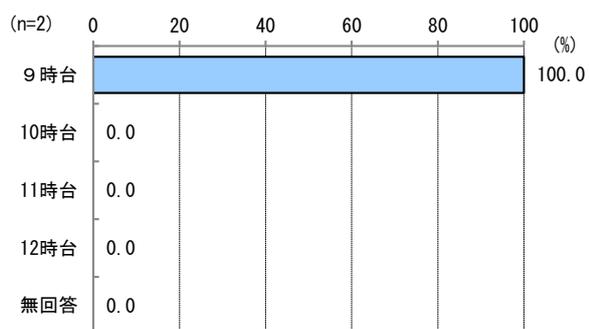


日曜日・祝日の学童保育（放課後児童クラブ）の利用希望は、「利用する必要はない」が80.0%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が15.8%、「ほぼ毎週利用したい」が2.1%となっています。

【日曜日・祝日の希望開始時間】

【日曜日・祝日の希望終了時間】

※ほぼ毎週利用したい人のみ



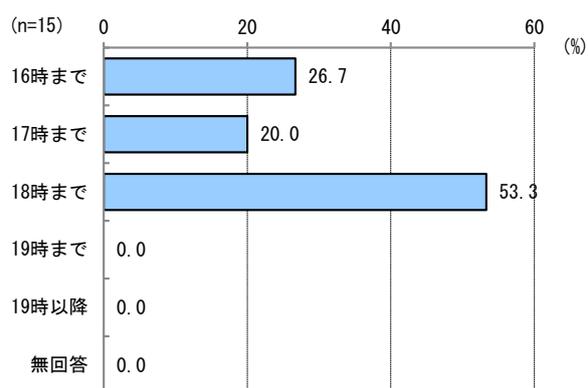
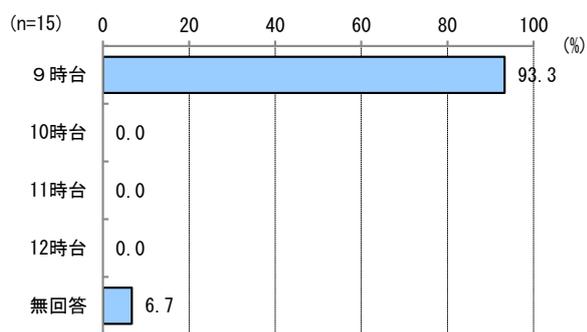
ほぼ毎週利用したい人の日曜日・祝日の希望開始時間は、「9時台」が100.0%となっています。

ほぼ毎週利用したい人の日曜日・祝日の希望終了時間は、「18時まで」「19時まで」がともに50.0%となっています。

【日曜日・祝日の希望開始時間】

【日曜日・祝日の希望終了時間】

※月に1～2回利用したい人のみ

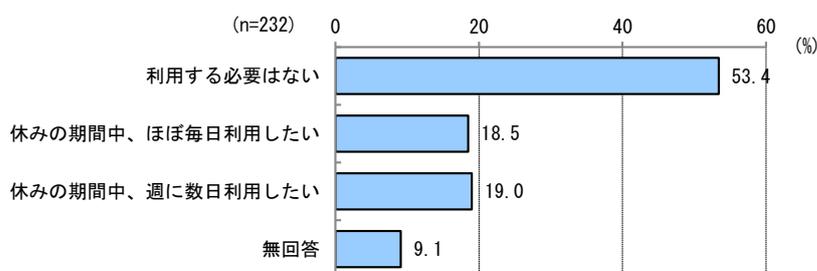


月に1～2回利用したい人の日曜日・祝日の希望開始時間は、「9時台」が93.3%となっています。
 月に1～2回利用したい人の日曜日・祝日の希望終了時間は、「18時まで」が53.3%と最も高く、
 次いで「16時まで」が26.7%、「17時まで」が20.0%となっています。

(4) 長期休暇中の学童保育（放課後児童クラブ）の利用希望

問 16 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育（放課後児童クラブ）の利用希望はありますか。【〇は1つ】
また、利用を希望する開始時間・終了時間もお答えください。

【長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望】

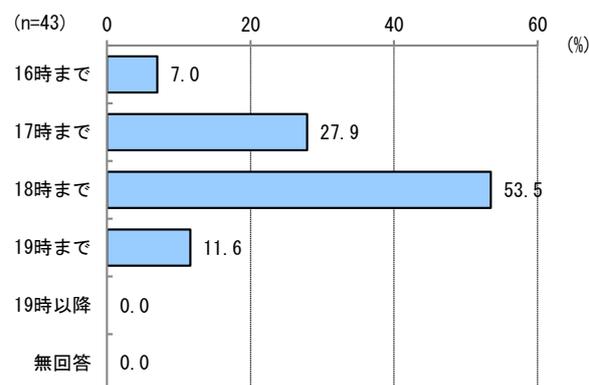
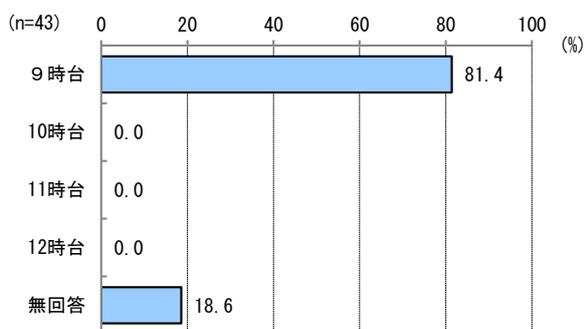


長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望は、「利用する必要はない」が53.4%と最も高く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」が19.0%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が18.5%となっています。

【長期休暇中の希望開始時間】

【長期休暇中の希望終了時間】

※ほぼ毎日利用したい人のみ

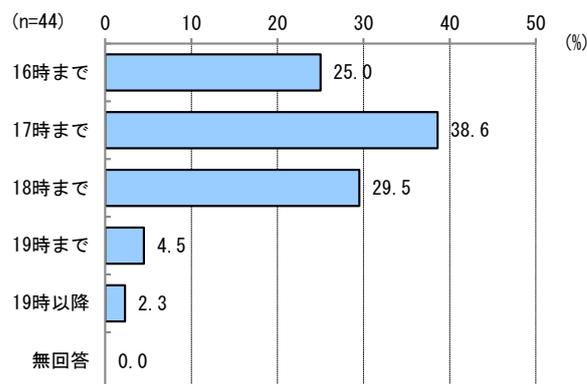
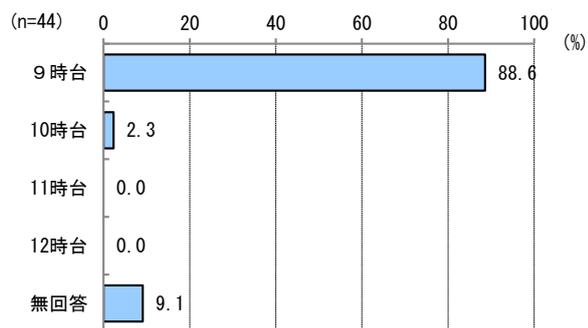


ほぼ毎日利用したい人の長期休暇中の希望開始時間は、「9時台」が81.4%となっています。
ほぼ毎日利用したい人の長期休暇中の希望終了時間は、「18時まで」が53.5%と最も高く、次いで「17時まで」が27.9%、「19時まで」が11.6%となっています。

【長期休暇中の希望開始時間】

【長期休暇中の希望終了時間】

※週に2～3日利用したい人のみ



週に2～3日利用したい人の長期休暇中の希望開始時間は、「9時台」が88.6%、「10時台」が2.3%となっています。

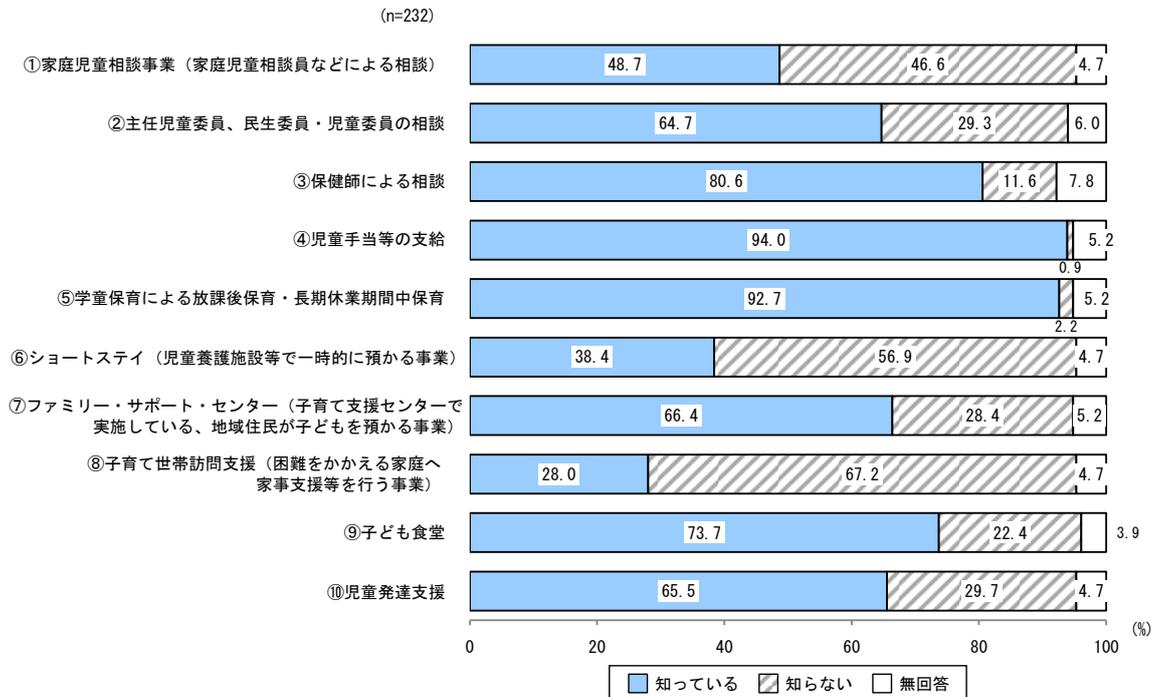
週に2～3日利用したい人の長期休暇中の希望終了時間は、「17時まで」が38.6%と最も高く、次いで「18時まで」が29.5%、「16時まで」が25.0%となっています。

5. 地域子育て支援拠点事業の利用状況

(1) 地域の子育て支援事業の認知度、利用状況、利用意向

問 17 地域の子育て支援事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものはありますか。

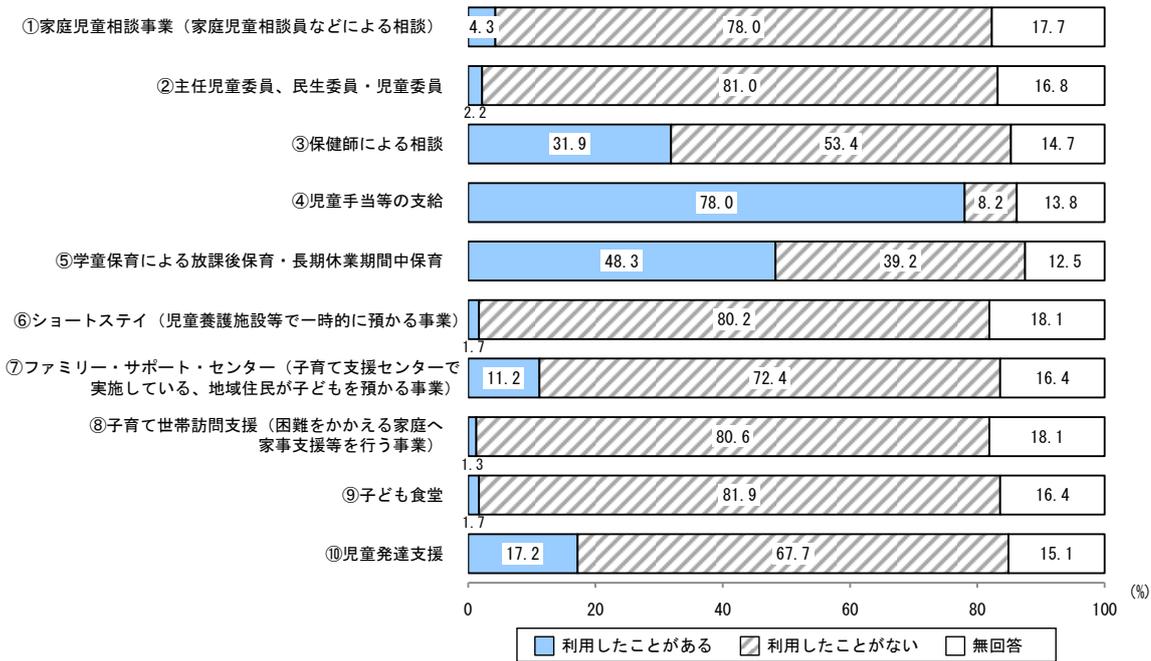
【地域の子育て支援事業の認知度】



地域の子育て支援事業の認知度は、④児童手当等の支給の「知っている」が94.0%と最も高い一方で、⑧子育て世帯訪問支援は、「知らない」が67.2%と認知度は低くなっています。

【地域の子育て支援事業の利用状況】

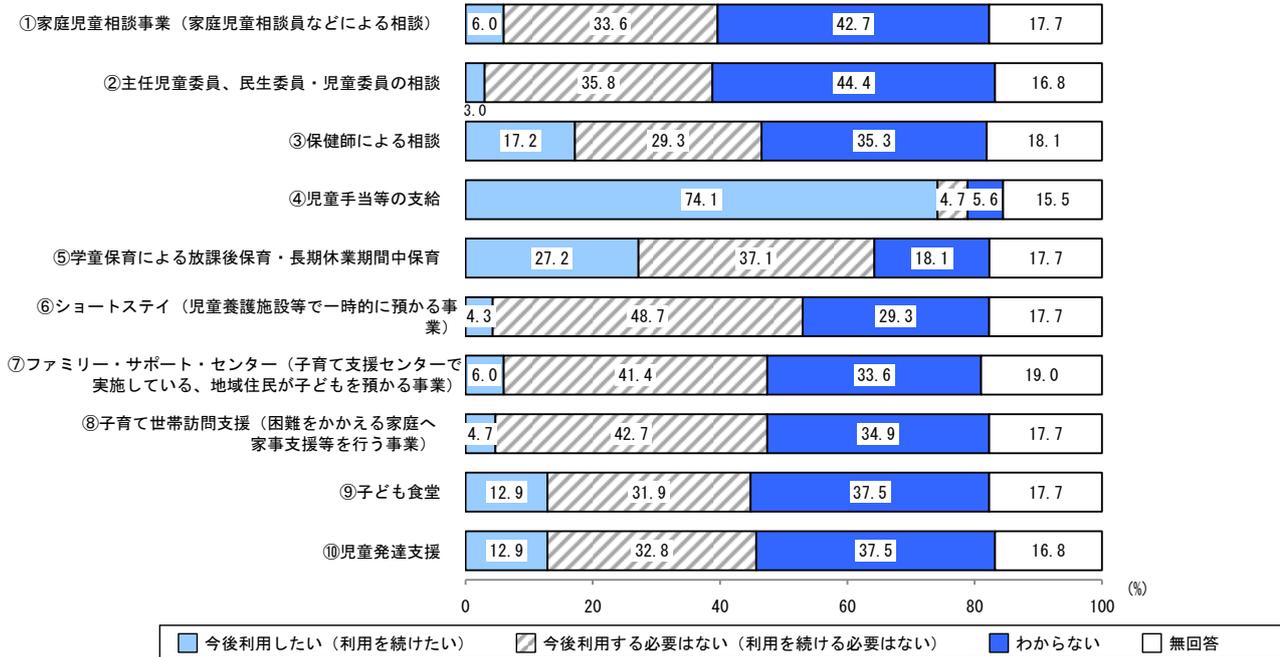
(n=232)



地域の子育て支援事業の利用状況は、④児童手当等の支給の「利用したことがある」が78.0%と最も高い一方で、⑨子ども食堂は、「利用したことがない」が81.9%と利用度は低くなっています。

【地域の子育て支援事業の利用意向】

(n=232)



地域の子育て支援事業の利用意向は、④児童手当等の支給の「今後利用したい (利用を続けたい)」が74.1%と最も高い一方で、⑥ショートステイは、「今後利用する必要はない (利用を続ける必要はない)」が48.7%と利用意向は低くなっています。

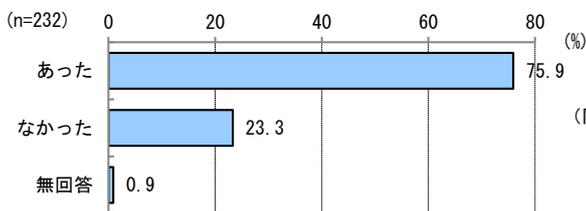
6. 子どもが病気やケガの際の対応

(1) 病気やケガで学校を休んだ経験の有無とその際の対応

問 18 この1年間に、お子さんが病気やケガで小・中学校を休まなければならなかったことはありますか。【〇は1つ】

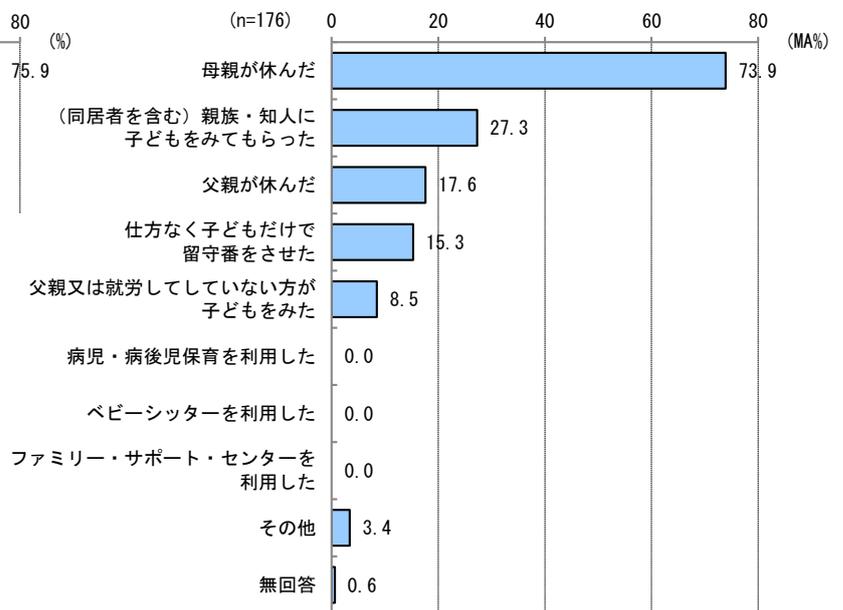
問 18-1 お子さんが病気やケガで小・中学校を休まなければならなかったときに、この1年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに〇をつけ、それぞれの日数もご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

【病気やケガで学校を休んだ経験の有無】



【休んだときの対応】

※病気やケガで学校を休んだことがある人のみ



病気やケガで学校を休んだ経験の有無は、「あった」が75.9%、「なかった」が23.3%となっています。

休んだときの対応は、「母親が休んだ」が73.9%と最も高く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が27.3%、「父親が休んだ」が17.6%となっています。

問 18-1 その他の内容	件数
祖母がみた	2
仕事しながらみた (自営業含む)	2
たまたま休みだった父親にみてもらった	1

【病気やケガで学校を休んだ日数(対応ごと)】

※病気やケガで学校を休んだことがある人のみ

	全 体	5 日 未 満	5 ～ 9 日	1 0 ～ 1 9 日	2 0 ～ 2 9 日	3 0 日 以 上	無 回 答
父親が休んだ	31 100.0	25 80.6	4 12.9	2 6.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
母親が休んだ	130 100.0	75 57.7	31 23.8	14 10.8	1 0.8	1 0.8	8 6.2
(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	48 100.0	32 66.7	6 12.5	3 6.3	0 0.0	1 2.1	6 12.5
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	15 100.0	9 60.0	6 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
病児・病後児保育を利用した	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
ベビーシッターを利用した	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
ファミリー・サポート・センターを利用した	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	27 100.0	16 59.3	4 14.8	0 0.0	0 0.0	1 3.7	6 22.2
その他	6 100.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 50.0

上段：件数、下段：%

【(子どもの学年別)休んだときの対応】

	全 体	父 親 が 休 ん だ	母 親 が 休 ん だ	親 族 ・ 知 人 に 子 ど も を み て ら つ た	(同 居 者 を 含 む) 子 ど も を み た	父 親 又 は 母 親 の 方 が 就 労 し て い な い	利 用 し た	利 用 し た	・ フ ア ミ リ ー ・ サ ポ ー ト を 利 用 し た	留 守 番 を さ せ た	仕 方 な く 子 ど も だ け で	そ の 他	無 回 答
全 体	176 100.0	31 17.6	130 73.9	48 27.3	15 8.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	27 15.3	6 3.4	1 0.6	
低学年	69 100.0	19 27.5	56 81.2	19 27.5	6 8.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 4.3	2 2.9	0 0.0	
高学年	60 100.0	9 15.0	45 75.0	19 31.7	2 3.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10 16.7	2 3.3	1 1.7	
中学生	47 100.0	3 6.4	29 61.7	10 21.3	7 14.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 29.8	2 4.3	0 0.0	

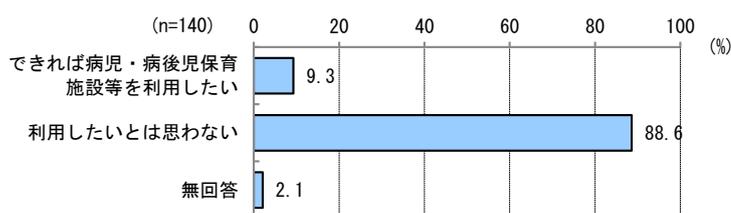
上段：実数、下段：%

(2) 病児・病後児保育施設等の利用希望

問 18-2 父親もしくは母親が休んだ際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数についてもご記入ください。

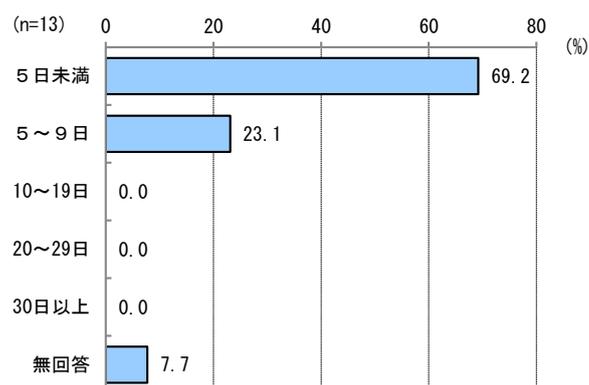
問 18-3 病児・病後児のための保育施設等を利用したくないと思われる理由は何ですか。【○はいくつでも】

【病児・病後児保育施設等の利用希望】



【利用希望日数(年間)】

※病児・病後児保育施設等を利用したいと思った人のみ

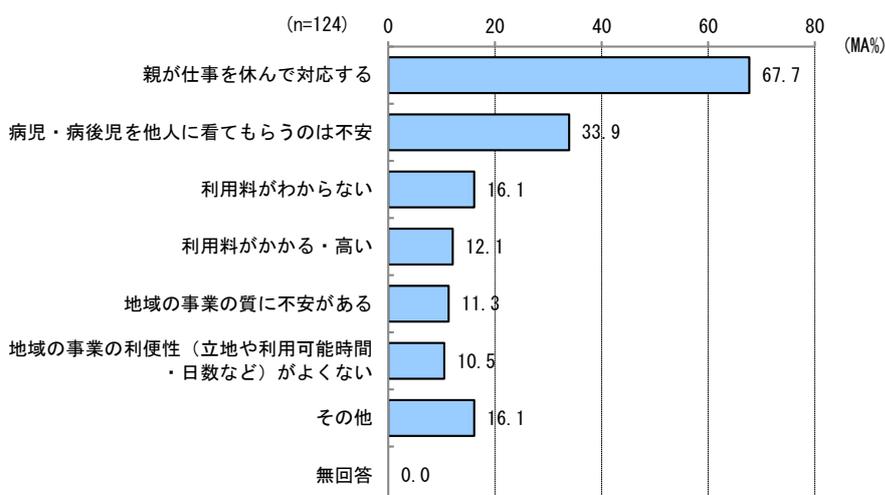


病児・病後児保育施設等の利用希望は、「利用したいとは思わない」が88.6%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が9.3%となっています。

希望利用日数(年間)は、「5日未満」が69.2%、「5～9日」が23.1%となっています。

【病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由】

※病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない人のみ



病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は、「親が仕事を休んで対応する」が67.7%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が33.9%、「利用料がわからない」「その他」がともに16.1%となっています。

問 18-3 その他の内容	件数
子どもが嫌がるから	5
子どもがひとりでも安静に寝てくれる年齢になったから	3
病児・病後児のための保育施設等の利用方法がわからない	2
子どもは自分で看たいから	2
他の子どもにうつるから	2
利用前の病院の受診や診断書など手間がかかるから	2
治っているから	1
子どもが安心するから	1
手続きしている時間がない	1
利用に制限があったりする	1
事前に登録しておかなければならなかったり、他の人にうつす(ほとんどの病気が当てはまるので、逆に何が利用できるのか教えてほしい)可能性がある場合は対応してもらえない	1
両親・兄弟でなんとかなる	1
今日(発熱)病気になったから預けたいと思っても無理、病院で受診してその後(翌日とか)からになるので、今のところ希望とマッチしていない、病気の子どもの不安だろうし自宅でないので休めない	1
子どもがゆっくり出来なさそう	1

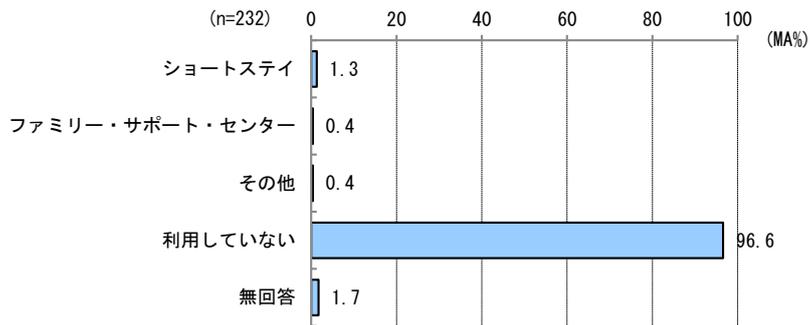
7. 一時預かり等の事業の利用状況

(1) 不定期の一時預かり等の事業の利用状況（この1年間）

問 19 この1年間に、親のリフレッシュや通院、不定期の就労により、一時預かりなどのサービスを利用したことはありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）もご記入ください。

問 19-1 現在利用していない理由は何ですか。【○はいくつでも】

【不定期に利用している事業(この1年間)】



不定期に利用している事業（この1年間）は、「利用していない」を除くと、「ショートステイ」が1.3%と最も高く、次いで「ファミリー・サポート・センター」「その他」が0.4%となっています。

問 19 利用しているその他の事業	件数
日中一時支援	1

【年間利用日数(事業ごと)】

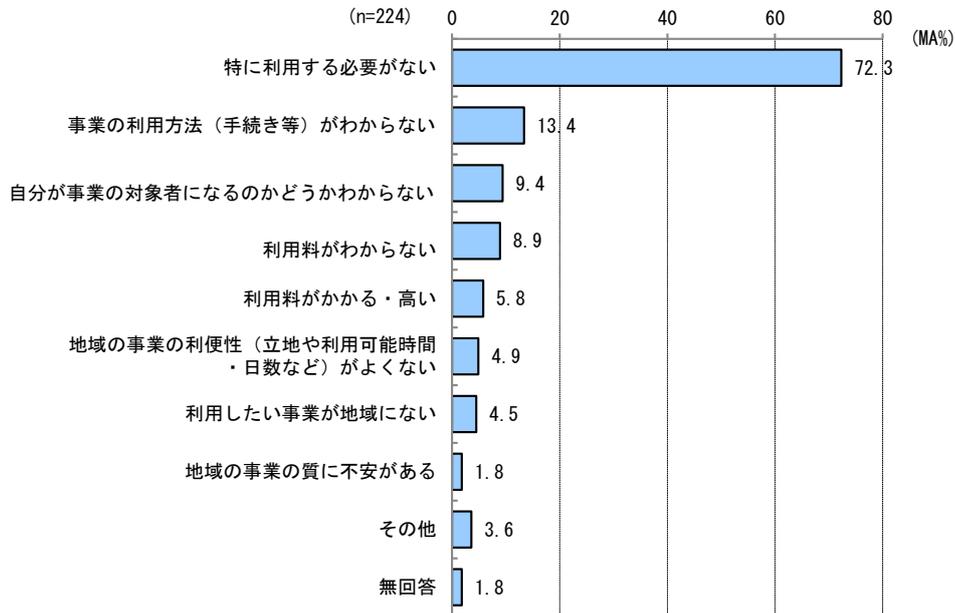
※不定期に事業を利用している人のみ

	全 体	5 日 未 満	5 日 未 満	1 0 日 未 満	2 0 日 未 満	3 0 日 未 満	無 回 答
ファミリー・サポート・センター	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
ショートステイ	3 100.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

上段：件数、下段：%

【利用していない理由】

※不定期に教育・保育事業を利用していない人のみ



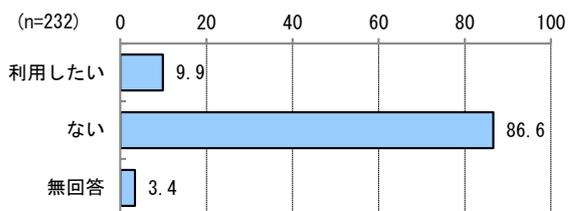
不定期に事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が72.3%と最も高く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が13.4%、「自分が事業の対象になるのかわからない」が9.4%となっています。

問 19-1 利用していない理由 その他の内容	件数
知らなかった	2
一時預かりでリフレッシュできる状況ではない	1
中3なので1人ですごせるため	1
祖母がみてくれる	1
急なことが多いため対応ができないと思うので、利用していないしできない	1
利用するための事前手続きが面倒、休日は子どもとの時間を大切にすべきだと思っている、子どもがわがママを言って迷惑をかけるかもしれないので	1

(2) 不定期の一時預かり等の事業の利用希望、利用の目的

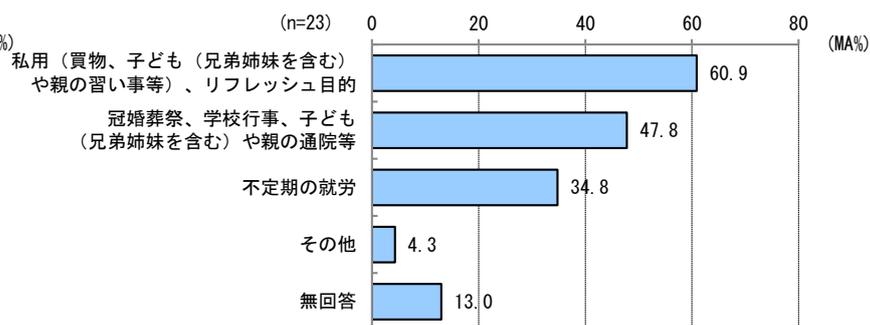
問 20 お子さんについて、一時預かりなどのサービスを年間何日くらい利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数をご記入ください。)

【不定期な一時預かり等の事業の利用希望】



【一時預かり等の事業の利用目的】

※不定期な一時預かり等の事業を利用したい人のみ



不定期な一時預かり等の事業の利用希望は、「ない」が86.6%、「利用したい」が9.9%となっています。

一時預かり等の事業の利用目的は、「私用 (買物、子ども (兄弟姉妹を含む) や親の習い事等)、リフレッシュ目的」が60.9%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども (兄弟姉妹を含む) や親の通院等」が47.8%、「不定期の就労」が34.8%となっています。

問 20 その他の内容	件数
帰省のため	1

【年間利用希望日数(利用目的ごと)】

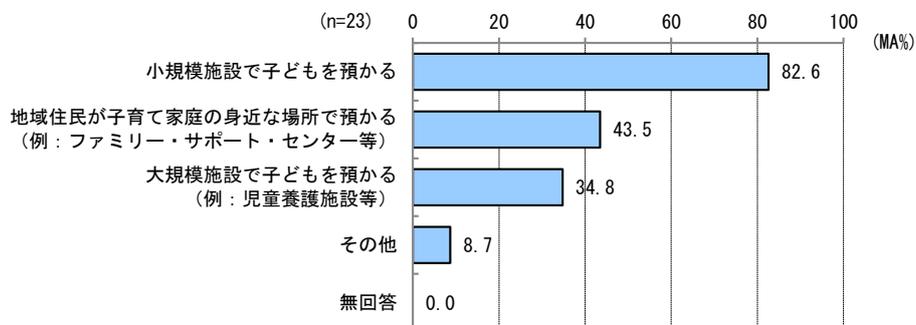
※不定期な一時預かり等の事業を利用したい人のみ

	全 体	5 日 未 満	5 ~ 9 日	1 0 ~ 1 9 日	2 0 ~ 2 9 日	3 0 日 以 上	無 回 答
私用 (買物、子ども (兄弟姉妹を含む) や親の習い事等)、リフレッシュ目的	14 100.0	8 57.1	1 7.1	4 28.6	1 7.1	0 0.0	0 0.0
冠婚葬祭、学校行事、子ども (兄弟姉妹を含む) や親の通院等	11 100.0	5 45.5	3 27.3	3 27.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
不定期の就労	8 100.0	2 25.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 37.5
その他	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
合計日数 (年間)	20 100.0	3 15.0	4 20.0	5 25.0	1 5.0	3 15.0	4 20.0

上段：実数、下段：%

(3) 不定期の一時預かり等の事業として希望する事業形態

問 20-1 問 20 の目的でお子さんを預ける場合、いずれの事業形態が望ましいと思いますか。
【〇はいくつでも】



一時預かり等の事業の利用目的で、子どもを預ける場合に希望する事業形態は、「小規模施設で子どもを預かる」が 82.6%と最も高く、次いで「地域住民が子育て家庭の身近な場所で預かる（例：ファミリー・サポート・センター等）」が 43.5%、「大規模施設で子どもを預かる（例：児童養護施設等）」が 34.8%となっています。

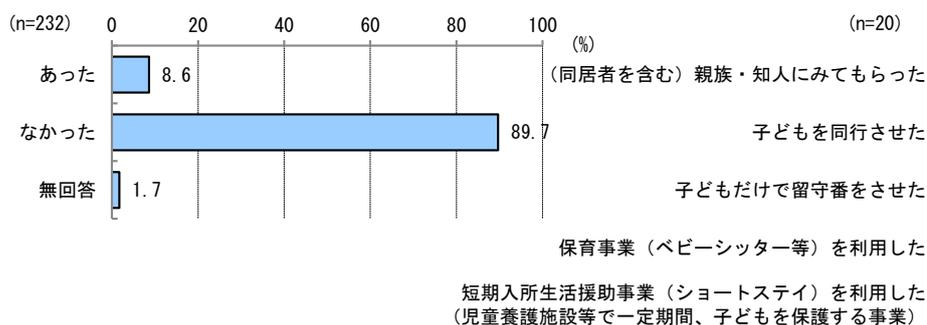
問 20-1 その他の内容	件数
障害児短期入所施設	2

(4) 保護者の用事による泊りがけでの一時預かりなどの対応

問 21 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数もご記入ください。

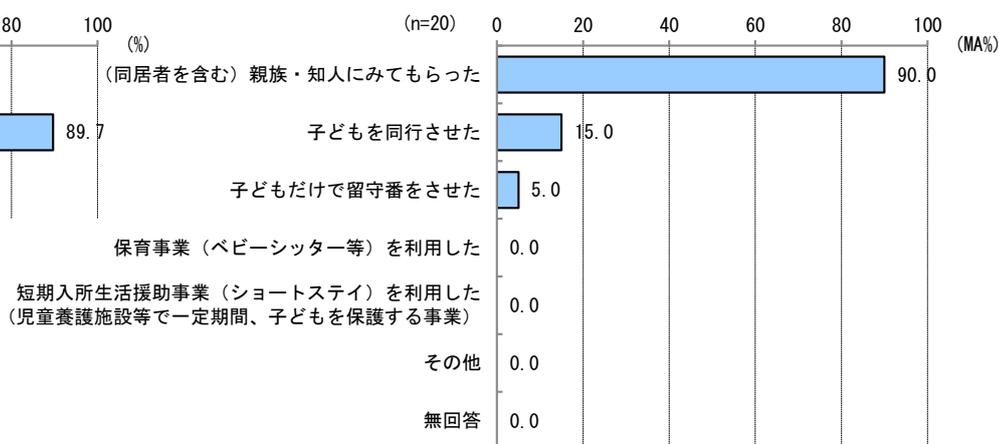
問 21-1 （同居者を含む）親族・知人にみてもらった場合の頼みやすさはどの程度でしたか。【○は1つ】

【泊りがけでの預かりの有無(この1年間)】



【1年間の対処方法(預け先)】

※泊りがけでの預かりがあった人のみ



泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったかの有無については、「なかった」が89.7%、「あった」が8.6%となっています。

1年間の対処方法（預け先）は、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が90.0%と最も高く、次いで「子どもを同行させた」が15.0%、「子どもだけで留守番をさせた」が5.0%となっています。

【泊りがけで預けた日数】

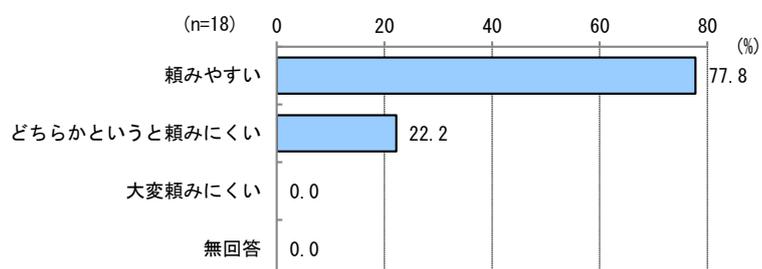
※泊りがけでの預かりがあった人のみ

	全 体	5 泊 未 満	5 ～ 9 泊	1 0 ～ 1 9 泊	2 0 ～ 2 9 泊	3 0 泊 以 上	無 回 答
(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	18 100.0	11 61.1	4 22.2	1 5.6	1 5.6	0 0.0	1 5.6
保育授業（ベビーシッター等）を利用した	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
子どもを同行させた	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
子どもだけで留守番をさせた	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

上段：件数、下段：%

【親族・知人への頼みやすさ】

※(同居者を含む)親族・知人にみてもらった人のみ

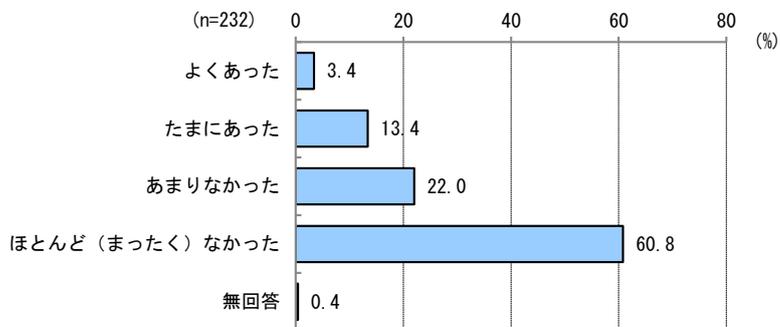


(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった場合の頼みやすさは、「頼みやすい」が 77.8%、「どちらかというと頼みにくい」が 22.2%となっています。

8. 暮らしの状況

(1) 子どもに必要なものが買えなかった状況の頻度

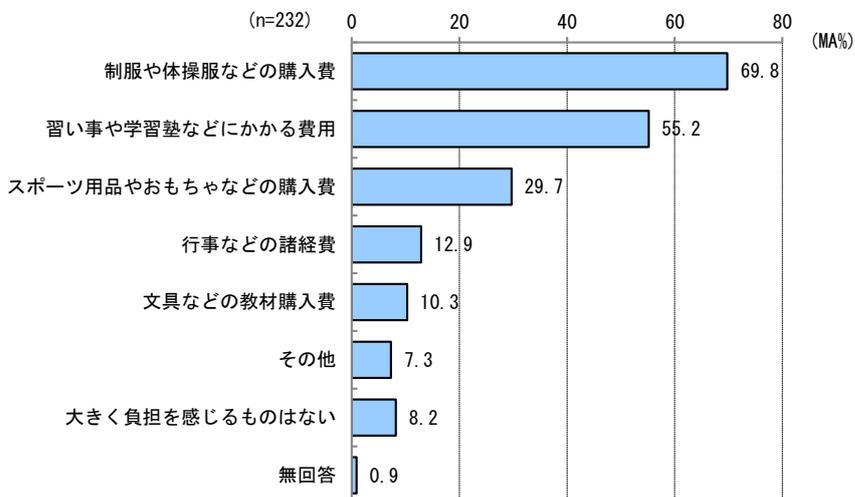
問 22 過去1年間に、経済的な理由で、お子さんに必要なものが買えなくて困ったことがありましたか。【〇は1つ】



過去1年間に、経済的な理由で、子どもに必要なものが買えなくて困ったことは、「ほとんど（まったく）なかった」が60.8%と最も高く、次いで「あまりなかった」が22.0%、「たまにあった」が13.4%となっています。

(2) 経済的負担が大きいと感じる子どもにかかる費用

問 23 お子さんにかかる費用のうち、経済的に負担が大きいと感じるものは何ですか。
【〇はいくつでも】



子どもにかかる費用のうち、経済的に負担が大きいと感じるものは、「制服や体操服などの購入費」が 69.8%と最も高く、次いで「習い事や学習塾などにかかる費用」が 55.2%、「スポーツ用品やおもちゃなどの購入費」が 29.7%となっています。

問 23 その他の内容	件数
食費	5
生活用品(服・靴・その他諸々)	3
歯列矯正	2
通学用自転車	2
給食費	1
食費、交通費	1
アレルギー対応の食品の購入費	1
部活のための用具	1

【(子どもの学年別)経済的負担が大きいと感じる子どもにかかる費用】

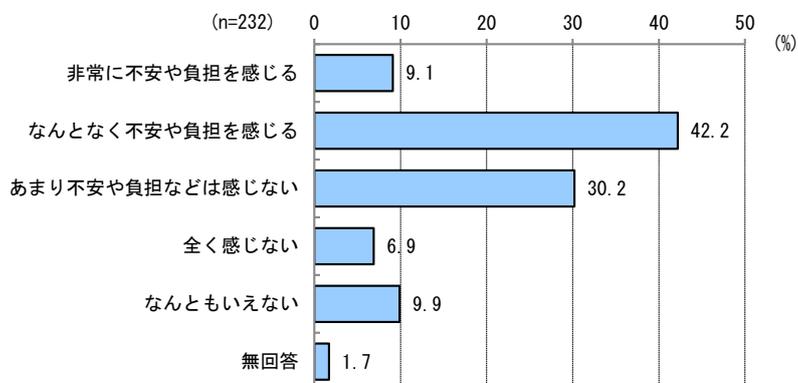
	全 体	行 事 な ど の 諸 経 費	文 具 な ど の 教 材 購 入 費	購 制 入 費 服 や 体 操 服 な ど の	か 習 い 事 や 学 習 塾 な ど に か か る 費 用	お ス ポ ー ツ 用 品 や お も ち や な ど の 購 入 費	そ の 他	も 大 き く 負 担 を 感 じ る の は な い	無 回 答
全 体	232 100.0	30 12.9	24 10.3	162 69.8	128 55.2	69 29.7	17 7.3	19 8.2	2 0.9
低学年	89 100.0	11 12.4	13 14.6	64 71.9	47 52.8	29 32.6	8 9.0	6 6.7	1 1.1
高学年	73 100.0	9 12.3	3 4.1	51 69.9	42 57.5	14 19.2	3 4.1	6 8.2	1 1.4
中学生	70 100.0	10 14.3	8 11.4	47 67.1	39 55.7	26 37.1	6 8.6	7 10.0	0 0.0

上段：実数、下段：%

9. 子育ての不安や悩み

(1) 子育てに関する不安感や負担などの感じ方

問 24 子育てに関して不安感や負担などはお感じですか。【〇は1つ】



子育てに関して不安感や負担などを感じているかについては、「なんとなく不安や負担を感じる」が42.2%と最も高く、次いで「あまり不安や負担などは感じない」が30.2%、「なんともいえない」が9.9%となっています。

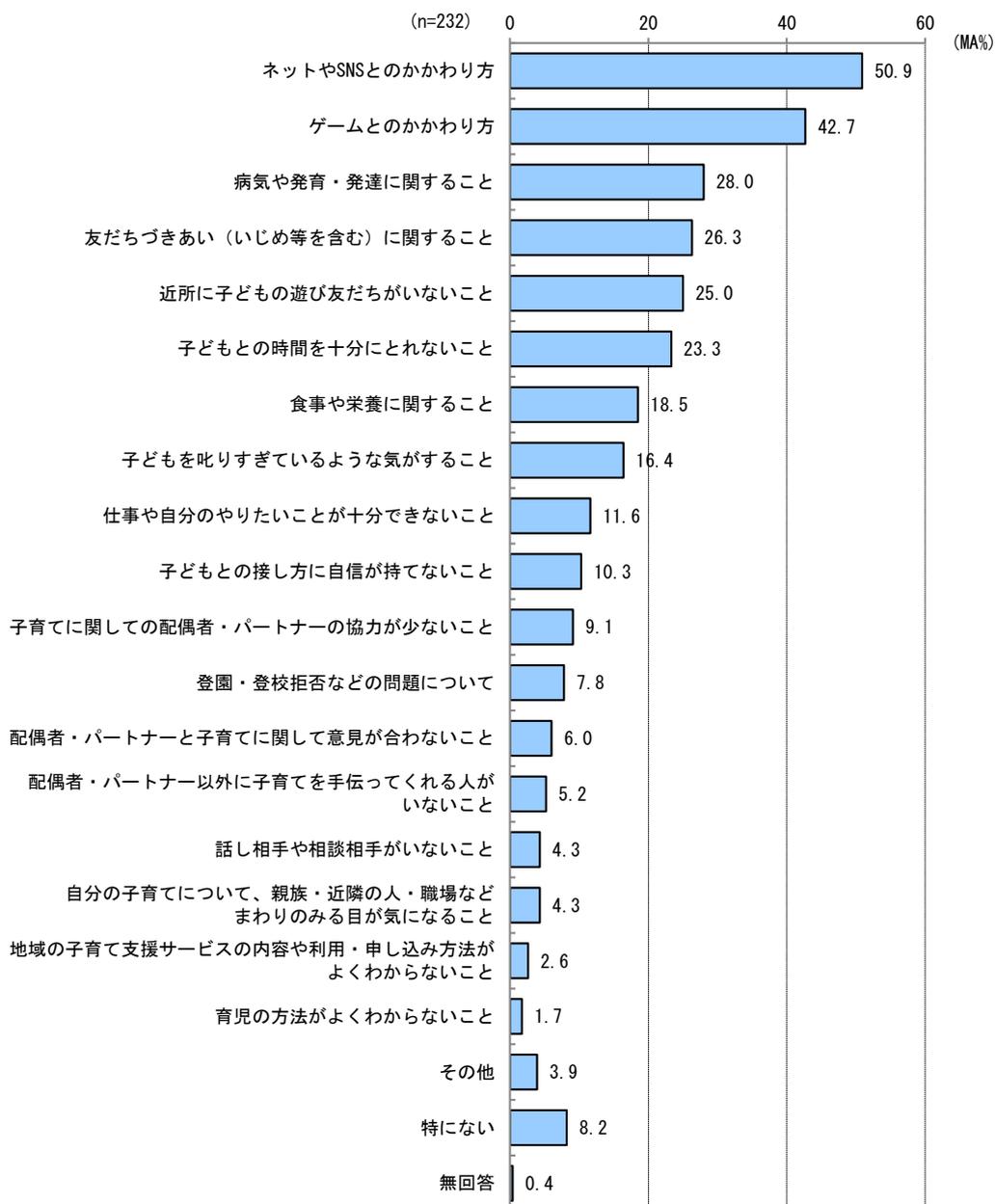
【(子どもの学年別)子育てに関する不安感や負担などの感じ方】

	全 体	感 非 常 に 不 安 や 負 担 を 感 じ る	負 な ん と な く 不 安 や 負 担 を 感 じ る	は あ ま り 不 安 や 負 担 な ど を 感 じ な い	全 く 感 じ な い	な ん と も い え な い	無 回 答
全 体	232 100.0	21 9.1	98 42.2	70 30.2	16 6.9	23 9.9	4 1.7
低学年	89 100.0	10 11.2	45 50.6	24 27.0	4 4.5	5 5.6	1 1.1
高学年	73 100.0	3 4.1	30 41.1	20 27.4	6 8.2	13 17.8	1 1.4
中学生	70 100.0	8 11.4	23 32.9	26 37.1	6 8.6	5 7.1	2 2.9

上段：実数、下段：%

(2) 子育てに関して悩んでいることや気になること

問 25 子育てに関して、日頃悩んでいること、また気になることはどのようなことですか。
【〇はいくつでも】



子育てに関して、日頃悩んでいることや気になることは、「ネットやSNS とのかかわり方」が 50.9%と最も高く、次いで「ゲームとのかかわり方」が 42.7%、「病気や発育・発達に関すること」が 28.0%となっています。

問 25 その他の内容	件数
勉強をしない	1
子どもの将来(進学・進路など)、佐用では難しいことが多い	1
親の体力的な事でのサポート不足	1
勉強	1
子どもが心の不調で学校を時々休むが、その時に義母から「学校は行かないといけない!」「行かせろ!」と責められるのがしんどい	1
地域の環境	1
この先の進学への学費	1
発語がなく知的重度なので手探りでしか接することができなくてストレス	1

【(子どもの学年別)子育てに関して悩んでいることや気になること】

	全 体	病 気 や 発 育 ・ 発 達 に 関 する こ と	食 事 や 栄 養 に 関 する こ と	よ く わ か ら な い こ と	自 信 が 持 て な い こ と	子 ど も の 接 し 方 に 関 する こ と	十 分 に と れ な い こ と	話 し 合 い や 相 談 相 手 が い な い こ と	こ と が 十 分 で き な い こ と				
全 体	232 100.0	65 28.0	43 18.5	4 1.7	24 10.3	54 23.3	10 4.3	27 11.6					
低学年	89 100.0	36 40.4	22 24.7	3 3.4	10 11.2	27 30.3	5 5.6	15 16.9					
高学年	73 100.0	17 23.3	13 17.8	1 1.4	3 4.1	17 23.3	2 2.7	4 5.5					
中学生	70 100.0	12 17.1	8 11.4	0 0.0	11 15.7	10 14.3	3 4.3	8 11.4					
	全 体	友 だ ち が い な い こ と	近 所 に 子 ど も の 遊 び 場 が な い こ と	を 含 む に 関 する こ と	登 園 に つ い て 拒 否 な ど の こ と	協 力 が 少 な い こ と	配 偶 者 に 関 する こ と	合 わ な い こ と	こ と	親 族 の 近 所 に 住 む こ と	自 分 の 子 ど も の 目 が 気 に な る こ と	子 ど も の 手 伝 い な い こ と	配 偶 者 を 手 伝 い な い こ と
全 体	232 100.0	58 25.0	61 26.3	18 7.8	21 9.1	14 6.0	10 4.3	12 5.2					
低学年	89 100.0	31 34.8	22 24.7	8 9.0	11 12.4	5 5.6	6 6.7	8 9.0					
高学年	73 100.0	17 23.3	22 30.1	6 8.2	4 5.5	5 6.8	2 2.7	3 4.1					
中学生	70 100.0	10 14.3	17 24.3	4 5.7	6 8.6	4 5.7	2 2.9	1 1.4					
	全 体	子 ど も の 発 達 に 関 する こ と	方 法 が よ く わ か ら な い こ と	地 域 の 子 ど も の 支 援 サ ー ビ ス	ゲ ー ム と の か かわ り 方	ネ ッ ト や S N S の か かわ り 方	そ の 他	特 に な い	無 回 答				
全 体	232 100.0	38 16.4	6 2.6	99 42.7	118 50.9	9 3.9	19 8.2	1 0.4					
低学年	89 100.0	19 21.3	3 3.4	41 46.1	40 44.9	2 2.2	3 3.4	1 1.1					
高学年	73 100.0	12 16.4	2 2.7	29 39.7	36 49.3	2 2.7	5 6.8	0 0.0					
中学生	70 100.0	7 10.0	1 1.4	29 41.4	42 60.0	5 7.1	11 15.7	0 0.0					

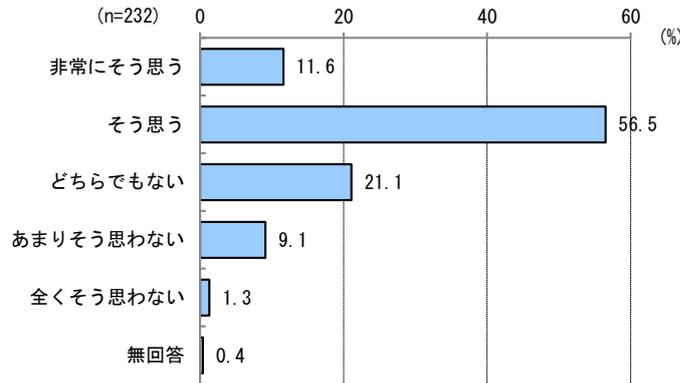
上段：実数、下段：%

(3) 子どもへの接し方とうまく接することができない原因

問 26 お子さんとうまく接できていると思いますか。【〇は1つ】

問 26-1 「そう思わない」を選択された方は、それはどのようなことが原因だと思いますか。【〇はいくつでも】

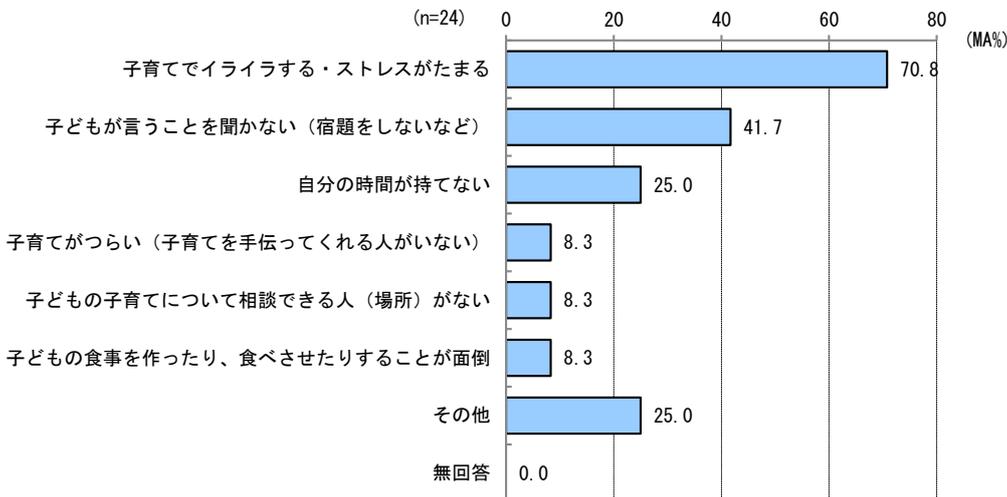
【子どもとの接し方がうまくいっているか】



子どもとうまく接できていると思うかについては、「そう思う」が56.5%と最も高く、次いで「どちらでもない」が21.1%、「非常にそう思う」が11.6%となっています。

【うまく接することができない理由】

※そう思わない人のみ



うまく接することができない原因は、「子育てでイライラする・ストレスがたまる」が70.8%と最も高く、次いで「子どもが言うことを聞かない (宿題をしないなど)」が41.7%、「自分の時間が持てない」「その他」がともに25.0%となっています。

問 26-1 その他の内容	件数
子どものいる前で、夫が私を責めることがあり、母親としての立場を下げているから	1
接し方がむずかしい	1
ネットやゲームばかりで交流の時間があまり持てない、会話の時間がない	1
重度知的+自閉症+てんかんのため、いつ発作が起こるか気がかり、発話がないので訴えがわからない、おむつ着用、排便時目が離せない	1
祖父母による育児への口出しがしんどい	1
重度知的障害を伴う自閉症、てんかんもあるので、発作がいつ起きないか心配で仕方ない	1

【(子どもの学年別)子どもとの接し方がうまくいっているか】

	全 体	非 常 に そ う 思 う	そ う 思 う	ど ち ら で も な い	あ ま り そ う 思 わ な い	全 く そ う 思 わ な い	無 回 答
全 体	232 100.0	27 11.6	131 56.5	49 21.1	21 9.1	3 1.3	1 0.4
低学年	89 100.0	3 3.4	55 61.8	17 19.1	10 11.2	3 3.4	1 1.1
高学年	73 100.0	10 13.7	43 58.9	16 21.9	4 5.5	0 0.0	0 0.0
中学生	70 100.0	14 20.0	33 47.1	16 22.9	7 10.0	0 0.0	0 0.0

上段：実数、下段：%

【(子どもの学年別)うまく接することができない理由】

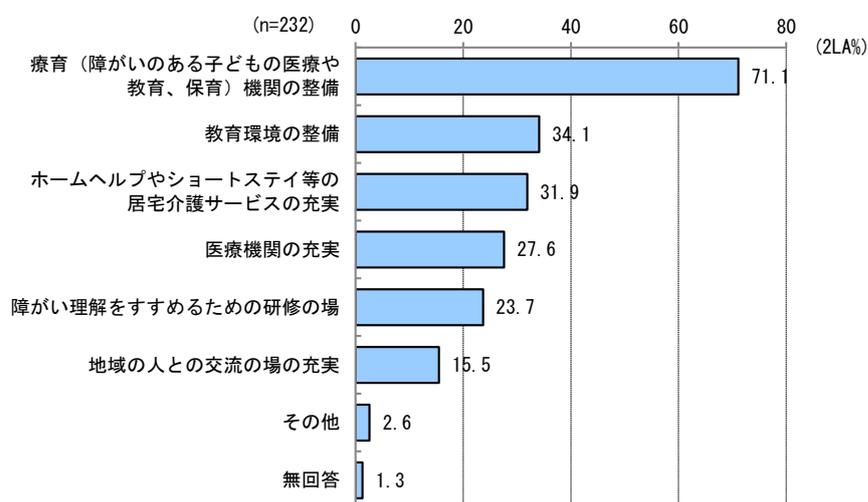
	全 体	く （ 子 育 て る 人 が 手 伝 わ な い ）	（ 場 所 ） 子 ど も の 相 談 で き る 人 が な い	子 ど も が 言 う こ と を 聞 か な い	子 ど も の 食 事 を 作 り た り す る こ と が 面 倒	自 分 の 時 間 が 持 て な い	・ 子 育 て レ ス が た ま る	そ の 他	無 回 答
全 体	24 100.0	2 8.3	2 8.3	10 41.7	2 8.3	6 25.0	17 70.8	6 25.0	0 0.0
低学年	13 100.0	2 15.4	1 7.7	6 46.2	2 15.4	5 38.5	11 84.6	2 15.4	0 0.0
高学年	4 100.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0
中学生	7 100.0	0 0.0	1 14.3	3 42.9	0 0.0	1 14.3	4 57.1	3 42.9	0 0.0

上段：実数、下段：%

10. 子育て全般

(1) 障がいのある子どもが地域の中で安心して暮らせるために必要な環境

問 27 障がいのある子どもが地域の中で安心して暮らせる環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。【〇は2つまで】

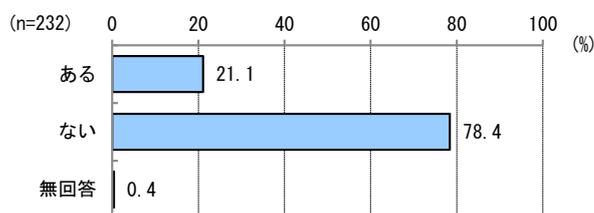


障がいのある子どもが地域の中で安心して暮らせる環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思うかについては、「療育 (障がいのある子どもの医療や教育、保育) 機関の整備」が71.1%と最も高く、次いで「教育環境の整備」が34.1%、「ホームヘルプやショートステイ等の居宅介護サービスの充実」が31.9%となっています。

問 27 その他の内容	件数
放課後等デイサービスの増設	2
周囲の方々の理解と協力	1
地域の人々の先生の意識	1
正直よく分からない	1
大人・子どもの理解・関わり	1

(2) 子どもが登校しづらい状況になったことの有無

問 28 お子さんが登校しづらい状況（不登校傾向）になったことはありますか。
【〇は1つ】



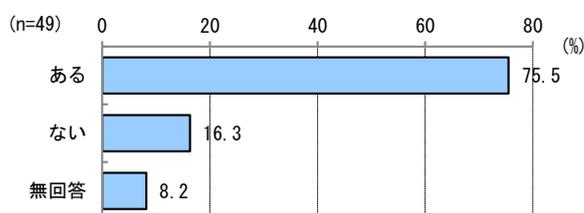
子どもが登校しづらい状況（不登校傾向）になったことの有無は、「ない」が78.4%、「ある」が21.1%となっています。

(3) 子どもが登校しづらい状況になった場合の相談先、対応や支援

問 28-1 お子さんが登校しづらい状況（不登校傾向）ということで、どこか（誰か）に相談したことはありますか。【〇は1つ】
問 28-2 子どもの不登校への対応や支援について必要だと思うことは何ですか。
【〇は3つまで】

【登校しづらい状況になった場合の相談先の有無】

※子どもが登校しづらい状況（不登校傾向）になったことがある人のみ



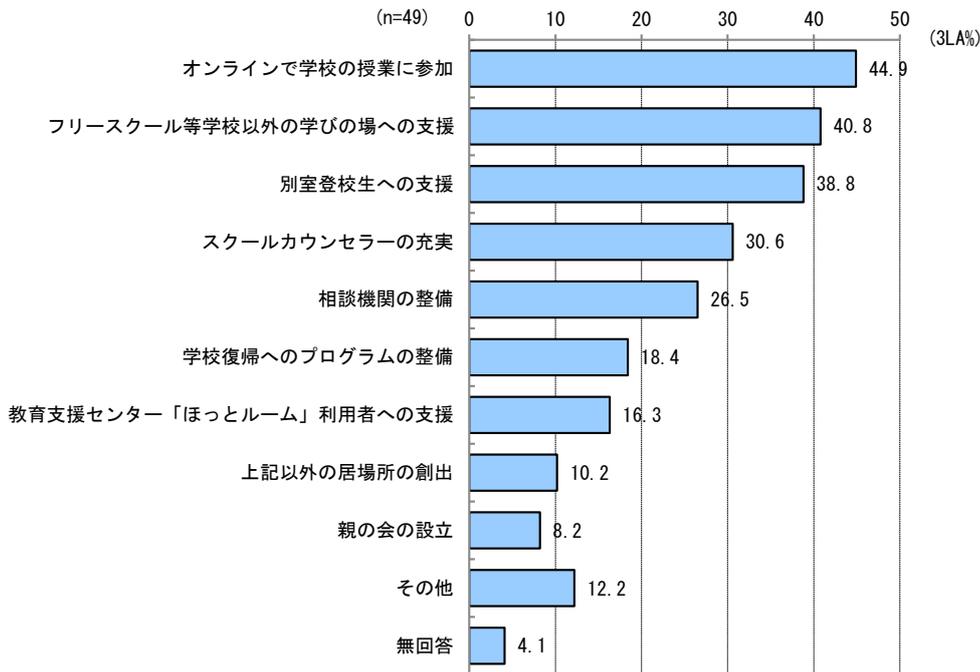
子どもが登校しづらい状況（不登校傾向）ということで、どこか（誰か）に相談したことがあるかの有無は、「ある」が75.5%、「ない」が16.3%となっています。

【登園しづらい状況になった場合の相談先】

問 28-1 相談先	件数
学校	8
病院やかかりつけ医	3
スクールカウンセラー	2
担任の先生	2
小学校	2
学校、病院（医者）	2
その他	15

【不登校への対応や支援で必要なこと】

※子どもが登校しづらい状況(不登校傾向)になったことがある人のみ

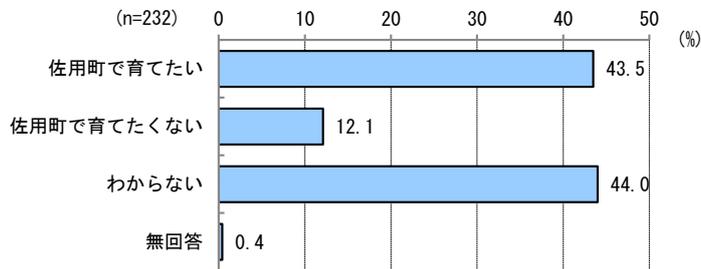


子どもの不登校への対応や支援について必要だと思うことは、「オンラインで学校の授業に参加」が44.9%と最も高く、次いで「フリースクール等学校以外の学びの場への支援」が40.8%、「別室登校生への支援」が38.8%となっています。

問 28-2 その他の内容	件数
親へのサポート	1
いじめをする側のカウンセリングが必要	1
教員の質を上げて欲しい	1
先生の対応の改善	1
長年変わらない学校教育システムの改革	1

(4) 今後も佐用町で子育てをしたいと思うか

問29 子どもを育てる場所を自由に選べるとすれば、今後も佐用町で育てたいと思いますか。
【〇は1つ】



今後も佐用町で育てたいと思うかについては、「わからない」が44.0%と最も高く、次いで「佐用町で育てたい」が43.5%、「佐用町で育てたくない」が12.1%となっています。

問29 今後も佐用町で育てたい理由	件数
自然環境が豊かだから	12
子育て支援が充実しているから	12
自身が出身だから	8
周囲の人たちの支えがあるから	4
まわりの環境が良いから	3
佐用町が好きだから	3
ゆっくりのびのび暮らしたり、育てたりしたいから	3
住み慣れた町だから	2
少人数教育にメリットを感じるから	2
人が少ないから	2
その他	15

問29 今後も佐用町で育てたいと思わない理由	件数
子どもや人口が少ない	5
医療機関が少ない	3
子どもが遊ぶ場所、習い事、進学先がない	3
交通機関が少ない	2
学校教育への不安	2
競争心がなくなる	2
その他	8

問 29 わからない理由	件数
子どもの数が少ない	9
他の地域のことが分からないから	7
通学が不安	6
良い面も悪い面もあるため	4
習い事が充実していない	4
子どもの希望に合わせて子育てをしたい	4
家の周りに遊びに行ける友だちがいない	4
子どもにとって都会に住むメリットを多く感じている	3
交通が不便	3
子育てはしやすいが、それ以外にも何か欲しい	3
進学や就職などで社会に出るときに不安や心配がある	2
田舎での子育ては良いと思う反面、子どもの数が少ないことからくる問題や不安があるため	2
その他	16

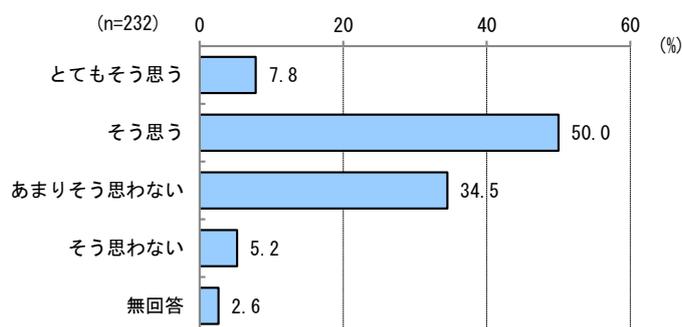
【(子どもの学年別)今後も佐用町で子育てをしたいと思うか】

	全 体	佐 用 町 で 育 て た い	佐 用 町 で 育 て た く な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体	232 100.0	101 43.5	28 12.1	102 44.0	1 0.4
低学年	89 100.0	45 50.6	15 16.9	28 31.5	1 1.1
高学年	73 100.0	32 43.8	7 9.6	34 46.6	0 0.0
中学生	70 100.0	24 34.3	6 8.6	40 57.1	0 0.0

上段：実数、下段：%

(5) 子育てが地域の人に支えられていると感じるか

問 30 子育てについて、地域の人に支えられていると感じますか。【〇は1つ】



子育てについて、地域の人に支えられていると感じるかについては、「そう思う」が50.0%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が34.5%、「とてもそう思う」が7.8%となっています。

問 30 とてもそう思う理由	件数
声をかけてくれる、気にかけてくれる	5
子どもの行事、登下校の見守りに参加してくれる	4
駐在さんがとてもよく子どもたちを見守ってくれている	1
保育園、小学校、学童保育で大変お世話になった	1

問 30 そう思う理由	件数
子どもの行事、登下校の見守りに参加してくれる	33
声をかけてくれる、気にかけてくれる	29
近所の人は優しく子どもたちを見守ってくれて声をかけてくれ良好な関係だが、佐用町の地域の目は子どもたちには厳しい面が多い気がする	1
私が仕事の時、友だちや友だちと遊んでいるときも頼れる人がいるから	1
その他	9

問 30 あまりそう思わない理由	件数
地域とかかわりはない	33
支えられている実感はない	2
特に深くかかわりたくない、最低限のほうが好きだから	1
結局は他人事だから	1
その他	3

問 30 そう思わない理由	件数
地域とかかわりはない	5
支えられてないから	1
子育てに理解がないから	1
地域の方に登下校の時間だけでいいので、横断歩道の近くで見守ってもらえないかと相談したがすぐに断られた	1

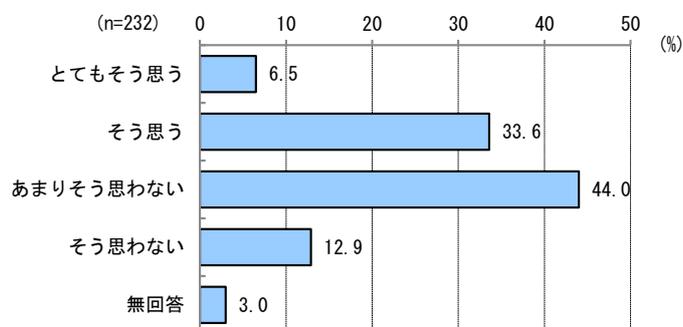
【(子どもの学年別)子育てが地域の人に支えられていると感じるか】

	全 体	と と も そ う 思 う	そ う 思 う	あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答
全 体	232 100.0	18 7.8	116 50.0	80 34.5	12 5.2	6 2.6
低学年	89 100.0	7 7.9	48 53.9	27 30.3	4 4.5	3 3.4
高学年	73 100.0	4 5.5	39 53.4	21 28.8	6 8.2	3 4.1
中学生	70 100.0	7 10.0	29 41.4	32 45.7	2 2.9	0 0.0

上段：実数、下段：%

(6) 子どもの家庭教育を行うための支援の充実度

問 31 あなたは、子どもの基本的な生活習慣（食事、清潔、睡眠など）を身につける家庭教育や、子どもが物事を選択していけるような自立心等を育む家庭教育を行うための支援を受けていると思いますか。【〇は1つ】



子どもの生活習慣を身につける家庭教育や、自立心等を育む家庭教育を行うための支援を受けていると思うかについては、「あまりそう思わない」が44.0%と最も高く、次いで「そう思う」が33.6%、「そう思わない」が12.9%となっています。

問 31 とてもそう思う理由	件数
子育て支援の中で	2
教育機関（保育園、学校、学童保育など）	2
職場がそのような教育をしてくれているから	1

問 31 そう思う理由	件数
教育機関（保育園、学校、学童保育など）	6
子育て支援の中で	5
子育て教室や子育てに関するイベント活動	3
特にない	2
その他	12

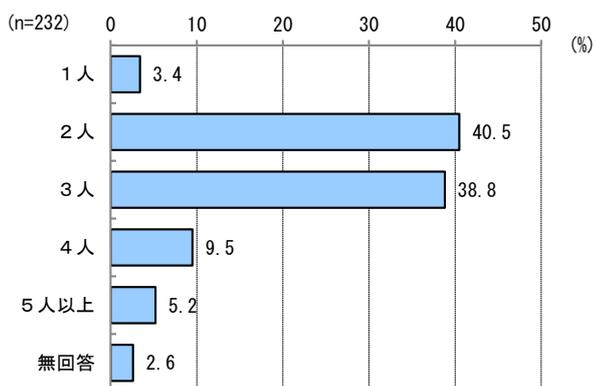
問 31 あまりそう思わない理由	件数
質問の意味が分からない	12
支援は受けていないと思う	6
どのような支援か知らない、分からない	5
支援を受けている実感がない	4
その他	15

問 31 そう思わない理由	件数
どのような支援か知らない、分からない	10
支援は受けていないと思う	3
質問の意味が分からない	2
支援を受けている実感がない	1
その他	4

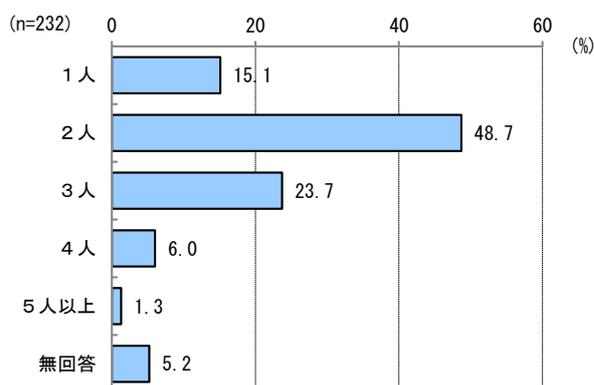
(7) 希望する子どもの人数と実際に子育て可能な子どもの人数

問 32 あなたにとって、欲しい子どもの人数は何人ですか。また、実際に子育てが可能と考える子どもの人数は何人ですか。
 また、欲しい子どもの人数よりも、実際に子育てが可能なお子さんの人数が少ない理由は何ですか。【〇はいくつでも】

【欲しい子どもの人数】



【実際に子育て可能な子どもの人数】

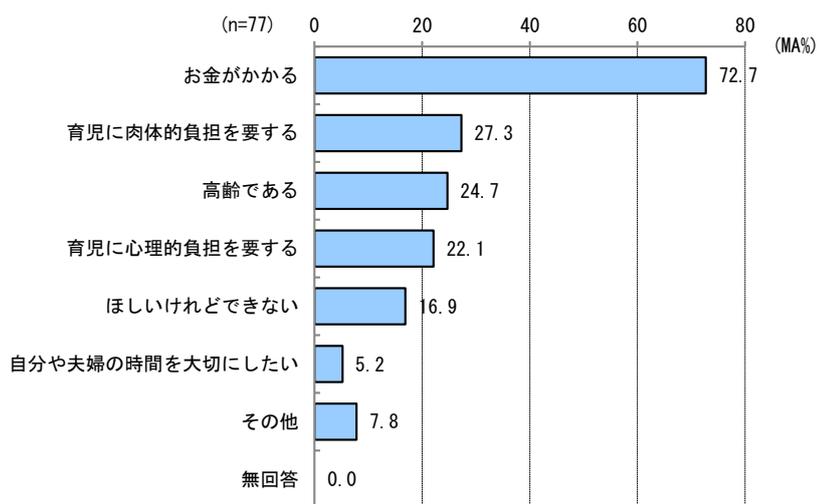


欲しい子どもの人数は、「2人」が40.5%と最も高く、次いで「3人」が38.8%、「4人」が9.5%となっています。

実際に子育てが可能なお子さんの人数は、「2人」が48.7%と最も高く、次いで「3人」が23.7%、「1人」が15.1%となっています。

【欲しい子どもの人数より実際に子育てが可能なお子さんの人数が少ない理由】

※欲しい子どもの人数よりも、実際に子育てが可能なお子さんの人数が少ない人のみ

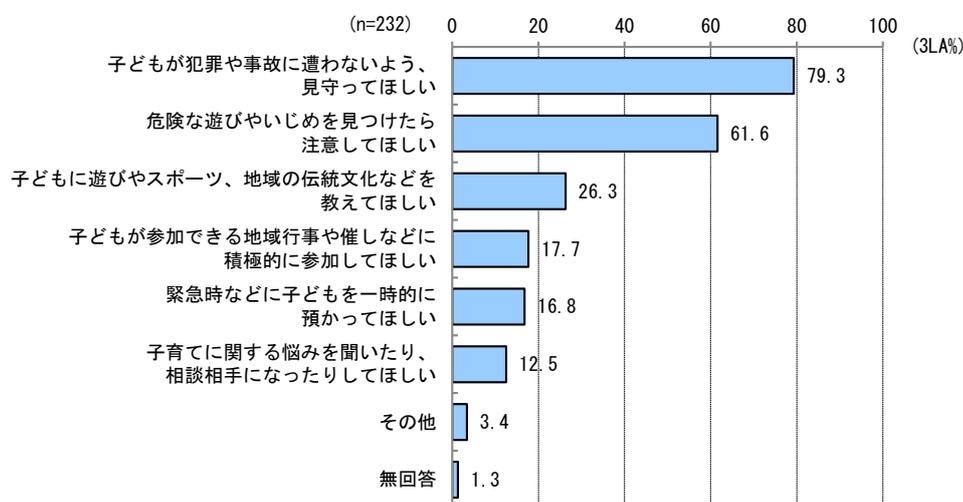


欲しい子どもの人数よりも、実際に子育てが可能なお子さんの人数が少ない理由は、「お金がかかる」が72.7%と最も高く、次いで「育児に肉体的負担を要する」が27.3%、「高齢である」が24.7%となっています。

問 32 その他の理由	件数
離婚	1
自信がない	1
働ける場所が限られる	1
第1子が障がい児のため	1
ひとり親だから	1
一人ひとりに合わせた子育ては難しい、大人1人に子ども2人くらいが適切でしょうか	1
第1子が重度障害児なので2人目を望むキャパがそもそもない	1
夫婦だけの収入で子どもと祖父母との生活は厳しい	1

(8) 子育て支援として身近な地域の人との協力や支援に期待すること

問33 子育て支援として、身近な地域の人との協力や支援にどのようなことを期待しますか。
【〇は3つまで】



子育て支援として、身近な地域の人との協力や支援にどのようなことを期待するかについては、「子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい」が79.3%と最も高く、次いで「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」が61.6%、「子どもに遊びやスポーツ、地域の伝統文化などを教えてほしい」が26.3%となっています。

問33 その他の理由	件数
農作業やものづくりなど、生きる知恵が身につくような手伝いをさせてほしい	1
老人会と子どもの行事にもっと交流があってもいい	1
挨拶くらい返してやってほしい	1
公園等を増やし地域の人とのかかわりが持てるようにしてほしい	1
発達障害には性格が様々で、少人数で遊べる場所もあってもよい	1
近所に遊べる友だちがいないので(距離的に遠くて)どうしようもないが、若い人達が田舎で過ごしてもいいかなと思えるような環境作りをして、年配の方には寛容になって頂いて、若者を受け入れてもらい、子どもの数を増やしてほしい	1
空気環境を改善してほしい、違法な野焼きをさせない町づくりをしてほしい	1
子どものことを理解して、個に合わせて接してほしい	1

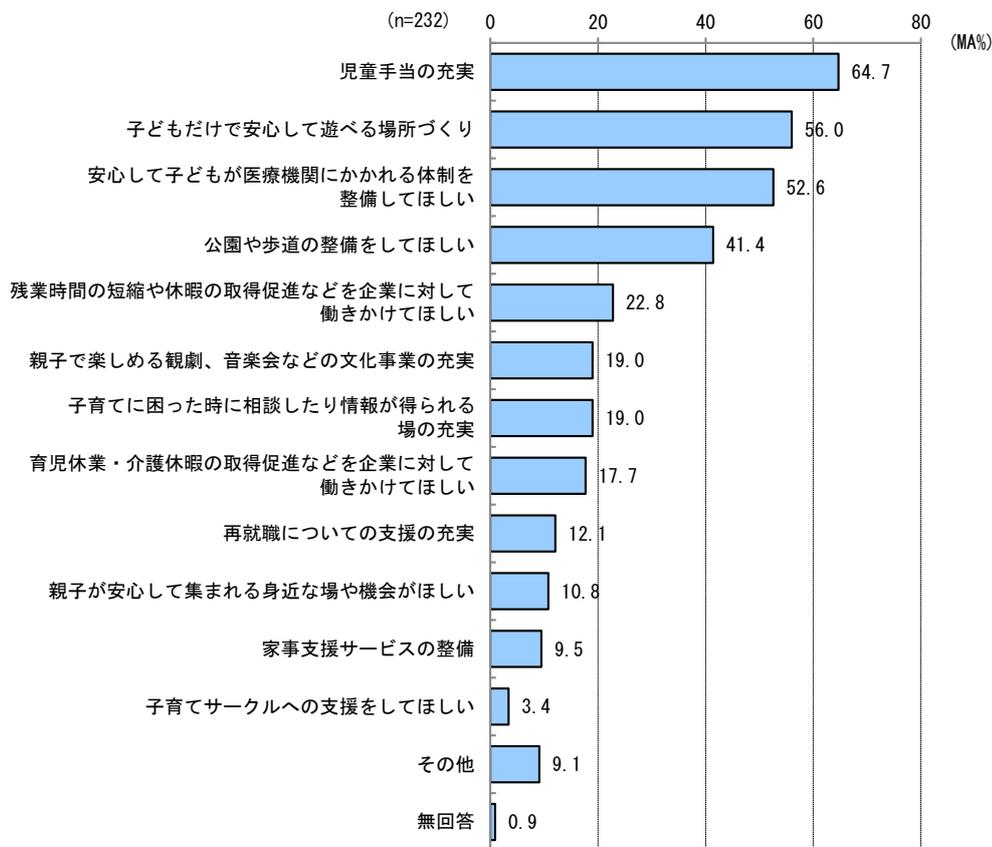
【(子どもの学年別)子育て支援として身近な地域の人との協力や支援に期待すること】

	全 体	な 聞 子 つ つ た り り し て ほ し い 手 み に	一 緊 時 的 に 預 か つ て ほ し い	つ 危 険 な 遊 び や い じ め し を 見	ほ 遭 わ し い な い よ う 、 見 守 故 つ て	に 行 事 や 催 し な ど に 積 極 的	子 ど も が 参 加 し て ほ し い	教 、 地 域 の 伝 統 文 化 な ど を	そ の 他	無 回 答
全 体	232 100.0	29 12.5	39 16.8	143 61.6	184 79.3	41 17.7	61 26.3	8 3.4	3 1.3	
低学年	89 100.0	11 12.4	16 18.0	53 59.6	66 74.2	18 20.2	23 25.8	6 6.7	1 1.1	
高学年	73 100.0	8 11.0	7 9.6	45 61.6	60 82.2	15 20.5	20 27.4	1 1.4	2 2.7	
中学生	70 100.0	10 14.3	16 22.9	45 64.3	58 82.9	8 11.4	18 25.7	1 1.4	0 0.0	

上段：実数、下段：%

(9) 子育て支援でもっと力をいれてほしいもの

問 34 子育て支援でもっと力をいれてほしいものは何ですか。【〇はいくつでも】



子育て支援でもっと力をいれてほしいものは、「児童手当の充実」が64.7%と最も高く、次いで「子どもだけで安心して遊べる場所づくり」が56.0%、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」が52.6%となっています。

問 34 その他の理由	件数
給食費の無償化	2
公園整備	2
児童館をつかってほしい	2
自習や宿題ができるスペースがほしい	2
障がいのある子どもへの支援の充実	2
教育環境	2
その他	9

【(子どもの学年別)子育て支援でもっと力をいれてほしいもの】

	全 体	遊 子 ど も だ け で 安 心 し て 遊 ぶ 場 所 づ く り	身 親 近 な 場 や 機 会 が ほ ま れ い る	充 音 親 実 楽 会 な ど の 文 化 事 業 の	の し 子 育 て に 困 つ た 時 に 相 談 の 充 実	関 心 し て ほ か れ る 子 ど も が 医 療 機 関 に か か る 体 制 を 整 備 し て ほ し い	取 得 促 進 な ど を 企 業 に 対 し て 働 き か け て ほ し い	残 業 時 間 の 短 縮 や 休 暇 の 取 得 促 進 な ど を 企 業 に 対 し て 働 き か け て ほ し い	取 得 促 進 な ど を 企 業 に 対 し て 働 き か け て ほ し い	育 児 休 業 ・ 介 護 休 暇 の 取 得 促 進 な ど を 企 業 に 対 し て 働 き か け て ほ し い
全 体	232 100.0	130 56.0	25 10.8	44 19.0	44 19.0	122 52.6	53 22.8	41 17.7		
低学年	89 100.0	47 52.8	8 9.0	19 21.3	16 18.0	48 53.9	22 24.7	20 22.5		
高学年	73 100.0	53 72.6	8 11.0	11 15.1	12 16.4	43 58.9	15 20.5	9 12.3		
中学生	70 100.0	30 42.9	9 12.9	14 20.0	16 22.9	31 44.3	16 22.9	12 17.1		
	全 体	支 援 の 充 実	再 就 職 に つ い て の 支 援	支 子 育 て サ ー クル へ の 支 援 を し て ほ し い	公 園 や 歩 道 の 整 備 を し て ほ し い	児 童 手 当 の 充 実	家 事 支 援 サ ー ビ ス の 整 備	そ の 他	無 回 答	
全 体	232 100.0	28 12.1	8 3.4	96 41.4	150 64.7	22 9.5	21 9.1	2 0.9		
低学年	89 100.0	12 13.5	5 5.6	42 47.2	61 68.5	15 16.9	10 11.2	2 2.2		
高学年	73 100.0	7 9.6	0 0.0	29 39.7	37 50.7	3 4.1	6 8.2	0 0.0		
中学生	70 100.0	9 12.9	3 4.3	25 35.7	52 74.3	4 5.7	5 7.1	0 0.0		

上段：実数、下段：%

11. 自由記述

問 35 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

小中学生保護者の自由記述：回答数 55 件

安全安心について

- ・子の通学も遠く、道路に電灯もないため、心配もある。
- ・いつもご苦労様です。車社会の田舎なので仕方がないのですが、自動車や歩行者が安全に通れる道の整備があるとうれしいです。歩いているとジロジロ見られてイヤなので…。
- ・外灯が少ないです。新しく家が建っていて子どもが増えている場所があるが外灯が少なく帰宅時間暗く危なく感じる。犬の散歩やジョギングをする際に暗くて怖い。外灯を増やして欲しい(夕方の時間だけでもいい)ソーラー式のもので簡易的なものでも可。
- ・子どもが中学生になった時、自転車通学になります(現在はバス通学)。家が山間部で通学中集落が途切れる道や電気整備がされていない所もあり、また冬場には暗い中での通学になります。その様な方々もたくさんいらっしゃるのとはわかりますが、バス通学の規制をもう少し緩めていただきたいです。
- ・中学校の送迎バスですが、利神地区は谷がたくさん分かれているため、自転車登校に不安なところがあります。高齢者の自動車運転、スピードを出す車、大型トラック等走る道も多々あります。距離何キロ以内は自転車という条件を改めて考えていただけたらと思います。
- ・通学路の街灯の数は妥当だと思いますか？

子どもの居場所について

- ・町の体育館をもっと開放して子どもたちが利用できるようにしてほしい(ホタルドーム借りようと思っても色々ややこしい)。
- ・学童保育などでの外遊びも限られており、体力がない事に不安(平日)なので、遊び場の開放を希望してほしい。
- ・休みの日等に誰でも行ける場所に気軽に行ける所が欲しい(児童館のような建物)ので、地区毎等に外・中遊びが出来る場所を希望。
- ・高齢者も多い佐用町なので、子ども高齢者と分けずに一緒にすごしたり、協同したり、いい関係でいい事業ができればと思う。
- ・子どもと高齢者の交流の場。
- ・コロナで中止した行事について、形をかえて再開していけば。ラジオ体操とか、色々。
- ・中高生が受験期になった時に自習室として使える町の施設が少なすぎます。上月支所に新しく出来た図書スペースは夏休みとともありがたく子どもが通わせてもらいました。子どもが勉強したい時に家庭以外でも勉強できる場をもっと意識的に増やしていただきたいです。学びは町の力になります。図書館は、自習のできる場ではありませんが、学習スペースとして確保して自主学習に使ってもらうよう案内している自治体もあります(宍粟市など)図書館の若者の利用推進になるのではないのでしょうか。
- ・公園も小さい所はありますが、大きな公園はないので、あるといいなーとは思っています。

- ・子どもが小学生までは親子ともに楽しめる事がメインでしたが、中学生になると子どもたちだけで安心して過ごせる場所が欲しいようです。中学生でも集まって勉強できるようなスペースが(放課後)あるといいなと思います。
- ・佐用に新しい公園ができたが立地の関係で利用しにくい。近所の公園は遊具が壊れてしまっているものもあるので、そういうものの補修費を各自治体に渡してもらえ方がうれしい。
- ・広場はあっても、遊具や、トイレがある公園が近くにないので、子どもの遊び場所がないです。
- ・スポーツや習い事など地域から個人のコミュニティに移行してきていると思います。任意に参加できる(強制ではない)子どものスポーツ団体等の活動の場を充実してほしい。
- ・各地域に1つは公園や児童館が欲しいです。子ども達だけで、約束して、安心して遊べる場所がないです。遠くの公園は、送迎が必要になる為、仕事をしている保護者は送迎ができません。

未就学児等の居場所について

- ・佐用の子育て支援センターより上郡町子育て学習センター(苔縄)の方へよく遊びに行くという話をききます。佐用は目がよく届いて親子ともに監視されている居心地の悪さがあるのでしょうか。また、上月、三日月、南光の各支所に幼児の遊ぶスペースがあったほうが家から近くて行きやすかったと意見がありました。

習い事について

- ・佐用町はとても自然環境に恵まれた地域だと思います。ただ、教育の面では少々不安を感じます。習い事の場合が少なく遠方へ出ないと受けられない等、金銭的にもキツイです。未来ある子どもの為にそういった施設をもっと増やしてほしいです。
- ・オンラインでのならいごとや勉強など、サービスが増えるといい。田舎は送り迎えが必要で、働いている親としてはもっと習い事をさせてあげたいけど、「送り迎え」が問題でかつ習い事の種類もかなり少ない。中学校の部活も同じで、得意な分野、興味のあることをさせてあげたいけど、選択肢が皆無。かわいそう。30年前と何も変わってない。

経験の機会

- ・中学生ぐらいの子でも興味をもって参加できるようなイベントがもっとあったらいいなと思います。
- ・大人も子どもも楽しめる、勉強になるような、映画を上映してほしい。
- ・子どもは群れて遊ぶものなので、自然に集団で遊べる広い公園、西公園はとてもいいと思います。学童保育に行く子がほとんどなので、放課後家へ帰る子は近所の子と約束して遊ぶという経験がないまま、成長していつていきます。経験の幅が狭まっていると感じます。

支援事業の内容について

- ・制服を買い替えたい時期に子育て支援券の期限が過ぎていたり、まだ配布されていなかったりするの、期限を1年間にしてほしいです。いつでも使えるように(例:運動会(9月末)が終わって体操服から制服に衣替えるタイミングで買いたいの支援券の配布はもっと後なので使えませんでした)。
- ・中学生になる時、自転車を購入する事になるのですが、半分補助が出るとは聞いています。ですが先に購入してからの補助というのを無くして一律で補助があればいいのになと思います。

- ・子どもが大きくなるにつれお金が沢山必要で驚いています。子育て支援のチケットとても助かっています、ありがとうございます。
- ・佐用町は小・中学生に太陽光発電のお金で子育て支援券をいただけるのでありがたい。が・・・実際には小学校入学時にもお金がかかる。ランドセル補助や制服の補助もしくは後期のみ年長児にも支援券を配布してもよいのでは・・・と思う。そもそも制服が高いので・・・。制服リサイクル等の取組があれば喜ばれると思う。小学校のポロシャツ、校章入りじゃなくてもいいのでは・・・すぐ汚すので。小学校の算数セット、入学児童数も少なくなっているのも個人購入ではなく学校備品としてもらいたい。計算カード類のみ個人購入で・・・。
- ・引き続き子ども手当の充実や佐用町内で利用できる商品券の支援が充実されると大変ありがたいです。
- ・児童手当もそうですが、上の子どもが22歳になったら、子どもの数のカウントが変わり、手当も減額されます。この少子化の中、3人の子どもも育てて上の子どもが成人しても第3子には変わらないのに、経済的にもこの物価高の中苦しいです。町独自の子育て支援を考えて頂けたら、助かります。
- ・とにかくお金をかけずに子育てができればよいかと思えます。最低限のお金は仕方ないと思えますが、やはりお金が掛からずに育児できると楽だとは思いますが。
- ・年2回の子育て支援券は、ありがたいが使える店が少ない。現金支給のほうがいい。
- ・未成年の子ども達への金銭的支援をもっと手厚くしてほしい。
- ・佐用町は子育てに関してすごく親身に寄り添ってくださっているように感じています。若い世代の人たちがもっと子どもを産みたいと思えるような支援を続けていってほしいと思えます。
- ・ひとり親世帯の手当ての所得制限をなくして欲しい。

親の支援

- ・親の心が豊かでないと、子どもを大切にできなかったと自分で思うので、親が満たされる環境をつかってほしいと思えます。心にも時間にも経済にも余裕をもってすごしたいです。
- ・緊急な時、またいついつ、この期間、預ける人がいないとなった場合、佐用地区内で連泊できる、そしてその場所から学校に行けるという施設がほしい。食事はもちろん3食お願いしたいし、おやつもお願いしたい。

障がい児支援・発達の支援について

- ・放課後等デイサービスを利用させてもらっていますが、長期休暇の時10:00～16:00であり、仕事が出来ずパートにならざるを得ない状況である。母子家庭のため、そういったところをもう少し考えてもらえると助かる。
- ・子どもに発達障害があり、学童保育の利用は不安があるため利用していません。放課後等デイサービスを週3日ほど利用していますが、長期休暇期間中は10時～16時までの間しか利用できず、仕事の勤務調整が毎回大変です。障がいのある子どもを9時前ぐらいから安心して預けられる施設があればとても助かります。
- ・発育に気がかりな事があれば、早期から行政や保育園、学校が積極的な支援やサポートしていく事を期待します。大きくなってからの矯正は、対処が難しいので。

支援事業の PR

- ・子どもの数が少なくなっている。もっと子育て支援策をアピールして欲しい。子育て支援券や給食費半額支援や保育園、学童保育費支援を町外にアピールした方がよい。町内でも知らない人が多い。
- ・兵庫県の他の町の HP を見て欲しい。わかりやすいチラシを作っている町を参考に、佐用町も取り込んでほしい。ファミリー・サポート・センターの利用について、具体的にどんな事ができます、という例を広報で知らせてほしい。

学童保育について

- ・学童保育の子が優先で運動場が使われていて、小学校の運動場で遊びづらいと言っていた事がありました。
- ・学童保育の長期休み中は8時からしか預けることが出来ない。職員さんの大変さも理解しているが、仕事が8時からなので送っていただけ他の人に頼まないといけない。できれば7:30頃から預けられると助かる。
- ・佐用の学童保育の時間。田舎の企業は8時から始業が多いのに、学童保育が開くのも8時～。学校の長期休みの開始と長期休みのみ学童保育を利用する人の日にちにずれがある事(夏休みは7/20頃からなのに8/1からしか利用出来ないみたい)。働く親に合わせていない。
- ・問 15 (学童保育) の利用希望開始時間の欄ですが、なぜ8時台がないのでしょうか？ 8時30分から仕事の人は1時間の時間休を取って、学童保育が始まるのを待たないといけないのでしょうか？ 設問に実際就労している親の現状が反映されていないように感じました。職種によっては土・日曜祝日が勤務のところもあり、子どもの預け先がなかったら本当に困ります。私も友人に頼んで朝8時から夕方6時まで子どもを見てもらった事が何度も…。日曜・祝日の学童保育が難しいようなら、土曜だけでも実施してもらいたいと切に願っています。小1の壁にぶち当たって心身ともに疲弊した保護者の意見です。参考までにしていただけたら幸いです。

学校のありかたについて

- ・少人数で小・中学校時代を過ごすと、高校生からの学びの差にならないか不安があるので佐用町全体で学ぶ人数を増やし格差にならないようにして欲しい(統廃合…?)。
- ・中学校の統合を進めてほしい。年度途中で教員の交代など子どもが不利益を被ることのないよう、適正な学校運営をお願いしたい。競争力低下につながるようお願いしたい。
- ・中学生になっても小学生の時の人数のまま、それよりも少なくなるのが今の現状です。人数が少ないと先生が一人一人しっかりと見ていただけるのは凄くいいことですが、親としては可哀想だと思うことがあります。それにより人数の多い中学校の受験したほうがよいのか、引越した方がよいのかと考えます。これからどんどん子どもの人数が減っていくので、検討していただけると幸いです。よろしく願いいたします。
- ・今の佐用町の学校の在り方では、この先もっと少子化が進むのは目に見えている。子が大人になり、佐用町で一緒に生活して欲しいとは、全くもって言えない。今の先生方の考え方を変えていかなければ、若者世代はどんどん都会へ流出するだろう。学校は働き方改革を盾に、子どもの駅伝大会、ドッチボールなど、子ども会の行事に関与されない姿勢だと聞いているが、その考え方であるなら PTA 活動もやめたらいいのではないか。今は多くの保護者が共働きで忙しく、子どもと過ごす時間も少ない。わざわざ、子どもと過ごす貴重な時間を削ってまで PTA 活動を行う必要性が分からない。

- ・1学年1クラスという環境で、クラスで人間関係のトラブル発生時、その事が卒業まで引きずってしまう。クラス替えもなく、我慢した学校生活を送らざるを得ない。クラス替えがなく、友人関係や人間関係の固定化してしまう。校区外での習い事をする事で幅広い人間関係を作れる様に心掛けているが、送迎など負担もある。
- ・多様化した子どもたちに合う、大規模な学校教育の見直しを。具体的には従来の説明型授業のやり方を、欧米のようなディベート方式に変えてほしい。
- ・多様化する時代、これまでの学校教育では学べていない、お金の稼ぎ方や、性教育(コンドームの付け方など)など、一步踏み込んだ教育を多く取り入れてほしい。
- ・それらを客観的に評価し、指導できる第三者機関があれば良いと思う。全てが身内で回っているため、1度不信感をもつと、全部に対して不信が募る。

子ども会・PTAについて

- ・小学校子ども会やPTA等の親の負担を減らしてほしい。PTAは廃止したらいいと思う。
- ・自分の通勤地が遠く、今年過労で3か月ほど休職してとてもしんどかった。まだ体調も完全ではない。子どもが中1になり、部活が始まり、大会があれば春夏は毎週のように太子まで(親が)試合に出るのであれば送り迎えをしないといけない。大変すぎる。バスでも出してほしい。又、中学校のPTAの役員決めもこんな状態ギリギリで負担に思う。どこに相談すればよいかわからない。仕事の有給ももうなくなり、これ以上負担が増えたら、仕事に支障が出る。
- ・PTAの活動や、参観日後の懇談等が負担になる事が多々あるので、改善していただきたいです。PTAや子ども会の活動は夜になる事があり、その間子どもを家において行くのはとても不安です。
- ・PTAは必要なのか?共働きが当たり前の時代に親への負担が多い。子どもとの時間も削られる。都会では無くした小学校も多いと聞く。必要な事だけにしてほしい。

不登校支援について

- ・行き場のない不登校の子が、色々な選択をしながら少しずつでも成長できる場所が、家だけではない場所があると親子共々うれしく思う。
- ・子どもが不登校や登校渋りがあり、保護者の要望があれば、区域外通学を認めて欲しい。住んでいる地域の学校に一律に通うのが当たり前ではなく、もっと柔軟に対応して欲しい。

いじめについて

- ・いじめが無くなるように先生方への教育もお願いしたい。

制服について

- ・中学校の制服が変わる予定ですが、少し支援してもらえたらありがたい。
- ・(再掲)そもそも制服が高いので・・・。制服リサイクル等の取組があれば喜ばれると思う。小学校のポロシャツ、校章入りじゃなくてもいいのでは・・・すぐ汚すので。

- ・令和8年度から中学校の制服が変わります。兄弟が使用していた学生服を使いまわそうと思っていたのですが、使いまわし出来ないみたいです。使いまわしが出来るようになると助かります。せめて兄弟のだけでも出来ないでしょうか。宜しくお願いします。4人の子育てをされていて、制服のお古やカバンのお古を下の子にゆずっていますが、ゆずりたくてもゆずれない人がいたら、それを集めてリサイクルのような形で使ってもらえる子に渡せるような機会を作ってもいいと思う。子育て世代のママさん達にむけてのフリーマーケットをしてもらってもいいのでは。
- ・とにかくお金のかかる「制服」を何とかしてほしい。特に小学生の「制服」必要なんですか？体操服だけ指定のもので良くないですか？あとは私服で何か問題があるのでしょうか？本当に高額で、ものすごく負担に感じます。小学生は入学時から卒業までずっと半年ごと1年ごとに服のサイズが変わります。入学時、すぐ大きくなるからといって体に合っていないブカブカの服を着せられ、兄弟のいる子は色あせた服を着せられます。そして季節が変わるたびに買い替えが必要になります。制服上下、ポロシャツ、校章、ネーム、本当に必要性が感じられません。式典、揃った制服着なければいけませんか？揃えることが必要なら、体操服でいいと思います。小学生なんです。体操服だけでも長そで、半そで、長ズボン、半ズボン…毎年毎季節ごとに何回も買うんです。半そで1枚何千円もします。結局、休みの日は私服なんです。私服はみんな持っています。「制服だと私服代がかからない」なんて気のせいです。「葬式」では子どもなんだから黒っぽい服で充分なんです。「結婚式」に制服着てくる子…みたことありません。心の底から思います。小学生の制服、必要ないと思います。

部活動について

- ・(再掲) 子どもが中1になり、部活が始まり、大会があれば春夏は毎週のように太子まで(親が)試合に出るのであれば送り迎えをしないといけない。大変すぎる。バスでも出してほしい。
- ・やりたい部活がなく、やりたくない部活を選ぶしかないので、部活の見直しをして欲しい。部活も地域移行の話も佐用町では、指導者もないだろうし、中学生になった時の子どもの部活など不安じゃないです。
- ・中学校では部活動の廃止が進んでいると聞いたが、教師の負担を減らしたら良いが、クラブチームへの支援や指導者不足にも力を入れてほしい。高齢者でも元気な方が多いと思うので、経験がある人材探し。子どもと高齢者のつながりにもなると思う。施設の設定もどうかと思う。佐用小学校やホテルドームなどに冷房、暖房が無い事は、子ども達の命にも関わる事なので早急に対応してほしい。

学校のその他について

- ・給食の量をもう少し増やしてほしい。
- ・昔、学校の中にあつたような購買があつたらなと思います。
- ・小学校から子どものタブレットを使ってアンケートに答えて下さいというのがありますが、匿名にしてほしい(子どもたちのアンケートも同様)。出席番号だけを入れたとしても匿名になっていないから。
- ・学校給食では栄養面もしっかりしていておいしいと喜んでます。とても助かっており感謝しています。希望として給食はオーガニックを目指していただきたいです。大好きな佐用町がオーガニックの給食で日本から注目される町になってほしいです。子どもの健康や発育に大きな成果をもたらしてくれると思います。
- ・タブレットを使用した授業、宿題を増やし持ち帰る教科書を減らしてほしい。

医療について

- ・医療機関を充実させてほしい。婦人科、産婦人科が無い事や、かかりつけ医となってくれる方。総合病院は担当先生が代わるので不安。

その他

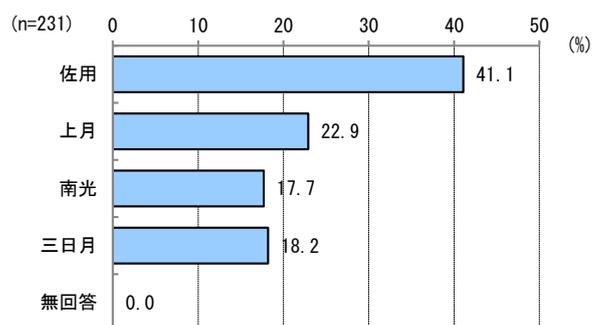
- ・岡山県の奈義町みたいなことをしたら良いのでは。
- ・空気環境の良さを求めて田舎にいるが、あまりにも野焼きが多いので驚いている。農業以外の野焼きが法律で禁止されている事、家庭ゴミや産業廃棄物は、野外焼却してはいけない事、ダイオキシンの害など、町民に教育して欲しい。定時放送や広報で呼びかけて欲しい。子どもに健康被害がでている。個人の方ではどうにもできない。町をあげてやってほしい。
- ・もっと子ども達や、若い人達が便利だと思う施設や企業や飲食店を誘致して欲しい。
- ・このようなアンケートが実際に反映され、よりよい町になることを期待しています。
- ・公共の交通機関が充実していないので、折角高校等で受けることができる学校が増えたのに、実際には通うことが不可能で選択を諦めざるおえない状況です。これを何とかして欲しいです。
- ・長女が10歳、長男が7歳になりますが現在に至るまで佐用町の子育て支援に不満を感じたことはありません。少子高齢化は本当に肌で感じるようになってきましたが、のびのびしっかり成長してくれることを願っています。

IV 調査結果・小学生（4～6年生）

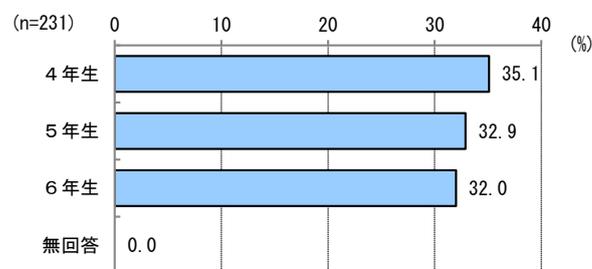
IV 調査結果・小学生（4～6年生）

1. 回答者のご家族の状況

（1）居住地区（問1：あなたが通っている小学校を選んでください。）

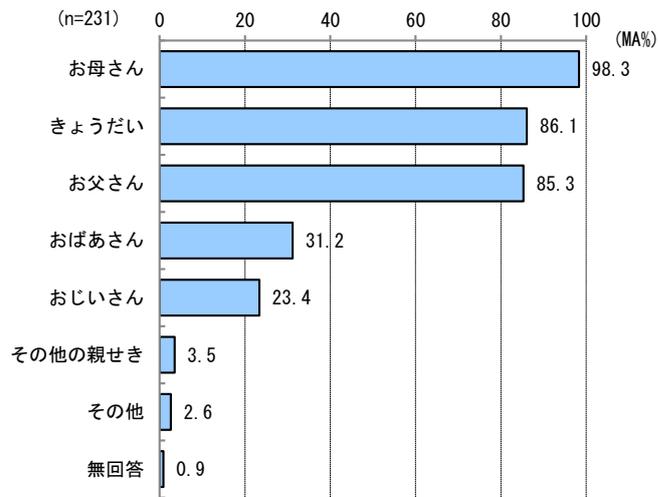


（2）学年（問2：あなたの学年を教えてください。）



(3) 世帯員

(問3：あなたが今いっしょに住んでいる人をすべて選んでください。(〇はいくつでも))

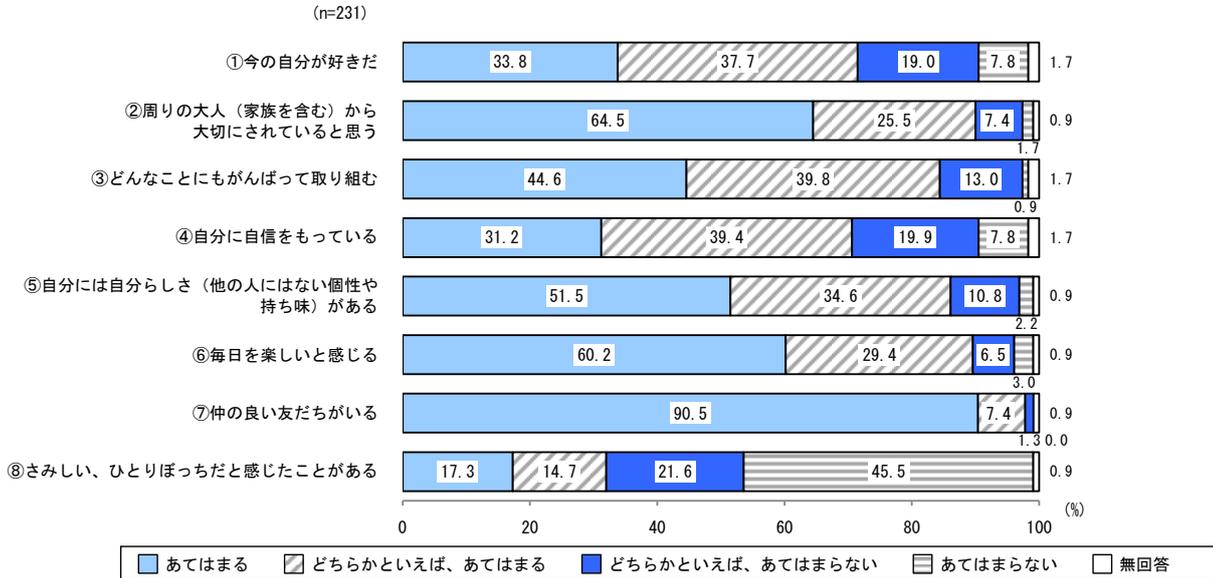


問3 その他の内容	件数
犬	2
お父さんのお姉ちゃん	1
お兄さん	1

2. 気持ちについて

(1) 気持ちについてあてはまるもの

問4 あなたのことについて、次のことがどのくらいあてはまりますか。【それぞれ〇は1つ】

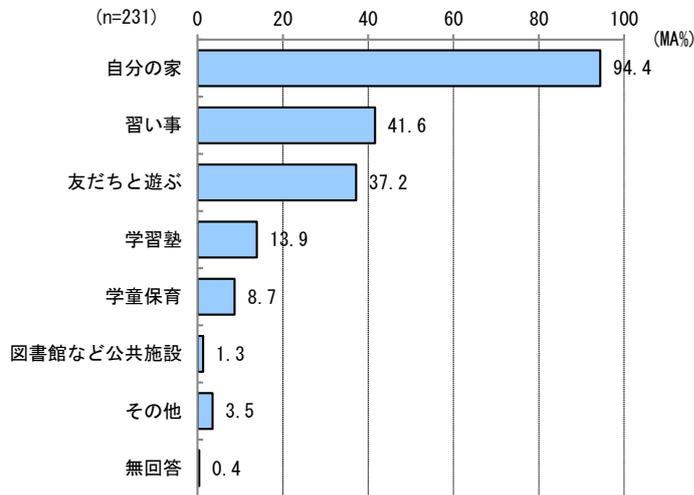


気持ちについて、⑦仲の良い友達がいるの『あてはまる』(「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」を合わせた割合)が97.9%と最も高い一方で、⑧さみしい、ひとりぼっちだと感じたことがあるの『あてはまる』は低くなっています。

3. 居場所について

(1) 平日の放課後の過ごし方

問5 あなたは、平日の放課後（学校が終わってから夕方18時くらいまで）はどこで過ごしていますか。【〇はいくつでも】



平日の放課後はどこで過ごしているかについては、「自分の家」が94.4%と最も高く、次いで「習い事」が41.6%、「友だちと遊ぶ」が37.2%となっています。

問5 その他の内容	件数
おばあちゃんの家	2
犬の散歩で川沿いの土手	1
買い物	1
いとこの家	1
イオン	1

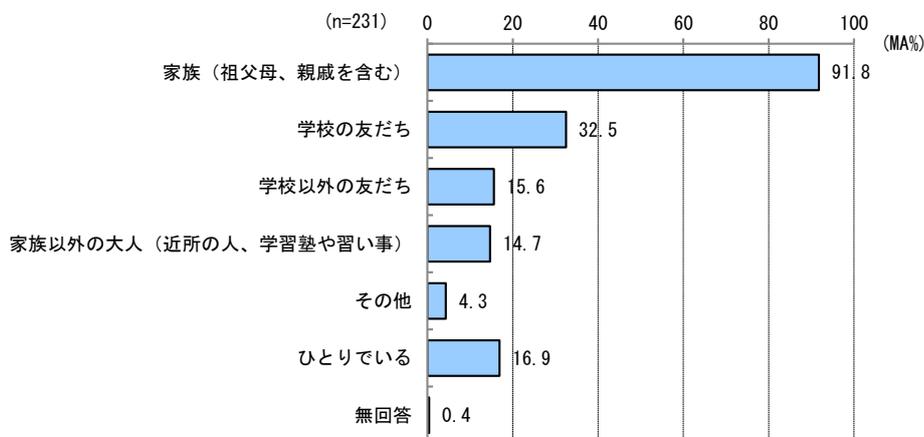
【(学年別)平日の放課後の過ごし方】

	全 体	自 分 の 家	友 だ ち と 遊 ぶ	学 習 塾	習 い 事	学 童 保 育	図 書 館 な ど 公 共 施 設	そ の 他	無 回 答
全 体	231 100.0	218 94.4	86 37.2	32 13.9	96 41.6	20 8.7	3 1.3	8 3.5	1 0.4
4年生	81 100.0	72 88.9	22 27.2	10 12.3	33 40.7	12 14.8	1 1.2	3 3.7	1 1.2
5年生	76 100.0	75 98.7	25 32.9	9 11.8	30 39.5	7 9.2	1 1.3	3 3.9	0 0.0
6年生	74 100.0	71 95.9	39 52.7	13 17.6	33 44.6	1 1.4	1 1.4	2 2.7	0 0.0

上段：実数、下段：%

(2) 休日に一緒に過ごす人

問6 あなたは、学校が休みの日はだれと一緒に過ごすことが多いですか。【〇はいくつでも】



学校が休みの日はだれと一緒に過ごすことが多いかについては、「家族 (祖父母、親戚を含む)」が 91.8%と最も高く、次いで「学校の友だち」が 32.5%、「ひとりである」が 16.9%となっています。

問6 その他の内容	件数
自宅または祖母の家で飼っているペット	2
兄弟	2
ソフトボールの監督、コーチ、友達	2
ネットで知り合った友達	1
お兄さん	1

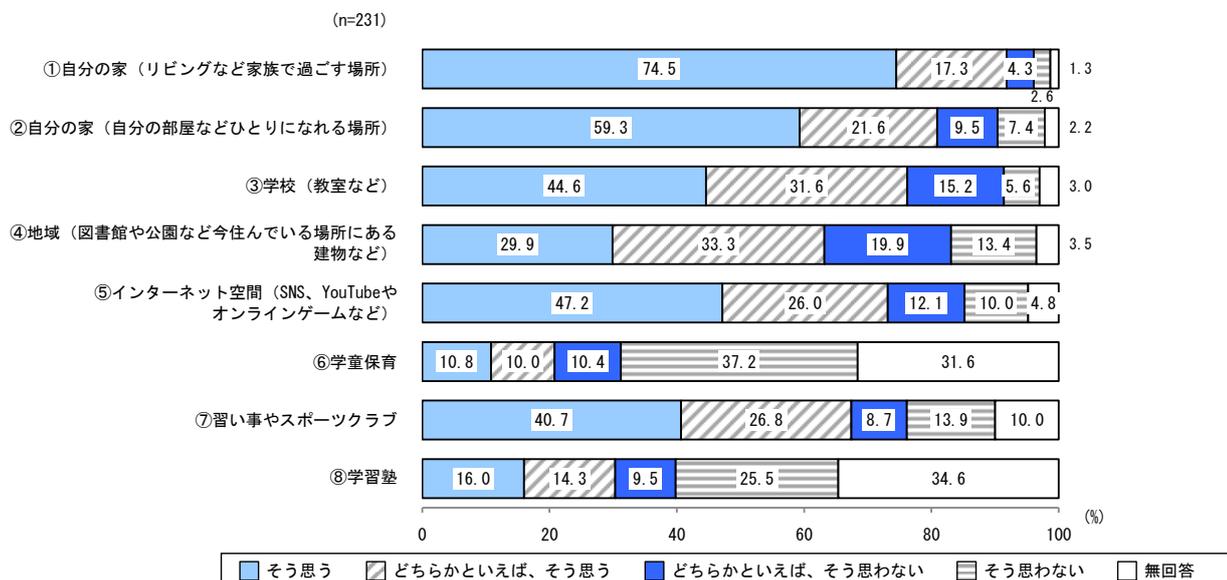
【(学年別)休日の過ごし方】

	全 体	家 族 (祖 父 母 、 親 戚 を 含 む)	習 い 事 (近 所 の 人 、 学 習 塾 や 家 族 以 外 の 大 人)	学 校 の 友 だ ち	学 校 以 外 の 友 だ ち	そ の 他	ひ と り で い る	無 回 答
全 体	231 100.0	212 91.8	34 14.7	75 32.5	36 15.6	10 4.3	39 16.9	1 0.4
4 年生	81 100.0	72 88.9	10 12.3	20 24.7	14 17.3	3 3.7	5 6.2	1 1.2
5 年生	76 100.0	70 92.1	13 17.1	26 34.2	14 18.4	3 3.9	19 25.0	0 0.0
6 年生	74 100.0	70 94.6	11 14.9	29 39.2	8 10.8	4 5.4	15 20.3	0 0.0

上段：実数、下段：%

(3) ほっとできる場所、安心できる場所

問7 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）になっていますか。【それぞれ〇は1つ】



自分にとっての居場所は、①自分の家の『そう思う』（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」を合わせた割合）が91.8%と最も高い一方で、⑥学童保育の『そう思う』は低くなっています。

(4) 家や学校以外に「ここに居たい」と感じる場所

問8 あなたは、家や学校（教室など）以外に「ここに居たい」と感じる場所がありますか。

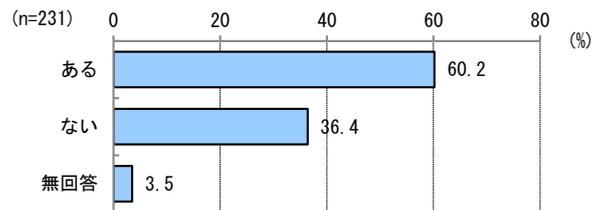
【〇は1つ】

問8-1 「ここに居たい」と感じる場所はどのような場所ですか。【〇はいくつでも】

問8-2 あなたは、家や学校（教室など）以外に「ここに居たい」と感じる場所が欲しいですか。【〇は1つ】

問8-3 どのような場所であれば行ってみたいと思いますか。【〇はいくつでも】

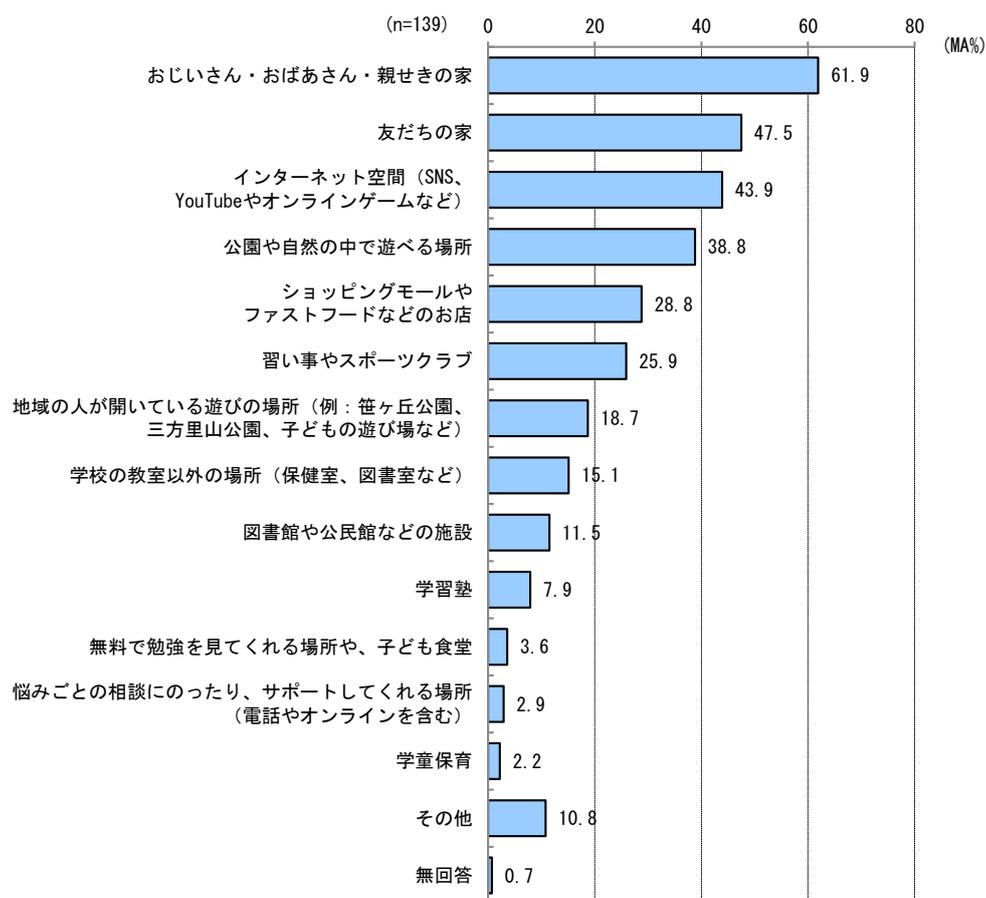
【「ここに居たい」と感じる場所の有無】



家や学校（教室など）以外にここに居たいと感じる場所の有無は、「ある」が60.2%、「ない」が36.4%となっています。

【「ここに居たい」と感じる場所】

※「ここに居たい」と感じる場所がある人のみ



ここに居たいと感じる場所は、「おじいさん・おばあさん・親せきの家」が 61.9%と最も高く、次いで「友だちの家」が 47.5%、「インターネット空間 (SNS、YouTube やオンラインゲームなど)」が 43.9% となっています。

問8-1 その他の内容	件数
自分の部屋	3
山	2
いとこの家	2
カードショップ	2
学校	1
明るい雰囲気のある所、たまには一人になれる場所	1
庭、静かな所、暗い所	1
一人だけの部屋	1
自分の家	1
いとこや、はとこの家	1

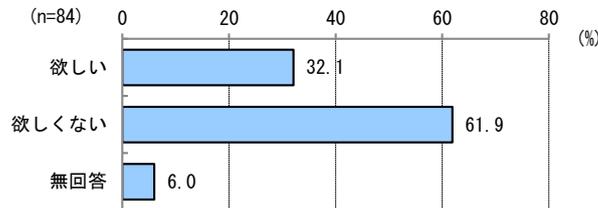
【(学年別)「ここに居たい」と感じる場所】

	全 体	・お じい さん ・お ばあ さん の 家	友 だ ち の 家	習 い 事 や ス ポ ー ツ ク ラ ブ	学 習 塾	学 童 保 育	(学 校 の 教 室 以 外 の 場 所) (保 健 室 、 図 書 室 な ど)	公 園 や 自 然 の 中 で 遊 べ る 場 所	図 書 館 や 公 民 館 な ど の 施 設									
全 体	139 100.0	86 61.9	66 47.5	36 25.9	11 7.9	3 2.2	21 15.1	54 38.8	16 11.5									
4 年 生	50 100.0	27 54.0	26 52.0	13 26.0	5 10.0	1 2.0	10 20.0	22 44.0	7 14.0									
5 年 生	39 100.0	26 66.7	15 38.5	11 28.2	2 5.1	1 2.6	3 7.7	13 33.3	2 5.1									
6 年 生	50 100.0	33 66.0	25 50.0	12 24.0	4 8.0	1 2.0	8 16.0	19 38.0	7 14.0									
全 体	139 100	お 店 フ ア ス ツ ピ ン グ ド モ ー ル の や	シ ョ ッ ピ ン グ ド モ ー ル の や	子 ど も の 遊 び 場 な ど	公 園 、 三 方 山 公 園 、 笹 ヶ 丘	地 域 の 人 が 開 い て い る	無 料 で 勉 強 を 見 て く れ る	場 所 や 、 子 ど も 食 堂	を 含 む	場 所 - 電 話 や オ ン ラ イ ン	り 、 サ ポ ー ト し て く れ る	悩 み ご と の 相 談 に の つ た	イ ン ゲ ー ム な ど	Y o u T u b e や オ ン ラ	-(S o c i a l N e t w o r k S p a c e	そ の 他	無 回 答	
全 体	139 100	40 28.8	26 18.7	5 3.6	4 2.9	61 43.9	15 10.8	1 0.7										
4 年 生	50 100.0	15 30.0	8 16.0	3 6.0	0 0.0	14 28.0	4 8.0	1 2.0										
5 年 生	39 100.0	12 30.8	8 20.5	1 2.6	0 0.0	20 51.3	3 7.7	0 0.0										
6 年 生	50 100.0	13 26.0	10 20.0	1 2.0	4 8.0	27 54.0	8 16.0	0 0.0										

上段：実数、下段：%

【家や学校以外に「ここに居たい」と感じる場所が欲しいか】

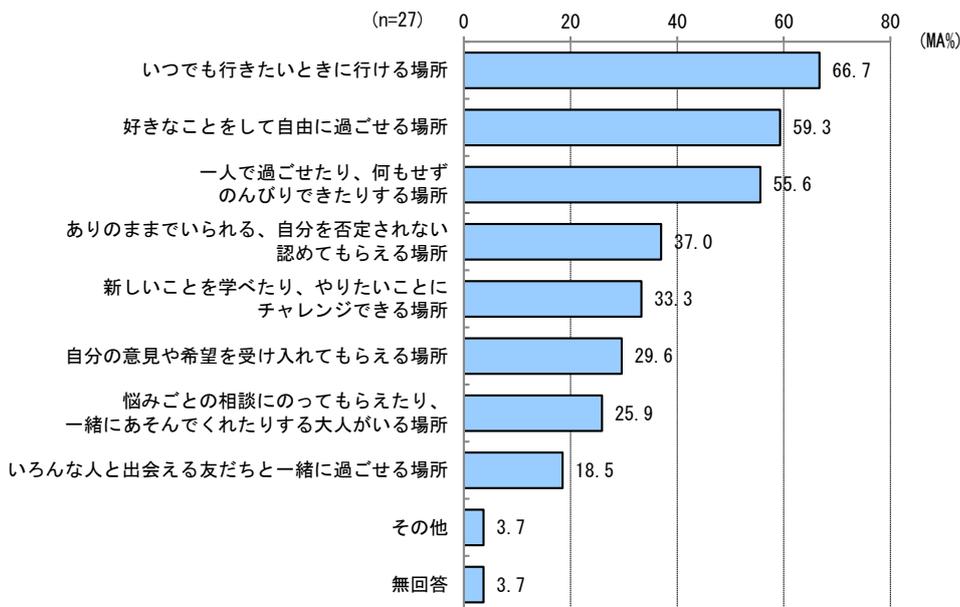
※「ここに居たい」と感じる場所がない人のみ



家や学校(教室など)以外にここに居たいと感じる場所が欲しいかについては、「欲しくない」が61.9%、「欲しい」が32.1%となっています。

【どのような場所であれば行ってみたいと思うか】

※「ここに居たい」と感じる場所が欲しい人のみ



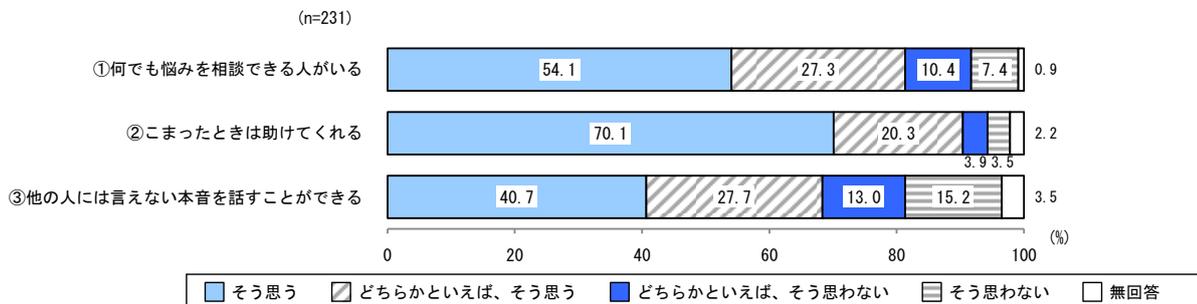
どのような場所であれば行ってみたいと思うかについては、「いつでも行きたいときに行ける場所」が66.7%と最も高く、次いで「好きなことをして自由に過ごせる場所」が59.3%、「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできたりする場所」が55.6%となっています。

問8-3 その他の内容	件数
暗いところ	1

4. まわりの人について

(1) 家族・親せきとのかかわり

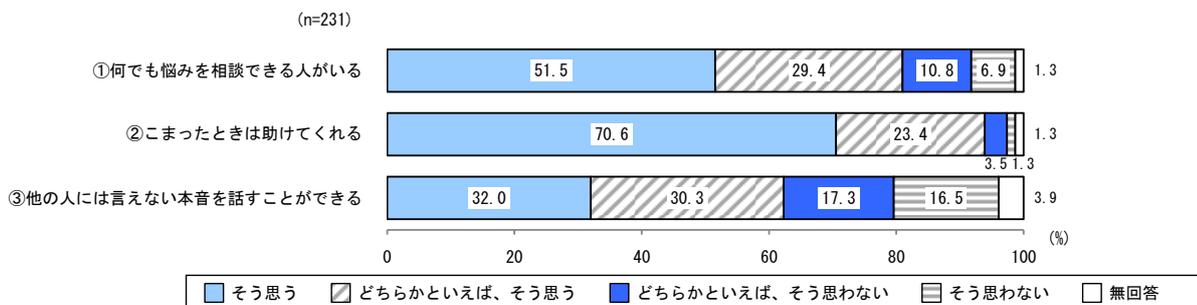
問9 家族・親せきとあなたのかかわりは、どのようなものですか。【それぞれ〇は1つ】



家族・親せきとのかかわりは、②こまったときは助けてくれるの『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせた割合）が90.4%と最も高い一方で、③他の人には言えない本音を話すことができるの『そう思う』は低くなっています。

(2) 学校の友だちとのかかわり

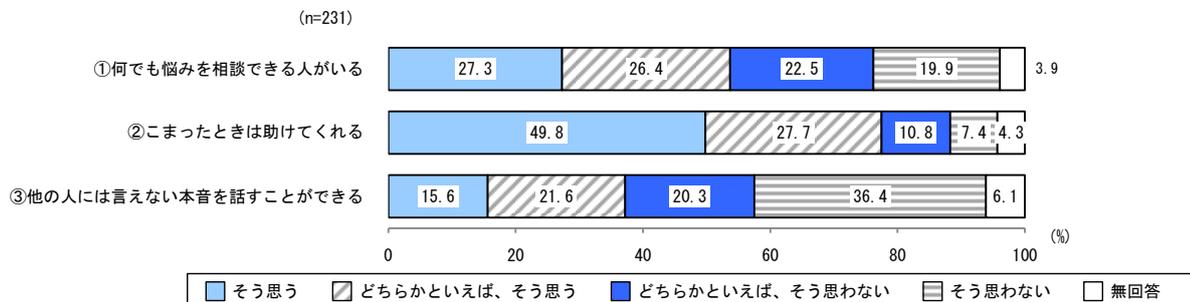
問10 学校の友だちと、あなたのかかわりは、どのようなものですか。【それぞれ〇は1つ】



学校の友だちとのかかわりは、②こまったときは助けてくれるの『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせた割合）が94.0%と最も高い一方で、③他の人には言えない本音を話すことができるの『そう思う』は低くなっています。

(3) 地域の人とのかかわり

問 11 地域の人（近所の人、塾や習い事での他校の友だちなど）とあなたのかかわりは、どのようなものですか。【それぞれ○は1つ】



地域の人とのかかわりは、②こまったときは助けてくれるの『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせた割合）が77.5%と最も高い一方で、③他の人には言えない本音を話すことができるの『そう思う』は低くなっています。

(4) インターネットで知り合った人とのかかわり

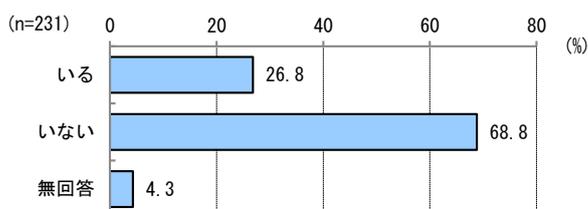
問 12 インターネット（SNS、オンラインゲームなど）で知り合った人はいますか。

【〇は1つ】

問 12-1 インターネットで知り合った人とあなたのかかわりは、どのようなものですか。

【それぞれ〇は1つ】

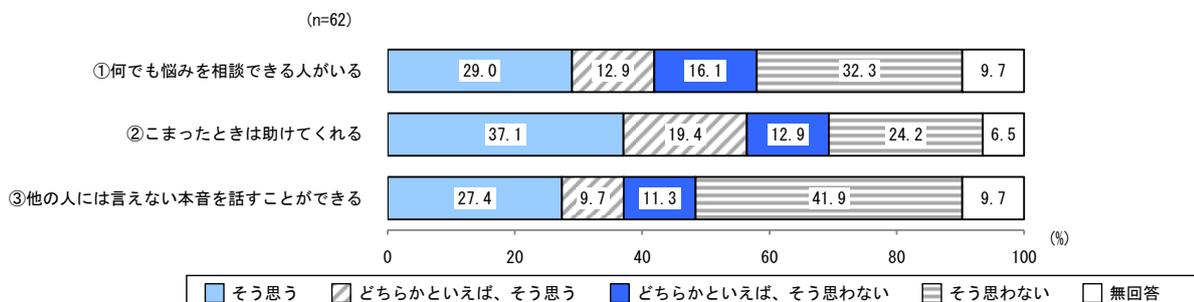
【インターネットで知り合った人の有無】



インターネット（SNS、オンラインゲームなど）で知り合った人の有無は、「いない」が 68.8%、「いる」が 26.8%となっています。

【インターネットで知り合った人とのかかわり】

※インターネットで知り合った人がいる人のみ

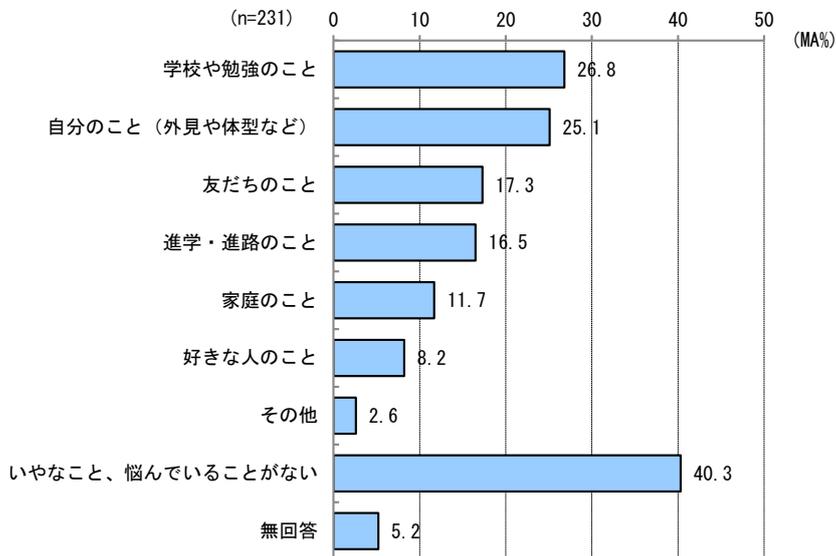


インターネットで知り合った人とのかかわりは、②こまったときは助けてくれるの『そう思う』（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」を合わせた割合）が 56.5%と最も高い一方で、③他の人には言えない本音を話すことができるの『そう思う』は低くなっています。

5. 相談先について

(1) 困っていることや悩んでいることの有無

問 13 あなたは、今、いやなことや心配なこと、こまっていること、悩んでいることがありますか。【〇はいくつでも】



いやなことや心配なこと、こまっていること、悩んでいることについては、「いやなこと、悩んでいることがない」が40.3%と最も高く、次いで「学校や勉強のこと」が26.8%、「自分のこと (外見や体型など)」が25.1%となっています。

問 13 その他の内容	件数
お楽しみ会で毎回泣く人がいるのでお楽しみ会にならない	1
他の人からどのように思われているか	1
未来の自分	1
弟	1
大切な人のこと	1

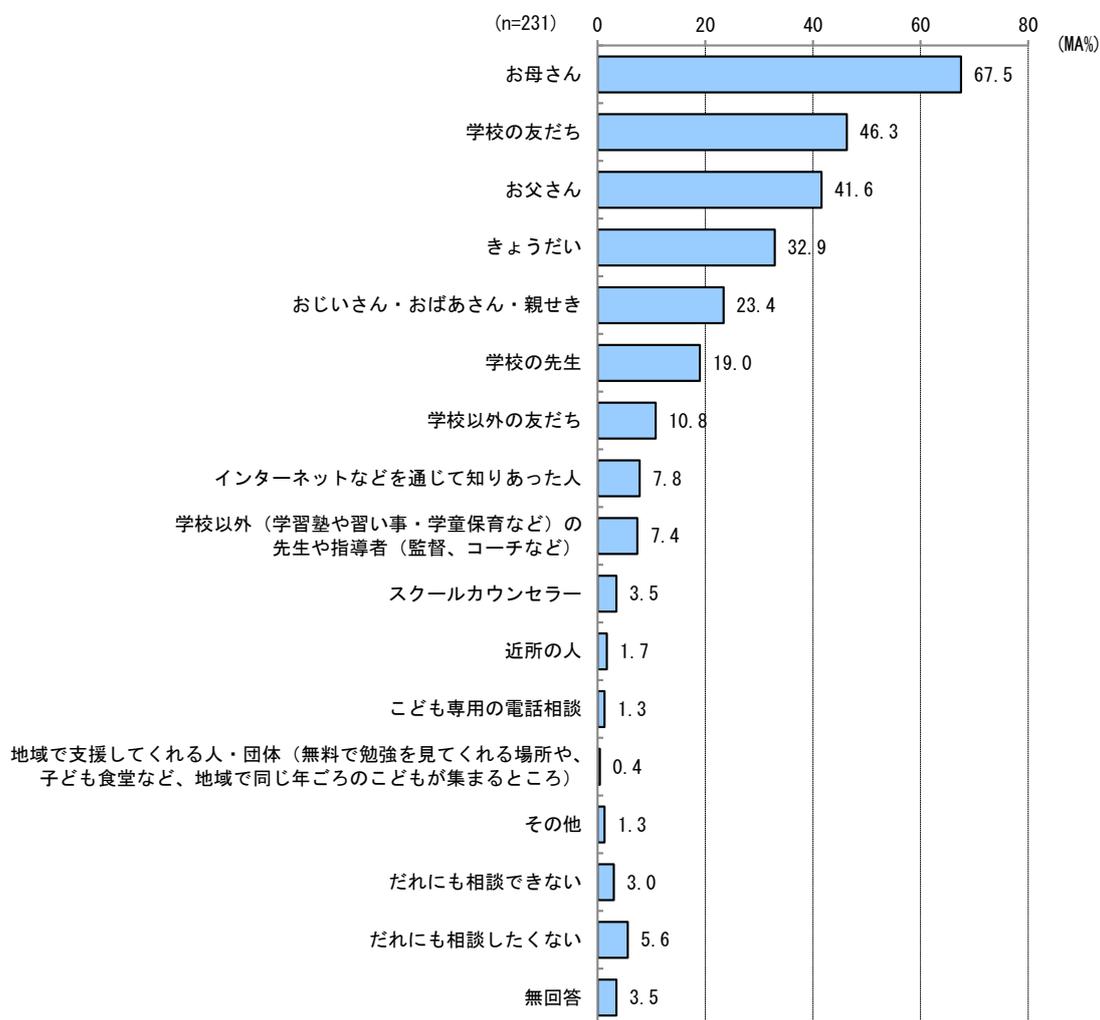
【(学年別)こまっていること、悩んでいること】

	全 体	家 庭 の こ と	学 校 や 勉 強 の こ と	体 自 分 の こ と (外 見 や)	友 だ ち の こ と	好 き な 人 の こ と	進 学 ・ 進 路 の こ と	そ の 他	い や な こ と 、 悩 ん で い る こ と が な い	無 回 答
全 体	231 100.0	27 11.7	62 26.8	58 25.1	40 17.3	19 8.2	38 16.5	6 2.6	93 40.3	12 5.2
4 年生	81 100.0	3 3.7	13 16.0	14 17.3	10 12.3	2 2.5	7 8.6	2 2.5	41 50.6	9 11.1
5 年生	76 100.0	12 15.8	23 30.3	21 27.6	15 19.7	9 11.8	10 13.2	2 2.6	25 32.9	2 2.6
6 年生	74 100.0	12 16.2	26 35.1	23 31.1	15 20.3	8 10.8	21 28.4	2 2.7	27 36.5	1 1.4

上段：実数、下段：%

(2) こまっていることや悩んでいることがあったときの相談先

問 14 あなたは、いやなことや心配なこと、こまっていること、悩んでいることがあったとき、だれに相談しますか。【〇はいくつでも】



いやなことや心配なこと、こまっていること、悩んでいることがあったときの相談先は、「お母さん」が 67.5%と最も高く、次いで「学校の友だち」が 46.3%、「お父さん」が 41.6%となっています。

問 14 その他の内容	件数
いところ	1
相談しない	1

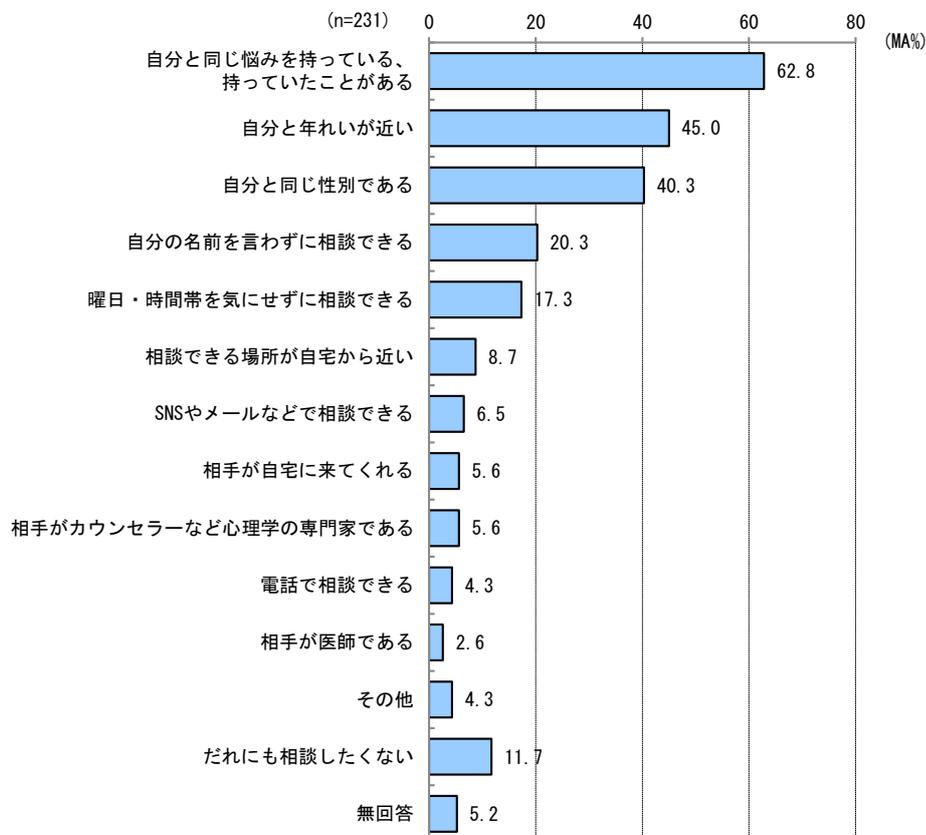
【(学年別)こまっていること、悩んでいることの相談先】

	全 体	お 父 さ ん	お 母 さ ん	き よ う だ い	・お じ い さ ん ・ お ば あ さ ん ・ 親 せ き	学 校 の 友 だ ち	学 校 以 外 の 友 だ ち
全 体	231 100.0	96 41.6	156 67.5	76 32.9	54 23.4	107 46.3	25 10.8
4 年生	81 100.0	40 49.4	63 77.8	22 27.2	27 33.3	27 33.3	10 12.3
5 年生	76 100.0	33 43.4	49 64.5	28 36.8	17 22.4	41 53.9	9 11.8
6 年生	74 100.0	23 31.1	44 59.5	26 35.1	10 13.5	39 52.7	6 8.1
	全 体	学 校 の 先 生	ス ク ー ル カ ウ ン セ ラ ー	学 校 以 外 (学 習 塾 や 習 い 事 ・ 学 童 保 育 な ど) の 先 生 や 指 導 者 (監 督、 コ ー チ な ど)	近 所 の 人	こ ど も 専 用 の 電 話 相 談	こ ど も が 集 ま る と こ ろ (地 域 で 支 援 し て く れ る 人 な ど、 無 料 で 勉 強 を 見 て く れ る 食 堂 な ど、 地 域 で 同 じ 年 ご ろ の こ ど も が 集 ま る と こ ろ)
全 体	231 100.0	44 19.0	8 3.5	17 7.4	4 1.7	3 1.3	1 0.4
4 年生	81 100.0	14 17.3	3 3.7	6 7.4	3 3.7	0 0.0	1 1.2
5 年生	76 100.0	14 18.4	2 2.6	5 6.6	1 1.3	0 0.0	0 0.0
6 年生	74 100.0	16 21.6	3 4.1	6 8.1	0 0.0	3 4.1	0 0.0
	全 体	ジ ン タ ー ネ ッ ト な ど を 通 じ て 知 り あ つ た 人	そ の 他	だ れ に も 相 談 で き な い	だ れ に も 相 談 し た く な い	無 回 答	
全 体	231 100.0	18 7.8	3 1.3	7 3.0	13 5.6	8 3.5	
4 年生	81 100.0	6 7.4	0 0.0	1 1.2	4 4.9	6 7.4	
5 年生	76 100.0	8 10.5	1 1.3	4 5.3	6 7.9	1 1.3	
6 年生	74 100.0	4 5.4	2 2.7	2 2.7	3 4.1	1 1.4	

上段：実数、下段：%

(3) どのような人や場所なら相談できるか

問 15 どのような人や場所なら相談したい、相談できると思いますか。【〇はいくつでも】



どのような人や場所なら相談したい、相談できると思うかについては、「自分と同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が62.8%と最も高く、次いで「自分と年れいが近い」が45.0%、「自分と同じ性別である」が40.3%となっています。

問 15 その他の内容	件数
よく会ったりしてよく知っている人	2
たくさん話したことがある自分を分かってくれていると思う人	1
家族	1
祖父母	1
お母さん	1
安心できる人	1
友達	1
お父さん、お母さん	1

【(学年別)どのような人や場所なら相談できるか】

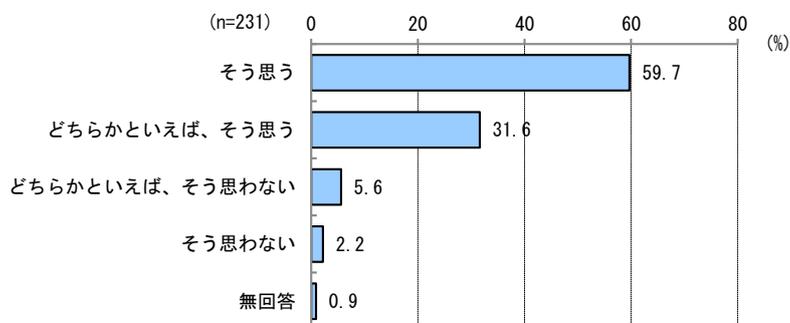
	全 体	自分と同じ悩みを持つ ている、持っていることが ある	自分と年れいが近い	自分と同じ性別である	自分の名前を言わずに 相談できる	電話で相談できる	SNS やメールなどで 相談できる	曜日・時間帯を 気にせずに相談できる
全体	231 100.0	145 62.8	104 45.0	93 40.3	47 20.3	10 4.3	15 6.5	40 17.3
4年生	81 100.0	42 51.9	33 40.7	23 28.4	13 16.0	2 2.5	5 6.2	9 11.1
5年生	76 100.0	53 69.7	29 38.2	34 44.7	19 25.0	4 5.3	3 3.9	14 18.4
6年生	74 100.0	50 67.6	42 56.8	36 48.6	15 20.3	4 5.4	7 9.5	17 23.0
	全 体	自宅から近い場所が 相談できる	相手が自宅に来てくれる	相手が医師である	心理学の専門家である カウンセラーなど	その他	だれにも相談したくない	無回答
全体	231 100	20 8.7	13 5.6	6 2.6	13 5.6	10 4.3	27 11.7	12 5.2
4年生	81 100.0	6 7.4	4 4.9	2 2.5	3 3.7	3 3.7	13 16.0	11 13.6
5年生	76 100.0	6 7.9	5 6.6	4 5.3	4 5.3	3 3.9	8 10.5	1 1.3
6年生	74 100.0	8 10.8	4 5.4	0 0.0	6 8.1	4 5.4	6 8.1	0 0.0

上段：実数、下段：%

6. 将来について

(1) 社会のために役立つことをしたいと思うか

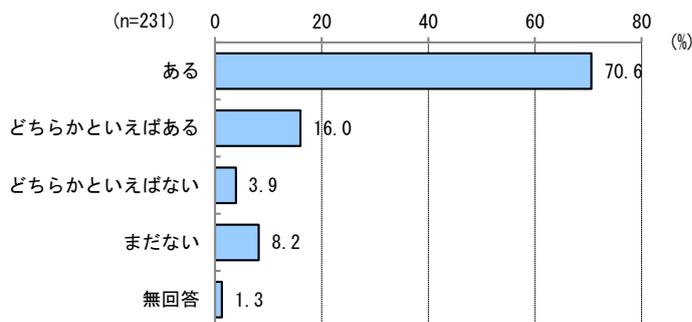
問 16 あなたは「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。【〇は1つ】



社会のために役立つことをしたいと思うかについては、「そう思う」が 59.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」が 31.6%、「どちらかといえば、そう思わない」が 5.6%となっています。

(2) 将来の夢や目標の有無

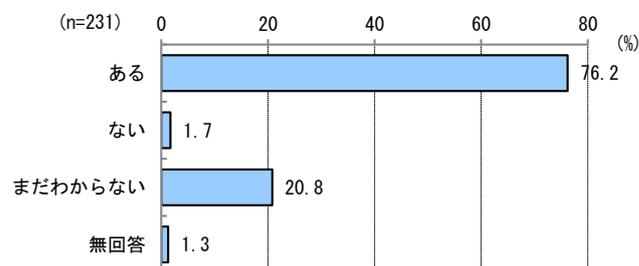
問 17 あなたは、自分の将来について夢や目標がありますか。【〇は1つ】



自分の将来について夢や目標の有無は、「ある」が 70.6%と最も高く、次いで「どちらかといえばある」が 16.0%、「まだない」が 8.2%となっています。

(3) 将来やりたい仕事の有無

問 18 あなたは、将来、やりたい仕事がありますか。【〇は1つ】



将来、やりたい仕事の有無は、「ある」が76.2%、「まだわからない」が20.8%となっています。

(4) 将来の夢や目標を実現するために、佐用町に必要なもの

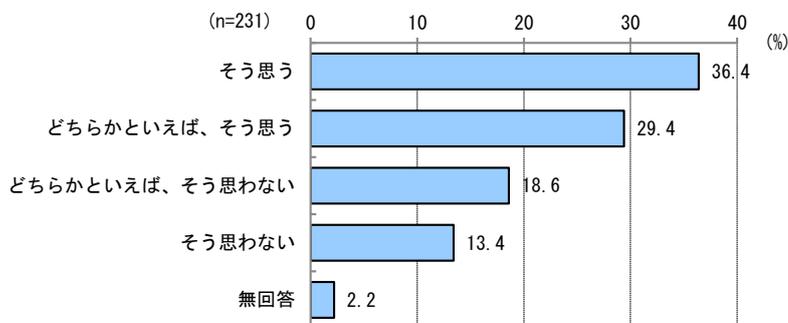
問 19 自分の将来の夢や目標を実現するために、佐用町にあったら良いなと思うものはありますか。

問 19 内容	件数
高校・大学・専門学校	14
大型のショッピング施設	7
体験学習ができる施設	5
専門店	5
科学館、動物園、水族館	4
カードショップ	3
企業	3
ペットショップ	2
体育館	2
本屋	2
スポーツショップ	2
サッカーのできる芝生のある広場	2
バッティングセンター	2
その他	32

(5) 大人になっても佐用町に住み続けたいと思うか

問 20 あなたは、大人になっても佐用町に住み続けたいと思いますか。【○は1つ】
 問 21 なぜそう思いますか。

【大人になっても佐用町に住み続けたいと思うか】



大人になっても佐用町に住み続けたいと思うかについては、「そう思う」が 36.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」が 29.4%、「どちらかといえば、そう思わない」が 18.6%となっています。

【(学年別)大人になっても佐用町に住み続けたいと思うか】

	全 体	そ う 思 う	そ ど ち ら か と い え ば、 そ う 思 う	そ ど ち ら か と い え ば、 そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答
全 体	231 100.0	84 36.4	68 29.4	43 18.6	31 13.4	5 2.2
4 年生	81 100.0	38 46.9	22 27.2	11 13.6	6 7.4	4 4.9
5 年生	76 100.0	29 38.2	21 27.6	11 14.5	15 19.7	0 0.0
6 年生	74 100.0	17 23.0	25 33.8	21 28.4	10 13.5	1 1.4

上段：実数、下段：%

【大人になっても佐用町に住み続けたいと思う理由】

問 21 そう思う理由	件数
自然が豊か	23
慣れ親しんでいる町だから	8
田舎が良い	6
楽しい町だから	4
生まれ育った町だから	4
佐用町が好きだから	4
良い町だから	3
災害がないから	2
人が優しいから	2
家族がいるから	2
その他	6

問 21 どちらかといえば、そう思う理由	件数
自然が豊か	13
生まれ育った町だから	6
慣れ親しんでいる町だから	4
田舎が良い	3
都会は人が多く、少ないところが良いから	3
佐用町が好きだから	2
その他	14

問 21 どちらかといえば、そう思わない理由	件数
他の場所に住んでみたい	6
都会に住んでみたい	5
仕事の選択肢が限られるから	4
近くにお店がないから	3
自分の将来の夢を叶えたいから	3
人が少ない	2
その他	8

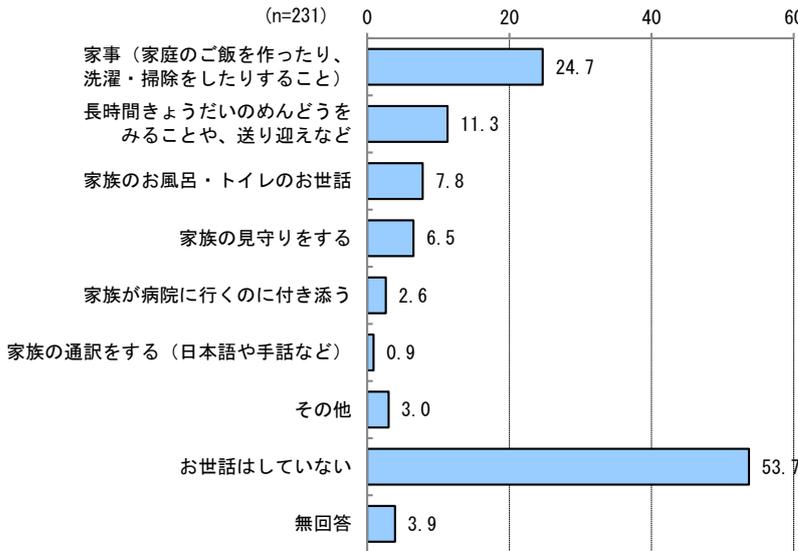
問 21 そう思わない理由	件数
都会に住んでみたい	5
他の場所に住んでみたい	4
自分の将来の夢を叶えたいから	3
仕事の選択肢が限られるから	2
交通の便が悪いから	2
その他	13

7. お世話をしている人について

(1) 家でしているお世話について

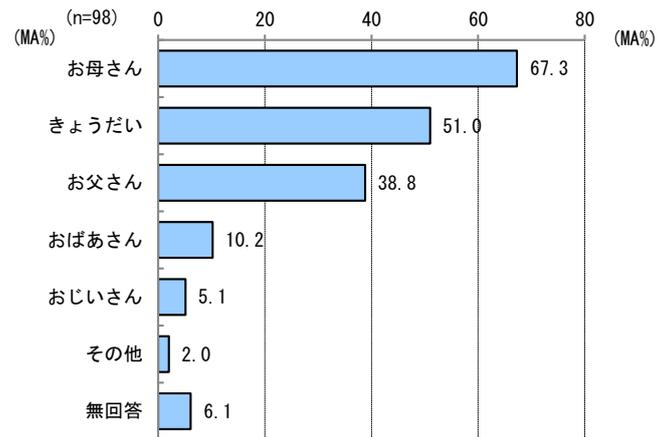
問 22 あなたは家で次に書いてあるお世話をしていますか。【〇はいくつでも】
 問 22-1 問 22 で答えたお世話はだれのお世話ですか。【〇はいくつでも】
 問 22-2 お世話をしていることで、できなくなったことはありますか。【〇はいくつでも】

【お世話の内容】



【お世話をしている人】

※お世話をしている人のみ



お世話の内容は、「お世話はしていない」を除くと、「家事 (家庭のご飯を作ったり、洗濯・掃除をしたりすること)」が 24.7%と最も高く、次いで「長時間きょうだいのめんどうをみることや、送り迎えなど」が 11.3%、「家族のお風呂・トイレのお世話」が 7.8%となっています。

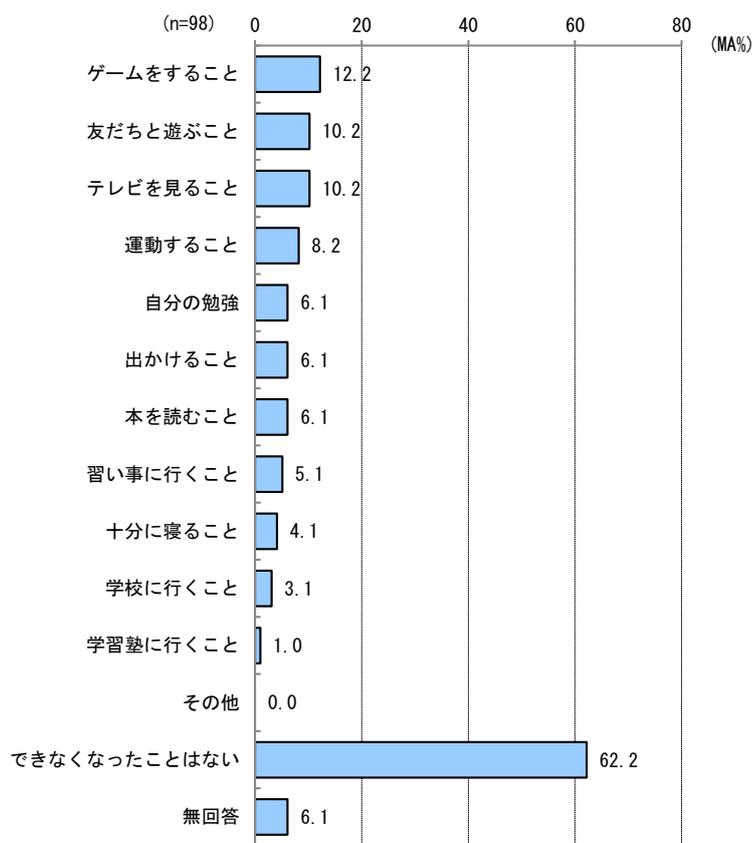
お世話をしている人は、「お母さん」が 67.3%と最も高く、次いで「きょうだい」が 51.0%、「お父さん」が 38.8%となっています。

問 22 その他の内容	件数
犬の世話	2
猫の世話	1
友達が障害を持っているので、サポートをしてあげている	1
お風呂掃除	1
お米を炊く	1
お父さんの仕事の手伝い	1

問 22-1 その他の内容	件数
犬	1
猫	1

【お世話をしていることでできなくなったこと】

※お世話をしている人のみ



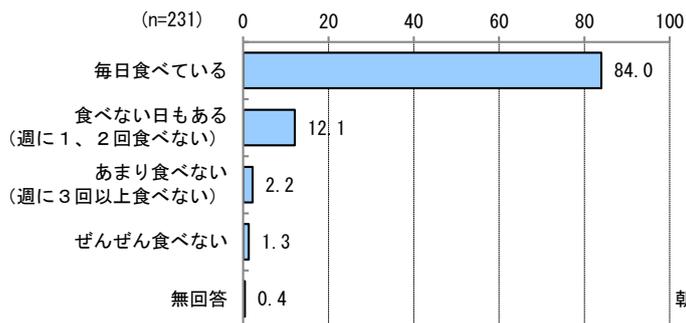
お世話をしていることで、できなくなったことは、「できなくなったことはない」を除くと、「ゲームをすること」が12.2%と最も高く、次いで「友だちと遊ぶこと」「テレビを見ること」がともに10.2%、「運動すること」が8.2%となっています。

8. 生活について

(1) 朝ご飯の状況

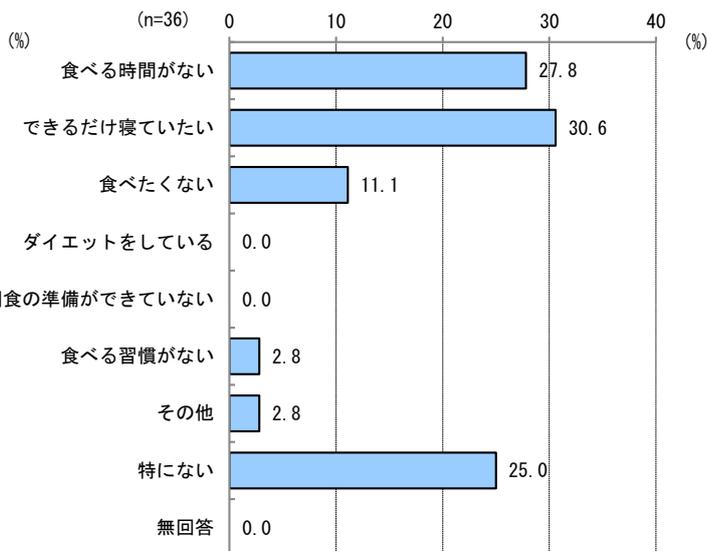
問 23 あなたは、毎日朝ごはんを食べていますか。【○は1つ】
 問 23-1 朝ごはんを食べない（食べられない）理由は何ですか。
 【一番あてはまるもの1つに○】

【毎日朝ごはんを食べているか】



【朝ごはんを食べない(食べられない)理由】

※朝ごはんを食べない日がある人のみ



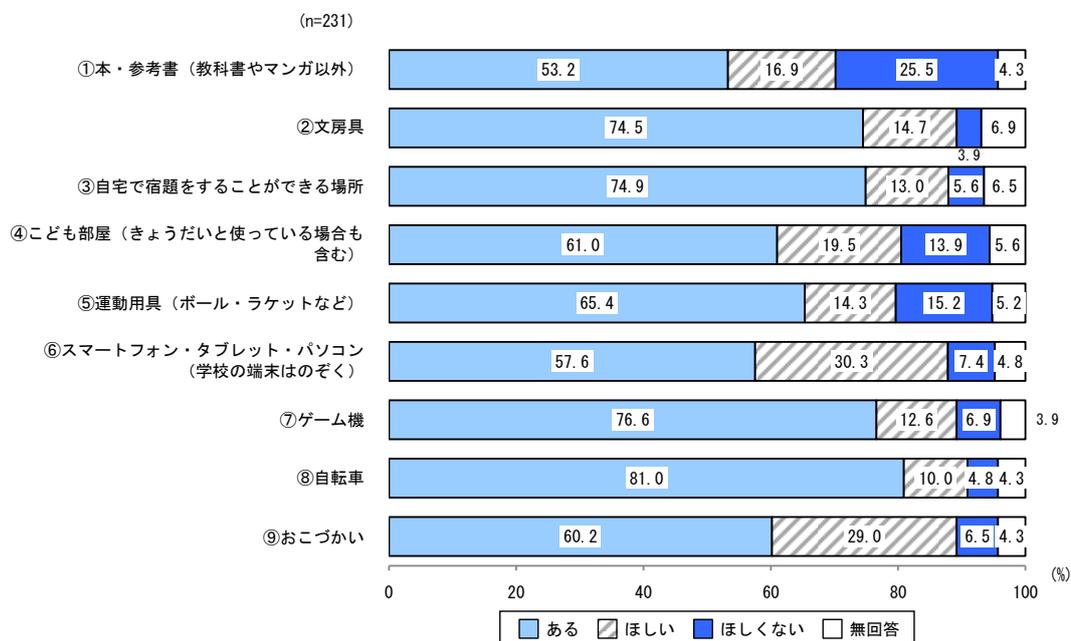
毎日朝ごはんを食べているかについては、「毎日食べている」が 84.0%と最も高く、次いで「食べない日もある（週に1、2回食べない）」が 12.1%、「あまり食べない（週に3回以上食べない）」が 2.2%となっています。

朝ごはんを食べない（食べられない）理由は、「できるだけ寝ていたい」が 30.6%と最も高く、次いで「食べる時間がない」が 27.8%、「特にない」を除くと「食べたくない」が 11.1%となっています。

問 23-1 その他の内容	件数
親がご飯を作ってくれない	1

(2) 自分が使うことができるもの

問 24 あなたには、自分が使うことができる以下のものがありますか。ある場合は「ある」に○を付けてください。ない場合は、それがほしいものであれば「ほしい」、いらぬと思うものであれば、「ほしくない」に○を付けてください。【それぞれ○は1つ】

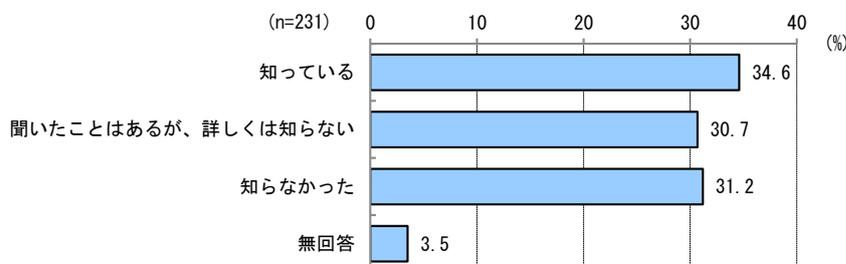


自分が使うことができるものは、⑧自転車の「ある」が81.0%、⑥スマートフォン・タブレット・パソコン (学校の端末はのぞく) の「ほしい」が30.3%、①本・参考書 (教科書やマンガ以外) の「ほしくない」が25.5%とそれぞれ最も高くなっています。

9. 子どもの意見表明について

(1) 自分の意見を表明する権利の認知度

問 25 あなたは自分の意見を言ったり、いろんな場に参加する権利を持っています。
あなたはそのような権利があることを知っていますか。【〇は1つ】



自分の意見を言ったり、いろんな場に参加する権利があることの認知度は、「知っている」が 34.6% と最も高く、次いで「知らなかった」が 31.2%、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が 30.7% となっています。

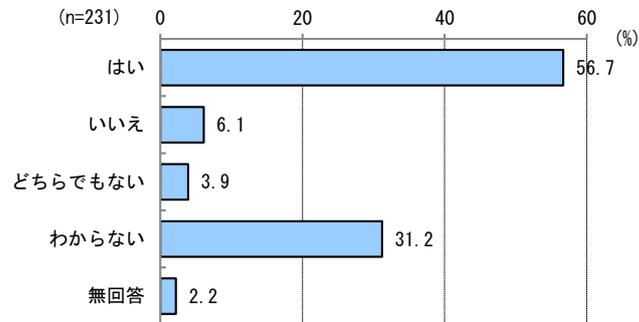
【(学年別)自分の意見を表明する権利の認知度】

	全 体	知 っ て い る	詳 聞 し く は こ と は 知 ら な い が、	知 ら な か つ た	無 回 答
全 体	231 100.0	80 34.6	71 30.7	72 31.2	8 3.5
4 年生	81 100.0	28 34.6	17 21.0	28 34.6	8 9.9
5 年生	76 100.0	17 22.4	25 32.9	34 44.7	0 0.0
6 年生	74 100.0	35 47.3	29 39.2	10 13.5	0 0.0

上段：実数、下段：%

(2) 家庭で自由に意見を言うことができるか

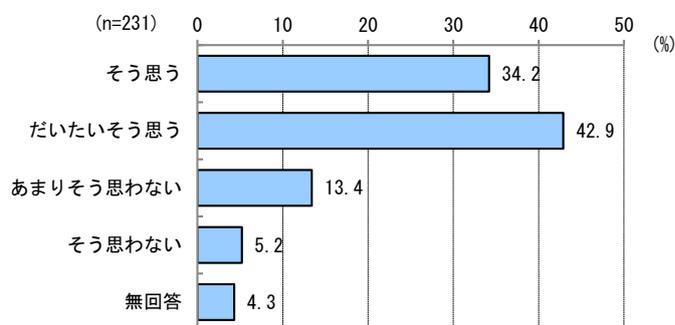
問 26 あなたは、家庭で自由に意見を言うことができ、その意見を大切にしてもらっていると思いますか。【〇は1つ】



家庭で自由に意見を言うことができ、その意見を大切にしてもらっているかについては、「はい」が56.7%と最も高く、次いで「わからない」が31.2%、「いいえ」が6.1%となっています。

(3) 学校で自由に意見を言うことができるか

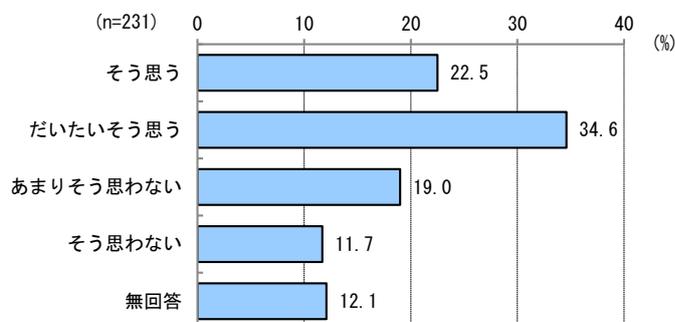
問 27 あなたは、学校で、自由に意見を言うことができ、その意見を大切にしてもらっていると
思いますか。【○は1つ】



学校で、自由に意見を言うことができ、その意見を大切にしてもらっているかについては、「だいたい
そう思う」が42.9%と最も高く、次いで「そう思う」が34.2%、「あまりそう思わない」が13.4%とな
っています。

(4) 近所など、家族以外に地域で自由に意見を言うことができるか

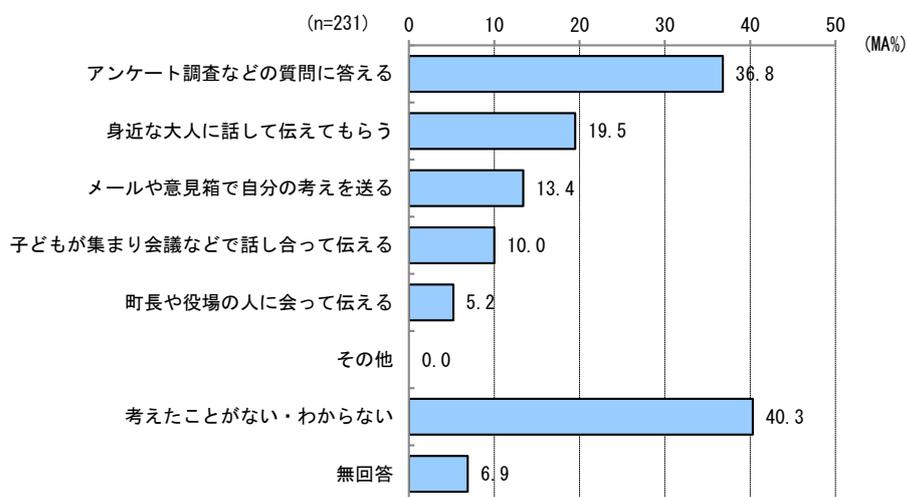
問 28 あなたは、近所など、家庭以外に地域で、自由に意見を言うことができ、その意見を
大切にしてもらっていると
思いますか。【○は1つ】



近所など、家庭以外に地域で、自由に意見を言うことができ、その意見を大切にしてもらっているか
については、「だいたいそう思う」が34.6%と最も高く、次いで「そう思う」が22.5%、「あまりそう思
わない」が19.0%となっています。

(5) 意見を言う場合の方法

問 29 住んでいるまちや身のまわりの生活などをより良くするために、あなたが意見を言う場合、どのような方法が良いですか。【〇はいくつでも】



住んでいるまちや身のまわりの生活などをより良くするために、あなたが意見を言う場合の方法は、「考えたことがない・わからない」を除くと、「アンケート調査などの質問に答える」が 36.8%と最も高く、次いで「身近な大人に話して伝えてもらう」が 19.5%、「メールや意見箱で自分の考えを送る」が 13.4%となっています。

【(学年別)意見を言う場合の方法】

	全 体	質 問 に 答 え る 調 査 な ど の	自 分 の 考 え を 送 る で	伝 え て も ら う に 話 し て	会 話 し 合 っ て 伝 え る 人 に	ど こ も が 集 ま り 会 議 な	そ の 他	わ か ら な い こ と が な い ・	無 回 答
全 体	231 100.0	85 36.8	31 13.4	45 19.5	12 5.2	23 10.0	0 0.0	93 40.3	16 6.9
4 年生	81 100.0	25 30.9	7 8.6	10 12.3	4 4.9	7 8.6	0 0.0	38 46.9	8 9.9
5 年生	76 100.0	32 42.1	11 14.5	16 21.1	1 1.3	7 9.2	0 0.0	25 32.9	7 9.2
6 年生	74 100.0	28 37.8	13 17.6	19 25.7	7 9.5	9 12.2	0 0.0	30 40.5	1 1.4

上段：実数、下段：%

10. 自由記述

問 30 学校生活やお家、地域での生活で気になることなど、自由にご記入ください。

小学生（4～6年生）の自由記述：回答数 44 件

学校・学童について

- ・制服が夏と冬の服をわけてほしい。
- ・先生が女の子に甘い気がする。
- ・学校生活で遅刻したとき、どのように説明をしたらいいのか。
- ・先生、学童の先生。

公園の遊具について

- ・三日月にたくさんの遊具が欲しい。できれば飽きないほど欲しいです。
- ・公園の遊具がもっと欲しい。
- ・家の近くの公園に遊具をもっと増やして欲しい。

友人関係について

- ・自分が仲間はずれにされていると感じることがある。
- ・友達関係。
- ・友達にたまに睨まれたように思う。

登下校のバスについて

- ・バスの登校のタクシーが嫌い。
- ・朝の登校のバスの速度が速い。帰りのバスが3便になったら勉強ができない。
- ・(再掲)朝のバスで運転する速度が速い人がいて注意しても数日たったらまた速くなるのをやめてほしいです。

その他

- ・楽しい。
- ・自転車に乗れない。
- ・自分の意見が反対されることが多い。
- ・近くの郵便局の配達車が速く走るからとても怖い。
- ・三日月に都会にあるようなものがあつたらいいと思う。
- ・(再掲)地域で文句を言う人にはどう接したらいいのか。ルール改善はどうやってしたらいいのか。
- ・スシローが無い。
- ・自分がこき使われてしんどい。
- ・気まずい人がいる。親は怖い。
- ・帰る時間を守っていない人がいること。
- ・近くにコンビニがないこと。
- ・公民館を広くしてほしいです。
- ・地域の所にゴミが落ちていて愛犬が食べてしまうこと。

佐用町
子ども・子育て支援事業計画策定に係る
ニーズ調査結果報告書

令和7年2月

発行 佐用町役場 健康福祉課 子育て・福祉室
〒679-5380 兵庫県佐用郡佐用町佐用2611番地1
TEL 0790-82-0661（直通） FAX 0790-82-0144